ユーザー ガイド

E709

HP Officejet 6500 (E709) All-in-One Series

ユーザー ガイド

著作権情報

Hewlett-Packard 社よりのお知らせ

本書に記載した内容は、予告なく変更されることがあります。

HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の明示的保証規定に記載されているものに限定されます。 本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Windows および Windows XP は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。 Windows Vista は、米国やその他の国/地域における Microsoft Corporation の登録商標または商標のいずれかです。

Secure Digital メモリカードが製品によってサポートされます。SD ロゴは、その所有者の商標です。

安全に関する情報

火災や感電によるけがの危険を避けるため、この製品を使用する場合は、常に基本的な安全に関する注意を厳守してください。

1. デバイスに付属の文書に記載されている全ての説明を読んで、十分に理解してください。

2. 製品に表示されているすべての警告と手順に従ってください。

3. 本体のクリーニングを行う際はコンセントから外してから行ってください。

4. 水の近くに本製品を設置したり、あるいは濡れた手で本製品を使用したりしないでください。

5. 本製品は安定した表面にしっかりと設置してください。

6. ケーブルやコードに足をとられないような場所に設置してください。また、ケーブルやコードが損傷しないような場所を選びます。

7. 製品が正常に動作しない場合は、保守とトラブルシューティングを参照してください。

8. 電源装置内部をお客様が直接修理することはできません点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。

9. デバイスに付属している外部電源アダプタ/バッテリのみをご利用ください。

目次

1 はじめに
本製品に関するその他のリソース........13
デバイスのモデル番号の検索........16
アクセシビリティ........16
デバイス各部の確認........17
前面図........17
印刷サプライ部........18
背面図........18
デバイスのコントロール パネルのボタンとランプ........19
接続情報........22
デバイス本体の電源をオフにします........22
エコヒント........23

2 デバイスの使用
デバイスのコントロール パネルのメニューの使用........24
デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ........25
ステータス メッセージ........25
警告メッセージ........26
エラー メッセージ........26
重要なエラー メッセージ........26
デバイスの設定の変更........26
HP ソフトウェアの使用........28
HP フォト イメージング ソフトウェアを使用する........28
HP ソフトウェアの使用........30
原稿のセット........31
スキャナのガラス板への原稿のセット........32
自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット........33
印刷メディアの選択........34
推奨する印刷およびコピー用紙........35
推奨するフォト印刷用紙........37
印刷メディアの選択と使用のヒント........38
サポートされたメディアの仕様の理解........39
使用可能なサイズの理解........40
使用可能な用紙の種類と重量の理解........44
最小余白の設定........45
メディアのセット........46

特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷....................................48
フチ無し印刷....................................49
両面印刷ユニットのインストール....................................51

3 印刷
プリント設定の変更....................................52
現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)....................................52
将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)....................................53
変更設定 (Mac OS X)....................................53
両面印刷 (2 面印刷)....................................53
ページの両面に印刷する場合のガイドライン....................................54
両面印刷を実行する....................................54
Web ページの印刷....................................55
印刷ジョブのキャンセル....................................56

4 スキャン
原稿のスキャン....................................57
原稿をコンピュータにスキャンする....................................58
メモリ デバイスへの原稿の送信....................................59
組み込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用....................................59
TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン....................................59
TWAIN 互換プログラムからスキャンする....................................60
WIA 互換プログラムからスキャンする....................................60
スキャンした原稿の編集....................................60
スキャンした写真またはグラフィックの編集....................................61
光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集....................................61
スキャン設定の変更....................................62
スキャン ジョブのキャンセル....................................62

5 メモリ デバイスの使用
メモリ カードの挿入....................................63
DPOF フォト プリント....................................65
選択した写真の印刷....................................65
写真の表示....................................66
コンピュータを使用した写真の表示....................................66
デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷....................................66
コンピュータに写真を保存する....................................66
写真の修正ツールの使用....................................67
赤目除去の使用....................................67

日付スタンプの使用....................68
新しいデフォルトの設定....................68

6 ファクス
ファクスの送信....................69
基本的なファクスの送信....................70
電話からのファクスの手動送信....................71
ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信....................72
ファクスをメモリから送信する....................73
後で送信するためのファクスのスケジュール設定....................74
ファクスを複数の受信者に送信する....................75
ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する 76
ファクスを HP Photosmart Studio ソフトウェアから複数の受信者に送信する (Mac OS X)....................76
カラー原稿をファクス送信する....................77
ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更....................78
ファクス解像度の変更....................78
[薄く/濃く] 設定の変更....................80
新しいデフォルトの設定....................80
エラー補正モードでのファクス送信....................81
ファクスの受信....................81
ファクスの手動受信....................82
バックアップ ファクス受信のセットアップ....................83
受信済みファクスのメモリからの再印刷....................85
ポーリングしてファクスを受信する....................86
別の番号へのモノクロでファクスを転送....................86
ファクス受信用の用紙サイズの設定....................87
受信したファクスを自動縮小に設定....................88
迷惑ファクス番号の拒否....................88
迷惑ファクス モードの設定....................89
迷惑ファクス一覧に番号を追加....................89
迷惑ファクス一覧から番号を削除....................90
迷惑ファクス レポートの印刷....................91
拒否するファクス番号のリストの表示....................91
コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信と Mac にファクス)....................91
PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件....................92
[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化....................92
[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する....................93
PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。....................95

ファクス設定の変更..95
ファクスのヘッダーの設定..95
応答モード (自動応答) の設定..96
応答までの呼び出し回数の設定..97
着信識別応答呼び出し音のパターンの変更...98
ファクスのエラー補正モードの設定...99
ダイヤル方式の設定...99
リダイヤル オプションの設定..100
ファクス速度の設定...101
ファクス音量の設定...102
短縮ダイヤルの設定...102
ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定...102
短縮ダイヤルの設定..103
短縮ダイヤル グループを設定する...103
短縮ダイヤル エントリー覧の印刷と表示..105
短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する...105
短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷する...106
FoIP (Fax over Internet Protocol)...106
ファクス設定のテスト...106
レポートの使用...108
ファクス確認レポートの印刷...108
ファクス エラー レポートの印刷..110
ファクス ログの印刷と表示..110
ファクス ログの消去..111
ファクス処理レポートの印刷...112
着信識別履歴の印刷...112
ファクスのキャンセル...112

7 コピー

コピーの作成...114
コピー設定の変更...115
コピー枚数の設定...116
コピー用紙サイズの設定...116
コピー用紙の種類の設定...117
コピー速度と品質の変更...118
レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更..........................119
リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする...............................120
コピーの濃淡の調整...120
コピーの薄い部分を強調...121
コピーの部単位で印刷...122

コピーにマージンの変更を適用する....................122
両面コピー....................123
コピー ジョブのキャンセル....................124

8 構成と管理
デバイスの管理....................125
デバイスの監視....................126
デバイスの管理....................127
デバイス管理ツールの使用....................130
ツールボックス (Windows)....................130
ツールボックスを開く....................130
ツールボックス タブ....................131
ネットワーク ツールボックス....................132
HP ソリューション センターの使用 (Windows)....................132
組み込み Web サーバ....................133
組み込み Web サーバを開くには....................134
組み込み Web サーバのページ....................135
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X）....................136
HP プリンタ ユーティリティを開く....................136
HP プリンタ ユーティリティ パネル....................137
HP デバイス マネージャの使用 (Mac OS X)....................138
プリンタ ステータス ページの理解....................138
ネットワーク設定ページの理解....................139
ネットワーク オプションの構成....................141
基本的なネットワーク設定の変更....................141
ネットワーク設定の表示と印刷....................141
ワイヤレスをオン/オフにする (一部のモデルのみ)....................142
詳細なネットワーク設定の変更....................142
リンク速度の設定....................142
IP 設定を表示するには....................143
IP 設定を変更するには....................143
デバイスのファクス機能のセットアップ....................144
ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)....................144
自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択....................146
ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)....................150
ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ....................151
ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ....................153
ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用....................154

ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する....................................155
ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する....................................157
ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)....................................158
ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する....................................162
ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する....................................168
ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する....................................170
ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する....................................175
シリアル方式のファクスのセットアップ....................................178
デバイスの構成 (Windows)....................................179
直接接続....................................179
デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)....................................180
ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する....................................180
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する....................................181
ネットワーク接続....................................182
ネットワークにデバイスをインストールするには....................................183
プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするには....................................184
[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには....................................184
デバイスの設定 (Mac OS X)....................................185
ネットワーク接続、または直接接続にソフトウェアをインストールする....................................185
ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する....................................186
デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)....................................187
802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解....................................188
インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)....................................190
インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X)....................................191
デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには....................................191
ワイヤレス通信をオフにするには....................................191
アド ホック ワイヤレス ネットワーク接続でデバイスを接続する....................................192
ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン....................................192
HP デバイスで動作するようにファイアウォールを構成する....................................192

接続方法を変更する..194
ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン.................195
ハードウェア アドレスを WAP に追加するには...............................195
その他のガイドライン..196
ソフトウェアのアンインストールと再インストール................................196

9 保守とトラブルシューティング
インク カートリッジのメンテナンス..200
インク カートリッジとプリントヘッドの情報.....................................201
推定インクレベルの確認..202
インク カートリッジの交換..203
高度なインク カートリッジのメンテナンス..206
センサーのクリーニング..206
インク カートリッジのセンサー ウィンドウのクリーニング...........207
プリントヘッド メンテナンスの詳細..210
プリントヘッドをクリーニングする...210
プリンタを調整する...211
使用状況情報の収集..213
印刷品質レポートの印刷と評価..214
印刷品質レポートを印刷するには...214
印刷品質ページを評価するには...215
インク レベル..215
良いカラー バー..216
ギザギザ、不規則な縞模様、または色の薄いバー..........................217
バーの規則的な白い縞模様..218
バーの色が均一でない..219
大きなフォントのモノクロの文字...219
調整パターン...220
デバイスのクリーニング...221
スキャナ ガラスのクリーニング...222
外側のクリーニング..223
自動ドキュメント フィーダのクリーニング...224
一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース................................227
印刷上の問題の解決..228
デバイスの電源が突然切れる...228
コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される...229
印刷するのに長時間かかる...229
空白ページまたはページの一部だけが印刷される................................229
ページの一部が印刷されない、または正しくない................................230
テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない.............................231

印刷のトラブルシューティング.....232
封筒が正しく印刷されない.....232
製品が応答していない.....233
製品が無意味な文字を印刷する.....237
印刷しようとしても何も動作しない.....238
余白が指定どおりに印刷されない.....242
文字やグラフィックがページの端で欠ける.....244
印刷中に空白ページが排紙される.....246
印刷品質のトラブルシューティング.....248
間違った色、不正確な色、にじんだ色.....249
文字やグラフィックの一部にインクが定着しない.....253
フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある.....256
横方向の縞模様または筋が現れる.....258
色が薄いまたはくすんでいる.....260
印刷がぼやけてはっきりしない.....263
斜めまたは歪んで印刷される.....265
用紙の裏にインクの筋がついている.....266
給紙トレイから用紙が給紙されない.....267
モノクロの文字の品質が悪い.....269
印刷が遅い。.....271
給紙の問題の解決.....272
コピーの問題の解決.....274
コピーが排出されない.....275
何もコピーされない.....276
原稿の一部がコピーされない、または薄い.....276
サイズが小さくなる.....277
コピーの品質が悪い.....277
正しくコピーされない.....277
エラー メッセージが表示される.....278
スキャンの問題の解決.....278
スキャナが動作しない.....279
スキャンに時間がかかりすぎる.....279
文書の一部またはテキストがスキャンされない.....280
テキストを編集できない.....281
エラー メッセージが表示される.....282
スキャンした画像の品質が良くない.....282
正しくスキャンされない.....284
ファクスの問題の解決.....284
ファクス テストに失敗した.....285
ネットワークの問題の解決.....304

ワイヤレスの問題の解決 (一部のモデルのみ)..306
ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング..................................306
ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング......................................307
コンピュータがネットワークに接続されていることを確認する......308
HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認する.......310
ファイアウォール ソフトウェアが通信をブロックしていないかどうか確認する..311
HP デバイスがオンラインで使用可能であることを確認する..........312
ワイヤレス ルータが非公開の SSID を使用している......................313
HP デバイスのワイヤレス バージョンがデフォルト プリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください (Windows のみ)。..313
HP Network Devices Support サービスが動作していることを確認する (Windows のみ)..314
ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する..314
写真 (メモリ カード) の問題の解決...315
メモリ カードを読み取ることができない..315
メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない.........316
本体の管理に関する問題の解決...316
組み込み Web サーバを開くことができない......................................317
インストールの問題のトラブルシューティング.......................................318
ハードウェアのインストールに関する提案...318
ソフトウェアのインストールに関する提案...319
メディア詰まりの除去...320
紙詰まりの除去...320
紙詰まりの防止...323
エラー..324
プリントヘッドのエラー..324
互換性のないプリントヘッド...325
プリントヘッドの問題とプリントヘッドの詳細なメンテナンス...........325
プリントヘッドの問題 - 次のプリントヘッドには問題があります。...325
プリントヘッド メンテナンスの詳細..325
ファクス メモリ不足..330
デバイスの接続が解除されました...330
インク警告..331
印刷品質がこれ以上悪くなる前に交換用カートリッジをご用意ください。...331

次のカートリッジのインク残量不足により印刷品質が低下するおそれがあります。カートリッジの交換がまもなく必要です。印刷品質がこれ以上悪くなる前に交換用カートリッジをご用意ください。........331
インク システム エラー........332
カートリッジの問題........332
次のカートリッジがないか、壊れている可能性があります........332
カートリッジのスロットが間違っています - 次のカートリッジのスロットが間違っています........333
カートリッジの問題........333
用紙の不一致........333
カートリッジ ホルダが動かない........334
紙詰まり........334
紙詰まり........334
プリンタに用紙がありません。........334
互換性のないカートリッジ........334
互換性のないカートリッジ........334
互換性のないカートリッジ........335
プリンタはオフライン........335
プリンタは一時停止中........335
センサーの問題........336
センサーの障害........337
以前使用されていた純正 HP カートリッジ........337
インク サービス容量の警告........337
印刷できなかったドキュメント........338
一般的なプリンタ エラー........338

A HP サプライ品とアクセサリ
印刷用サプライ品のオンライン注文........339
HP 交換用ランプ........340
サプライ品........340
サポートするインク カートリッジ........340
HP メディア........341

B サポートおよび保証
電子サポートの取得........342
保証........343
インク カートリッジの保証情報........344
HP テレフォン サポートの取得........345
サポート プロセス........345
電話をかける前の用意........345

HP 社の電話によるサポート.....346
電話サポート期間.....347
電話サポート番号.....348
電話をかける.....349
電話無料サポート期間後.....349
追加保証オプション.....349
HP Quick Exchange Service (Japan).....350
HP 韓国カスタマサポート.....350
製品をお送りいただくための準備.....351
デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し.....351
後部アクセス パネルまたは両面印刷ユニットを外します。.....353
排紙トレイを取り外す.....353
製品の梱包.....354

C デバイスの仕様
物理的仕様.....356
製品機能と内容.....356
プロセッサとメモリの仕様.....357
システム要件.....357
ネットワーク プロトコルの仕様.....359
組み込み Web サーバの仕様.....360
印刷の仕様.....360
コピーの仕様.....360
ファクスの仕様.....361
スキャンの仕様.....362
環境仕様.....362
電気仕様.....362
発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル).....362
メモリ カードの仕様.....363

D 法規について
FCC 準拠声明.....365
韓国のユーザに対する告知.....365
日本のユーザに対する VCCI (クラス B) 基準に関する告知.....365
日本のユーザに対する告知 (電源コードについて).....366
有毒有害物質の表.....366
LED 表示に関する声明.....366
ドイツの騒音放出に関する告知.....366
米国電話網ユーザへの告知：FCC 要件.....367
カナダのユーザに対する告知.....367

欧州経済地域の全ユーザに対する告知....368
ドイツ電話網ユーザへの告知....369
ワイヤレスに関する規制情報 (一部のモデルのみ)....369
高周波暴露....369
ブラジルのユーザーに対する告示....369
カナダのユーザーに対する告示....369
台湾のユーザーに対する告知....370
EU の規制に関する告知....370
オーストラリアでの有線ファクスの接続について....370
規制モデル番号....371
適合宣言書....372
環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム....374
用紙の使用....374
プラスチック....374
化学物質安全性データシート....374
リサイクルプログラム....374
HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム....375
EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理....376
電力消費....376
化学物質....377
サードパーティ ライセンス....378
Expat....378
OpenSSL....378
SHA2....382
索引....384

1　はじめに

このガイドでは、本製品の使用方法と問題の解決方法について詳しく説明します。

- 本製品に関するその他のリソース
- デバイスのモデル番号の検索
- アクセシビリティ
- デバイス各部の確認
- デバイス本体の電源をオフにします
- エコヒント

注記　Windows 2000、Windows XP x64、Windows XP Starter Edition、または Windows Vista Starter Edition の場合、ご使用になれない機能があります。詳細については、オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）をご覧ください。

本製品に関するその他のリソース

このガイドに含まれていない製品情報や詳しいトラブルシューティング リソースは、次のリソースに記載されています。

入手先	説明	場所
セットアップ ポスター	図によりセットアップ情報を表すポスターです。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。また HP Web サイト www.hp.com/support でも入手可能です。
Readme ファイルとリリース ノート	最新情報とトラブルシューティング ヒントが記載されています。	スタータ CD に搭載されています。
ファクスの『はじめに』	デバイスのファクス機能の設定に関する指示が記載されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。

(続き)

入手先	説明	場所
ワイヤレスの『はじめに』 (一部のモデルのみ)	デバイスのワイヤレス機能の設定に関する指示が記載されています。	この文書の印刷版は、本製品に同梱されています。
ツールボックス (Microsoft® Windows®)	プリントヘッドの動作状態とメンテナンスサービスへのアクセス方法が記載されています。 詳細については、ツールボックス (Windows) を参照してください。	通常、ツールボックスは、利用可能なインストール オプションの 1 つとしてデバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
HP ソリューション センター (Windows)	デバイス設定の変更、サプライ品の注文、起動、オンスクリーン ヘルプへのアクセスができます。 取り付けたデバイスによっては、HP ソリューション センターで、HP フォト イメージング ソフトウェアやファクス セットアップ ウィザードへのアクセスなど、追加機能が提供されます。詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。	通常、デバイス ソフトウェアと共にインストールされます。
HP プリンタ ユーティリティ（Mac OS X）	プリント設定の構成、デバイスの位置調整、プリントヘッドのクリーニング、構成ページの印刷、サプライ品のオンライン注文、および Web サイトのサポート情報の検索などの	通常、HP プリンタ ユーティリティは、デバイス ソフトウェアと共にインストールされます。

(続き)

入手先	説明	場所
	ツールが含まれています。 詳細については、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) を参照してください。	
デバイスのコントロール パネル	操作についてのステータス情報、エラー情報、および警告情報が表示されます。	詳細については、デバイスのコントロール パネルのボタンとランプを参照してください。
ログとレポート	生じたイベントについての情報が提供されます。	詳細については、デバイスの監視を参照してください。
プリンタ ステータス レポート	• 製品に関する情報： ◦ 製品名 ◦ モデル番号 ◦ シリアル番号 ◦ ファームウェア バージョン番号 • 印刷されたページ数	詳細については、プリンタ ステータス ページの理解を参照してください。
HP Web サイト	最新のプリンタ ソフトウェア、製品およびサポート情報が提供されます。	www.hp.com/support www.hp.com
HP 電話サポート	HP の連絡先情報が一覧表示されます。 保証期間中は、このサポートは無料で提供されます。	詳細については、HP テレフォン サポートの取得を参照してください。
組み込み Web サーバ	製品および印刷サプライ品に関するステータス情報が記載されていて、デバイス設定の変更が行えます。	詳細については、組み込み Web サーバをご覧ください。

デバイスのモデル番号の検索

デバイス正面に記載されているモデル名以外に、このデバイスには固有のモデル番号があります。この番号を使用して、製品に使用可能なサプライ品やアクセサリ、サポートが受けられる時期について確認することができます。

モデル番号は、デバイス内部、インク カートリッジ部分の近くにあるラベルに印刷されています。

アクセシビリティ

本製品には、障害のある方でもご利用いただけるよう数々の機能が備えられています。

視覚

デバイス ソフトウェアは、お使いのオペレーティング システムのアクセシビリティ オプションと機能をご使用いただくことにより、視覚障害をお持ちの方にもご利用いただけます。 また、スクリーン リーダー、点字リーダー、ボイス ツー テキスト アプリケーションなどのテクノロジーもサポートしています。 色覚障害をお持ちの方のために、ソフトウェアとデバイスのコントロール パネルで使われているカラー ボタンとタブには、該当の操作を表した簡単なテキストまたはアイコン ラベルが付いています。

移動性

移動が困難なユーザー向けには、デバイス ソフトウェア機能がキーボード コマンドを通じて実行できるようになっています。 ソフトウェアは StickyKeys、ToggleKeys、FilterKeys、および MouseKeys などの Windows アクセシビリティ オプションもサポートしています。 本製品のドア、ボタン、用紙トレイ、用紙ガイドなどは体力と到達範囲に制限があるユーザーでも操作できるようになっています。

ｻﾎﾟｰﾄ

本製品のアクセシビリティの詳細について、および製品のアクセシビリティに対する HP の取り組みについては、HP の Web サイト www.hp.com/accessibility をご覧ください。

Mac OS X のアクセシビリティ情報については、Apple の Web サイト www.apple.com/accessibility をご覧ください。

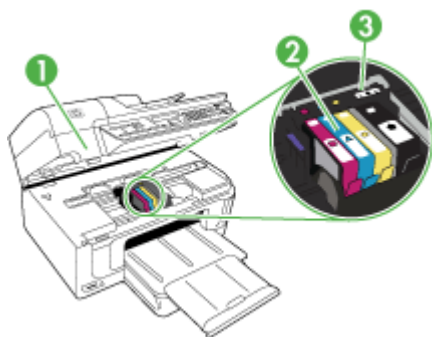
デバイス各部の確認

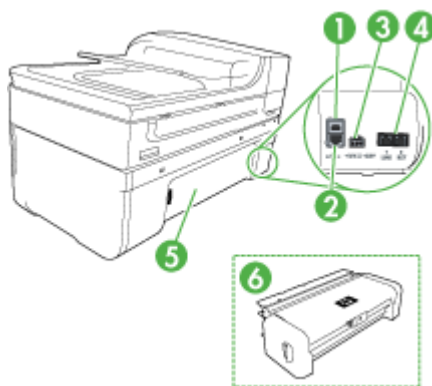
このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 前面図
- 印刷サプライ部
- 背面図
- デバイスのコントロール パネルのボタンとランプ
- 接続情報

前面図

1	自動ドキュメント フィーダ (ADF)
2	デバイスのコントロール パネル
3	ディスプレイ
4	メモリ カード スロット
5	排紙トレイ
6	排紙トレイの拡張部
7	給紙トレイ
8	スキャナのガラス面
9	スキャナの保護シート

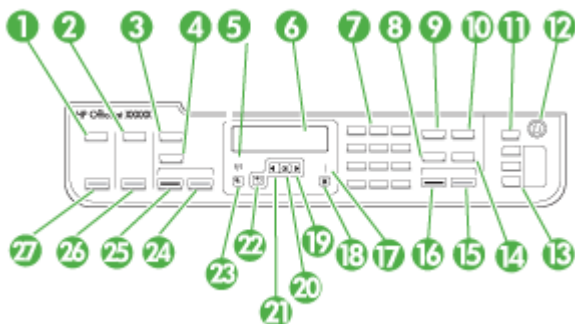
印刷サプライ部

1	プリントカートリッジのアクセス ドア
2	インク カートリッジ
3	プリントヘッド

背面図

1	後部 USB (Universal Serial Bus) ポート
2	Ethernet ポート
3	電源入力
4	1-Line (ファクス)、2-EXT (電話)
5	後部アクセス パネル

(続き)

6	両面印刷モジュール (一部のモデルのみ)

デバイスのコントロール パネルのボタンとランプ

次の図と表を使って、デバイスのコントロール パネルの機能について説明します。

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
1	**スキャン**：メニューで、スキャン送信先を選択します。
2	**フォト**：フォト オプション選択用のメニュー (一部のモデルのみ)
3	**注記** このボタンの名前と機能は、機器が販売された国 / 地域によって異なります。 **コピー**：コピー オプション選択用のメニュー (一部のモデルのみ) **コピー枚数**:コピーの部数を選択
4	**注記** このボタンの名前と機能は、機器が販売された国 / 地域によって異なります。 **品質**： コピー印字品質を [高画質]、[標準]、[はやい] から選択します。 **注記** 一部のモデルには、品質設定を示す星が付いています。3 つ星は [高画質]、2 つ星は [きれい]、1 つ星は [はやい] を示します。 **縮小/拡大** :コピーのサイズ変更が行えます。
5	**ワイヤレス ランプ**：ワイヤレスがアクティブの場合は、ワイヤレス ランプが点灯します。(一部のモデルのみ)。
6	**表示**メニューとメッセージを表示します。
7	**キーパッド**：数値を入力します。

(続き)

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
8	**短縮ダイヤル**: 短縮ダイヤルを選択します。
9	**ファクス**：メニューでファクス オプションを選択します。
10	**リダイヤル/ポーズ**:最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。または、ファクス番号に 3 秒間のポーズを挿入します。
11	**自動応答**：**自動応答**を有効または無効にするには、このボタンを押します。**自動応答**が有効になっている場合、ランプが点灯し、自動的に着信に応答します。ランプが点灯していない場合は、ファクスの着信に応答しません。
12	**電源**：プリンタ本体の電源をオンまたはオフにします。本体の電源が入っている場合は、電源ボタンが点灯します。ジョブの実行中はランプが点滅します。 電源をオフにしていても、デバイスには必要最小限の電力が供給されています。電源との接続を完全に切断するには、プリンタをオフにし、電源コードを抜きます。
13	**ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン**：最初の 5 件の短縮ダイヤル番号にアクセスします (一部のモデルのみ)。
14	**注記**　このボタンの名前と機能は、機器が販売された国 / 地域によって異なります。 **解像度**： 送信するファクスの解像度を調整します。 **迷惑ファクスを拒否**：[迷惑ファクス拒否設定] メニューで不要なファクス受信の管理を選択します。この機能を使用するためには、発信者 ID サービスを利用する必要があります。
15	**ファクス スタート - カラー**カラー ファクスを開始します。
16	**ファクス スタート - モノクロ**モノクロ ファクスを開始します。
17	**注意ランプ**：注意ランプが点滅している場合は、注意が必要なエラーが発生していることを示します。
18	**キャンセル**: ジョブの停止、メニューの終了、設定の終了を行います。
19	**右矢印** :ディスプレイの数値を上げます。
20	**OK(O)**: ディスプレイのメニューまたは設定を選択します。
21	**左矢印**：ディスプレイの数値を下げます。左矢印でディスプレイに入力した文字を削除することもできます。

ﾗﾍﾞﾙ	名称および説明
22	**戻る**: メニューで 1 段階戻ります。
23	**セットアップ**：レポートの作成、その他のメンテナンス設定の変更、ヘルプ メニューへのアクセスを行うための [セットアップ] メニューを表示します。[ヘルプ] メニューで選択したトピックに関するヘルプがコンピュータ画面に表示されます。
24	**コピー スタート - カラー**または **PC コピー 開始 - カラー**カラー コピーを開始します。 **注記** HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。また、Windows のタスクバーに HP Digital Imaging Monitor がインストールされ、常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。
25	**コピー スタート - モノクロ**または **PC コピー 開始 - モノクロ**モノクロ コピーを開始します。 **注記** HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。また、Windows のタスクバーに HP Digital Imaging Monitor がインストールされ、常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。
26	**フォト プリント**: フォト機能を選択します。メモリ カードから写真を印刷します。
27	**スキャン スタート**: スキャン ジョブを開始し、[スキャン] ボタンで選択したスキャン先に画像を送信します。

接続情報

説明	接続するコンピュータの台数 (最高性能を得るための推奨台数)	サポートされるソフトウェア機能	セットアップ方法
USB 接続	1 台のコンピュータ。USB ケーブルで後部 USB 2.0 高速ポートに接続。	すべての機能をサポートします。	詳しい手順については、セットアップ ポスターに従ってください。
Ethernet (有線) 接続	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	セットアップ ガイドの指示に従います。詳細な手順については、このガイドのネットワーク オプションの構成を参照してください。
プリンタ共有	コンピュータ 5 台まで。 ホスト コンピュータの電源を常にオンにしておく必要があります。オフの場合、他のコンピュータから本製品に印刷することはできません。	ホスト コンピュータに装備されている機能はすべてサポートされます。別のコンピュータからサポートされているのは印刷だけです。	ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するの指示に従ってください。
802.11 ワイヤレス (一部のモデルのみ)	ハブまたはルーターを使用してコンピュータを 5 台まで接続。	Web スキャンを含むすべての機能がサポートされます。	デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)の指示に従ってください。

デバイス本体の電源をオフにします

製品の **電源** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。**電源** ランプが消灯するのを待ってから、電源コードを抜いたりテーブルタップをオフにしてください。誤った方法で HP All-in-One の電源をオフにすると、インク ホルダーが正しい位置に戻らない場合があり、イ

ンク カートリッジに問題が発生して印刷品質に悪影響が出ることがあります。

エコヒント

HP は、お客様の環境への配慮の支援に積極的に取り組んでいます。印刷に関する選択肢によって生じる影響の評価と影響を低減する方法に重点を置いた、エコヒントは次のとおりです。この製品の特徴と、HP の環境への取り組みに関する情報については、HP Eco Solutions Web サイトもご覧ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/

- **Duplex プリント**：Use **用紙を節約する印刷方法**を使用して、同じシートに複数ページを両面印刷すれば、用紙の使用量を減らすことができます。詳細については、両面印刷 (2 面印刷)をご覧ください。
- **Smart Web Printing**：HP Smart Web Printing インタフェースには、**Clip Book** ウィンドウと **Edit Clips** ウィンドウが含まれていて、Web で収集したクリップを保存、管理、または印刷できます。詳細については、Web ページの印刷をご覧ください。
- **省エネ情報**：この製品のエナジースター® 認定状況については、電力消費をご覧ください。
- **リサイクル材料**：HP 製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。
  www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/inkjet.html

2 デバイスの使用

注記 HP Officejet 6500 E709a/E709d を使用している場合、スキャンと印刷を同時に行うことはできません。別のジョブを開始する前にジョブを完了する必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスのコントロール パネルのメニューの使用
- デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ
- デバイスの設定の変更
- HP ソフトウェアの使用
- 原稿のセット
- 印刷メディアの選択
- メディアのセット
- 特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷
- フチ無し印刷
- 両面印刷ユニットのインストール

デバイスのコントロール パネルのメニューの使用

以下のセクションでは、コントロール パネル ディスプレイに表示されるトップレベル メニューについて説明します。 メニューを表示するには、使用する機能のメニュー ボタンを押します。

- **スキャン** : 送信先のリストを示します。送信先によっては、HP ソリューション センターのロードが必要になる場合があります。
- **ファクス番号:**ファクス番号や短縮ダイヤル番号を入力したり、ファクス メニューを表示することができます。メニュー オプション
  - 解像度の変更
  - 薄くする/濃くする
  - 後でファクスを送信
  - 新しいデフォルトの設定
  - ポーリングしてファクスを受信
- **写真** : メニュー オプション
  - 写真の選択
  - 写真の修正
  - コピー部数の選択

◦ ページ レイアウトの選択
◦ 用紙サイズの選択
◦ 用紙の種類の選択

注記 メモリ カードを挿入しないと、一覧は表示されません。

- **コピー:** メニュー オプション
  ◦ コピー枚数の選択
  ◦ 縮小/拡大
  ◦ 用紙タイプとサイズの選択
  ◦ コピー濃度の変更
  ◦ 丁合いコピー (一部のモデルのみ)
  ◦ コピーの余白の変更
  ◦ コピーの不鮮明で薄い部分の補正
  ◦ 両面印刷 (一部のモデルのみ)

注記 コピー メニューは、HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) では使用できません。これらのモデルを使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

デバイスのコントロール パネルのメッセージ タイプ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ステータス メッセージ
- 警告メッセージ
- エラー メッセージ
- 重要なエラー メッセージ

ステータス メッセージ

ステータス メッセージには、デバイスの現在の状態が表示されます。このメッセージは正常の動作を知らせるものであり、メッセージをクリ

アするための操作は不要です。 デバイスの状態が変わると、メッセージも変更されます。

警告メッセージ

警告メッセージは注意が必要なイベントについて知らせますが、デバイスは通常どおり使用できます。 警告メッセージには、インク残量の低下を警告するメッセージなどがあります。 このようなメッセージは、ユーザーがその状態を解決するまで表示されます。

エラー メッセージ

エラー メッセージは、用紙の追加や詰まった用紙の除去など、何らかの操作をユーザーが実行する必要があることを伝えます。 通常、このメッセージが表示されるときは赤の注意ランプが点滅します。適切な処理完了後に、適切なボタンを押して、印刷を実行してください。

エラー メッセージにエラー コードが含まれる場合は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れます。 ほとんどの状況では、この操作を行うと問題が解決されます。 メッセージが消えない場合は、デバイスの修理が必要である可能性があります。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

重要なエラー メッセージ

重要なエラー メッセージは、デバイスの障害について知らせます。 これらのメッセージの一部は、電源ボタンを押してデバイスの電源を切り、もう一度電源を入れると消すことができます。 重要なエラーが消えない場合は、修理が必要です。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。

デバイスの設定の変更

デバイス設定は、次の場所で変更することができます。

- デバイスのコントロール パネルから。
- HP Solution Center (Windows) または HP デバイス マネージャから (Mac OS X)。
- 組み込み Web サーバの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

注記 HP Solution Center または HP デバイス マネージャで設定を行うときは、コントロール パネルから行われた設定 (コピー設定など) を表示することはできません。

デバイスのコントロール パネルから設定を変更するには

1. デバイスのコントロール パネルで、使用する機能のメニュー ボタンを押します (ファクスなど)。
2. 変更するオプションに移動するには、次のいずれかの方法を使用します。
   • コントロール パネルのボタンを押し、左または右の矢印キーを使って値を調整します。
   • コントロール パネルに表示されるメニューからオプションを選択します。
3. 目的の値を選択し、**OK(O)** を押します。

HP ソリューション センター (Windows) から設定を変更するには

▲ デスクトップの HP ソリューション センター アイコンをダブルクリックします。
-または-
タスクバーの Digital Imaging Monitor アイコンをダブルクリックします。

HP デバイス マネージャから設定を変更するには (Mac OS X)

1. Dock の **[HP デバイス マネージャ]** のアイコンをクリックします。

   注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします。

2. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
3. **[情報と設定]** メニューで、変更する項目をクリックします。

組み込み Web サーバから設定を変更するには

1. 組み込み Web サーバを開きます。
2. 変更する設定を含むページを選択します。
3. 設定を変更し、**[適用]** をクリックします。

HP ソフトウェアの使用

この項では、以下の項目について説明します。

- HP フォト イメージング ソフトウェアを使用する
- HP ソフトウェアの使用

HP フォト イメージング ソフトウェアを使用する

HP フォト イメージング ソフトウェアを使用すると、デバイスのコントロール パネルからは利用できない数多くの機能にアクセスすることができます。

ソフトウェアのコンピュータへのインストールは、セットアップ中のオプションです。

HP フォト イメージング ソフトウェアへのアクセスは、オペレーティング システム (OS) により異なります。たとえば、Windows コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアには HP Photosmart ソフトウェアウィンドウからアクセスします。Macintosh コンピュータの場合、HP フォト イメージング ソフトウェアには HP Photosmart Studio ウィンドウからアクセスします。いずれにしても、エントリ ポ

イントは、HP フォト イメージング ソフトウェアおよびサービスの起動となります

Windows コンピュータで HP Photosmart ソフトウェア にアクセスするには

1. 以下のいずれかの操作を行います。
   - Windows デスクトップで、HP Photosmart ソフトウェア アイコンをダブルクリックします。
   - タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]** をポイントします。 次に、**[HP]** を選択し、**[HP Photosmart ソフトウェア]**をクリックします。

2. 複数の HP デバイスを取り付けている場合は、ご使用の製品名のタブを選択してください。

注記 HP Photosmart ソフトウェアで使用できる機能は、取り付けたデバイスによって異なります。ソフトウェアは、選択したプリンタに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされています。選択したプリンタに特定の機能が搭載されていない場合は、その機能のアイコンがソフトウェアに表示されないこともあります。

ヒント コンピュータ上の HP Photosmart ソフトウェア にアイコンが 1 つも表示されない場合は、ソフトウェアのインストール中にエラーが発生していることもあります。そのような状況を修正するには、Windows のコントロール パネルを使用して、HP Photosmart ソフトウェア ソフトウェアを完全にアンインストールし、その後、再度インストールします。詳細については、本体に付属のセットアップ ポスターを参照してください。

Macintosh コンピュータで HP Photosmart Studio ソフトウェアを起動するには

▲ Dock で HP Photosmart Studio アイコンをクリックします。
HP Photosmart Studio の画面が表示されます。ここで、スキャン、文書のインポート、写真の整理、共有が行えます。

注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします。

ヒント HP Photosmart Studio ソフトウェアが起動したら、Dock の HP Photosmart Studio アイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、Dock メニューのショートカットにアクセスすることができます。

HP ソフトウェアの使用

HP ドキュメント マネージャ (Windows のみ) を使用すると、コンピュータ上で選択したファイルの管理および注釈付けが行えます。光学式文字認識 (OCR) 技術を使用して文書をスキャンし、テキスト ファイルに保存してワード プロセッサ プログラムを使用して編集することができます。このソフトウェアでは、インストールした HP 製品をモニタすることもできます。HP ドキュメント マネージャなど、一部のプロダクティビティ ソフトウェアはオプションでインストールされます。HP ソリューション センターは自動的にインストールされます。HP ソリューシ

ョン センターの詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。

HP ドキュメント マネージャを使用すると、以下を行うことができます。

- **文書の表示と管理**文書をサムネールやオプションの詳細のあるリストとして表示したり、送信者の識別情報など、ファクス固有の情報を含めてファクスを表示して、必要な文書をすばやく認識できます。このソフトウェアを使用すると、文書を開いて内容を簡単に表示できます。目的の場所にドラッグするだけで、文書のセットやサブセットをさまざまなフォルダに配置して、管理することができます。お気に入りのフォルダを特別な枠の中に配置して、クリック 1 回で開くようにすることもできます。
- **文書の注釈付けと編集**：文書が画像形式の場合、テキストや線画を追加したり、文書の一部を強調表示するなど、さまざまな方法で文書に注釈付けができます。文書がテキスト形式の場合、文書管理ソフトウェアを使用して、開いたり処理することができます。
- **文書の簡単な共有**：文書をさまざまな形式で、共有、印刷、ファクス、または電子メールで送信できます。
- **画像形式からテキスト形式への簡単な変換**：文書管理ソフトウェアを使用してスキャンした文書から編集可能な文書を作成し、好みのワード プロセッサを使用して文書を編集できます。

HP ドキュメント マネージャ を開くには

▲ デスクトップの HP ドキュメント マネージャ アイコンをダブルクリックします。

原稿のセット

コピーまたはスキャンする原稿は、スキャナのガラス板または自動ドキュメント フィーダ (ADF) にセットします。 メイン トレイでの用紙のセットの詳細については、メディアのセットを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャナのガラス板への原稿のセット
- 自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

スキャナのガラス板への原稿のセット

ガラス板に原稿をセットすると、最大で A4 サイズまたはレター サイズまでの原稿をコピー、スキャン、またはファクスすることができます。

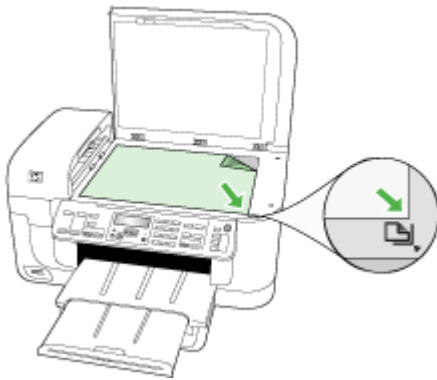
注記 ガラス板やカバーの裏に汚れが付着していると、多くの特殊機能が正常に機能しなくなる可能性があります。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

スキャナのガラス板に原稿をセットするには

1. スキャナのカバーを持ち上げます。
2. 印刷面を下にしてガラス板の右下隅に合わせて原稿をセットします。

ヒント 原稿のセット方法については、ガラス板の端に示されているガイドを参照してください。

3. カバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセット

片面または両面、1 ページまたは複数ページの A4 またはレター サイズの文書は、ドキュメント フィーダ トレイにセットすると、コピー、スキャン、またはファクスすることができます。

注記 ADF を使用して両面の文書をスキャン、コピー、またはファクスすることはできません。[**用紙適合**]コピーなど、一部の機能は原稿を自動ドキュメント フィーダにセットすると動作しません。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

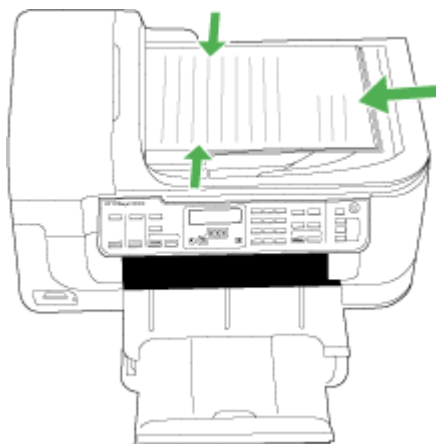
△ **注意** ADF に写真をセットしないでください。写真が破損する可能性があります。

ドキュメント フィーダ トレイには、最大 35 枚の普通紙をセットできます。

ドキュメント フィーダ トレイに原稿をセットするには

1. ドキュメント フィーダ トレイに、印刷面を上にして原稿をセットします。 原稿の上側が先になるようにトレイに置きま

す。 自動ドキュメント フィーダに用紙をスライドさせます。 正しくセットされると、ビープ音が鳴るか、セットした用紙を認識したことを示すメッセージがディスプレイに表示されます。

ヒント 原稿を自動ドキュメント フィーダにセットする方法については、ドキュメント フィーダ トレイにある図を参照してください。

2. 用紙の両端に当たって止まるまで、横方向用紙ガイドをスライドさせます。

注記 デバイスのカバーを持ち上げる前に、ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り出してください。

印刷メディアの選択

デバイスは、ほとんどのタイプのオフィス用メディアに印刷できるようデザインされています。 大量に用紙を購入する前に、さまざまな用紙を試してみることをお勧めします。 最高の印刷品質を得るには、HP の

用紙をご利用ください。 HP メディアの詳細については、HP Web サイト (www.hp.com) にアクセスしてください。

	HP は一般文書の印刷やコピーには ColorLok ロゴが入った普通紙をお勧めしています。ColorLok ロゴが入った用紙はすべて高い信頼性および印刷品質基準に適合するよう独自にテストされており、通常の普通紙に比べ、くっきり鮮明な黒色を再現し、乾燥が速い文書を実現しています。ColorLok ロゴ入り用紙は、さまざまな重さとサイズのものがメーカーにより提供されています。取り扱っていない国/地域もあります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 推奨する印刷およびコピー用紙
- 推奨するフォト印刷用紙
- 印刷メディアの選択と使用のヒント
- サポートされたメディアの仕様の理解
- 最小余白の設定

推奨する印刷およびコピー用紙

最高画質で印刷するには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

HP ブローシャ用紙 HP Superior インクジェット用紙	両面印刷に対応できるように、両面に光沢またはつや消しコーティングが施されています。写真に近い品質の印刷や、レポートのカバー、特別なプレゼンテーション、カタログ、宣伝用リーフレット、カレンダなどに使用するビジネス用のグラフィックの印刷にお勧めします。
HP インクジェット用上質普通紙 (両面)	インクジェット用上質普通紙を使用すると、ハイコントラストの色とシャープな文字で印刷されます。ある程度の厚みがあり両面カラー印刷をしても裏写りしないため、ニュースレターやレポート、広告などにお勧めします。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。

(続き)

HP プリント用紙	HP 印刷用紙は、高品質の多目的用紙です。標準の多目的用紙やコピー用紙と比べて、見た目も質感も重量感のあるしっかりした文書を作成できます。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。長期保存文書向けの中性紙です。
HP オフィス用紙	HP オフィス用紙は、高品質の多目的用紙です。コピー、下書き、メモ、その他の通常のドキュメントに適しています。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。長期保存文書向けの中性紙です。
HP オフィス用再生紙	HP オフィス再生紙は、高品質の多目的用紙で、再生繊維が 30% 含まれています。ColorLok Technology の使用により、にじみが少なく、深みのある黒と鮮明な色を実現しています。長期保存文書向けの中性紙です。
HP プレミアム プレゼンテーション用紙 HP プロフェッショナル用紙	両面印刷用のつや消しで厚い用紙で、プレゼンテーション、企画書、報告書、ニュースレターなどに適しています。厚手で印象的な外観です。
HP プレミアム インクジェット OHP フィルム	プレミアム インクジェット OHP フィルム。鮮やかでインパクトのあるカラー プレゼンテーション資料が印刷できます。このフィルムは、扱いやすく、にじまず速く乾くので便利です。
HP アドバンスフォト用紙	速乾性があるため、汚れにくく扱いやすい厚手のフォト用紙です。水、染み、指紋、湿気への抵抗性に優れてます。プリントショップの仕上がりに似た印刷品質が得られます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm (4 x 6 インチ)、13 x 18 cm (5 x 7 インチ) などがあり、いずれも光沢またはソフト光沢 (サテンつや消し) という 2 種類の仕上げがあります。長期保存文書向けの中性紙です。
HP エヴリデイ フォト用紙	日常的な写真の印刷に適していて、普段のスナップショットをカラフルに低コストで印刷できます。速乾性で扱いやすく、手ごろな価格の写真用紙です。インクジェット プリンタで使用すると、

(続き)

	シャープで鮮明な画像が得られます。半光沢仕上げで、8.5 x11 インチ、A4、4 x 6 インチおよび 10 x 15 cm のサイズがあります。長期保存文書向けの中性紙です。
HP アイロン プリント紙	アイロンプリント紙 (カラー生地用、淡色または白地用) を使用すると、デジタル写真からオリジナル T シャツを作成できます。

HP 用紙とその他のサプライ品の注文は、www.hp.com/buy/supplies にアクセスしてください。指示に従って、国/地域および製品を選択し、ページ上のショッピング リンクをクリックします。

注記 現時点では、HP Web サイトの一部分は英語版のみです。

HP フォト バリューパック：

HP フォト バリュー パックは、お使いの HP プリンタで手ごろな価格でプロフェッショナル品質の写真を印刷できる、HP 製インク カートリッジと HP アドバンス フォト用紙の便利なパッケージです。HP 製インクと HP アドバンス フォト用紙は、組み合わせて使用すると鮮明な色が長続きする写真を印刷できるように作られています。休暇中の写真を印刷したり、複数の写真を印刷して共有する場合に最適です。

推奨するフォト印刷用紙

最高画質で印刷するには、印刷するプロジェクトのタイプに合わせて設計された HP 専用紙を推奨します。

国/地域によっては、入手できない用紙もあります。

HP アドバンスフォト用紙

速乾性があるため、汚れにくく扱いやすい厚手のフォト用紙です。水、染み、指紋、湿気への抵抗性に優れてます。プリントショップの仕上がりに似た印刷品質が得られます。用紙サイズには、A4、8.5 x 11 インチ、10 x 15 cm (4 x 6 インチ)、13 x 18 cm (5 x 7 インチ) などがあり、いずれも光沢またはソフト光沢 (サテンつや消し) という 2 種類の仕上げがあります。長期保存文書向けの中性紙です。

HP エヴリデイ フォト用紙

日常的な写真の印刷に適していて、普段のスナップショットをカラフルに低コストで印刷できます。速乾性で扱いやすく、手ごろな価格の写真用紙です。インクジェット プリンタで使用すると、シャープで鮮明な画像が得られます。半光沢仕上げで、8.5 x11 インチ、A4、4 x 6 イン

チおよび 10 x 15 cm のサイズがあります。長期保存文書向けの中性紙です。

HP フォト バリューパック：
HP フォト バリュー パックは、お使いの HP プリンタで手ごろな価格でプロフェッショナル品質の写真を印刷できる、HP 製インク カートリッジと HP アドバンス フォト用紙の便利なパッケージです。HP 製インクと HP アドバンス フォト用紙は、組み合わせて使用すると鮮明な色が長続きする写真を印刷できるように作られています。休暇中の写真を印刷したり、複数の写真を印刷して共有する場合に最適です。

HP 用紙とその他のサプライ品の注文は、www.hp.com/buy/supplies にアクセスしてください。指示に従って、国/地域および製品を選択し、ページ上のショッピング リンクをクリックします。

注記 現時点では、HP Web サイトの一部分は英語版のみです。

印刷メディアの選択と使用のヒント

最高の結果を得るには、次のガイドラインに従ってください。

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- トレイには、一度に 1 つのタイプのメディアしかセットしないでください。
- 印刷面を下にし、トレイの右端と後端に用紙を合わせてメディアをセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
- トレイにメディアを入れすぎないでください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- 用紙詰まり、プリント品質の低下、およびそれ以外の印刷の問題を防ぐには、次のメディアを使用しないでください：
    - 貼り継ぎした用紙
    - 損傷や丸まっている、またはしわのある用紙
    - 切抜きやミシン目のある用紙
    - 強いテクスチャ、エンボスのあるメディアやインクをはじく用紙
    - 非常に軽量の用紙または簡単に伸張する用紙

カードおよび封筒

- 光沢仕上げ、シール付き、留め金、ウィンドウのある封筒は使用しないでください。 また、厚みのあるカードや封筒、定型外、縁が丸みを帯びているもの、しわ、破れなどの損傷があるカードや封筒も避けてください。
- 型や折りがしっかりとした封筒を使用してください。
- フラップ付きの封筒は上に向けて右側、または背面をトレイに合わせてセットします。

フォト メディア

- 写真を印刷するには、**[ベスト]** モードを使用します。 このモードでは、印刷時間が長くなり、コンピュータの消費メモリも多くなることに注意してください。
- 印刷後、1 枚ずつ取り出して、乾かしてください。 乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

OHP フィルム

- ざらざらの面が下になり、粘着テープがデバイス後部にくるようにして OHP フィルムを挿入します。
- OHP フィルムを印刷するには、**標準** モードを使用します。 次のページが排紙トレイに排出される前にインクが完全に乾くよう、このモードでは乾燥時間が長くかかります。
- 印刷後、1 枚ずつ取り出して、乾かしてください。 乾いていないメディアを積み重ねると、にじみが発生する場合があります。

カスタムサイズのメディア

- デバイスでサポートされているカスタム サイズのメディアだけを使用します。
- アプリケーションでカスタムサイズの用紙がサポートされている場合は、ドキュメントを印刷する前に、アプリケーションで用紙のサイズを設定します。 サポートされていない場合は、プリンタ ドライバでサイズを設定します。 カスタムサイズの用紙に正しく印刷するには、既存ドキュメントの書式を再調整する必要が生じることがあります。

サポートされたメディアの仕様の理解

使用可能なサイズの理解 および 使用可能な用紙の種類と重量の理解 の表を使用して、デバイスで使用する正しいメディアと、そのメディアに利用できる機能を判断します。

必ず、プリンタ ドライバで正しい用紙の種類の設定を使用し、正しい用紙の種類のトレイを設定してください。HP では、用紙を大量に購入する場合は、購入前にテストすることをお勧めします。

- 使用可能なサイズの理解
- 使用可能な用紙の種類と重量の理解

使用可能なサイズの理解

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷モジュール (一部のモデル)	ADF
標準サイズのメディア			
U.S. レター (216 x 279 mm、8.5 x 11 インチ)	✔	✔	✔
U.S. リーガル (216 x 356 mm、8.5 x 14 インチ)	✔		✔
A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔	✔	✔
U.S. エグゼクティブ (184 x 267 mm、7.25 x 10.5 インチ)	✔	✔	
B5 (JIS) (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)	✔	✔	
B5 (ISO) (176 x 250 mm、6.9 x 9.8 インチ)	✔	✔	
B7 (88 x 125 mm、3.5 x 4.9 インチ)	✔		
A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)	✔	✔	
フチ無し A4 (210 x 297 mm、8.3 x 11.7 インチ)	✔		
フチ無し A5 (148 x 210 mm、5.8 x 8.3 インチ)	✔		
フチ無し B5 (182 x 257 mm、7.17 x 10.12 インチ)	✔		

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷モジュール (一部のモデル)	ADF
HV (101 x 180 mm、4.0 x 7.1 インチ)	✔		
キャビネット サイズ (120 x 165 mm、4.7 x 6.5 インチ)	✔		
13 x 18 cm (5 x 7 インチ)	✔		
フチ無しキャビネット (120 x 165 mm、4.7 x 6.5 インチ)	✔		
フチ無し 13 x 18 cm (5 x 7 インチ)	✔		
封筒			
米国 10 号封筒 (105 x 241 mm、4.12 x 9.5 インチ)	✔		
C6 封筒 (114 x 162 mm、4.5 x 6.4 インチ)	✔		
封筒長形 3 号 (120 x 235 mm、4.7 x 9.3 インチ)	✔		
封筒長形 4 号 (90 x 205 mm、3.5 x 8.1 インチ)	✔		
Monarch 封筒	✔		
カード封筒 (111 x 162 mm; 4.4 x 6 インチ)	✔		
No. 6 3/4 封筒 (91 x 165 mm; 3.6 x 6.5 インチ)	✔		
カード			
インデックス カード (76.2 x 127 mm、3 x 5 インチ)	✔		
インデックス カード (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔	✔	
インデックス カード (127 x 203 mm、5 x 8 インチ)	✔	✔	

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷モジュール (一部のモデル)	ADF
A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)	✔		
フチ無し A6 カード (105 x 148.5 mm、4.13 x 5.83 インチ)	✔		
はがき* (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)	✔		
往復ハガキ**	✔		
フチ無しハガキ (100 x 148 mm、3.9 x 5.8 インチ)**	✔		
フォト メディア			
フォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
フォト メディア (5 x 7 インチ)	✔		
フォト メディア (8 x 10 インチ)	✔		
フォト メディア (10 x 15 cm)	✔		
L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)	✔		
2L (178 x 127 mm、7.0 x 5.0 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (5 x 7 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (8 x 10 インチ)	✔		

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷モジュール (一部のモデル)	ADF
フチ無しフォト メディア (8.5 x 11 インチ)	✔		
フチ無しフォト メディア (10 x 15 cm)	✔		
フチ無し L 判 (89 x 127 mm、3.5 x 5 インチ)	✔		
フチ無し 2L (178 x 127 mm、7.0 x 5.0 インチ)	✔		
フチ無し B5 (182 x 257 mm、7.2 x 10.1 インチ)	✔		
フチ無し B7 (88 x 125 mm、3.5 x 4.9 インチ)	✔		
フチ無し 4 x 6 タブ (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
フチ無し 10 x 15 cm タブ	✔		
フチ無し 4 x 8 タブ (10 x 20 cm)	✔		
フチ無し HV (101 x 180 mm、4.0 x 7.1 インチ)	✔		
フチ無し double A4 (210 x 594 mm、8.3 x 23.4 インチ)	✔		
4 x 6 タブ (102 x 152 mm、4 x 6 インチ)	✔		
10 x 15 cm タブ	✔		
4 x 8 タブ/10 x 20 cm タブ	✔		
それ以外のメディア			
幅 76.2 ～ 216 mm、長さ 101 ～ 762 mm まで (幅 3 ～ 8.5 インチ、長さ 4 ～ 30	✔		

(続き)

用紙のサイズ	給紙トレイ	両面印刷モジュール (一部のモデル)	ADF
インチまで) のカスタムサイズの用紙			
幅 127 ～ 216 mm、長さ 241 ～ 305 mm まで (幅 5 ～ 8.5 インチ、長さ 9.5 ～ 12 インチまで) のカスタムサイズのメディア (ADF)			
パノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ)	✔		
フチ無しパノラマ (4 x 10 インチ、4 x 11 インチ、4 x 12 インチ)	✔		

** デバイスで使用できるのは、普通紙官製はがきおよびインクジェット用官製はがきのみです。 フォト光沢官製はがきは使用できません。

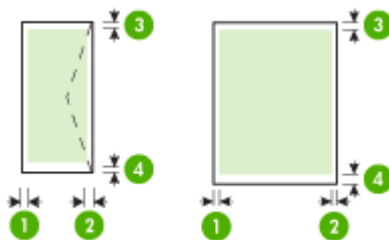
使用可能な用紙の種類と重量の理解

トレイ	種類	重さ	容量
給紙トレイ	用紙	60 ～ 105 g/m^2 (16 ～ 28 lb ボンド)	普通紙で 250 枚まで (厚さ 25 mm または 1 インチ)
	OHP 用紙		70 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	フォト用紙	280 g/m^2 (75 lb ボンド紙)	100 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	ラベル		100 枚まで (厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	封筒	75 ～ 90 g/m^2	30 枚まで

(続き)

トレイ	種類	重さ	容量
		(ボンド紙封筒 20 ～ 24 ポンド)	(厚さ 17 mm または 0.67 インチ)
	カード	200 g/m² まで (インデックス カード 110 ポンド)	80 枚まで
両面印刷モジュール (一部のモデルのみ)	用紙	60 ～ 105 g/m² (16 ～ 28 lb ボンド)	該当せず
排紙トレイ	使用可能なすべてのメディア		普通紙 50 枚まで (テキスト印刷)
ADF	用紙	60 ～ 82 g/m² (16 ～ 22 lb ボンド)	普通紙： 35 枚 リーガル用紙および特殊な用紙： 20 枚

最小余白の設定

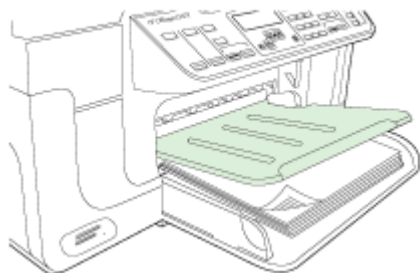
文書のマージンは、縦方向に指定されたマージン以上に設定する必要があります。

用紙	(1) 左マージン	(2) 右マージン	(3) 上部マージン	(4) 下部マージン*
U.S. レター U.S. リーガル A4 U.S. エグゼクティブ B5 A5 カード カスタムサイズのメディア フォト用紙	3.3 mm（0.13 インチ）	3.3 mm（0.13 インチ）	3.3 mm (0.13 インチ) - 片面印刷用 14 mm (0.55 インチ) - 両面印刷用	3.3 mm（0.13 インチ） 14.9 mm (0.59 インチ) - 両面印刷用
封筒	3.0 mm (0.12 インチ)	3.0 mm (0.12 インチ)	3.0 mm (0.12 インチ)	14.9 mm（0.59 インチ）

注記 両面印刷モジュール (一部のモデルに付属) を使用している場合、上下の最小マージンは 12 mm (0.47 インチ) 以上に設定してください。

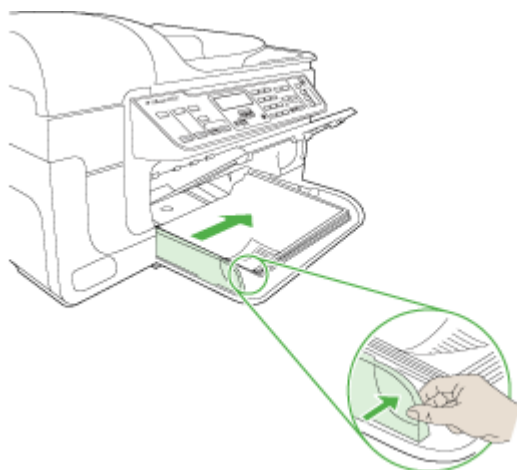
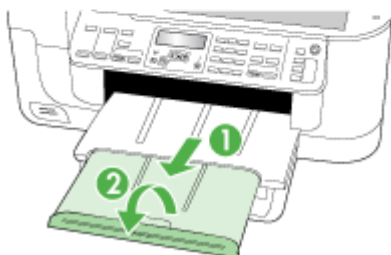
メディアのセット

このセクションには、デバイスにメディアをセットする手順が記載されています。

トレイ 1 (メイン トレイ) にメディアをセットするには

1. 排紙トレイを持ち上げます。

2. 印刷面を下にしてトレイの右端に沿ってメディアを挿入します。 メディアの束がトレイの右端と後端に沿い、トレイのラインからはみ出さないよう確認します。

注記 デバイスが印刷しているときには、用紙をセットしないでください。

3. メディア ガイドをトレイ中央に移動し、セットした用紙サイズに調整します。次に、排紙トレイを下げます。

4. 排紙トレイの拡張部を引き出します。

特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします。
3. **[用紙/機能]** タブをクリックします。
4. **[用紙サイズ]** ドロップダウン リストから用紙のサイズを選択します。

   カスタム サイズのメディアを設定するには:
   a. **[カスタム]** ボタンをクリックします。
   b. 新しいカスタム サイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、**[保存]** をクリックします。
   d. **[OK]** を 2 回クリックして、[プロパティ]、または [基本設定] ダイアログ ボックスを終了します。 ダイアログ ボックスを再度開きます。
   e. 新しいカスタム サイズを選択します。
5. 用紙の種類を選択するには :
   a. **[詳細]** を **[タイプ]** ドロップダウン リストからクリックします。
   b. 任意のメディア タイプをクリックして、**[OK]** をクリックします。
6. **[ソース]** ドロップダウン リストからメディア ソースを選択します。
7. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
8. ドキュメントを印刷します。

特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアに印刷するには (Mac OS X)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。

3. ドロップダウン リストから、HP デバイスを選択します。
4. 用紙のサイズを選択します。
5. カスタム サイズのメディアを設定するには :
   a. **[カスタム サイズの管理]** を **[用紙サイズ]** プルダウン メニューでクリックします。
   b. **[新規]** をクリックし、**[用紙サイズ名]** ボックスにサイズの名前を入力します。
   c. **[幅]** と **[高さ]** ボックスで寸法を入力し、必要に応じて余白を設定します。
   d. **[完了]** または **[OK]** をクリックし、**[保存]** をクリックします。
6. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックし、新しいカスタム サイズを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
8. **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。
9. **[用紙の取り扱い]** パネルを開きます。
10. **[排紙先の用紙サイズ]** の下にある **[用紙に合わせて調節]** タブをクリックし、カスタマイズされた用紙サイズを選択します。
11. それ以外の任意の設定を変更し、**[OK]** または **[プリント]** をクリックします。

フチ無し印刷

フチ無し印刷を使用すると、特定の用紙タイプおよび一部の標準サイズの用紙の端まで印刷することができます。

注記 ソフトウェア アプリケーションでファイルを開き、画像サイズを割り当てます。 画像サイズが、その画像を印刷するメディアのサイズに合っていることを確認します。

Windows の場合は、**[印刷機能のショートカット]** タブからもこの機能にアクセスできます。 プリンタ ドライバを開き、**[印刷機能のショートカット]** タブを選択し、この印刷ジョブのドロップダウン リストから印刷機能のショートカットを選択します。

注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。

注記 フチ無し写真の印刷では画像のサイズが調整され、小さな画像もメディアの各辺までいっぱいに印刷されます。フチ無しブローシャはサイズ調整されず、画像はメディアの端に印刷されます。

フチ無し文書を印刷するには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. アプリケーションからプリンタ ドライバを開きます。
   a. **[ファイル]** をクリックし、**[印刷]** をクリックします。
   b. 使用する印刷ショートカットを選択します。
4. その他の印刷設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. 文書を印刷します。
6. 切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

フチ無し文書を印刷するには (Mac OS X)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、メディアのセットを参照してください。
2. 印刷するファイルを開きます。
3. **[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** をクリックします。
4. ドロップダウン リストから、HP デバイスを選択します。
5. フチ無しメディアのサイズを選択して **[OK]** をクリックします。
6. **[ファイル]** をクリックし、**[プリント]** をクリックします。
7. **[用紙の種類/品質]** パネルを開きます。
8. **[用紙]** タブをクリックし、**[用紙の種類]** ドロップダウン リストから用紙の種類を選択します。

   注記 フチ無し印刷では、普通紙は使用できません。

9. 写真を印刷する場合は、**[品質]** ドロップダウン リストから **[高画質]** を選択します。 または、**[最大 dpi]** を選択します。この場合、最大解像度 4800 x 1200 dpi* による印刷が可能になります。
   *最大解像度 4800 x 1200 dpi は入力データ解像度を 1200 dpi に設定し、カラー印刷した場合 この設定では、一時的に大量のハードディスク容量 (400 MB 以上) が使用されることがあり、印刷に時間がかかります。
10. メディア ソースを選択します。

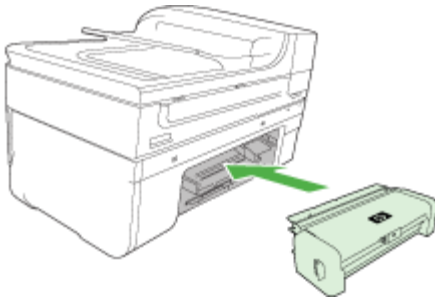
11.その他の設定値を選択した後、**[プリント]** をクリックします。
12.切り取りタブ付きのフォト メディアに印刷した場合は、タブを切り取って、文書を完全にフチ無しにします。

両面印刷ユニットのインストール

注記 この機能は、一部のモデルで使用できます。

オプションの自動両面印刷ユニットを取り付けると、用紙の両面に自動的に印刷できます。 両面印刷ユニットの詳細については、両面印刷 (2 面印刷)を参照してください。

両面印刷ユニットを取り付けるには

1. 背面アクセス ドアのボタンを押して、本体からパネルを外します。
2. 両面印刷ユニットを本体に取り付け、ロックされる位置まで押し込みます。 両面印刷ユニットを取り付けるときにユニットのボタンを押さないでください。ボタンは、本体から取り外すときに押します。

3　印刷

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- プリント設定の変更
- 両面印刷 (2 面印刷)
- Web ページの印刷
- 印刷ジョブのキャンセル

プリント設定の変更

プリント設定 (用紙のサイズやタイプ) は、アプリケーション、または プリンタ ドライバから変更できます。 アプリケーションから変更すると、プリンタ ドライバで加えた変更よりも優先されます。 ただし、アプリケーションを終了すると、ドライバで設定がデフォルトの設定に戻ります。

注記　プリント ジョブすべてにプリント設定を設定するには、プリンタ ドライバで変更を加えます。

Windows のプリンタ ドライバ機能の詳細については、プリンタ ドライバのオンライン ヘルプを参照してください。 特定のアプリケーションから印刷する方法については、そのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)
- 将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)
- 変更設定 (Mac OS X)

現在のジョブについてアプリケーションから設定を変更する (Windows)

設定を変更するには

1. 印刷する文書を開きます。
2. **[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックし、**[設定]**、**[プロパティ]**、または **[基本設定]** をクリックします (使用するアプリケーションに応じて、異なるオプションがあります)。
3. 設定を変更し、**[OK]** をクリックし、**[印刷]**、または類似のコマンドをクリックします。

将来のジョブすべてについてデフォルトの設定を変更する (Windows)

設定を変更するには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[全般タブ]**、または **[詳細設定]** を選択します。
3. 設定を変更して、**[OK]** をクリックします。

変更設定 (Mac OS X)

設定を変更するには

1. **[ファイル]** メニューで **[ページ設定]** をクリックします。
2. 用紙サイズなど、必要な設定を変更して、**[OK]** をクリックします。
3. **[ファイル]** メニューの **[プリント]** をクリックして、プリンタドライバを開きます。
4. 用紙タイプなど、必要な設定を変更して、**[OK]** または **[プリント]** をクリックします。

両面印刷 (2 面印刷)

用紙の両面印刷は、手動で行うことも、両面印刷ユニットを使用して自動で行うことも可能です。

注記 プリンタ ドライバは、手動両面印刷をサポートしていません。 自動両面印刷を行うには、HP 自動両面印刷アクセサリをデバイスに取り付ける必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ページの両面に印刷する場合のガイドライン
- 両面印刷を実行する

ページの両面に印刷する場合のガイドライン

- 必ず、デバイスの仕様に準拠したメディアを使用してください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。
- アプリケーションまたはプリンタ ドライバで両面印刷オプションを指定します。
- OHP フィルム、封筒、フォト用紙、光沢のあるメディア、60 g/m ^{2} (ボンド紙 16 ボンド) 未満の用紙、または 105 g/m ^{2} (ボンド紙 28 ボンド) を超える用紙には、両面印刷を行わないでください。 これらの用紙では、紙詰まりの原因となる場合があります。
- レターヘッド、事前に印刷のある用紙、透かしやパンチ穴のある用紙などでは、両面に印刷する場合に特別な方向に給紙する必要があります。 Windows を実行しているコンピュータから印刷すると、メディアの最初の面から印刷されます。 印刷面を下に向けてメディアをセットします。
- 両面印刷でメディアの片面に印刷されると、インクが乾燥する間、デバイスは用紙を保留して待機します。 インクが乾燥すると、用紙はデバイスに再度給紙され、2 番目の面が印刷されます。 印刷が完了すると、用紙は排紙トレイに排出されます。 印刷が完了するまで、用紙をつかまないでください。
- サポートされているカスタムサイズのメディアの両面に印刷するには、用紙の上下を逆にして、もう一度デバイスに給紙します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

両面印刷を実行する

注記 手動で両面印刷を行うには、最初に奇数番号のページを印刷し、ページを裏返して偶数番号のページを印刷します。

自動で両面印刷を行うには (Windows)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. 文書を開いた状態で、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** をクリックしてから、印刷ショートカットを選択します。

4. その他の設定を変更し、**[OK]** をクリックします。
5. ドキュメントを印刷します。

自動で両面印刷を行うには (Mac OS X)

1. 適切な用紙をセットします。 詳細については、ページの両面に印刷する場合のガイドライン およびメディアのセット を参照してください。
2. 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。 詳細については、両面印刷ユニットのインストールを参照してください。
3. [**ページ設定**] で正しいプリンタとページ サイズを使用していることを確認します。
4. **[ファイル]** メニューで **[プリント]** をクリックします。
5. ドロップダウン リストから、**[印刷部数と印刷ページ]** を選択します。
6. **[両面印刷]** タブを選択して、両面印刷をオンにします。
7. **[レイアウト]** を選択し、適切なアイコンをクリックして、綴じ方向を選択します。
8. その他の設定を変更し、**[プリント]** をクリックします。

Web ページの印刷

HP All-in-One では、Web ブラウザから Web ページを印刷することができます。

Web ブラウザに Internet Explorer 6.0 以降を使用する場合、**[HP Smart Web Printing]** を使用することによって、何をどのように印刷するかを制御して簡単で予測可能な Web 印刷を確実に行います。**[HP Smart Web Printing]** は、Internet Explorer のツールバーから利用できます。**[HP Smart Web Printing]** の詳細については、付属のヘルプ ファイルを参照してください。

Web ページを印刷するには

1. 用紙がメイン給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. Web ブラウザの **[ファイル]** メニューの、**[プリント]** をクリックします。

   > **ヒント** 画像を最高画質で印刷するには、**[ファイル]** メニューの **[HP Smart Web Printing]** を選択します。この項目を選択すると、チェックマークが表示されます。

   [印刷] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. 使用するプリンタが選択されていることを確認します。
4. お使いのブラウザがサポートしている場合は、Web ページ上の印刷するアイテムを選択します。
   たとえば Internet Explorer では、**[オプション]** タブをクリックして、**[表示された通りに印刷する]**、**[選択されたフレームのみを印刷する]**、**[リンク ドキュメントをすべて印刷する]** などのオプションを必要に応じて選択します。
5. **[プリント]** または **[OK]** をクリックして Web ページを印刷します。

> **ヒント** Web ページを端まで正しく印刷するには、印刷方向を **[横]** に設定しなければならない場合があります。

印刷ジョブのキャンセル

以下の方法を使用して印刷ジョブをキャンセルできます。

デバイスのコントロール パネル：✕ (**キャンセル** ボタン) を押します。これにより、現在処理中のジョブがクリアされます。 処理待機中のジョブには影響しません。

Windows： コンピュータ画面の右下端に表示されているプリンタ アイコンをダブルクリックします。 印刷ジョブを選択してから、キーボードで **Delete** キーを押します。

Mac OS X: [**システム環境設定**] を開き、**[プリンタと FAX]** を選択してプリンタを選択し、次に [**プリント キューを開く**] をクリックします。プリント ジョブを選択し、**[削除]** をクリックします。

4 スキャン

原稿をスキャンし、ネットワーク上のフォルダや特定のコンピュータなど、さまざまな場所に送信することができます。デバイスのコントロール パネル、HP ソフトウェア、コンピュータ上の TWAIN 互換または WIA 互換プログラムを使用できます。

注記 HP ソフトウェアをインストールしていない場合は、Web スキャンのみが使用できます。Web スキャンは、組み込み Web サーバから利用できます。

注記 HP Officejet 6500 E709a/E709d を使用している場合、スキャンと印刷を同時に行うことはできません。別のジョブを開始する前にジョブを完了する必要があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 原稿のスキャン
- 組み込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用
- TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン
- スキャンした原稿の編集
- スキャン設定の変更
- スキャン ジョブのキャンセル

原稿のスキャン

スキャンはコンピュータからでも、デバイスのコントロール パネルからでも行うことができます。 このセクションでは、デバイスのコントロール パネルからのスキャン方法についてのみ説明します。

注記 HP ソリューション センターを使用して、パノラマなどの画像をスキャンすることもできます。このソフトウェアを使用すれば、スキャンした画像を編集したり、スキャンした画像を使用して特別なプロジェクトを作成することができます。コンピュータからのスキャン方法や、スキャン画像の調整、サイズ変更、回転、トリミング、鮮明度調整については、ソフトウェアに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

スキャン機能を使用するには、デバイスとコンピュータとを接続して電源をオンにする必要があります。また、スキャンを実行する前に、コンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールし、実行しておく必要があります。Windows を実行しているコンピュータでプリンタ ソフ

トウェアが動作していることを確認するには、画面右下の時計の横にあるシステム トレイにデバイスのアイコンが表示されていることを確認します。Mac Mac OS X を実行しているコンピュータでこれを確認するには、HP デバイス マネージャを開き、**[画像のスキャン]** をクリックします。スキャナを利用できる場合は、HP ScanPro アプリケーションが起動します。利用できない場合は、スキャナが見つからなかったことを示すメッセージが表示されます。

注記 Windows システム トレイにある HP デジタル イメージング モニタ アイコンを閉じると、デバイスからスキャン機能の一部が失われ、[**接続していません。**] エラー メッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動するか、HP デジタル イメージング モニタを起動すると、機能を完全に回復させることができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 原稿をコンピュータにスキャンする
- メモリ デバイスへの原稿の送信

原稿をコンピュータにスキャンする

デバイスに直接接続されたコンピュータ、またはネットワーク上のコンピュータにスキャン画像を送信できます。コンピュータにインストールされたプログラムにスキャン画像を送信することもできます。

HP ソリューション センターからコンピュータにスキャン画像を送信するには

1. コンピュータで HP ソリューション センターを開きます。
2. 詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。

デバイスのコントロール パネルからコンピュータにスキャン画像を送信するには (直接接続)

1. スキャナ ガラス板に原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **スキャン** ボタンを押します。
3. 矢印キーを押して、文書を送信するコンピュータを選択し、**OK(O)** を押します。
4. **スキャン スタート**を押します。

注記 スキャンが完了すると、選択したプログラムが開き、スキャンした文書が表示されます。

メモリ デバイスへの原稿の送信

スキャンした画像を JPEG、PDF、または TIFF 画像として、現在挿入されているメモリ カードに送信できます。品質や用紙サイズ設定などのスキャン用オプションもあります。

メモリ デバイスにスキャンするには

1. メモリ デバイスを挿入します。
2. 印刷面を下にしてガラス面の右下隅または ADF に合わせて原稿をセットします。
3. **スキャン スタート** を押します。
   - **スキャン** が表示され、さまざまなオプションまたはスキャン先が表示されます。 デフォルトのスキャン先には、前回このメニューを使用したときに選択したスキャン先が指定されます。
   - デバイスをコンピュータに直接接続している場合、**スキャン**メニューが表示されます。
4. 矢印キーを押して [**メモリ デバイス**] を強調表示し、**OK(O)** を押します。
5. スキャン オプションを変更して、**スキャン スタート**を押します。

デバイスによって画像がスキャンされ、該当するファイルがメモリ カードに保存されます。

組み込み Web サーバ経由での Web スキャンの使用

Web スキャンは組み込み Web サーバの機能の一部であり、Web ブラウザを使用してデバイスで写真や文書をスキャンし、コンピュータに出力することができます。 この機能は、コンピュータにプリンタソフトウェアをインストールしなかった場合でも利用できます。

▲ **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[Web スキャン]** をクリックします。**[画像タイプ]** と **[用紙のサイズ]** の選択を行い、**[スキャン]** または **[プレビュー]** をクリックします。

組み込み Web サーバの詳細については、組み込み Web サーバを参照してください。

TWAIN 互換または WIA 互換プログラムからのスキャン

デバイスは TWAIN 互換および WIA 互換であり、TWAIN 互換または WIA 互換のスキャン デバイスをサポートするプログラムを使用できま

す。 TWAIN 互換または WIA 互換プログラムでは、スキャン機能にアクセスし、スキャン画像を直接プログラムに送信することができます。

TWAIN は、すべての Windows および Mac OS X オペレーティング システムでサポートされています。

Windows オペレーティング システムでは、WIA がサポートされているのは Windows XP および Windows Vista での直接接続のみです。WIA は Mac OS X ではサポートされていません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- TWAIN 互換プログラムからスキャンする
- WIA 互換プログラムからスキャンする

TWAIN 互換プログラムからスキャンする

一般的に、**[取得]**、**[ファイルの取得]**、**[スキャン]**、**[新規オブジェクトのインポート]**、**[挿入元]**、**[スキャナ]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは TWAIN 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

TWAIN 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラムからスキャンする

一般的に、**[挿入]** メニューまたは **[ファイル]** メニューに **[画像/スキャナまたはカメラから]** のようなコマンドがある場合、そのソフトウェア プログラムは WIA 互換です。 プログラムに互換性があるかどうかわからない場合、またはコマンドの名前がわからない場合は、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

WIA 互換プログラム内からスキャンを開始します。 コマンドおよび手順の詳細については、ソフトウェア プログラムのヘルプまたはマニュアルを参照してください。

スキャンした原稿の編集

HP ソリューション センターを使用して、スキャンした文書を編集できます。また、OCR (光学式文字認識) ソフトウェアを使用して、スキャンしたテキスト文書をテキストにすることもできます。既にコンピュー

タ上にあれば、サード パーティの編集アプリケーションを使用することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャンした写真またはグラフィックの編集
- 光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

スキャンした写真またはグラフィックの編集

HP ソリューション センター内のスキャン ソフトウェアを使用して、スキャンした写真やグラフィックを編集できます。このソフトウェアでは、明度、コントラスト、彩度などさまざまな調整を行うことができます。HP ソリューション センターを使用して、画像を回転することもできます。

詳細は、スキャン ソフトウェアに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

光学式文字認識 (OCR) ソフトウェアを使用した、スキャン文書の編集

OCR ソフトウェアを使用すると、スキャンしたテキストを任意のワード プロセッサ プログラムにインポートして編集することができます。これにより、レター、新聞の切り抜き、その他多くの文書を編集することができます。

編集に使用するワード プロセッサ プログラムは指定できます。ワード プロセッサ アイコンが表示されていないかアクティブでない場合は、コンピュータにワード プロセッサ ソフトウェアをインストールしていないか、インストール中にそのプログラムをスキャナ ソフトウェアが認識していません。ワード プロセッサ プログラムへのリンクの作成方法については、HP ソリューション センターのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

OCR ソフトウェアは、スキャンされたカラー テキストをサポートしていません。 カラー テキストは、常に白黒のテキストに変換されてから、OCR に送信されます。 このため、最終的な文書のすべてのテキストは、元の色にかかわらず白黒になります。

一部のワード プロセッサ プログラムとデバイスとの相互作用は複雑であるため、スキャンしたテキストをワードパッド (Windows) または TextEdit (Mac OS X) などのテキスト エディタに送信し、テキストを切り取ってから、目的のワード プロセッサ プログラムに貼り付けた方がよい場合もあります。

スキャン設定の変更

スキャン設定を変更するには

- **Windows の場合**:HP ソリューション センターを開き、**[設定]** を選択します。次に、**[スキャン設定とプリファレンス]** を選択し、利用可能なオプションから選択して設定を行います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[スキャン プリファレンス]** を選択します。

スキャン ジョブのキャンセル

スキャン ジョブをキャンセルするには、デバイスのコントロール パネルにある **キャンセル** を押します。

5 メモリ デバイスの使用

デバイスには、デジタル カメラの数種類のメモリ カードを読み取ることができるメモリ カード リーダーが搭載されています。 メモリ カードに保存されている写真のサムネール ビューを表示するインデックス シートを印刷することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

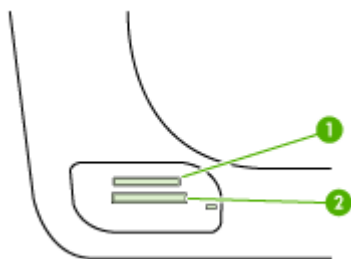
- メモリ カードの挿入
- DPOF フォト プリント
- 選択した写真の印刷
- 写真の表示
- デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷
- コンピュータに写真を保存する
- 写真の修正ツールの使用
- 赤目除去の使用
- 日付スタンプの使用
- 新しいデフォルトの設定

メモリ カードの挿入

デジタル カメラで写した写真を保存しておくのにメモリ カードを使用している場合は、そのメモリ カードをデバイスに挿入し、写した写真を印刷したり保存したりすることができます。

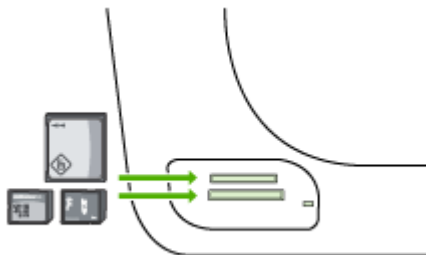
△ **注意** アクセス中にメモリカードを取り外そうとすると、カード内のファイルが損傷することがあります。 フォト ランプが点滅していない場合にのみ、カードを安全に取り外すことができます。 また、複数のメモリカードを同時に装着することも絶対に避けてください。 メモリカード内のファイルが損傷します。

注記 デバイスは、暗号化されたメモリ カードをサポートしていません。

デバイスでは、以下のメモリ カードをサポートしています。 各タイプのメモリカードは、そのカードに適したスロットにのみ差し込むことができます。

1	Memory Stick、Memory Stick Duo、および Memory Stick Pro
2	xD Secure Digital、Secure MMC 縮小サイズの MultiMediaCard RS - MMCmobile、miniSD (これらの製品ではアダプタを別途購入する必要があります)

メモリ カードを挿入するには

1. メモリ カードのラベルが上、接点がデバイス側を向くようにメモリ カードを持ちます。
2. メモリ カードを対応するメモリ カード スロットに挿入します。

注記 複数のメモリ カードを挿入することはできません。

DPOF フォト プリント

カメラが指定する写真とは、デジタル カメラでプリントのマークをつけた写真のことです。 カメラによっては、ページ レイアウト、部数、向き、その他の印刷設定が指定されます。

デバイスは、DPOF (Digital Print Order Format) ファイル形式 1.1 をサポートしているので、印刷する写真を再選択する必要はありません。

カメラが指定した写真を印刷するときは、デバイスの印刷設定は適用されません。ページ レイアウトの DPOF 設定と印刷部数が、デバイスの設定よりも優先されます。

注記 ただし、写真に印刷用のタグを付ける機能のないデジタル カメラもあります。 お使いのデジタル カメラが DPOF ファイル形式 1.1 をサポートしているかどうかについては、カメラのマニュアルを参照してください。

DPOF 標準を使用して、カメラが指定した写真を印刷するには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示にしたがって、以下のいずれかを実行します。
   - DPOF のタグが付いた写真をすべて印刷するには、**OK(O)** を押します。
     DPOF のタグが付いた写真がすべて印刷されます。
   - 矢印キーを押して [**いいえ(O)**] を強調表示し、**OK(O)** を押します。
     これで、DPOF 印刷が回避されます。

選択した写真の印刷

写真の選択 機能は、メモリ カードに DPOF 写真がない場合にのみ使用できます。

選択した写真を印刷するには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示に従って、**選択された写真** が表示されるまで、**フォト** ボタンを繰り返し押します。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
   ▲ メモリ カードの写真をすべて印刷するには、▶ を押して **すべて** を選択し、**OK(O)** を押します。

a. メモリ カードの写真から印刷する写真のみ選択して印刷するには、▶ を押して **カスタム** を選択し、**OK(O)** を押します。
b. 他の写真に移動するには、矢印キーを押し **OK(O)** を押して写真を選択します。
c. 印刷を開始するには、**フォト プリント** を押します。

写真の表示

HP ソリューション センターを使用して写真を表示できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• コンピュータを使用した写真の表示

コンピュータを使用した写真の表示

デバイスに付属するソフトウェアを使用して写真を表示および編集できます。

詳細は、ソフトウェアに付属のオンスクリーン ヘルプを参照してください。

デバイスのコントロール パネルからのインデックス シートの印刷

注記 デバイスからアクセスできるのは、JPEG および TIFF 画像ファイルだけです。その他のタイプのファイルを印刷するには、ファイルをメモリ カードからお使いのコンピュータに転送して、HP ソリューション センターを使用してください。

インデックス シートを印刷するには

1. メモリ カードをデバイスの正しいスロットに差し込みます。
2. フォト ボタンを押します。
3. 右矢印キーを繰り返し押して、**[インデックスシートを印刷]** を選択します。
4. **[OK]** を押します。

コンピュータに写真を保存する

デジタル カメラで写真を撮った後、すぐに印刷することも、コンピュータに保存することもできます。 写真をコンピュータに保存するに

は、メモリ カードをデジタル カメラから取り出して、デバイスの適切なメモリ カード スロットに挿入します。

写真を保存するには

注記 ネットワーク接続を使用している場合にかぎり、次の手順に従ってください。USB 接続を使用している場合、デバイスにメモリ カードを差し込んだ際にコンピュータ上にダイアログ ボックスが自動的に表示されます。

1. メモリ カードをデバイスの正しいスロットに差し込みます。**フォトメニューが自動的に開きます。**
2. 矢印キーを押して **[はい(Y)]** を選択し、**OK(O)** を押して選択します。
3. 矢印キーを押して **転送先:** を選択し、使用するコンピュータの名前を選択します。
4. コンピュータの画面に表示される指示に従って、コンピュータに写真を保存します。

写真の修正ツールの使用

写真の修正機能をオンにすると、メモリ カードから印刷されるすべての写真に次の技術が適用されます。

注記 この機能のデフォルト設定は、[**オン**] です。

- 写真の明るさ調整
- [逆光補正] は、印刷する画像の見栄えを良くするためにコントラストを強調します。暗い画像を明るく補正することができます。
- スマートフォーカスは、画像をよりくっきり鮮明に見せます。

[写真の修正] をオンにするには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示に従って、**写真の修正** が表示されるまで、**フォト** ボタンを繰り返し押します。
3. ▶ を押して **オン** を選択し、**OK(O)** を押します。

赤目除去の使用

この機能を使用すると、メモリ カードから印刷する写真の赤目を除去することができます。

注記　この機能のデフォルト設定は、[**オン**] です。

赤目除去をオンにするには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示に従って、**赤目除去** が表示されるまで、**フォト** ボタンを繰り返し押します。
3. ▶ を押して **オン** を選択し、**OK(O)** を押します。

日付スタンプの使用

この機能を使用すると、メモリ カードから印刷する写真の一番上に日付スタンプを入れることができます。日付は、各写真に記録されている EXIF タグに基づき設定されます。この機能は写真に影響しません。

注記　この機能のデフォルト設定は、[**オフ**] です。

[日付スタンプ] をオンにするには

1. デバイスの適切なスロットにメモリ カードを挿入します。
2. 指示に従って、**日付スタンプ** が表示されるまで、**フォト** ボタンを繰り返し押します。
3. ▶ を押して次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を押します。
    - [**日付のみ**] – 日付のみ印刷します。
    - [**日付と時刻**] – 24 時間形式の時刻と日付を印刷します。

新しいデフォルトの設定

印刷設定を変更し、その後の印刷ジョブすべてにそれを反映したい場合、[新しいデフォルトの設定] 機能を使用します。

新しいデフォルトを設定するには

1. その他の機能に変更を加えます。
2. 指示に従って、**新しいデフォルトの設定** が表示されるまで、**フォト** ボタンを繰り返し押します。
3. ▶ を押して [**はい**] を選択し、**OK(O)** を押します。

6 ファクス

このデバイスを使用して、カラー ファクスを含むファクスの送受信ができます。 ファクスを後で送信するように設定したり、短縮ダイヤルを設定してよく使用するファクス番号にすばやく簡単にファクスを送信することができます。 デバイスのコントロール パネルで、解像度や送信するファクスの薄さと濃さのコントラストなど、さまざまなファクスのオプションも設定できます。

デバイスがコンピュータと直接接続されている場合、HP ソリューション センター ソフトウェアを使用すれば、デバイスのコントロール パネルからは行えないファクス送信を行うことができます。詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)をご覧ください。

注記 ファクス機能を使用する前に、デバイスのファクス機能を正しく設定しておいてください。 初期セットアップで、デバイスのコントロール パネルまたはデバイス付属のソフトウェアを使って、既に設定されている場合もあります。 ファクス機能が正しく設定されているかどうかは、デバイスのコントロール パネルからファクス セットアップ テストを実行して確かめることができます。 ファクス テストを実行するには、**セットアップ** を押し、**[ツール]** を選択します。次に **[ファクス テストを実行]** を選択し、**OK** を押します。

多くのファクス設定は、組み込み Web サーバで管理できます。詳細については、組み込み Web サーバをご覧ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの送信
- ファクスの受信
- ファクス設定の変更
- 短縮ダイヤルの設定
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ファクス設定のテスト
- レポートの使用
- ファクスのキャンセル

ファクスの送信

さまざまな方法でファクスを送信できます。 デバイスのコントロール パネルを使用すれば、モノクロまたはカラーでファクスを送信できます。 付属の電話機から手動でファクスを送信することもできます。 こ

の方法では、ファクスを送信する前に受信者と通話することができます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なファクスの送信
- 電話からのファクスの手動送信
- ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信
- ファクスをメモリから送信する
- 後で送信するためのファクスのスケジュール設定
- ファクスを複数の受信者に送信する
- カラー原稿をファクス送信する
- ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更
- エラー補正モードでのファクス送信

基本的なファクスの送信

1 ページまたは複数ページのモノクロ ファクスをデバイスのコントロール パネルを使って簡単に送信できます。

注記 ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、ファクスを送信する**前に**ファクス送受信の確認を有効にします。詳細については、ファクス確認レポートの印刷をご覧ください。

ヒント 電話やダイヤル モニタ機能を使用して、ファクスを手動で送信することもできます。 この機能では、ダイヤルするペースを指定できます。 通話料金をコーリング カードで支払いたいときなど、ダイヤル中にトーン音に応答する必要があるときに、この機能が役に立ちます。

デバイスのコントロール パネルから基本的なファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。

   ヒント 入力するファクス番号間に一定の間隔を加えるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 [**-**] が表示されるまで、**[記号 (*)]** ボタンを繰り返し押します。

3. **ファクス スタート - モノクロ**を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

   ヒント 受信者からの知らせで、送信したファクスの品質に問題があることがわかった場合は、ファクスの解像度やコントラストを変えてみます。

電話からのファクスの手動送信

手動ファクス送信では、電話をして、ファクスを送信する前に相手と話をすることができます。ファクスを送信する前に相手に送信することを伝えたい場合は、この方法が便利です。ファクスを手動で送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声が電話の受話器から聞こえます。このため、ファクスの送信にコーリング カードが使用しやすくなります。

受信者側のファクス機の設定状態によって、受信者が電話に出たり、ファクス機が応答する場合があります。 受信者が電話に出たら、ファクスを送信する前に会話をすることができます。 ファクス機が応答した

場合、受信中のファクス機からトーン音が聞こえてから、そのファクス機に直接ファクスを送信できます。

電話から手動でファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. デバイスに接続された電話のダイヤルキーから、番号をダイヤルします。

   注記 手動でファクスを送信するときは、デバイスのコントロール パネルのキーパッドは使用しないでください。 受信者の番号をダイヤルするには、電話機のダイヤルを押します。

3. 受信者が応答した場合、ファクスを送信する前に会話をすることができます。

   注記 ファクス機が応答すると、受信中のファクス機からファクスのトーン音が聞こえます。 次の手順に進んで、ファクスを送信します。

4. ファクスを送信する準備ができたら、**ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 メッセージが表示された場合は、**[ファクス送信]** を選択し、もう一度 **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   ファクス送信前に受信者と話している場合は、ファクスのトーン音が聞こえたらファクス機の **[スタート]** ボタンを押すように、前もって受信者に知らせてください。
   ファクスの送信中は、電話回線は無音になります。 この時点で、受話器を置くことができます。 ファクス受信が完了した後、受信者と続けて話をする場合は、電話を切らないでください。

ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信

ダイヤル モニタリングを使用すると、通常電話するように、デバイスのコントロール パネルから番号をダイヤルすることができます。 ファクスをダイヤル モニタリングで送信するときは、発信音、音声ガイダンス、その他の音声がデバイスのスピーカーから聞こえます。 これにより、ダイヤル中に音声ガイダンスに応答することも、ダイヤルするペースを指定することもできます。

ヒント コーリング カードの PIN の入力に時間がかかると、デバイスからファクス トーンの送信が開始されてしまい、コーリング カード サービス会社が PIN を認識できない場合があります。 その場合は、短縮ダイヤル番号を使用して、コーリング カードの PIN をあらかじめ登録しておいてください。

注記 音量をオンにしないと、ダイヤル トーンは聞こえません。

デバイスのコントロール パネルからダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、ダイヤル トーンが聞こえます。
3. ダイヤル トーンが聞こえたら、デバイスのコントロール パネルのキーパッドで番号を入力します。
4. 音声ガイダンスがあれば、従ってください。

   ヒント コーリング カード PIN を短縮ダイヤルに登録し、コーリング カードを使ってファクスを送信する場合は、PIN の入力を求めるメッセージに対して **短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押し、PIN を登録した短縮ダイヤル番号を選択します。

   受信側のファクス機が応答すると、ファクスが送信されます。

ファクスをメモリから送信する

モノクロ ファクスをメモリに読み込んで、メモリからファクスを送信することができます。 この機能は、これから送信しようとしているファクス番号が通話中、または一時的に通話不能な場合に便利です。 デバイスは原稿をメモリに読み込み、受信するファクス機に接続が完了した時点で送信を行います。 原稿のスキャンが完了したら、すぐに原稿をドキュメント フィーダ トレイから取り除くことができます。

注記 メモリから送信できるのはモノクロファクスだけです。

メモリ内のファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
5. [**スキャンとファクス**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスは原稿をメモリに読み込んで、相手側ファクス機が受信可能なときにファクスを送信します。

後で送信するためのファクスのスケジュール設定

モノクロのファクスを 24 時間以内に送信するようスケジュール設定することができます。 これにより、たとえば電話回線の混雑が少なく、電話料金が割安の夜間にモノクロのファクスを送信できます。 デバイスが、指定された時刻に自動的にファクスを送信します。

ファクスのスケジュール設定ができる原稿は、一度に 1 件のみです。ファクスのスケジュール設定がされている状態でも、通常のファクスは送信が可能です。

注記 メモリ制限により、スケジュール設定されたファクスはモノクロでのみ送信できます。

注記 スケジュールされたファクスを送信できるのは ADF からだけです。

デバイスのコントロール パネルからファクスをスケジュール設定するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。

3. [**後でファクスを送信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
4. テンキーパッドを使用して送信時刻を入力し、**OK(O)** を押します。
5. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
デバイスがすべてのページをスキャンし、ディスプレイにスケジュール設定された時刻が表示されます。 ファクスはスケジュール設定された時刻に送信されます。

スケジュールされたファクスをキャンセルするには

1. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
2. [**後でファクスを送信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
スケジュールされたファクスがある場合は、ディスプレイに **キャンセル** メッセージが表示されます。
3. **1** を押して [**はい(Y)**] を選択します。

注記 スケジュール設定された時刻がディスプレイに表示されているときに、デバイスのコントロール パネルで **キャンセル** を押しても、スケジュール ファクスをキャンセルすることができます。

ファクスを複数の受信者に送信する

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する
- ファクスを HP Photosmart Studio ソフトウェアから複数の受信者に送信する (Mac OS X)

ファクスをデバイスのコントロール パネルから複数の受信者に送信する

個別短縮ダイヤル番号をグループ短縮ダイヤル番号にまとめることにより、1 つのファクスを複数の受信者に一度に送信できます。

グループ短縮ダイヤルを使用してファクスを複数の受信者に一度に送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. 目的の短縮ダイヤルが表示されるまで、**短縮ダイヤル** を繰り返し押します。

   ヒント ◀ または ▶ を押して短縮ダイヤル番号をスクロールすることも、デバイスのコントロール パネルのキーパッドから短縮ダイヤルコードを入力して、番号を直接指定することもできます。

3. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスは、自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、グループ短縮ダイヤルの各番号にドキュメントを送信します。

   注記 メモリの量に制限があるため、グループ短縮ダイヤル番号は、モノクロ ファクスの送信にのみ使用できます。 デバイスはファクスをメモリにスキャンしてから、最初の番号をダイヤルします。 接続したらファクスを送信し、次の番号をダイヤルします。 送信先が話し中または応答なしの場合は、[**通話中リダイヤル**]および[**応答なしリダイヤル**]の設定に従って動作します。 接続できない場合は、次の番号がダイヤルされ、エラー レポートが作成されます。

ファクスを HP Photosmart Studio ソフトウェアから複数の受信者に送信する (Mac OS X)

ソフトウェアから複数の受信者にファクスを送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. HP Photosmart Studio タスク バーで、**[デバイス]** をクリックします。
   [HP デバイス マネージャ] ウィンドウが表示されます。

3. **[デバイス]** ポップアップ メニューから HP all-in-One を選択し、**[ファクス送信]** をダブルクリックします。
   [プリント] ダイアログ ボックスが開きます。
4. **[プリンタ]** ポップアップ メニューから、HP all-in-One (ファクス) を選択します。
5. ポップアップ メニューから、**[ファクス受信者]** を選択します。
6. 受信者の情報を入力し、**[受信者に追加]** をクリックします。

   注記 受信者は、**[電話帳]** や **[アドレス帳]** からでも追加できます。 **[アドレス帳]** から受信者を選択するには、**[アドレス帳を開く]** をクリックして、**[ファクス受信者]** に受信者をドラッグ アンド ドロップします。

7. 受信者を選択するごとに **[受信者に追加]** をクリックし、受信者全員を **[受取人リスト]** に追加するまでこれを繰り返します。
8. **[今すぐファクスを送信する]** をクリックします。

カラー原稿をファクス送信する

デバイスから、カラー原稿をファクスすることができます。受信者のファクス機がモノクロ ファクスにしか対応していないことが検出されると、ファクスはモノクロで送信されます。

カラー ファクス送信には、カラー原稿のみを使用することをお勧めします。

デバイスのコントロール パネルからカラー原稿をファクス送信するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。

3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. **ファクス スタート - カラー** を押します。
デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

注記 受信側のファクスがモノクロのみ対応していることが検出された場合、HP all-in-One は自動的にモノクロでファクスを送信します。ファクスの送信後に、ファクスがモノクロで送信されたことを示すメッセージが表示されます。**OK (O)** を押してメッセージを消去します。

ファクス解像度と[薄く/濃く]設定の変更

ファクスするドキュメントに応じて、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] の設定を変更できます。

注記 これらのファクス設定は、コピー設定には影響しません。 コピーの解像度と濃淡は、ファクスの解像度と濃淡とは別に設定されます。 また、デバイスのコントロール パネルでの変更は、コンピュータから送信するファクスには影響しません。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス解像度の変更
- [薄く/濃く] 設定の変更
- 新しいデフォルトの設定

ファクス解像度の変更

[**解像度**] の変更は、ファクス送信されるモノクロ文書の送信速度と印字品質に影響します。受信側のファクス機が HP all-in-One で選択した解像度をサポートしていない場合は、受信側のファクス機でサポートする最高の解像度でファクスが送信されます。

注記 ファクスの解像度は、モノクロ送信に限って変更できます。カラー ファクスはすべて[**高画質**]の解像度で送信されます。

ファクス送信には、次の解像度設定を選択できます。[**高画質**]、[**超高画質**]、[**写真**]、および [**標準**]。デフォルトの設定は [**高画質**] です。

- [**高画質**]: ほとんどの文書に適した高品質な文字でファクス送信できます。 これがデフォルト設定値です。 デバイスは、ファクスをカラー送信するときは常に[**高画質**]設定を使用します。
- [**超高画質**]: 極めて精密な画像の文書をファクス送信する場合に、最高の品質が得られます。[**超高画質**] を選択するとファクスの送信に通常より時間がかかります。また、モノクロでのみ送信可能です。カラー ファクスを送信したり、[スキャンとファクス] または [後でファクスを送信] 機能を使用してファクス送信する場合は、代わりに [**高画質**] 解像度で送信されます。
- [**写真**]: 写真をモノクロで送信する場合に、最も高品質なファクス送信が可能です。[**写真**] を選択すると、ファクス送信に通常よりも時間がかかります。写真をモノクロで送信するときには、[**写真**] を選択することをお勧めします。
- [**標準**]: ファクス品質は下がりますが、最も速くファクスを送信することができます。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

デバイスのコントロール パネルから解像度を変更する

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス** を押します。
   [**番号を入力**] メッセージが表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**解像度**] を表示します。
5. ▶ を押して、解像度設定を選択し、**OK(O)** を押します。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

[薄く/濃く] 設定の変更

ファクスのコントラストの強弱を変更することができます。かすれた文書や色あせた文書、手書きの文書などをファクスするときに役に立ちます。原稿を濃くするには、コントラストを調整します。

注記 [薄く/濃く]設定はモノクロ ファクスにのみ適用され、カラー ファクスには適用されません。

このオプションは、デフォルトとして変更した場合を除いて、ファクス メニューを終了するとデフォルトの設定に戻ります。

デバイスのコントロール パネルから [薄く/濃く] 設定を変更するには

1. 原稿をセットします。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
2. ファクス 領域で、**ファクス** を押します。
   [**番号を入力**] が表示されます。
3. キーパッドを使ってファクス番号を入力するか、**短縮ダイヤル** またはワンタッチ短縮ダイヤル ボタン (一部のモデルのみ) を押して短縮ダイヤルを選択するか、**リダイヤル/ポーズ** を押して最後にダイヤルした番号をリダイヤルします。
4. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**薄く/濃く**] を表示します。
5. ファクスを薄くするには ◀ を、濃くするには ▶ を押して、**OK (O)** を押します。
   押した矢印ボタンに応じて、インジケータが左右に動きます。
6. **ファクス スタート - モノクロ** を押します。
   デバイスが自動ドキュメント フィーダにセットされた原稿を検出すると、入力した番号にドキュメントが送信されます。

新しいデフォルトの設定

デバイスのコントロール パネルから、[**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定のデフォルト値を変更することができます。

デバイスのコントロール パネルから新しいデフォルト設定を行うには

1. [**解像度**] と [**薄く/濃く**] 設定に必要な変更を加えます。
2. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**新しいデフォルトの設定**] を表示します。
3. [**はい(Y)**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。

エラー補正モードでのファクス送信

[**エラー補正モード**] (ECM) では電話回線の問題によるデータ破損に対処するために、データ伝送中に発生したエラーを検出してエラー部分を再伝送するよう自動的に要求します。良好な状態の電話回線においては電話料金に影響が及ぶことはなく、場合によってはむしろ安くなることもあります。電話回線の状態が悪い場合、ECM にすることで送信時間と電話料金は増えますが、送信するデータの信頼性が高くなります。デフォルトの設定は [**オン**] です。電話料金を安くするためにファクスの品質を問わないという場合にのみ、ECM をオフにしてください。

ECM 設定が、**[オフ]** の場合：

- 送受信するファクスの品質と送信速度に影響があります。
- [**ファクス速度**] が自動的に [**標準**] に設定されます。
- カラー ファクスの送受信ができなくなります。

デバイスのコントロール パネルから ECM 設定を変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. **5** を押し、次に **6** を押します。
   これで、[**ファクスの詳細設定**] と [**エラー補正モード**] が続けて選択されます。
3. ▶ を押して [**オン**] または [**オフ**] を選択します。
4. **OK(O)** を押します。

ファクスの受信

ファクスは、自動で受信することも、手動で受信することもできます。 **自動応答** オプションをオフにした場合は、手動でファクスを受信する必要があります。 **自動応答** オプションをオンにすると (デフォルトの設定)、デバイスは [**応答呼出し回数**] 設定で指定されている呼び出し回数の後、自動的に着信に応答し、ファクスを受信します (デフォルトの [**応答呼出し回数**] 設定は 5 回です)。

デバイスでリーガル サイズの用紙を使用するように設定されていないときに、リーガル サイズのファクスを受信すると、デバイスにセットされている用紙に収まるようにファクスのサイズが自動で縮小されます。 [**自動縮小**] 機能を無効に設定している場合、デバイスはファクスを 2 ページに印刷します。

注記 文書のコピー中にファクスを受信すると、受信したファクスはコピーが終了するまでデバイス メモリに保存されます。 これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスの手動受信
- バックアップ ファクス受信のセットアップ
- 受信済みファクスのメモリからの再印刷
- ポーリングしてファクスを受信する
- 別の番号へのモノクロでファクスを転送
- ファクス受信用の用紙サイズの設定
- 受信したファクスを自動縮小に設定
- 迷惑ファクス番号の拒否
- コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信と Mac にファクス)

ファクスの手動受信

電話中に接続を維持しながら、通話先の相手からファクスを送ってもらうことができます。 これをファクスの手動受信と呼びます。 このセクションでは、ファクスを手動受信する方法について説明します。

注記 受話器を取り上げて話すか、ファクス トーンを聞くことができます。

次のように設定した電話で、ファクスを手動受信することができます。

- デバイスの 2-EXT ポートに直接接続された電話
- 同じ電話回線上にあるが、デバイスに直接接続されていない電話

注記 ファクスを受信するには、自動ドキュメント フィーダ (ADF) を空にする必要があります。ADF に文書があると、デバイスは着信ファクスを受信しません。

ファクスを手動で受信するには

1. デバイスの電源がオンになっていて、用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. ドキュメント フィーダ トレイから原稿を取り除きます。

> **注記** ファクスを受信するには自動ドキュメント フィーダは空にする必要があります。 文書がドキュメント フィーダにあると、 ファクスは正常に受信されません。

3. ファクスに手動で応答するには、次のいずれかの操作を行います。
   - デバイスが応答する前に、ユーザーが着信に応答できるように、[**応答呼出し回数**]設定を大きい数字にします。
   - **自動応答**設定をオフにし、デバイスが自動的に受信ファクスに応答しないようにします。
4. 送信者と電話がつながっている場合は、相手のファクス機で **[スタート]** を押すように指示します。
5. 送信中のファクス機からファクス トーンが聞こえたら、次の操作を行います。
   a. デバイスのコントロール パネルにある **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。
   b. 画面の指示に従って、[**ファクス受信**] を選択します。

> **注記** 国または地域によっては、送信側のファクス機からのトーン音が聞こえるとファクスを自動受信することができます。

6. デバイスのファクス受信が始まったら、受話器を置くことも、そのまま待機することもできます。 ファクスの転送中、電話回線は無音になります。

バックアップ ファクス受信のセットアップ

好みとセキュリティ要件に応じて、デバイスが受信したファクスをすべて保存するか、エラー状態の間に受信したファクスのみを保存するか、どのファクスも保存しないかを設定することができます。

以下の [**バックアップ ファクス受信**] モードがあります。

[**オン**]	デフォルトの設定です。[**バックアップ ファクス受信**]が[**オン**]の場合、デバイスは受信したファクスをすべ

(続き)

	てメモリに保存します。こうすると、メモリに保存されているすべてのファクスを再印刷できます。 **注記** メモリが少なくなると、デバイスは新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスを古い順に消去します。 メモリが印刷されていないファクスでいっぱいになると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります。 **注記** きめの細かいカラー写真など、サイズの大きなファクスを受信した場合は、メモリ容量の制限により、メモリに保存されないことがあります。
[**エラーの場合のみ**]	デバイスは、エラーによってファクスの印刷ができない場合 (用紙切れなど) にのみ、ファクスをメモリに保存します。 デバイスはメモリの容量が許す限り、受信したファクスを保存し続けます (メモリがいっぱいになると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります)。 エラー状態が解消すると、メモリに保存されたファクスは自動的に印刷され、メモリから消去されます。
[**オフ**]	ファクスはメモリにまったく保存されません。 たとえば、セキュリティ保護のために [**バックアップ ファクス受信**] をオフにすることができます。 印刷できないエラー状態 (用紙切れなど) が発生すると、デバイスは着信ファクスに応答しなくなります。

注記 [**バックアップ ファクス受信**] がオンの状態でデバイスの電源をオフにすると、デバイスのエラー発生中に受信した印刷待ちのファクスも含めて、メモリに保存されたファクスはすべて消去されます。 このような場合は、印刷していないファクスをもう一度送ってもらうように送信者に依頼してください。 受信したファクス一覧を見るには、[**ファクス ログ**]を印刷します。 デバイスの電源がオフになっても[**ファクス ログ**]は削除されません。

注記 PC ファクス受信 をオンにする場合、**バックアップ ファクス受信** を [**オン**] に設定します。**バックアップ ファクス受信** を **エラーの場合のみ** または [**オフ**] に設定した場合、バックアップ ファクス受信はカラー ファクスの保存を試みます。

デバイスのコントロール パネルから、バックアップ ファクス受信を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択して、[**バックアップ ファクス受信**] を選択します。
3. 右矢印ボタンを押して [**オン**]、[**エラーの場合のみ**]、または [**オフ**] を選択します。
4. **OK(O)** を押します。

受信済みファクスのメモリからの再印刷

[**バックアップ ファクス受信**] モードを [**オン**] に設定すると、デバイスにエラーがあるかどうかに関係なく、受信したファクスはメモリに保存されます。

注記 メモリがいっぱいになると、新たにファクスを受信するたびに、印刷済みのファクスが古い順に消去されます。 保存されたファクスがどれも印刷されていない場合、デバイスは、ファクスを印刷するかメモリから削除するまで、新たなファクス受信に応答しません。 セキュリティまたはプライバシー保護のために、メモリ内のファクスを削除することもできます。

メモリに保存されたファクスの容量に応じて、メモリにまだ保存されていれば、最近印刷したファクスを最大 8 件まで再印刷することができます。 たとえば、最後に受信したプリントアウトをなくしても、ファクスを再印刷できます。

デバイスのコントロール パネルから、メモリに保存されているファクスを再印刷するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. [**ツール**] を選択し、[**メモリ内のファクスを再印刷**] を選択します。
   受信したときとは逆の順序で、直前に受信したファクスが最初に印刷されます。
4. メモリ内のファクスの印刷を中止する場合は、**キャンセル** を押します。

デバイスのコントロール パネルから、メモリに保存されたすべてのファクスを削除するには

▲ **電源** ボタンを押してデバイスの電源をオフにします。
電源をオフにすると、メモリに保存されているファクスはすべて削除されます。

ポーリングしてファクスを受信する

ポーリングは、現在デバイスのキューに入っているファクスの送信を、他のファクス機に要求する機能です。[**ポーリング受信**] 機能を使用すると、デバイスは指定された他のファクス機を呼び出し、ファクスの送信を要求することができます。指定されたファクス機はポーリングの設定がされ、ファクスを送信できる状態である必要があります。

注記 デバイスは、ポーリング パス コードをサポートしていません。ポ ーリング パス コードは、受信側のファクス機に対し、ファクスを受信するために、ポーリングしているデバイスに パス コードを送信するよう要求するセキュリティ機能です。ポーリングしているデバイスでパス コードが設定されていないこと (またはデ フォルト パス コードが変更されていること) を確認してください。パス コードが設定されている場合、デバイスはファクスを受信できません。

デバイスのコントロール パネルから、ファクスのポーリング受信を設定するには

1. ファクス 領域で、**ファクス** を繰り返し押して、[**ファクス方法**] を表示します。
2. [**ポーリング受信**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
3. 他のファクス機のファクス番号を入力します。
4. **ファクス スタート - モノクロ** または **ファクス スタート - カラー** を押します。

   注記 ファクス スタート - カラーを押しても、送信者がモノクロでファクスを送信した場合は、デバイスでもモノクロで印刷されます。

別の番号へのモノクロでファクスを転送

受信したファクスを他のファクス番号に転送するようにデバイスを設定することができます。 カラー ファクスを受信した場合は、モノクロで転送されます。

転送の前に、転送先のファクス番号を確認することをお勧めします。テストでファクスを送信し、転送先のファクス機がファクスを受信できるか確認してください。

デバイスのコントロール パネルからファクスを転送するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**モノクロでファクスを転送**] を押します。
3. [**オン - 転送**] または [**オン - 印刷と転送**] が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**OK(O)** を押します。
   • ファクスのバックアップ コピーをデバイスで印刷せずに、別の番号に転送する場合は [**オン - 転送**] を選択します。

   > **注記** 指定されたファクス機に (電源が入っていない場合など) ファクスを転送できない場合は、デバイスでファクスを印刷します。 デバイスが受信ファクスのエラー レポートも印刷するように設定されている場合は、エラー レポートも印刷されます。

   • ファクスのバックアップ コピーを印刷し、別の番号に転送もする場合は [**オン - 印刷と転送**] を選択します。
4. 指示画面で、転送先ファクス機の番号を入力します。
5. 指示画面で、開始日時と終了日時を入力します。
6. **OK(O)** を押します。
   コントロールパネルに [**ファクスを転送**] が表示されます。
   [**ファクスを転送**] の設定中にデバイスの電源が切れても、デバイスは [**ファクスを転送**] 設定と電話番号を保存しています。再び装置の電源が入ると、[**ファクスを転送**] 設定は [**オン**] になっています。

   > **注記** モノクロでファクスを転送をキャンセルするには、ディスプレイに [**ファクスを転送**] メッセージが表示されているときに、デバイスのコントロール パネルの **キャンセル** を押すか、[**ファクスを転送**] メニューから [**オフ**] を選択します。

ファクス受信用の用紙サイズの設定

受信ファクスの用紙サイズを選択できます。用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。ファクスはレター用紙、A4 用紙、またはリーガル用紙にのみ印刷できます。

注記 ファクスを受信したときに不適当な用紙サイズが給紙トレイにセットされていると、ファクスを印刷しないで、ディスプレイにエラー メッセージが表示されます。ファクスを印刷するには、レター用紙、A4 用紙、リーガル用紙のいずれかをセットして、**OK(O)** を押します。

デバイスのコントロール パネルから、ファクス受信用の用紙サイズを設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**]、[**ファクス用紙サイズ**]の順に選択します。
3. ▶ を押してオプションを選択し、**OK(O)** を押します。

受信したファクスを自動縮小に設定

[**自動縮小**] 設定は、受信したファクスがデフォルトの用紙サイズよりも大きい場合に HP all-in-one がどう対応するかの設定です。デフォルトの設定はオンで、受信したファクスの画像が 1 ページに収まるように縮小されます。この機能をオフにすると、1 ページ目に収まらなかった情報は 2 ページ目に印刷されます。[**自動縮小**]は、リーガルサイズのファクスを受信する場合やレターサイズの用紙を給紙トレイにセットする場合に便利です。

デバイスのコントロール パネルから自動縮小を設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**]、[**自動縮小**]の順に選択します。
3. ▶ を押して [**オフ**] または [**オン**] を選択します。
4. **OK(O)** を押します。

迷惑ファクス番号の拒否

電話会社の発信者 ID サービスに加入すると、特定のファクス番号を拒否して、デバイスが今後それらの番号から受信したファクスを印刷しないようにすることができます。 ファクスの受信があったとき、デバイスは、その番号を迷惑ファクス番号リストと比較して、その受信を拒否するべきかどうかを判断します。 番号が、拒否ファクス番号リストの番号と一致した場合、ファクスは印刷されません (拒否できるファクス番号の最大数は、モデルによって異なります)。

注記 この機能は、一部の国/地域ではサポートされていません。 お住まいの国/地域でサポートされていない場合、[**ファクスの基本設定**] メニューに [**迷惑ファクスを拒否の設定**] は表示されません。

注記 発信者 ID リストに電話番号が 1 つも追加されていない場合は、ユーザーが電話会社と発信者 ID サービスの契約を結んでいないと考えられます。機能を使用する前に、上記のサービスについてお近くのサービス プロバイダに確認してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 迷惑ファクス モードの設定
- 迷惑ファクス一覧に番号を追加
- 迷惑ファクス一覧から番号を削除
- 迷惑ファクス レポートの印刷
- 拒否するファクス番号のリストの表示

迷惑ファクス モードの設定

デフォルトの [**迷惑ファクスを拒否**] モード設定は [**オン**] です。 電話プロバイダの発信者 ID サービスに加入していない、またはこの機能を使用したくない場合は、設定をオフにすることができます。

迷惑ファクス モードを設定するには

▲ **迷惑ファクスを拒否** ボタンを押し、[**迷惑ファクスを拒否**] オプションを選択し、[**オン**] または [**オフ**] を選択します。

迷惑ファクス一覧に番号を追加

迷惑ファクス一覧に番号を追加するには 2 通りの方法があります。発信者 ID 履歴から番号を選択するか、または任意の番号を入力します。迷惑ファクス一覧にあるファクス番号は、[**迷惑ファクスを拒否**] モードが [**オン**] に設定されている場合に拒否されます。

発信者 ID 一覧から番号を選択するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファクスの拒否設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を選択し、[**番号の選択**] を選択します。.

4. 右矢印ボタンを押して、受信したファクス番号をスクロールします。 拒否するファクス番号が表示されたら、**OK(O)** を押して選択します。
5. [**次を選択?**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合**は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

拒否する番号を手動で入力するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファクスの拒否設定**] を押します。
3. [**迷惑リストに番号を追加**] を選択し、[**番号の入力**] を選択します。
4. キーパッドを使ってファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。
   受信したファクスのヘッダーに表示されている番号は実際と異なる場合があるので、ヘッダーの番号ではなく、コントロール パネルのディスプレイに表示されるファクス番号を入力してください。
5. [**追加しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   - **迷惑ファクス番号リストに別の番号を追加する場合**は、[**はい**] を押し、拒否する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   - **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

迷惑ファクス一覧から番号を削除

ファクス番号を拒否する必要がなくなった場合は、その番号を迷惑ファクス一覧から削除することができます。

迷惑ファクス番号リストから番号を削除するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**迷惑ファクスを拒否の設定**] を押します。
3. [**迷惑リストから番号を削除**] を押します。

4. 右矢印ボタンを押して、拒否したファクス番号をスクロールします。 削除するファクス番号が表示されたら、**OK(O)** を押して選択します。
5. [**削除しますか？**] の指示に従って、次のいずれかを行います。
   • **迷惑ファクス番号リストから別の番号を削除する場合**は、[**はい**] を押し、削除する番号ごとにステップ 4 を繰り返します。
   • **終了する場合**は、[**いいえ**] を押します。

迷惑ファクス レポートの印刷

次の手順で拒否する迷惑ファクス番号リストを印刷します。

迷惑ファクス レポートを印刷するには

1. **セットアップ** を押して、**ファクスの基本設定**、**迷惑ファクスの拒否設定**、**レポート**、**迷惑リスト** の順に選択します。
2. **OK(O)** を押します。

拒否するファクス番号のリストの表示

拒否されたファクス番号リストは、組み込み Web サーバ (ネットワーク接続が必要) またはデバイスのコントロール パネルからレポートを印刷することで閲覧することもできます。

コントロール パネルから拒否番号リストを閲覧するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**レポートの印刷**]、[**迷惑ファクス リスト**]の順に選択します。

組み込み Web サーバで拒否するファクス番号リストを表示するには

▲ 組み込み Web サーバを開きます。詳細については、組み込み Web サーバを開くにはをご覧ください。**[設定]** タブをクリックし、左枠の **[迷惑ファクスを拒否]** をクリックします。

コンピュータへのファクスの受信 (PC ファクス受信と Mac にファクス)

[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] を使用すると、ファクスを自動的に受信し、コンピュータに直接ファクスを保存できます。[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] を使用すると、ファクスのデジタル コピーを簡単に格納できます。また、この機能を使用することにより、分厚い紙の束を扱うわずらわしさもなくなります。

受信したファクスは、TIFF (Tagged Image File Format) 形式で保存されます。ファクスを受信すると、ファクスが保存されているフォルダへのリンクを示す通知が画面に表示されます。

ファイルには、次の形式で名前が付けられます。XXXX_YYYYYYYY_ZZZZZZ.tif。この場合、「X」は送信者の情報、「Y」は日付、「Z」はファクスの受信時刻です。

注記 [PC ファクス受信] および [Mac にファクス] は、モノクロ ファクスを受信する場合にのみ利用できます。カラー ファクスは、コンピュータに保存される代わりに印刷されます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件
- [PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化
- [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する
- PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。

PC ファクス受信および Mac にファクス機能の要件

- PC ファクス受信または Mac にファクス機能を使用可能にする管理コンピュータには、常に電源を入れておく必要があります。PC ファクス受信または Mac にファクス管理コンピュータとして動作できるコンピュータは、1 台のみです。
- 宛先フォルダのコンピュータまたはサーバは、常に電源を入れておく必要があります。宛先コンピュータもまた動作させておく必要があります。コンピュータがスリープ モードまたはハイバネート モードの場合、ファクスは保存されません。
- Windows のタスクバーの HP Digital Imaging Monitor は常にオンである必要があります。
- 用紙は給紙トレイにセットしておきます。

[PC ファクス受信] および [Mac にファクス] の有効化

[PC ファクス受信セットアップ ウィザード] を使用して [PC ファクス受信] を使用可能にします。[PC ファクス受信セットアップ ウィザード] は、ソリューション センター、またはコントロール パネルの [PC ファクス受信セットアップ ウィザード] から開始できます。Mac にファクス

を Mac OS X にセットアップするには、HP デバイス マネージャに含まれる HP セットアップ アシスタントを使用します。

ソリューション センター (Windows) から [PC ファクス受信] を設定するには

1. Solution Center を開きます。 詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。
2. **[設定]** をクリックし、**[PC ファクス受信セットアップ ウィザード]** を選択します。
3. 画面に表示される指示に従って、[PC ファクス受信] を設定します。

Mac にファクスをセットアップするには

1. Dock の HP デバイス マネージャのアイコンをクリックします。

   注記 HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、HP デバイス マネージャ エントリをクリックします。

2. セットアップ アシスタントの画面の指示に従って、ネットワーク フォルダを作成して共有します。
   セットアップ アシスタントは、自動的に HP デバイスに設定を保存します。また、各 HP デバイスに最大 10 個の宛先フォルダを設定できます。

[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] の設定を修正する

コンピュータ上の [PC ファクス受信] の設定は、ソリューション センターのファクス設定ページでいつでも更新できます。 [PC ファクス受信]

機能とファクス印刷機能は、デバイスのコントロール パネルからオフに設定できます。

デバイスのコントロール パネルから設定を変更するには

1. **[設定]** を押し、**[ファクスの基本設定]**、**[PC ファクス受信]** の順に選択します。
2. 変更する設定を選択します。 以下の設定を変更できます。
   - **[PC ホスト名の表示]**： [PC ファクス受信] を管理するために設定するコンピュータ名を表示します。
   - **[オフにする]**： [PC ファクス受信] をオフにします。

     注記 ソリューション センター を使って [PC ファクス受信] をオフにします。
   - **[ファクス印刷を無効にする]**： ファクスを受信したときに印刷する場合は、このオプションを選択します。 印刷をオフにしても、カラー ファクスは印刷されます。

ソリューション センターから [PC ファクス受信] 設定を変更するには (Windows)

1. Solution Center を開きます。 詳細については、HP ソリューション センターの使用 (Windows)を参照してください。
2. **[設定]**、**[ファクス設定]** を順に選択します。
3. **[PC ファクス受信の設定]** タブを選択します。
4. 必要に応じて、設定を変更します。 **[OK]** を押します。

   注記 変更すると、元の設定が上書きされます。

HP セットアップ アシスタントから [Mac にファクス] を変更するには

1. Dock の HP デバイス マネージャのアイコンをクリックします。

    注記 HP デバイス マネージャが Dock にない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、HP デバイス マネージャ エントリをクリックします。

2. セットアップ アシスタントの画面の指示に従って、ネットワーク フォルダを作成して共有します。
   セットアップ アシスタントは、自動的に HP デバイスに設定を保存します。また、各 HP デバイスに最大 10 個の宛先フォルダを設定できます。

PC ファクス受信または Mac にファクスをオフにします。

1. **[設定]** を押し、**[ファクスの基本設定]**、**[PC ファクス受信]** の順に選択します。
2. **[ファクス印刷を無効にする]** を選択します。

ファクス設定の変更

デバイスに付属の [セットアップ ガイド] の手順を実行した後、初期設定を変更したり、ファクスのその他のオプションを設定したりするには、次の手順に従います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクスのヘッダーの設定
- 応答モード (自動応答) の設定
- 応答までの呼び出し回数の設定
- 着信識別応答呼び出し音のパターンの変更
- ファクスのエラー補正モードの設定
- ダイヤル方式の設定
- リダイヤル オプションの設定
- ファクス速度の設定
- ファクス音量の設定

ファクスのヘッダーの設定

ファクスのヘッダーを使用すると、すべての送信ファクスの上部に名前とファクス番号が印刷されます。 デバイス用にインストールしたソフ

トウェアを使用して、ファクス ヘッダーを設定することをお勧めします。 ここに記されているとおり、デバイスのコントロール パネルからファクスのヘッダーを設定することもできます。

注記 一部の国または地域では、法令等によりファクスのヘッダー情報の明記が義務付けられています。

デバイスのコントロール パネルからファクス ヘッダーを設定または変更するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**ファクスの基本設定**] を押し、[**ファクスヘッダ**] を押します。
3. 数値キーパッドで個人名または会社名を入力し、**OK(O)** を押します。
4. キーパッドを使用してファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。

組み込み Web サーバからファクス ヘッダーを設定または変更するには

1. 組み込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[ファクスヘッダ]** と **[ファクス番号]** を入力します。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

応答モード (自動応答) の設定

応答モードでは、デバイスが電話の着信に自動で応答するかどうかを設定します。

- デバイスでファクスに [**自動的に**] 応答するには、**自動応答** をオンにします。 デバイスが、すべての受信電話とファクスに自動で応答します。
- ファクスに [**手動で**] 応答するには、**自動応答** をオフにします。 受信ファクスに応答するには、ユーザーが手動で受信操作をしなければなりません。この操作を行わないと、デバイスはファクスを受信しません。

デバイスのコントロール パネルで応答モードを手動または自動に設定するには

▲ **自動応答** を押して、希望の設定に合わせてランプのオン/オフを切り替えます。
自動応答 ランプが点灯している場合は、デバイスが自動的に応答します。 ランプが点灯していない場合、デバイスは着信への応答を行いません。

組み込み Web サーバで応答モードを手動または自動に設定するには

1. 組み込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[その他のファクス基本設定]** セクションの **[自動応答]** ドロップダウン メニューで **[オン]** または **[オフ]** を選択します。

応答までの呼び出し回数の設定

自動応答 設定をオンにした場合、デバイスが自動的に着信音に応答するまでの呼び出し回数を指定できます。

[**応答呼出し回数**]設定は、特にデバイスと同じ電話回線で留守番電話を使用している場合に重要です。デバイスが応答する前に留守番電話で応答する必要があるからです。デバイスが応答するより前に留守番電話が応答するようにするには、デバイスの応答呼び出し回数を留守番電話の応答呼び出し回数より大きくする必要があります。

たとえば、留守番電話の呼び出し回数を少なくし、デバイスの呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 デバイスがファクス受信音を検出した場合、デバイスはファクスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。

デバイスのコントロール パネルで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. **セットアップ** をタッチします。
2. [**ファクスの基本設定**]、[**応答呼び出し回数**] の順にクリックします。
3. キーパッドを使用して呼び出し回数を入力するか、左または右矢印ボタンを押して呼び出し回数を変更します。
4. **OK(O)** にタッチして設定します。

組み込み Web サーバで応答までの呼び出し回数を設定するには

1. 組み込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[その他のファクス基本設定]** セクションの **[応答呼び出し回数]** ドロップダウン メニューで回数を選択します。

着信識別応答呼び出し音のパターンの変更

注記 機能を使用する前に、上記のサービスについてお近くのサービス プロバイダに確認してください。

多くの電話会社から、1 本の電話回線に複数の電話番号を持てる着信識別音機能が提供されています。 この着信識別サービスでは、番号ごとに異なる呼び出し音のパターンが割り当てられます。 デバイスが特定の呼び出し音の着信に応答するように設定することができます。

着信識別音が設定されている電話回線にデバイスを接続する場合は、電話会社に音声着信の呼び出し音とファクス受信の呼び出し音を、それぞれ別に割り当ててもらいます。 ファクス番号には、2 回または 3 回の呼び出し音を割り当てることをお勧めします。 デバイスは、指定した呼び出し音のパターンを検出したときに、ファクスの受信を開始します。

着信識別サービスを使用していない場合は、デフォルトの呼び出し音パターン [**すべての呼び出し**] を使用してください。

注記 メインの電話番号の受話器が外れている場合、HP ファクスはファクスを受信できません。

デバイスのコントロール パネルで着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. デバイスがファクスの呼び出しに自動応答するよう設定されていることを確認します。
2. **セットアップ** を押します。
3. [**ファクスの詳細設定**] を押し、[**応答呼び出し音のパターン**] を押します。
4. 右矢印ボタンを押してオプションを選択し、**OK(O)** を押します。
   ファクス回線に割り当てられた呼び出し音で電話が鳴ると、デバイスは着信に応答して、ファクスを受信します。

組み込み Web サーバで着信識別応答呼び出し音のパターンを変更するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[応答呼出し音のパターン]** ドロップダウン メニューで、呼び出し音のパターンを選択して、**[適用]** ボタンをクリックします。

ファクスのエラー補正モードの設定

通常、デバイスは、ファクスの送受信時に電話回線上の信号を監視します。 エラー補正の設定がオンになっており、伝送中にエラー信号を検出した場合、デバイスはファクスの一部の再送信を要求することができます。

ファクスの送受信に問題がある場合や、伝送中のエラーを受け入れる場合にのみ、エラー補正をオフにしてください。 他の国や地域にファクスを送信するときや他の国や地域からファクスを受信するとき、または衛星電話回線を使用しているときに、この設定をオフにすると便利な場合があります。

デバイスのコントロール パネルでファクスのエラー補正モードを設定するには

▲ **ファクス** を押して [**ファクスの詳細設定**] メニューを開き、[**エラー補正モード**] オプションを使用します。

組み込み Web サーバでファクスのエラー補正モードを設定するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[エラー補正モード]** ドロップダウン メニューで **[オン]** または **[オフ]** を選択します。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

ダイヤル方式の設定

トーン ダイヤル モードまたはパルス ダイヤル モードに設定するには、次の手順に従います。 工場出荷時のデフォルトの設定は [**トーン**] です。 電話回線でトーン ダイヤルを使用できないことがわかっている場合以外は、この設定を変更しないでください。

注記 パルス ダイヤル オプションは、一部の国/地域では利用できません。

デバイスのコントロール パネルでダイヤル方式を設定するには

▲ セットアップ、[**ファクスの基本設定**] の順に押し、[**トーン、パルス選択**] オプションを使用します。

組み込み Web サーバでダイヤル方式を設定するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[トーン、パルス選択]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

リダイヤル オプションの設定

受信側のファクス機が応答しないか、ビジー状態であるためにデバイスがファクスを送信できなかった場合、デバイスはビジー リダイヤルまたは応答なしリダイヤル オプションの設定に応じてリダイヤルします。 このオプションのオンとオフを切り替えるには、次の手順に従います。

- **ビジー リダイヤル**： このオプションをオンにすると、デバイスはビジー信号を受信した場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オン**] です。
- **応答なしリダイヤル**： このオプションをオンにすると、デバイスは受信側のファクス機が応答しない場合に自動的にリダイヤルします。 このオプションの工場出荷時のデフォルトの設定は [**オフ**] です。

デバイスのコントロール パネルでリダイヤル オプションを設定するには

▲ セットアップ、[**ファクスの詳細設定**] の順に押して、[**ビジー リダイヤル**] または [**応答なし リダイヤル**] オプションを使用します。

組み込み Web サーバでリダイヤル オプションを設定するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[ビジー リダイヤル]** および **[応答なしリダイヤル]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

ファクス速度の設定

ファクスを送受信するときにデバイスと相手のファクス機の間で通信する、ファクス速度を設定することができます。 デフォルトのファクス速度は **[はやい]** です。

以下のサービスを使用している場合は、必要に応じて、ファクス速度の設定を遅くします。

- インターネット電話サービス
- PBX システム
- FoIP (Fax over Internet Protocol)
- ISDN (総合デジタル通信網) サービス

ファクスの送受信に問題がある場合は、[**ファクス速度**] 設定を [**標準**] または [**おそい**] に設定することをおすすめします。 次の表は、使用可能なファクス速度設定の一覧です。

ファクス速度の設定	ファクス速度
[**はやい**]	v.34 (33600 ボー)
[**標準**]	v.17 (14400 ボー)
[**おそい**]	v.29 (9600 ボー)

デバイスのコントロール パネルからファクス速度を設定するには

1. **[セットアップ]** を押します。
2. [**ファクスの詳細設定**] を選択し、[**ファクス速度**] を押します。
3. 矢印キーを使用してオプションを選択し、**[OK]** を押します。

組み込み Web サーバでファクス速度を設定するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[ファクス速度]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

ファクス音量の設定

この手順を使用してファクスの音量を調整することができます。

デバイスのコントロール パネルからファクス音のボリュームを設定するには

▲ **セットアップ** を押して **[ファクス音量]** を選択し、矢印キーで音量を大きくしたり、小さくしたりします。**OK(O)** を押して音量を選択します。

組み込み Web サーバでファクス音のボリュームを設定するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの基本設定]** をクリックします。
2. **[ファクス音のボリューム]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

短縮ダイヤルの設定

頻繁に使うファクス番号は、短縮ダイヤル エントリとして設定できます。そうすれば、デバイスのコントロール パネルからすぐにダイヤルすることができます。これらの送信先の最初の 3 つのエントリは、デバイスのコントロール パネルの 3 つの短縮ダイヤル ボタンに関連付けられます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定
- 短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

ファクス番号の短縮ダイヤル エントリまたはグループとしての設定

ファクス番号またはファクス番号のグループを短縮ダイヤル エントリとして保存することができます。短縮ダイヤル エントリ 1 ～ 3 は、デバイスのコントロール パネルの対応する短縮ダイヤル ボタンと関連付けられます。

設定される短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷については、短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 短縮ダイヤルの設定
- 短縮ダイヤル グループを設定する

短縮ダイヤルの設定

- **組み込み Web サーバ (ネットワーク接続)**： 組み込み Web サーバを開き、**[設定]** タブをクリックします。次に、左枠の **[ファクス短縮ダイヤル]** をクリックします。
  - エントリを追加するには：**[ファクス短縮ダイヤル エントリ]** セクションのフィールドに必要な情報を入力します。
  - エントリを編集するには：**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** セクションで、エントリの横の **編集** リンクをクリックします。
  - エントリを削除するには：**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** セクションで 1 つ以上のエントリを選択し、**削除** アイコンをクリックします。
- **HP ソリューション センター ソフトウェア (Windows)**:ソリューション センター を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファクス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  - エントリを追加または変更するには： [**個別の短縮ダイヤル**] または [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、矢印キーを押して未使用のエントリ番号に移動するか、キーパッドから番号を入力します。 ファクス番号を入力し、**OK(O)** を押します。 市外局番、PBX システム外の番号のアクセス コード (通常は 9 または 0)、長距離電話のプレフィックスなど、間隔や他の必要な番号を含めます。 名前を入力し、**OK(O)** を押します。
  - 1 つまたはすべてのエントリを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押します。

短縮ダイヤル グループを設定する

ファクス番号の同じグループに定期的に情報を送信する場合は、操作を簡略化するために、グループの短縮ダイヤル エントリを設定できます。 グループの短縮ダイヤル エントリは、デバイスのコントロール パネルの短縮ダイヤル ボタンに関連付けることができます。

短縮ダイヤルのグループにメンバーを追加するには、メンバーが短縮ダイヤル一覧にあらかじめ含まれている必要があります。各グループには

最大 48 個のファクス番号を追加でき、各ファクス番号には最大 55 文字を含めることができます。

• **HP ソリューション センター ソフトウェア (Windows)**:ソリューション センター を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
• **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファクス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
• **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** ボタンを押し、[**短縮ダイヤルの設定**] オプションを選択します。
  ◦ グループを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、登録されていない短縮ダイヤルを選択し、**OK(O)** を押します。 矢印キーを押して、短縮ダイヤル エントリを強調表示し、選択するために **OK(O)**を押します。 このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。 作業が終了した後、[**選択終了**] オプションを選択し、**OK(O)** を押します。 オンスクリーン キーボードでグループ短縮ダイヤルの名前を入力し、[**完了**] を選択します。
  ◦ グループにエントリを追加するには: [**グループ短縮ダイヤル**] を選択し、変更するグループ短縮ダイヤルを選択し、**OK(O)** を押します。 矢印キーで短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押して選択します。 このグループに追加短縮ダイヤルを追加するには、同じ手順を繰り返します。作業が終了したら、**OK(O)** を押します。
  ◦ グループを削除するには: [**短縮ダイヤルを削除**] を選択し、矢印キーで削除する短縮ダイヤルをハイライトし、**OK(O)** を押します。
• **組み込み Web サーバ (ネットワーク接続)**：組み込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ファクス短縮ダイヤル** をクリックします。**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** のエントリ数 (**26-50** など) が記載されたリンクをクリックします。
  ◦ グループを追加するには、**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]**で **[新規グループ]** をクリックし、一覧から個々のエントリを選択します。適切なグループ情報を入力し、**[適用]** をクリックします。
  ◦ グループを編集するには：**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** セクションで、エントリの横の **編集** リンクをクリックします。
  ◦ グループを削除するには：**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** セクションで 1 つ以上のグループを選択し、**削除** アイコンをクリックします。
  ◦ 完了したら、[**適用**] をクリックします。

短縮ダイヤル エントリ一覧の印刷と表示

設定済みのすべての短縮ダイヤル エントリの一覧は印刷または表示することができます。 一覧の各エントリには、次の情報が含まれます。

- 短縮ダイヤル番号 (最初の 5 つのエントリは、デバイスのコントロール パネルの 5 つの短縮ダイヤル ボタンに対応します)
- ファクス番号またはファクス番号のグループに関連付けられている名前
- ファクスの短縮ダイヤル一覧の場合は、ファクス番号 (またはグループのすべてのファクス番号)

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する
- 短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷する

短縮ダイヤル エントリの一覧を表示する

- **組み込み Web サーバ (ネットワーク接続)**：組み込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ファクス短縮ダイヤル** をクリックします。**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** のエントリ数 (**26-50** など) が記載されたリンクをクリックします。
  - グループを追加するには、**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]**で **[新規グループ]** をクリックし、一覧から個々のエントリを選択します。適切なグループ情報を入力し、**[適用]** をクリックします。
  - エントリを編集または削除するには、**[ファクス短縮ダイアル一覧]** でエントリを選択し **[編集]** リンクまたは **[削除]** アイコンを選択します。
  - グループを削除するには：エントリを選択して **削除** ボタンをクリックします。
  - 完了したら、[**適用**] をクリックします。
- **HP デバイス マネージャ (Mac OS X)[HP デバイス マネージャ]** を起動し、**[情報と設定]** をクリックして、ドロップダウン リストから **[ファクス短縮ダイヤル設定]** を選択します。
- **HP ソリューション センター (Windows)**：ソリューション センター を開き、オンスクリーン ヘルプの指示に従います。
- **コントロール パネル**： **[セットアップ]** ボタンを押し、**[短縮ダイヤルの設定]** を選択し、次に **[短縮ダイヤル一覧を印刷]** を選択します。

短縮ダイヤル エントリの一覧を印刷する

組み込み Web サーバ (ネットワーク接続)：組み込み Web サーバを開き、**設定** タブをクリックします。次に、左枠の **ファクス短縮ダイヤル** をクリックします。**[ファクス短縮ダイヤルエントリ]** のエントリ数 (**26-50** など) が記載されたリンクをクリックします。**[印刷]** ボタンをクリックします。

FoIP (Fax over Internet Protocol)

デバイスを使用して、インターネット経由でファクスを送受信できる低コスト電話サービスを利用できる場合があります。 この方法は、FoIP (Fax over Internet Protocol) と呼ばれます。 次のような場合は、(電話会社が提供する) FoIP サービスを使用しているはずです。

- ファクス番号と一緒に特別のアクセス コードをダイヤルしている
- インターネットに接続する IP コンバータ ボックスがあり、ファクス接続用のアナログ電話ポートがある

注記 電話コードをデバイスの "1-LINE" と書かれたポートに接続した場合だけファクスの送受信が可能です。 つまり、インターネット接続は、コンバータ ボックス (ファクス接続用に通常のアナログ電話ジャックを装備) または電話会社経由で行う必要があるということです。

一部のインターネット ファクス サービスでは、デバイスが高速 (33600bps) でファクスを送受信していると正常に動作しない場合があります。 インターネット ファクス サービスの使用中に、ファクスの送受信で問題が起きたら、ファクス速度を遅くしてください。 **[ファクス速度]** の設定を **[はやい]** (デフォルト) から **[標準]** にすれば、ファクス速度が遅くなります。 この設定の変更については、ファクス速度の設定を参照してください。

注記 インターネット ファクスについて質問がある場合は、インターネット ファクス サービス サポート部門、またはお近くのサービス プロバイダにお問い合わせください。

ファクス設定のテスト

ファクス設定をテストしてデバイスの状態を調べ、正常にファクス送信できるように設定されたことを確認することができます。 このテスト

は、デバイスのファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 テストの内容は次のとおりです。

• ファクスのハードウェアをテストする
• 正しい種類の電話コードがデバイスに接続されていることを確認する
• 電話線が正しいポートに接続されていることを確認する
• ダイヤル トーンを検出する
• アクティブな電話回線を検出する
• 電話回線の接続状態をテストする

テスト結果は、レポートとしてデバイスから印刷されます。 テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認し、テストを再実行してください。

デバイスのコントロール パネルからファクス設定をテストするには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、デバイスのファクス設定を行います。
2. テストを行う前に、インク カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. デバイスのコントロール パネルの **セットアップ** を押します。
4. [**ツール**] を選択し、[**ファクス テストを実行**] を選択します。
デバイスのディスプレイにテストの状態が表示され、レポートが印刷されます。
5. レポートの内容を確認します。
   • テストにパスしてもファクスの送受信に問題がある場合は、レポートに記載されているファクス設定をチェックして、正しく設定されているかどうかを確認します。 設定がブランクになっていたり、正しく設定されていなかったりすると、ファクスの送受信に問題が発生します。
   • テストにパスしなかった場合は、レポートで問題の解決方法を確認します。

組み込み Web サーバでダイヤル方式を設定するには

1. ご家庭や職場に適した設定方法で、デバイスのファクス設定を行います。
2. テストを行う前に、インク カートリッジを取り付け、給紙トレイに普通紙をセットします。
3. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス サービス]** をクリックします。

4. **[デバイス機能をテストする]** ドロップダウン メニューで **[ファクス テストを実行]** を選択します。
5. **[テストを実行]**ボタンをクリックします。

レポートの使用

ファクスの送受信のたびに、エラー レポートと確認のレポートを自動印刷するように、デバイスを設定できます。 必要に応じてシステム レポートを手動で印刷することもできます。これらのレポートには、デバイスに関する役に立つシステム情報が含まれています。

デフォルトの設定では、ファクスの送受信に問題があった場合にのみ、デバイスでレポートが印刷されます。 送受信するたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

注記 レポートが判読できない場合は、コントロール パネル、HP ソリューション センター (Windows)、または HP デバイス マネージャ (Mac OS X) で推定インクレベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインクカートリッジを交換する必要はありません。

注記 プリントヘッドとインク カートリッジが良好な状態で、正しく取り付けられていることを確認してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス確認レポートの印刷
- ファクス エラー レポートの印刷
- ファクス ログの印刷と表示
- ファクス ログの消去
- ファクス処理レポートの印刷
- 着信識別履歴の印刷

ファクス確認レポートの印刷

ファクスの送信に成功したことを示す確認メッセージを印刷する必要がある場合は、以下の手順に従って、ファクスを送信する**前に**、ファクス送受信の確認を有効にします。 **[送信]** または **[送受信]** を選択します。

デフォルトのファクス確認設定は、[**オフ**] です。 つまり、ファクスが送受信されるたびに確認レポートは印刷されません。 ただし、 送受信のたびに、ファクスの送受信に成功したかどうかを示す簡単な確認メッセージがコントロール パネルのディスプレイに表示されます。

デバイスのコントロール パネルからファクス送受信の確認を有効にするには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押し、[**ファクスの確認**] を押します。
3. 右矢印ボタンを押して次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を押します。

[**オフ**]	ファクスの送受信に問題がない時は、ファクス確認レポートを印刷しません。 これがデフォルト設定値です。
[**送信**]	ファクスの送信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[**受信**]	ファクスの受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。
[**送受信**]	ファクスの送受信ごとにファクス確認レポートを印刷します。

ヒント [**送信**] または [**送受信**] を選択して、メモリから送信するファクスをスキャンする場合は、ファクスの最初のページの画像を[**送受信の確認**] レポートに含めることができます。**セットアップ** を押して、[**ファクス送信レポートの画像**] を選択します。[**オン**] を選択して **OK(O)** を押します。

組み込み Web サーバからファクス送受信の確認を有効にするには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[ファクスの確認]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

ファクス エラー レポートの印刷

送受信中にエラーが起きたときにレポートを自動印刷するようにデバイスを設定できます。

デバイスがファクス エラー レポートを自動印刷するようにデバイスのコントロール パネルで設定するには

1. **セットアップ** を押します。
2. [**レポートの印刷**] を押し、[**ファクス エラー レポート**] を押します。
3. 右矢印ボタンを押して次のいずれかの設定を選択し、**OK(O)** を押します。

[**送受信**]	ファクス エラーが発生するたびに印刷されます。これがデフォルト設定値です。
[**オフ**]	ファクス エラー レポートは印刷されません。
[**送信**]	送受信エラーが発生するたびに印刷されます。
[**受信**]	受信エラーが発生するたびに印刷されます。

デバイスがファクス エラー レポートを自動印刷するように組み込み Web サーバで設定するには

1. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクスの詳細設定]** をクリックします。
2. **[ファクス エラー レポート]** ドロップダウン メニューで選択を行います。
3. **[適用]**ボタンをクリックします。

ファクス ログの印刷と表示

ログには、デバイスのコントロール パネルから送信されたファクスと、受信したファクスすべてが表示されます。

デバイスが送受信したファクスのログを印刷できます。 ログの各エントリには、次の情報が含まれます。

- 送受信の日付と時刻
- 種類 (受信または送信)
- ファクス番号
- 所要時間

• ページスウ
• 送受信の結果 (ステータス)

HP フォト イメージング ソフトウェアでファクス ログを表示するには

1. コンピュータで HP フォト イメージング ソフトウェアを開きます。 詳細については、HP フォト イメージング ソフトウェアを使用するを参照してください。
2. 詳細については HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
   ログには、デバイスのコントロール パネルと HP フォト イメージング ソフトウェアから送信されたファクスと、受信したファクスすべてが表示されます。

デバイスのコントロール パネルからファクス ログを印刷するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**レポートの印刷**] に移動し、**OK(O)** を押します。
3. 矢印キーを押して [**ファクス ログ**] に移動し、**OK(O)** を押します。
4. **OK(O)** を再び押してログを印刷します。

組み込み Web サーバでファクス ログを表示するには

▲ [**情報**] タブで、左枠の [**ログ**] をクリックし、[**ファクス ログ**] サブタブをクリックします。

ファクス ログの消去

次の手順でファクス ログを消去します。

デバイスのコントロール パネルからファクス ログを消去するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**ツール**] に移動し、**OK(O)** を押します。
3. 矢印キーを押して [**ファクス ログの消去**] に移動し、**OK(O)** を押します。

組み込み Web サーバでファクス ログを消去するには

1. **組み込み Web サーバ** (ネットワーク接続) : **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[ファクス オプション]** をクリックします。
2. **[ファクス ログの消去]** セクションで、**[クリア]** ボタンをクリックします。

ファクス処理レポートの印刷

ファクス処理レポートには、最近行ったファクス処理の詳細が印刷されます。レポートには、ファクス番号、ページ数、ファクスのステータスが記載されます。

ファクス処理レポートを印刷するには

1. デバイスのコントロール パネルにある **セットアップ** を押します。
2. 矢印キーを押して [**レポートの印刷**] に移動し、**OK(O)** を押します。
3. 矢印キーを押して [**最終の処理**] に移動し、**OK(O)** を押します。

着信識別履歴の印刷

次の手順で着信識別ファクス番号リストを印刷します。

着信識別履歴を印刷するには

1. **セットアップ** を押し、**プリンタ レポート**、**着信識別履歴** の順に選択します。
2. **OK(O)** を押します。

ファクスのキャンセル

送受信中のファクスはいつでもキャンセルすることができます。デバイスは、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。しばらく時間がかかる場合があります。

ファクスをキャンセルするには

▲ 送受信しているファクスを中止するには、デバイスのコントロール パネルで **キャンセル** を押します。 ファクスの送受信が停止しない場合は、**キャンセル** をもう一度押します。
デバイスは、既に印刷を開始したページをすべて印刷してから、残りのファクスをキャンセルします。 しばらく時間がかかる場合があります。

番号のダイヤルを中止するには

▲ ダイヤルを中止するには、**キャンセル** を押します。

7 コピー

高品質のカラー コピーおよびモノクロ コピーを、さまざまな種類やサイズの用紙で作成することができます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

注記 文書のコピー中にファクスを受信すると、受信したファクスはコピーが終了するまでデバイス メモリに保存されます。 これにより、メモリに保存されるファクス ページ数を削減できます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- コピーの作成
- コピー設定の変更
- コピー枚数の設定
- コピー用紙サイズの設定
- コピー用紙の種類の設定
- コピー速度と品質の変更
- レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更
- リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする
- コピーの濃淡の調整
- コピーの薄い部分を強調
- コピーの部単位で印刷
- コピーにマージンの変更を適用する
- 両面コピー
- コピー ジョブのキャンセル

コピーの作成

デバイスのコントロール パネルから高画質のコピーを作成できます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

コピーを作成するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。詳細については、原稿のセットをご覧ください。
3. 次のいずれかの操作を行います。
   - モノクロ コピーを行うには、**コピー スタート - モノクロ**または、**PC コピー 開始 - モノクロ** を押します。
   - カラー コピーを行うには、**コピー スタート - カラー**または、**PC コピー 開始 - カラー** を押します。

注記 カラー原稿の場合は、**コピー スタート - モノクロ**または、**PC コピー 開始 - モノクロ** を押すとモノクロ コピーになり、**コピー スタート - カラー**または、**PC コピー 開始 - カラー** を押すとフルカラー コピーになります。

注記 Macintosh コンピュータを使用している場合は、コンピュータでコピーのプレビューについて確認してください。必要に応じてプレビュー画像を編集し、**[適用]** をクリックしてコピーを印刷します。

コピー設定の変更

コピー設定をカスタマイズすると、ほぼすべてのコピーに対応することができます。

コピー設定を変更しても、その変更は現在のコピー操作にのみ反映されます。 今後すべてのコピー操作にその設定を適用するようにするには、その変更をデフォルトとして設定する必要があります。

現在の設定を今後も使用できるようにデフォルトとして保存するには

1. **コピー**を押して、メニューの設定に必要な変更を加えます。
2. **コピー** を押し、[**新しいデフォルトに設定**] が表示されるまで矢印キーを押します。
3. 矢印キーを押して [**はい**] を選択し、**OK(O)** を押します。

コピー枚数の設定

デバイスのコントロール パネルの [**コピー枚数**] オプションを使用して、印刷するコピー枚数を設定できます。

デバイスのコントロール パネルからコピー枚数を設定するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。詳細については、原稿のセットをご覧ください。
3. [**コピー枚数**] が表示されるまで、繰り返し **コピー** を押します。または、**コピー枚数** を押します。
4. ▶ を押すか、キーパッドを使用して、コピー枚数を入力します

   ヒント 矢印ボタンを押し続けるとコピー枚数が 5 枚ずつ増えるので、コピー枚数が多い場合に便利です。

5. **コピー スタート - モノクロ**、**PC コピー 開始 - モノクロ**、**コピー スタート - カラー**または、**PC コピー 開始 - カラー** を押します。

コピー用紙サイズの設定

デバイスで用紙サイズを設定できます。 用紙サイズは、給紙トレイにセットした用紙に合わせて設定します。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

デバイスのコントロール パネルから用紙サイズを設定するには

1. [**コピー用紙サイズ**]が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
2. 適切な用紙サイズが表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピー用紙の種類の設定

デバイスで用紙の種類を設定できます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

デバイスのコントロール パネルからコピー用紙の種類を設定するには

1. [**用紙の種類**]が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
2. 適切な用紙の種類が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
3. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

次の表を参照して、給紙トレイにセットされている用紙に対応する用紙の種類の設定を選択してください。

注記 選択した用紙サイズが対応していない用紙の場合、その用紙は一覧に表示されません。用紙の種類の一覧を更新するには、用紙サイズを変更します。

コピー速度と品質の変更

デバイスには、コピーの速度と品質に関する 3 つのオプションがあります。

- **高画質**(3 つ星) は、各種用紙をより美しく印刷し、塗りつぶし領域に縞模様が出ないように仕上げます。 **高画質**は、他の品質設定よりもコピー時間がかかります。
- **標準**(2 つ星) は、ほとんどのコピーに適した、高画質な出力設定です。 **標準**は、**高画質**よりも短時間でコピーできます。 これがデフォルト設定値です。
- **はやい** (1 つ星) は **標準** 設定より短時間でコピーできます。文字の印刷品質は **標準** 設定と変わりませんが、グラフィックスの品質はやや低下します。**はやい** 設定でコピーをすると、インクの消費量が少ないので、インク カートリッジの寿命が延びます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

デバイスのコントロール パネルからコピー品質を変更するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿はガラス面に原稿を下に向けてセットするか、ADF にセットします。
3. コピー 領域で、適切な品質設定が点灯するまで **品質** を繰り返し押します。
4. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

注記 一部のモデルでは、[高画質] を選択して、メディアをフォト メディアに設定すると、最高品質でコピーされます。

レターまたは A4 用紙に合わせて原稿のサイズを変更

原稿の画像や文字がページ全体に配置されて、余白がない場合は、[**用紙適合**] または [**ページ全体 91%**] を使用すると、原稿を縮小でき、端の文字や画像が不必要にトリミングされることを防ぐことができます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

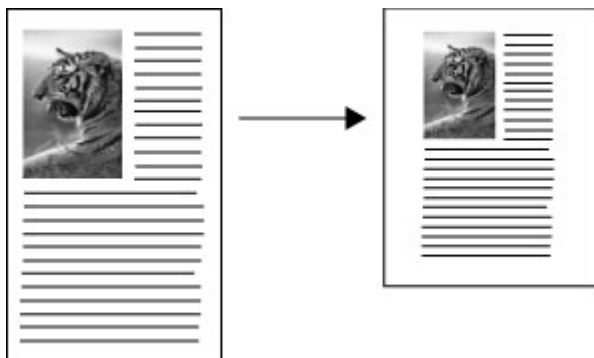
ヒント また、[**用紙適合**] で用紙サイズの印刷可能領域内に合わせて、小さな写真を拡大することもできます。 ただし、原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端をトリミングせずに拡大するため、用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

デバイスのコントロール パネルから文書のサイズを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。
3. **縮小/拡大**が表示されるまで、**コピー**を押します。
4. [**ページ全体 91%**] が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ**、**PC コピー 開始 - モノクロ**、**コピー スタート - カラー**または、**PC コピー 開始 - カラー** を押します。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーする

[**リーガル>レター 72%**] 設定を使用して、レター用紙に合うようにリーガルサイズの文書のコピーを縮小できます。

注記 例に表示されている倍率は [**リーガル>レター 72%**]、ディスプレイの表示とは一致しない場合があります。

リーガル サイズの文書をレター用紙にコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 自動ドキュメント フィーダに原稿をセットします。
3. **縮小/拡大**が表示されるまで、**コピー**を押します。
4. [**リーガル>レター 72%**]が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
5. **コピー スタート - モノクロ**、**PC コピー 開始 - モノクロ**、**コピー スタート - カラー**または、**PC コピー 開始 - カラー** を押します。

コピーの濃淡の調整

[**薄く/濃く**] オプションを使用すると、コピーのコントラストを調整できます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

デバイスのコントロール パネルからコピーのコントラストを調整するには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. 原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。
3. [**薄く/濃く**]が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
4. 次のいずれかの操作を行います。
   • ▶ を押して、コピーを濃くします。
   • ◀ を押して、コピーを薄くします。
5. **コピー スタート - モノクロ** または **コピー スタート - カラー** を押します。

コピーの薄い部分を強調

[**写真**] 強調を使用すると、白に見えてしまう薄い色を強調することができます。 [**写真**] 強調でコピーするときに起こりやすい次のような問題を解消または軽減するには、[**文字**] 強調を使用するのも有効です。

• コピー上で色のドットが文字の回りにはみ出している。
• 大きいモノクロ文字がまだらで、なめらかでない。
• カラーの細かい図または線に、黒い部分がある。
• ライト グレーからミディアム グレーの部分に、グレーがかったまたは白い帯状の横線が現れる。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

デバイスのコントロール パネルから露出過度の写真をコピーするには

1. 用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。
2. スキャナのガラス面に原稿を下に向けてセットします。原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。
3. [**強調**]が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
4. [**写真**] 補正設定が表示されるまで ▶ を押し、**OK(O)** を押します。
5. **コピー スタート - カラー**を押します。

コピーの部単位で印刷

注記 丁合いは一部のモデルでのみ使用できます。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

丁合い機能を使用すると、自動ドキュメント フィーダー (ADF) に読み取られる順番どおりに部単位でコピーを作成することができます。すべてのコピーは印刷前にデバイス メモリに読み取られます。

注記 読み取りおよび丁合い可能な最大ページ数は、モデルにより異なります。文書が大きすぎる場合は、いくつかのジョブに分割してください。

注記 用紙サイズが [自動] に設定されている場合、コントロール パネルに設定された地域により、用紙はレター サイズ、または A4 サイズに設定されます。レター サイズも A4 サイズも使用しない場合は、用紙設定を手動で変更する必要があります。用紙の種類が [自動] に設定されている場合、コピー用紙の種類は [普通紙] がデフォルトになります。普通紙を使用しない場合は、用紙の種類を手動で変更する必要があります。

コントロール パネルからコピーを部単位で印刷するには

1. ADF に原稿をセットします。詳細については、原稿のセットをご覧ください。
2. **部単位で印刷** が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
3. **[オン]** 設定が表示されるまで ▶ を押し、 **OK(O)** を押します。

コピーにマージンの変更を適用する

余白の変更を使用すると、綴じ込み印刷や 3 穴パンチが使用できるように、コピーした画像をページ上で移動させることができます。画像は右に 3/8 インチずつ移動します。

注記 「余白の変更」機能ではコピーした画像が縮小されないため、画像の右端が切り取られる場合があります。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

コントロール パネルから余白の変更を適用するには

1. 原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。詳細については、原稿のセットをご覧ください。
2. **部単位で印刷** が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
3. **[オン]** 設定が表示されるまで ▶ を押し、 **OK(O)** を押します。

両面コピー

注記 両面コピー機能は一部のモデルでのみ使用できます。両面コピー機能を使用できない場合、このオプションは表示されません。

両面コピー機能を使用すると、用紙の両面にコピー印刷することができます。これは、フラットベッド スキャナまたは ADF を使用して行われます。

注記 フラットベッド スキャナからコピーする場合、次のページをセットするタイミングが画面に表示されます。

両面コピー機能は、小さなサイズのメディアには対応していません。

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、この設定は利用できません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

コントロール パネルで両面コピーするには

1. 原稿はスキャナのガラス面に下に向けてセットするか、ADF にセットします。詳細については、原稿のセットをご覧ください。
2. **両面** が表示されるまで、繰り返し**コピー**を押します。
3. ▶ を押して **[片面]** または **[両面]** を選択して、**OK(O)** を押します。

コピー ジョブのキャンセル

コピーを中止するには、デバイスのコントロール パネルの **キャンセル** を押します。

8 構成と管理

このセクションは、デバイスを管理する管理者および担当者を対象としています。 このセクションでは、次のトピックについて説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスの管理
- デバイス管理ツールの使用
- プリンタ ステータス ページの理解
- ネットワーク設定ページの理解
- ネットワーク オプションの構成
- デバイスのファクス機能のセットアップ
- デバイスの構成 (Windows)
- デバイスの設定 (Mac OS X)
- デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)
- ソフトウェアのアンインストールと再インストール

デバイスの管理

次は、デバイス管理に使用する一般的なツールの一覧です。 これらのツールへのアクセスと使用情報については、デバイス管理ツールの使用を参照してください。

注記 特定の手順には、他の方法が含まれる場合があります。

Windows

- デバイスのコントロール パネル
- プリンタ ドライバ
- ツールボックス
- ネットワーク ツールボックス
- 組み込み Web サーバ

Mac OS X

- デバイスのコントロール パネル
- HP デバイス マネージャ
- HP プリンタ ユーティリティ
- 組み込み Web サーバ

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• デバイスの監視
• デバイスの管理

デバイスの監視

このセクションには、デバイスの監視手順が記載されています。

使用するツール	次の情報を取得
デバイスのコントロール パネル	処理中のジョブの状態、デバイスの動作状態、インク カートリッジの状態に関する情報を取得します。
組み込み Web サーバ	• **プリンタ ステータス情報**：**[情報]** タブをクリックし、左枠の選択をクリックします。 • **累計インクとメディア使用量**：**[情報]** タブをクリックし、左枠の **[使用状況レポート]** をクリックします。
ツールボックス (Windows)	**インク カートリッジ情報**：**[推定インク レベル]** タブをクリックしてインク残量情報を表示し、スクロールして **[カートリッジの詳細]** ボタンを表示します。**[カートリッジの詳細]** ボタンをクリックしてプリント カートリッジと使用期限に関する情報を表示します。
ネットワーク ツールボックス	ネットワーク設定を表示ツールボックス で **[ネットワーク設定]** タブをクリックします。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)	**インク カートリッジ情報**：**[情報とサポート]** パネルを開いて、**[サプライ品ステータス]** をクリックします。 *
HP ソリューション センター	デバイスの現在のステータス。

* インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。

印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

デバイスの管理

このセクションには、デバイスの管理と設定の変更についての情報が記載されています。

使用するツール	操作内容
デバイスのコントロール パネル	• **言語と国/地域**： **セットアップ** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 国/地域が不明な場合は、「99」を押し、リストから目的の国/地域を探します。 • **サウンドエフェクトのボリューム**： **セットアップ** を押し、[**基本設定**] メニューを開きます。 • **ファクス音のボリューム**： **セットアップ** を押し、[ファクスの基本設定]で**[ファクス音のボリューム]** を選択します。 • **自動レポート印刷**： **セットアップ** を押し、[**レポートの印刷**] メニューを開きます。 • **ダイヤル方式の設定**： **セットアップ** を押し、[**ファクスの基本設定**] メニューを開きます。 • **リダイヤル オプションの設定**：**セットアップ** を押し、[**ファクスの詳細設定**] メニューを開きます。 • **日付と時刻の設定**： **セットアップ** を押し、[**ツール**] を押して、[**日付と時刻**] を押します。
組み込み Web サーバ	• **組み込み Web サーバのパスワードの設定**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[セキュリティ]** をクリックします。 • **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[設定]** タブをクリックし、左枠から **[デバイスサービス]** をクリックします。

(続き)

使用するツール	操作内容
	• **言語または国/地域**：**[設定]** タブをクリックし、左枠から **[国際]** をクリックします。 • **ネットワーク構成を設定する**： **[ネットワーキング]** タブをクリックし、左枠のオプションをクリックします。 • **サプライ品の注文**： 任意のタブで、**[サプライ品の注文]** ボタンをクリックし、画面の指示に従います。 • **サポート**： 任意のタブで、**[サポート]** ボタンをクリックし、画面の指示に従います。 • **日付と時刻の設定**：**[設定]** タブをクリックし、左枠の **[日時]** をクリックし、フィールドに必要な値を入力して、**[適用]** をクリックします。
ツールボックス (Windows)	• **デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[サービス]** タブをクリックします。 • **ネットワークの設定**：**[ネットワーク]** タブをクリックし、ボタンをクリックして [ネットワーク ツールボックス] を起動します。

(続き)

使用するツール	操作内容
ネットワーク ツールボックス	ネットワーク設定の表示と変更。[ツールボックス] から **[ネットワーク設定]** タブをクリックします。 • **設定の変更**：**[設定の変更]** ボタンをクリックします。 • **ネットワーク診断の実行** (ネットワーク プリンタ接続確認)： 　◦ プリンタが接続されていない場合、**[設定の変更]**、**[ネットワーク診断を実行]** の順にクリックします。 　◦ プリンタが接続されている場合、ツールボックスが開いたら、**[ユーティリティ]** タブ、**[ネットワーク診断を実行]** の順にクリックします。 • **プリンタの IP アドレスの変更**：**[ネットワーク設定]** タブで、接続により、**[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして、**[IP 設定]** を編集し、**[OK]** をクリックします。 • **プリンタの DNS 設定の変更**：**[ネットワーク設定]** タブで、接続により、**[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして、**[DNS 設定]** を編集し、**[OK]** をクリックします。 • **ワイヤレス ネットワーク テスト レポートを印刷**：**[ネットワーク設定]** タブで、**[ユーティリティ]** タブをクリックし、**[ワイヤレス ネットワーク テスト レポートを印刷]** をクリックします。
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)	**デバイスのメンテナンス作業の実行**： **[情報とサポート]** パネルを開き、 実行する作業のボタンをクリックします。

デバイス管理ツールの使用

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ツールボックス (Windows)
- HP ソリューション センターの使用 (Windows)
- 組み込み Web サーバ
- HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)
- HP デバイス マネージャの使用 (Mac OS X)

ツールボックス (Windows)

ツールボックスでは、デバイスのメンテナンス情報が提供されます。

注記 コンピュータがシステム要件を満たしている場合、ツールボックスは、フル インストール オプションを選択してスタータ CD からインストールできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ツールボックスを開く
- ツールボックス タブ
- ネットワーク ツールボックス

ツールボックスを開く

- HP Solution Center で、**[設定]** メニューをクリックし、**[印刷設定]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックス]** をクリックします。
- タスクバーの [HP Digital Imaging Monitor] を右クリックし、**[プリンタ モデル名]** をポイントして、**[プリンタ ツールボックスの表示]** をクリックします。
- [印刷設定] から、**[機能]** タブ、**[プリンタ サービス]** の順にクリックします。

ツールボックス タブ

ツールボックスには、次のタブが含まれます。

タブ	内容
推定インク レベル	• **インク量情報**：各カートリッジの予想インク量が表示されます。 **注記** インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。 • **オンライン ショップ:** デバイスの印刷サプライ品をオンラインで注文できる Web サイトにアクセスできます。 • **カートリッジダイヤル**： デバイスのサプライ品を注文するための電話番号が表示されます。 一部の国/地域では電話番号が表示されません。 • **カートリッジの詳細**： セットされているインク カートリッジの製品番号を示します。
サービス	• **プリンタ ステータス レポートを印刷**： デバイスのプリンタ ステータス ページを印刷します。このページにはデバイスとインク カートリッジに関する情報が記載されます。詳細については、プリンタ ステータス ページの理解をご覧ください。 • **プリントヘッドの調整**： プリントヘッドの調整方法をガイドします。詳細については、プリンタを調整するをご覧ください。 • **プリントヘッドのクリーニング**：プリントヘッドのクリーニング方法をガイドします。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするをご覧ください。

(続き)

タブ	内容
ネットワーク **注記** [ネットワーク] タブは、デバイスにアクティブなネットワーク、またはワイヤレス接続がある場合のみ表示されます。	[ネットワーク] タブには、現在アクティブなネットワーク設定が表示されます。**[設定の変更...]** をクリックして、[ネットワーク ツールボックス] を開き、ネットワーク設定を変更して、診断テストを実行します。

ネットワーク ツールボックス

[ネットワーク ツールボックス] では、一部のネットワーク設定の表示と変更が行えます。IP アドレスの変更、ワイヤレスのオン/オフ、テストの実行、およびレポートの印刷が行えます。

[ネットワーク ツールボックス] を開くには

1. ツールボックスを開く
2. **[ネットワーク 設定]** タブをクリックします。
3. **[設定を変更...]**ボタンをクリックします。

[ネットワーク ツールボックス] タブ

1. **[全般]**：プリンタの現在のネットワーク接続設定を表示します。
2. **[ワイヤ]**設定：ユーザーに、有線接続に対する IP 設定と DNS サーバの変更を許可します。
3. **[ワイヤレス]** 設定 (プリンタが、ワイヤレス接続をサポートしている場合のみ)：ユーザーにワイヤレスのオン/オフ、および IP アドレス、または DNS サーバの変更を許可します。
4. **[ユーティリティ]**：
   a. **[ネットワーク診断の実行]** - ネットワーク トラブルシューティングを実行します。
   b. **[ワイヤレス ネットワーク テスト レポートを印刷]** - ワイヤレス機能を持つプリンタのみ
   c. **[ワイヤレス ネットワーク チュートリアルを表示]** - ワイヤレス機能を持つプリンタのみ
   d. **[ワイヤレス ネットワーク FAQ を表示]** - ワイヤレス機能を持つプリンタのみ

HP ソリューション センターの使用 (Windows)

Windows コンピュータでは、HP Solution Center が HP ソフトウェアのエントリ ポイントです。HP Solution Center を使用すると、印刷設

定の変更、サプライ品の注文、オンスクリーン ヘルプへのアクセスができます。

HP Solution Center で使用できる機能は、取り付けたデバイスによって異なります。 HP Solution Center は、選択したデバイスに関連するアイコンを表示するようにカスタマイズされます。 選択したデバイスに特定の機能が搭載されていない場合、その機能のアイコンは HP Solution Center に表示されません。

ソリューション センターを開くには、以下のいずれかの方法を使用します。

デスクトップのソリューション センター アイコンをダブルクリックします。
-または-
タスクバーの Digital Imaging Monitor アイコンをダブルクリックします。

組み込み Web サーバ

デバイスがネットワークに接続されている場合、組み込み Web サーバを使用してコンピュータからステータス情報の表示、設定の変更、およびデバイスの管理などを行うことができます。

注記 組み込み Web サーバのシステム必要条件のリストについては、組み込み Web サーバの仕様 を参照してください。

パスワードが必要となり、制限される設定もいくつかあります。

インターネットに接続しなくても、組み込み Web サーバを開いて使用できます。ただし、一部の機能は使用できません。

EWS が信頼できないサイトであるという告知が表示される場合があります。このメッセージをクリックすると、EWS に入れます。

組み込み Web サーバ (EWS) は、ユーザーの閲覧時にごく小さなテキスト ファイル (cookie) をハードドライブに置きます。これらのファイルにより EWS は次回アクセス時にユーザーのコンピュータを認識することができます。たとえば、EWS の言語を設定した場合、どの言語を選択したかを cookie が記憶しておくため、EWS を次回開くときにその言語が表示されます。一部の cookie (選択した言語を記憶しておく cookie など) は各セッションの終了時に消去されますが、その他のもの (ユーザー固有の設定を記憶する cookie など) は手動で消去するまでコンピュータ上に保存されます。

すべての cookie を受け入れるようにブラウザを構成することができますが、cookie を使用するたびにユーザーに通知するようにブラウザを構成すれば、cookie ごとに受け入れる cookie と拒否する cookie を決定することができます。また、ブラウザを使用して不要な cookie を削除することもできます。

注記 ご使用のデバイスによっては、cookie を無効に設定した場合、以下の機能も無効になります。

- EWS ブラウザの言語設定を記憶する
- 既存のページを自動リフレッシュする
- アプリケーションの中断した箇所から始める (セットアップ ウィザード実行時に特に有効)
- 自分が変更している最中に同じ設定を他のユーザーに変更されないようにする

個人情報と cookie 設定の変更方法、および cookie の表示または削除方法については、お使いの Web ブラウザのマニュアルを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 組み込み Web サーバを開くには
- 組み込み Web サーバのページ

組み込み Web サーバを開くには

組み込み Web サーバは、次の方法で開くことができます。

注記 プリンタ ドライバ (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) から組み込み Web サーバを開くには、デバイスがネットワークに接続され、IP アドレスが割り当てられている必要があります。

- **Web ブラウザ** : コンピュータでサポートされている Web ブラウザで、デバイスに割り当てられている IP アドレスまたはホスト名を入力します。
  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを Web ブラウザに入力します。http://123.123.123.123。
  デバイスの IP アドレスとホスト名は、ワイヤレス ステータス レポートに表示されています。詳細については、ネットワーク設定ページの理解をご覧ください。
  組み込み Web サーバを開いた後、お気に入りに保存すると、後からすばやく開くことができます。
- **Windows タスクバー** : HP Digital Imaging Monitor アイコンを右クリックし、表示するデバイスをポイントし、**[Network Settings (EWS)]** をクリックします。
- **Windows Vista** : プリンタのアイコンを右クリックし、[**デバイス Web ページ**] を選択します。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)** : **[プリンタ設定]** パネルで、**[その他の設定]** をクリックし、**[組み込み Web サーバを開く]** ボタンをクリックします。

組み込み Web サーバのページ

組み込み Web サーバには、製品情報を表示したりデバイス設定を変更できるページがあります。 ページには、別の E-サービスへのリンクも含まれています。

ページ/ボタン	**内容**
[情報] ページ	デバイス、インク サプライ品と使用状況についてのステータス情報、およびデバイス イベント (エラーなど) のログが表示されます。
[設定] ページ	構成済みの設定を表示し、内容を変更することができます。設定を保存しておき、設定を紛失した場合に復元することもできます。
[ネットワーキング] ページ	ネットワーク ステータスとデバイスに構成されたネットワーク設定が表示されます。 これらのページは、デバイスがネットワーク接続されている場合にしか表示されません。 詳細について

(続き)

ページ/ボタン	内容
	は、ネットワーク オプションの構成を参照してください。
[サポート] および [サプライ品の注文] ボタン	**[サポート]** は、サポート サービス数を提供します。 **[サプライ品の注文]** ボタンで、サプライ品のオンライン注文に接続できます。

HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)

HP プリンタ ユーティリティには、プリント設定の構成、デバイスの位置調整、サプライ品のオンライン注文、および Web サイトのサポート情報の検索などのツールが含まれています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- HP プリンタ ユーティリティを開く
- HP プリンタ ユーティリティ パネル

HP プリンタ ユーティリティを開く

HP デバイス マネージャから HP プリンタ ユーティリティを開くには

1. Dock の HP デバイス マネージャのアイコンをクリックします。

   注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします。

2. **[情報と設定]** メニューから、**[プリンタの保守]** を選択します。
3. HP デバイスを選択し、**[コントロール キー]** をクリックします。

HP プリンタ ユーティリティ パネル

情報とサポート パネル

- **サプライ品ステータス**： セットされているインク カートリッジに関する情報を示します。
- **デバイス情報**： デバイスのモデル番号とシリアル番号についての情報が表示されます。 このページにはデバイスとサプライ品についての情報が表示されます。
- **クリーニング**： プリントヘッドのクリーニング方法をガイドします。
- **調整**： プリントヘッドの調整方法をガイドします。
- **HP サポート**： HP Web サイトにアクセスし、デバイスのサポート、デバイスの登録、および使用済みのプリント サプライ品の返品とリサイクルについての情報を表示できます。

HP デバイス マネージャの使用 (Mac OS X)

Macintosh コンピュータで HP デバイス マネージャ ソフトウェアを起動するには

1. Dock の HP デバイス マネージャのアイコンをクリックします。

   注記 アイコンが Dock に表示されない場合は、メニュー バー右側の [スポットライト] アイコンをクリックして、ボックスに「HP デバイス マネージャ」と入力し、**[HP デバイス マネージャ]** エントリをクリックします。

2. **[デバイス]** ドロップダウン メニューでデバイスを選択します。
   ここで、ソフトウェア アップデートの確認、ソフトウェア オプションの設定、およびインク カートリッジのインク残量の確認などの保守作業を実行することができます。

   注記 Macintosh コンピュータの場合、HP デバイス マネージャで使用できる機能は選択したデバイスによって異なります。

   インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インクの警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のインク カートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

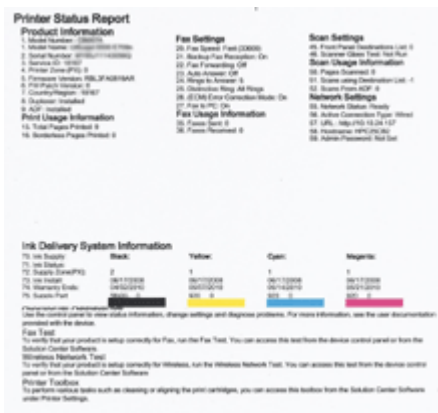
   ヒント HP デバイス マネージャが起動したら、Dock で、HP デバイス マネージャ用のアイコンを選択し、その上にマウスを置いた状態にすると、Dock メニューのショートカットにアクセスすることができます。

プリンタ ステータス ページの理解

プリンタ ステータス ページの用途：

- 現在のデバイス情報とインク カートリッジの状態の確認
- 問題のトラブルシューティング

プリンタ ステータス ページには、最近起きたイベントの記録も含まれます。

HP に問い合わせるとき、事前にプリンタ ステータス ページを印刷しておくと、問題の解決に役立ちます。

- **プリンタ情報**：デバイス情報 (製品名、モデル番号、シリアル番号、およびファームウェア バージョン番号など)、取り付けられているアクセサリ (両面印刷ユニットなど)、およびトレイとアクセサリから印刷されたページ数が表示されます。
- **インク カートリッジ ステータス**：推定インク レベル (グラフィックスによって表示)、製品番号、およびインク カートリッジの有効期限が表示されます。

プリンタ ステータス ページを印刷するには

- **デバイスのコントロール パネル**： **セットアップ** を押して、[**レポートの印刷**]、[**プリンタ ステータス**] の順に選択し、**OK(O)** を押します。
- **ツールボックス (Windows)**： **[サービス]** タブをクリックし、**[テスト ページの印刷]** をクリックします。
- **HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)**： **[情報とサポート]** パネルの **[デバイス情報]** をクリックし、**[構成ページの印刷]** をクリックします。

ネットワーク設定ページの理解

デバイスがネットワークに接続されている場合は、ネットワーク設定ページを印刷してデバイスのネットワーク設定を表示できます。 ネットワーク設定ページは、ネットワーク接続に関する問題のトラブルシュー

ティングに役立ちます。 HP に連絡する場合は、電話をする前にこのページを印刷すると役立ちます。

ネットワーク設定ページ

1. **一般情報**： ネットワークの現在の状態とアクティブな接続タイプに関する情報と、組み込み Web サーバの URL などのそれ以外の情報が表示されます。
2. **802.3 有線 LAN**： IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイなどのアクティブなワイヤード ネットワーク接続に関する情報と、デバイスのハードウェア アドレスが表示されます。
3. **802.11 ワイヤレス**： IP アドレス、通信モード、ネットワーク名、認証タイプ、信号強度などの、アクティブなワイヤレス ネットワーク接続に関する情報が表示されます。
4. **mDNS**：アクティブな Multicast Domain Name System (mDNS) 接続に関する情報を表示します。mDNS サービスは主に、従来の DNS サーバーが使用されていない小規模なネットワークで (UDP ポート 5353 を介した) IP アドレスと名前の解決に使用されます。
5. **SLP**：現在使用している Service Location Protocol (SLP) 接続に関する情報を表示します。 SLP は、デバイス管理のために、ネットワーク管理アプリケーションが使用します。 このデバイスは、IP ネットワーク上の SNMPv1 プロトコルをサポートします。

デバイスのコントロール パネルからネットワーク設定ページを印刷するには

セットアップ ボタンを押し、[**ネットワーク設定**] を選択し、[**ネットワーク設定ページの印刷**] を選択し、**OK(O)** を押します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

ネットワーク オプションの構成

次のセクションで説明する手順に従って、デバイスのコントロール パネルでデバイスのネットワーク設定を管理することができます。また、組み込み Web サーバを使用すればより詳細なネットワーク設定を行うことができます。この Web サーバは既存のネットワーク接続を使用して Web ブラウザからアクセスできるネットワーク構成およびステータス ツールです。詳細については、組み込み Web サーバをご覧ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 基本的なネットワーク設定の変更
- 詳細なネットワーク設定の変更

基本的なネットワーク設定の変更

コントロール パネルのオプションを使用して、ワイヤレス接続の設定や管理を行ったり、さまざまなネットワーク管理タスクを実行したりできます。 このタスクには、ネットワーク設定の表示、ネットワークのデフォルト設定の復元、ワイヤレスのオン・オフ設定、ネットワーク設定の変更などが含まれます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワーク設定の表示と印刷
- ワイヤレスをオン/オフにする (一部のモデルのみ)

ネットワーク設定の表示と印刷

デバイスのコントロール パネルか [ネットワーク ツールボックス] に各種ネットワーク設定を表示することができます。詳細ネットワーク設定ページを印刷できます。ネットワーク設定ページには、IP アドレス、リンク速度、DNS、mDNS など、重要なネットワーク設定が一覧表示

されます。ネットワーク設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**レポートの印刷**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. [**ネットワーク設定**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。

ワイヤレスをオン/オフにする (一部のモデルのみ)

ワイヤレスはデフォルトでオンに設定されています。ワイヤレスがオンの場合は、デバイス前面のブルーのインジケータが点灯します。 ワイヤレス ネットワークへの接続を保つには、無線を常にオンにしておく必要があります。 しかし、デバイスが有線ネットワークに接続されていたり、USB で接続されている場合は、無線は使用されません。 この場合、無線をオフにしておくことをお勧めします。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク設定**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. ワイヤレスをオンにするには、[**ワイヤレスラジオ**] を選択し、[**はい**] を選択します。オフにするには、[**いいえ**] を選択します。

詳細なネットワーク設定の変更

必要に応じて、ネットワークを詳細に設定することができます。ただし、ネットワーク管理に詳しくない場合は、これらの設定を変更しないでください。詳細設定には、[**リンク速度**]、[**IP 設定**]、および[**デフォルト ゲートウェイ**] があります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- リンク速度の設定
- IP 設定を表示するには
- IP 設定を変更するには

リンク速度の設定

ネットワーク上でのデータ送信速度を変更することができます。 デフォルトの設定は [**自動**] です。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。

3. [**詳細設定**] を選択し、[**接続速度**] を選択します。
4. リンク速度の横の、お使いのネットワーク機器と一致する番号を押します。
   - [**1. 自動**]
   - [**2. 10 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**3. 10 Mb/sec 半二重通信**]
   - [**4. 100 Mb/sec 全二重通信**]
   - [**5. 100 Mb/sec 半二重通信**]

IP 設定を表示するには

デバイスの IP アドレスを表示するには :

- ネットワーク構成ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解をご覧ください。
- または、[ネットワーク ツールボックス] (Windows) を開き、**[ネットワーク設定]** タブで、**[ワイヤード]** または **[ワイヤレス]** タブをクリックして (現在の接続により)、**[IP 設定]** をクリックします。

IP 設定を変更するには

デフォルトの IP 設定は [**自動**] で、IP 設定を自動的に行いますが、ネットワーク管理に詳しい場合は、IP アドレス、サブネット マスク、またはデフォルト ゲートウェイなどを手動で変更できます。

△ **注意** IP アドレスを手動で割り当てる場合は注意が必要です。 インストール時に無効な IP アドレスを割り当てると、各ネットワークコンポーネントからデバイスに接続できなくなります。

1. **セットアップ** ボタンを押します。
2. [**ネットワーク**] が強調表示されるまで矢印キーを押し、**OK (O)** を押します。
3. [**詳細設定**] を選択し、[**IP 設定**] を選択し、[**IP 設定**] を選択します。
4. IP 設定の横にある以下の番号を押します。
   - [**1. IP アドレス**]
   - [**2. サブネットマスク**]
   - [**3. デフォルト ゲートウェイ**]
5. 変更する内容を入力し、**OK(O)** をクリックします。

デバイスのファクス機能のセットアップ

[セットアップ ガイド] に記載されたすべての手順が完了したら、このセクションの説明を読みファクスのセットアップを行ってください。[セットアップ ガイド] は後で使用できるように保管してください。

このセクションでは、ファクス機能が同じ電話回線上の機器やサービスと正常に動作するように、デバイスを設定する方法を説明します。

ヒント ファクス セットアップ ウィザード (Windows) または HP ファクス セットアップ ユーティリティ (Mac OS X) を使用して、応答モードやファクスのヘッダー情報などの重要なファクス設定を簡単に設定することもできます。デバイス 用にインストールしたソフトウェアから [ファクス セットアップ ウィザード] (Windows) または [HP ファクス セットアップ ユーティリティ] (Mac OS X) にアクセスできます。[ファクス セットアップ ウィザード] (Windows) または [HP ファクス セットアップ ユーティリティ] (Mac OS X) を起動したら、このセクションの手順に従ってファクスの設定を行います。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)
- シリアル方式のファクスのセットアップ

ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)

デバイスのファクス機能のセットアップを開始する前に、お住まいの国または地域でどのタイプの電話システムを使用しているか確認します。 デバイスのファクス機能のセットアップの説明は、パラレル方式

またはシリアル方式のどちらの電話方式を使用しているかによって異なります。

- お住まいの国または地域が下記の表になければ、シリアル タイプの電話方式をご使用のはずです。 シリアル方式の電話の場合、共有する電話機器 (モデム、電話、留守番電話等) のコネクタの種類が違うため、デバイスの "2-EXT" ポートに接続することはできません。 電話機器はすべて壁の電話ジャックに接続してください。

  注記 シリアル方式の電話システムを使用する国または地域の場合、デバイス付属の電話コードに別の壁プラグが接続している可能性があります。 これにより、デバイスを差し込んでいる壁側のモジュラー ジャックに別の通信装置を接続できます。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

- お住まいの国または地域が下記の表にあれば、パラレル タイプの電話方式をご使用のはずです。 パラレル方式の電話システムの場合、 背面の "2-EXT" ポートを使用して、共有する電話機器を電話回線に接続することができます。

  注記 パラレル方式の電話システムの場合は、デバイスに付属の 2 線式電話コードを使用して、壁の電話ジャックにデバイスを接続することをお勧めします。

表 8-1 パラレル タイプの電話の国または地域

アルゼンチン	オーストラリア	ブラジル
カナダ	チリ	中国
コロンビア	ギリシア	インド
インドネシア	アイルランド	日本
韓国	南米	マレーシア
メキシコ	フィリッピン	ポーランド
ポルトガル	ロシア	サウジアラビア
シンガポール	スペイン	台湾
タイ	アメリカ	ベネズエラ
ベトナム		

シリアル方式またはパラレル方式のどちらの電話方式かわからない場合は、最寄りの電話会社にお問い合わせください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• 自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択
• ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)
• ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ
• ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ
• ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用
• ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する
• ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
• ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)
• ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する
• ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
• ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する
• ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

自宅またはオフィスに合った正しいファクス セットアップの選択

同じ電話回線をデバイスと共有する機器やサービスがある場合、ファクスを正常に使用するには、それらの機器やサービスの種類を知っておく必要があります。 これは、既存のオフィス機器をデバイスに直接接続

しなければならない場合に重要です。また、正常にファクスを使用するには、ファクスの設定を一部変更しなければならないこともあります。

1. 電話がシリアル方式かパラレル方式かを判断します (ファクス機能のセットアップ (パラレル方式の電話システム)を参照)。
   a. シリアル方式の電話システムの場合 - シリアル方式のファクスのセットアップ を参照してください。
   b. パラレル方式の電話システムの場合 - 手順 2 に進みます。
2. ファクスと一緒に利用する機器やサービスの組み合わせを選択します。
   • DSL : 電話会社を通じてデジタル加入者線 (DSL) を利用。(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)
   • PBX : 構内交換機 (PBX) システムまたは統合サービス デジタル通信網 (ISDN) システム。
   • 着信識別サービス : 電話会社の着信識別サービスでは、複数の電話番号が与えられ、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変えられます。
   • 電話 : 電話をデバイスのファクスに使用するのと同じ電話番号で受信します。
   • コンピュータ ダイヤルアップ モデム : デバイスと同じ電話回線でコンピュータ モデムを使用しています。次のいずれかに当てはまる場合は、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを利用しています。
     ◦ ダイヤルアップ接続でコンピュータのソフトウェア アプリケーションから直接ファクスを送受信している。
     ◦ ダイアルアップ接続でコンピュータから電子メールのメッセージを送受信している。
     ◦ ダイアルアップ接続でコンピュータからインターネットを利用している。
   • 留守番電話 : デバイスのファクスに使用するのと同じ電話番号で電話に応答する留守番電話。
   • ボイス メール サービス:デバイスのファクスと同じ番号での電話会社からのボイスメール サービスへの加入。
3. 表から、自宅やオフィスの設定に当てはまる機器とサービスの組み合わせを選択してください。次に、推奨するファクス セットアップを調べます。各方法については、この後手順を追って説明します。

注記 自宅またはオフィスのセットアップがこのセクションで説明されていない場合、デバイスを通常のアナログ電話のようにセットアップします。付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。他の電話コードを使用している場合は、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。

国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピュータダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイス メールサービス	
							ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)
✔							ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ
	✔						ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ
		✔					ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用
			✔				ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する

(続き)

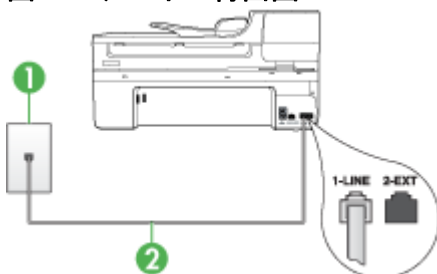
ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピュータ ダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイス メール サービス	
			✔			✔	ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する
				✔			ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)
			✔	✔			ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する
			✔		✔		ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する
			✔	✔	✔		ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する
			✔	✔		✔	ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイ

(続き)

ファクスと一緒に利用する機器やサービス							推奨するファクス セットアップ
DSL	PBX	着信識別サービス	電話	コンピュータダイヤルアップ モデム	留守番電話	ボイス メールサービス	
							ス メールを一緒に利用する

ケース A： 単独のファクス回線 (電話の着信なし)

電話を受け付けない単独の電話回線を利用し、この電話回線に他の機器を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

単独のファクス回線の環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。 この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

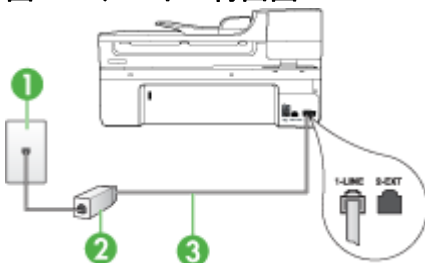
2. **自動応答** の設定をオンにします。
3. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
4. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。 デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

ケース B： DSL 環境でのデバイスのセットアップ

電話会社の DSL サービスを利用し、デバイスに機器を接続しない場合は、次のように壁側のモジュラージャックとデバイスの間に DSL フィルタを取り付けます。 デバイスが電話回線で正しく通信することができるように、DSL フィルタでデバイスを妨害する可能性のあるデジタル信号を除去します(DSL は、国/地域によっては ADSL と呼ばれています。)

注記 DSL を利用しているのにこの DSL フィルタを取り付けないと、デバイスでファクスを送受信できなくなります。

図 8-2 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	DSL プロバイダから支給された DSL (または ADSL) フィルタおよびコード
3	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

DSL 環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタの空いているポートに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

   付属の電話コードは 1 本なので、このセットアップでは追加の電話コードが必要になる場合があります。

3. DSL フィルタの追加の電話コードを壁側のモジュラージャックに接続します。
4. ファクス テストを実行します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップ

PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合、次の指示に従ってください。

• PBX または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、ファクスおよび電話用のポートにデバイスが接続されていることを確認してください。 また、ターミナル アダプタがお住まいの国/地域に対応したスイッチ タイプに設定されていることも確認してください。

> **注記** ISDN システムの中には、ユーザーが特定の電話機器に応じてポートを設定できるようになっているものがあります。 たとえば、電話と G3 規格のファクスに 1 つのポートを割り当て、多目的用に別のポートを割り当てることができます。 ISDN コンバータのファクス/電話ポートに接続すると問題が発生する場合は、多用途向けのポートを使用してみてください。このポートには "multi-combi" などのラベルが付いている場合があります。

• PBX システムを使用している場合は、電話の呼び出し音をオフにします。

> **注記** 多くのデジタル PBX システムでは、電話の呼び出し音が工場出荷時の設定で「オン」になっています。 電話の呼び出し音は、ファクス送信の妨害となり、デバイスでファクスの送受信ができなくなります。 電話の呼び出し音をオフにする方法については、PBX システム付属のマニュアルを参照してください。

• PBX システムを使用している場合は、ファクス番号をダイヤルする前に外線番号をダイヤルします。

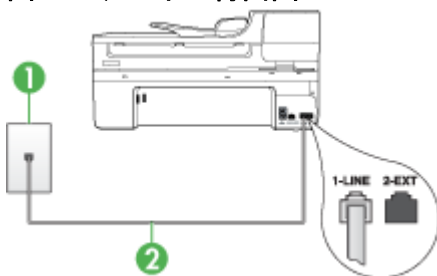
• 付属のコードで 壁側のモジュラー ジャックとお使いのデバイスを正しく接続します。 接続していない場合、ファクスを正しく行うことはできません。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。 付属の電話コードでは短すぎる場合、お近くの電器店からカプラーを購入して延長することができます。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース D： 同じ回線でファクスと着信識別サービスを一緒に利用

1 本の電話回線に複数の電話番号があり、その電話番号ごとに呼び出し音のパターンを変える、電話会社の着信識別サービスを利用している場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-3 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

着信識別サービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオンにします。

3. [**応答呼出し音のパターン**] 設定を変更して、電話会社がお使いのファクス番号に指定した呼び出し音のパターンに合わせます。

> **注記** デバイスの工場出荷時の設定では、すべての呼び出し音パターンに応答するよう設定されています。 [**応答呼出し音のパターン**] がファクス番号に割り当てられていた呼出し音のパターンと一致するように設定しないと、デバイスが電話とファクスの両方の呼び出し音に応答してしまったり、まったく応答しなくなったりすることがあります。

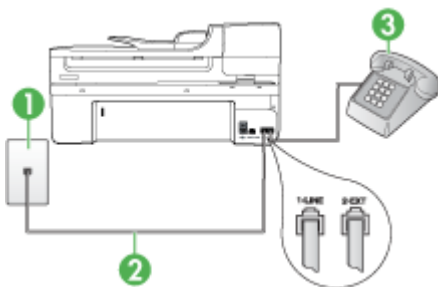
4. (オプション)[**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
5. ファクス テストを実行します。

デバイスでは、[**応答呼出し音のパターン**] 設定で選択した呼び出し音のパターンの着信に対して、[**応答呼出し回数**] 設定で選択した呼び出し回数の後に自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース E： 電話とファクスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にオフィス機器 (またはボイスメールサービス) を何も接続しない場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-4 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する

(続き)

	国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	電話機 (オプション)

電話とファクスの共有回線環境にデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

> **注記** 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
>
> 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. 次のいずれかの操作を行います。
- パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
- シリアル方式の電話の場合は、壁のプラグが接続されたデバイスのケーブルの一番先に電話を直接接続します。

3. ここで、デバイスでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
- 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファクスを受信します。 この場合、デバイスではファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。 デバイスで着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
- ファクスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、デバイスでファクスを受信できません。 手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**自動応答** をオフにします。

4. ファクス テストを実行します。

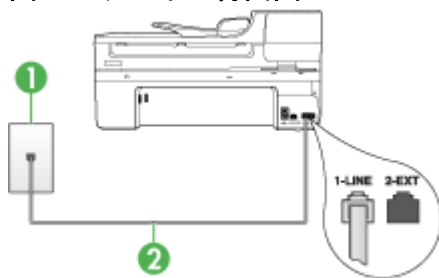
デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、電話会社のボイスメールサービスも利用する場合は、次のようにデバイスを接続します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。 ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

図 8-5 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

ボイスメールサービスの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
   国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

2. **自動応答** の設定をオフにします。
3. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファクスを受信できません。 ボイスメールが電話に応答する前にファクスの手動受信を開始する必要があります。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース G： 同じ回線でファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する (電話の着信なし)

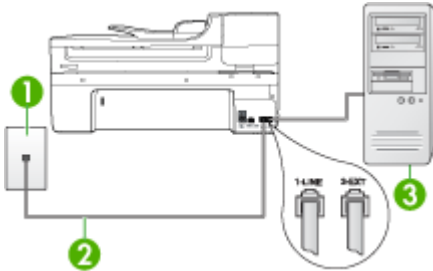
電話を受け付けないファクス回線を利用し、この回線にコンピュータ モデムを接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記 コンピュータにダイヤルアップ モデムがある場合、コンピュータのダイヤルアップ モデムはデバイスと電話回線を共有します。 モデムとデバイスを同時に使用することはできません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには
- コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

コンピュータのダイヤルアップ モデム環境でデバイスをセットアップするには

1 つの電話回線をファクスの送信とコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用している場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 8-6 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	モデム搭載コンピュータ

コンピュータ ダイヤルアップ モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。

2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

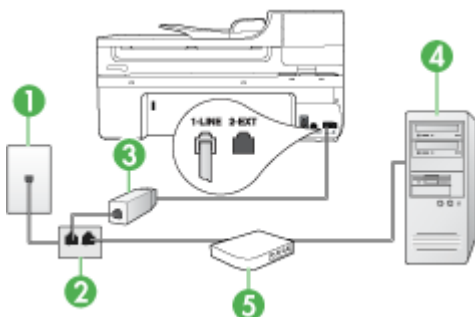
   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. (オプション) [**応答呼出し回数**] 設定を最小設定 (呼び出し 2 回) に変更します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

コンピュータの DSL/ADSL モデム環境でのデバイスのセットアップ

DSL 回線があり、その電話回線を使用してファクスを送信する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ デバイスに付属の電話ジャックの片方の端を、デバイス背部の 1-LINE ポートに接続します。 コードのもう一方の端を DSL/ADSL フィルタに接続します。 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
4	コンピュータ
5	コンピュータの DSL/ADSL モデム

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。
2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとデバイス背面を接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
4. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。

5. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
6. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、**[応答呼出し回数]** で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース H： 電話とファクスとコンピュータ モデムを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムも接続する場合は、次のようにデバイスをセットアップします。

注記 コンピュータ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することはできません。たとえば、コンピュータ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムを一緒に利用する

電話回線をファクスと電話の両方に使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

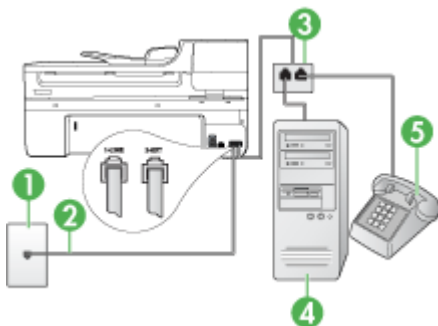
コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります。(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、

背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。)

図 8-7 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 1 つある場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 8-8 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス背面の 1-LINE ポートに差し込まれているデバイス付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	パラレル スプリッター
4	コンピュータ
5	電話

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。 コードを壁側のモジュラー ジャックから切断し、パラレル スプリッターに差し込みます。
3. パラレル スプリッターの電話コードを、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに接続します。
4. 電話をパラレル スプリッターに接続します。
5. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、HP デバイスでファクスを受信できなくなります。

7. ここで、デバイスでのファクス呼び出し音の応答方法を、自動または手動に決めます。
   • 着信に [**自動**] で応答する設定の場合は、デバイスがすべての着信に応答し、ファクスを受信します。この場合、デバイスではファクスと電話を区別できません。着信が電話であると思われる場合、デバイスが着信に応答する前に自分で応答する必要があります。デバイスで着信を自動的に受信するには、**自動応答** 設定をオンにします。
   • ファクスを [**手動**] で受信する設定の場合は、ファクス受信に直接応答しなければ、デバイスでファクスを受信できません。手動で着信に応答するようにデバイスを設定するには、**自動応答** をオフにします。
8. ファクス テストを実行します。

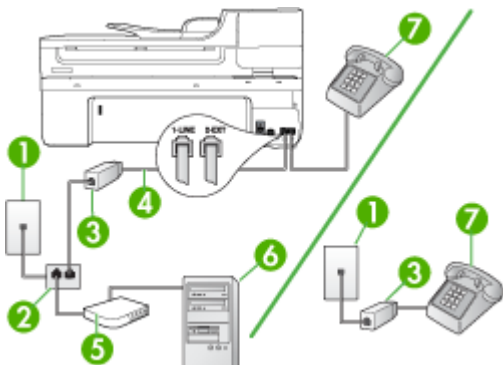
注記 コンピュータの背面に電話ポートが 2 つある場合には、パラレル スプリッターを使用する必要はありません。 電話はコンピュータのダイヤルアップ モデムの "OUT" ポートに差し込むことができます。

デバイスが着信に応答する前に受話器を取って、送信側ファクス機からのファクス トーンが聞こえた場合は、手動でファクスに応答します。

電話回線を電話、ファクス、およびコンピュータのダイヤルアップ モデムに使用する場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピュータの DSL/ADSL モデムを一緒に利用する

コンピュータに DSL/ADSL モデムがある場合は、次の手順に従います。

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイスに付属の電話コード 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	電話

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL フィルタは、DSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL フィルタとデバイスを接続しないと、正常にファクスできないことがあります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

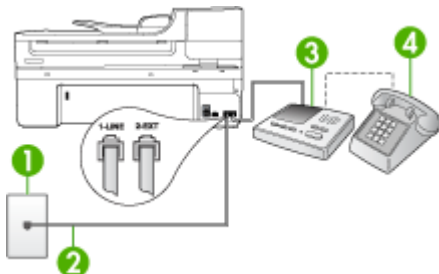
3. パラレル方式の電話システムを使用している場合、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取り、このポートに電話を接続します。
4. DSL フィルタをパラレル スプリッターに接続します。
5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、[**応答呼出し回数**] で設定した数だけ呼び出し音が鳴った後にデバイスが自動応答します。デバイスは、ファクス受信トーンを送信側ファクスに対して発信し、ファクスを受信します。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話番号で留守番電話も応答する場合は、次のようにデバイスを設定します。

図 8-9 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	付属の電話コードを使用して、デバイス背面の 1-LINE ポートに接続します 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	留守番電話
4	電話機 (オプション)

電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する環境でデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

> **注記** デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

3. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

4. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

5. **自動応答** の設定をオンにします。
6. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
7. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
8. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。 ファクス受信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース J： 電話とファクスとコンピュータ モデムと留守番電話を一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線にコンピュータ モデムと留守番電話も接続する場合は、次のように HP デバイスをセットアップします。

注記 コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線を HP デバイスと共有しているので、モデムと HP デバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータのダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている最中に、HP デバイスのファクス機能を使用することはできません。

- 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する
- 電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

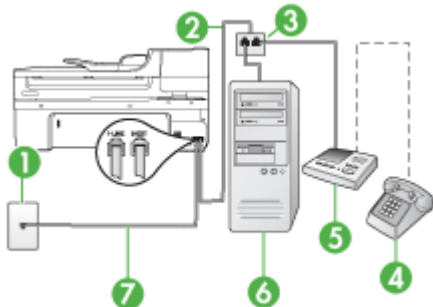
電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムと留守番電話を一緒に利用する

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータに HP デバイスを設定する方法は 2 種類あります。 はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

- コンピュータに電話ポートが 1 つしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッターを購入する必要があります。(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 8-10 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 1 つの場合は、次の手順に従ってデバイスをセットアップします。

図 8-11 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッターに接続している電話コード
3	パラレル スプリッター
4	電話機 (オプション)
5	留守番電話
6	モデム搭載コンピュータ
7	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

電話ポートが 1 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. HP デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

3. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。

   注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

4. HP デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. (オプション) 留守番電話に電話が内蔵されていない場合は、必要に応じて留守番電話の背面にある "OUT" ポートに電話をつなぐこともできます。

   注記 留守番電話が外部の電話に接続できない場合は、留守番電話と電話の両方をデバイスに接続するためにパラレル スプリッター (カプラーとも呼ぶ) を購入して使用します。これらの接続には、標準の電話コードを使用できます。

6. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

7. **自動応答** の設定をオンにします。

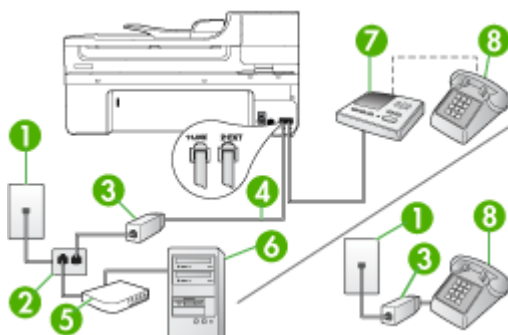
8. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。

9. HP デバイスの[**応答呼出し回数**]設定を変更し、呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。
10.ファクス テストを実行します。

注記 2 つの電話ポートを持つコンピュータを使用している場合は、パラレル スプリッターは必要ありません。 留守番電話をコンピュータ背面の “OUT” ポートに差し込むことができます。

電話が鳴ると、設定済みの呼び出し回数後に留守番電話が応答し、録音しておいた応答メッセージが再生されます。この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。ファクス受信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話は音声メッセージを録音できます。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

電話とファクスとコンピュータ DSL/ADSL モデムと留守番電話を一緒に利用する

1	壁側のモジュラージャック
2	パラレル スプリッター
3	DSL/ADSL フィルタ
4	デバイス背面の 1-LINE ポートに接続されているデバイス付属の電話コード

(続き)

	国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
5	DSL/ADSL モデム
6	コンピュータ
7	留守番電話
8	電話機 (オプション)

注記 パラレル スプリッターを購入する必要があります。 パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。 前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください。

コンピュータの DSL/ADSL モデムの環境でデバイスをセットアップするには

1. DSL/ADSL フィルタは、DSL/ADSL プロバイダから入手してください。

   注記 DSL/ADSL サービスと同じ電話番号を共有している自宅やオフィスの他の場所にある電話は、追加の DSL/ADSL フィルタに接続する必要があります。そうしないと、電話をかけたときにノイズが発生します。

2. デバイスに付属の電話コードの一方の端を DSL/ADSL フィルタに、もう一方の端をデバイス背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで DSL/ADSL フィルタとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

3. DSL/ADSL フィルタをスプリッターに接続します。

4. 留守番電話のコードを壁側モジュラー ジャックから抜き、デバイス背面の 2-EXT というラベルの付いたポートに差し込みます。

 注記 デバイスに留守番電話を直接接続していないと、送信側ファクスからのファクス トーンが留守番電話に記録されてしまい、デバイスでファクスを受信できないことがあります。

5. DSL モデムをパラレル スプリッターに接続します。
6. パラレル スプリッターを壁側のモジュラー ジャックに接続します。
7. 少ない呼び出し回数で応答するように留守番電話を設定します。
8. デバイスの [**応答呼出し回数**] 設定を変更し、呼び出し回数をサポートされている最大数に設定します。

 注記 呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります。

9. ファクス テストを実行します。

電話が鳴ると、設定した回数だけ呼び出し音が鳴った後にアンサーフォンが応答し、録音されている応答メッセージを再生します。 この間、デバイスは呼び出し音を監視し、ファクス トーンを待機しています。ファクス着信トーンを検出すると、デバイスはファクス受信トーンを発信し、ファクスを受信します。ファクス トーンが検出されないと、デバイスは回線の監視を中止し、留守番電話が音声メッセージを録音できるようになります。

同じ電話回線を電話とファクスに使用しており、コンピュータの DSL モデムがある場合は、次の手順に従ってファクスをセットアップします。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

ケース K： 電話とファクスとコンピュータ ダイヤルアップ モデムとボイス メールを一緒に利用する

同じ電話番号で電話とファクスを一緒に受け、この電話回線でコンピュータ ダイヤルアップ モデムも利用して電話会社のボイスメール サービスも利用する場合は、次のようにデバイスを設定します。

注記 ファクスと同じ電話番号でボイス メール サービスを利用している場合、ファクスを自動受信することはできません。ファクスを手動で受信する必要があります。つまり、受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。これ以外にファクスを自動受信するには、電話会社に問い合わせて着信識別を利用するか、ファクス専用の別回線を取得してください。

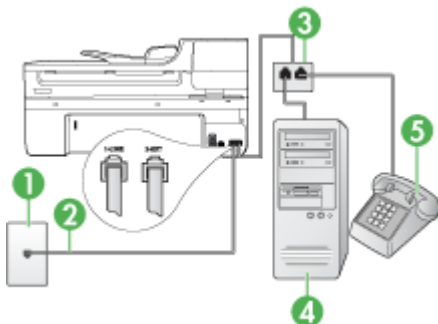
コンピュータ ダイヤルアップ モデムが電話回線をデバイスと共有しているので、モデムとデバイスの両方を同時に使用することができません。 たとえば、コンピュータ ダイヤルアップ モデムを使用して電子メールを送信したりインターネットにアクセスしたりしている場合、デバイスをファクスには使用できません。

コンピュータの電話ポートの数により、コンピュータにデバイスをセットアップする方法は 2 種類あります。はじめる前に、コンピュータの電話ポートが 1 つか 2 つかを確認してください。

• コンピュータに 1 つの電話ポートしかない場合、以下に示すようにパラレル スプリッター (カプラーとも呼びます) を購入する必要があります(パラレル スプリッターは前面に RJ-11 ポートが 1 つ、背面に RJ-11 ポートが 2 つあります。前面に 2 つの RJ-11 ポート、背面にプラグがある 2 線式の電話スプリッター、シリアル スプリッター、またはパラレル スプリッターは使用しないでください)。

図 8-12 パラレル スプリッターの例

• コンピュータの電話ポートが 2 つある場合は、下記の手順でデバイスをセットアップしてください。

図 8-13 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	デバイス付属の電話コードを使用して 1-LINE ポートに接続する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	パラレル スプリッター
4	モデム搭載コンピュータ
5	電話

電話ポートが 2 つあるコンピュータと同じ電話回線上にデバイスをセットアップするには

1. デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートから白いプラグを抜き取ります。
2. コンピュータ (コンピュータのダイヤルアップ モデム) の背面と壁側のモジュラージャック間をつなぐ電話コードを見つけます。そのコードを壁側のモジュラー ジャックから抜き、デバイスの背面の 2-EXT と書かれているポートに差し込みます。
3. 電話をコンピュータ ダイヤルアップ モデムの背面の "OUT" ポートにつなぎます。
4. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラージャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

   注記 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

   付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクス機能が正常に動作しない場合があります。この専用電話コードは、自宅やオフィスで使用している電話コードとは異なります。

5. モデムのソフトウェアで、ファクスをコンピュータに自動受信するよう設定している場合は、その設定を解除してください。

   注記 モデムのソフトウェアで自動ファクス受信の設定を解除しないと、デバイスでファクスを受信できなくなります。

6. **自動応答** の設定をオフにします。
7. ファクス テストを実行します。

ファクス着信に直接応答してください。そうしないとデバイスでファクスを受信できません。

デバイスとオプション機器のセットアップで問題が生じた場合は、お近くのサービス プロバイダ、またはメーカーにお問い合わせください。

シリアル方式のファクスのセットアップ

シリアル方式の電話システムを使用してファクス用にデバイスをセットアップする方法の詳細については、お住まいの国/地域のファクス構成専用 Web サイトを参照してください。

オーストリア	www.hp.com/at/faxconfig
ドイツ	www.hp.com/de/faxconfig
スイス(フランス語)	www.hp.com/ch/fr/faxconfig
スイス(ドイツ語)	www.hp.com/ch/de/faxconfig
イギリス	www.hp.com/uk/faxconfig
フィンランド	www.hp.fi/faxconfig
デンマーク	www.hp.dk/faxconfig
スウェーデン	www.hp.se/faxconfig
ノルウェイ	www.hp.no/faxconfig
オランダ	www.hp.nl/faxconfig
ベルギー (オランダ語)	www.hp.be/nl/faxconfig
ベルギー (フランス語)	www.hp.be/fr/faxconfig
ポルトガル	www.hp.pt/faxconfig
スペイン	www.hp.es/faxconfig
フランス	www.hp.com/fr/faxconfig
アイルランド	www.hp.com/ie/faxconfig
イタリア	www.hp.com/it/faxconfig

デバイスの構成 (Windows)

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0、またはそれ以降がインストールされていなければなりません。

また、Windows 2000、Windows XP または Windows Vista にプリンタ ドライバをインストールするには、管理者権限がなければなりません。

デバイスをセットアップする際、HP ではソフトウェアをインストールした後でデバイスを接続するようお勧めしています。これは、インストール プログラムにより設定が簡単になるためです。 ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 直接接続
- ネットワーク接続

直接接続

USB ケーブルを使用して、デバイスをお使いのコンピュータに直接接続できます。

注記 デバイス ソフトウェアをインストールして Windows を実行しているコンピュータにデバイスを接続した場合、デバイス ソフトウェアを再インストールしなくても USB ケーブルを使用して同じコンピュータに別のデバイスを接続できます。

デバイスを設定する際、HP ではソフトウェアをインストールした後でデバイスを接続するようお勧めします。これは、インストール プログラムにより設定が簡単になるためです。 ただし、ケーブルを最初に接続した場合は、ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続するを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)
- ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する
- ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)

ソフトウェアをインストールするには

1. 実行中のアプリケーションをすべて終了します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが自動的に実行されます。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
3. CD メニューで **[USB 接続デバイスのインストール]**、または **[ネットワーク/ワイヤレス デバイスのインストール]** をクリックし、画面の指示に従います。
4. 画面の指示に従って、デバイスの電源を入れ、USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。 コンピュータ画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示され、[プリンタ] フォルダにデバイスのアイコンが作成されます。

注記 デバイスを使用する必要があるときに、後から USB ケーブルを接続することもできます。

ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

ソフトウェアのインストール前にデバイスを接続する

デバイス ソフトウェアのインストール前にデバイスをコンピュータに接続した場合、画面に **[新しいハードウェアの検出]** ウィザードが表示されます。

注記 デバイスの電源を入れた場合は、インストール プログラム実行中にデバイスの電源を切ったり、ケーブルをデバイスから外さないでください。 これに従わないとインストール プログラムが完了しません。

デバイスを接続するには

1. **[新しいハードウェアの検出]** ダイアログ ボックスにプリンタ ドライバを検索する方法が示されたら、[詳細] オプションを選択して **[次へ]** をクリックします。

   注記 **[新しいハードウェアの検出]**ウィザードでドライバの自動検索が実行されないようにしてください。

2. ドライバの場所を指定するチェック ボックスを選択し、ほかのチェック ボックスが選択されていないことを確認してください。
3. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD メニューが表示された場合は、CD メニューを閉じます。
4. スタータ CD のルート ディレクトリの場所を指定し (D: など)、**[OK]** をクリックします。
5. **[次へ]** をクリックし、画面の指示に従います。
6. **[完了]** をクリックして、**[新しいハードウェアが見つかりました]**ウィザードを閉じます。 ウィザードは、自動的にインストール プログラムを起動します (これには時間がかかる場合があります)。
7. インストール処理が完了します。

注記 ローカル共有ネットワークとして知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

ローカル共有ネットワークでは、デバイスは選択したコンピュータ (サーバ) の USB コネクタに直接接続され、他のコンピュータ (クライアント) と共有されます。

注記 ローカル接続されたデバイスを共有する場合は、最新のオペレーティング システムを使用しているコンピュータをサーバとして使用してください。 例えば、Windows XP を実行しているコンピュータと別のバージョンの Windows を実行しているコンピュータがある場合、Windows XP を実行しているコンピュータをサーバとして使用します。

この設定は、小規模のグループ、または利用頻度が少ない場合に使用します。 多くのユーザーが共有デバイスに印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

共有されるのは印刷機能だけです。 スキャンおよびコピー機能は共有されません。

デバイスを共有するには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をポイントし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[共有]** タブをクリックします。
3. デバイスを共有するためのオプションを選択し、デバイスの共有名を入力します。
4. 他のバージョンの Windows を使用するクライアント コンピュータとデバイスを共有するには、**[追加ドライバ]** をクリックして、それぞれのバージョンのドライバをインストールできます。 スタータ CD が CD ドライブに挿入されていなければなりません。

ネットワーク接続

デバイスにネットワーク機能がある場合、デバイスをネットワークに直接接続してネットワーク環境で共有できます。 このタイプの接続では、組み込み Web サーバを使用してネットワーク上のどこからでもデバイスを管理できます。

注記 インストール プログラムを実行するには、お使いのコンピュータに Microsoft Internet Explorer 6.0、またはそれ以降がインストールされていなければなりません。

お使いのタイプのネットワークにインストール オプションを選択します :

- **クライアント/サーバ・ネットワーク** : ネットワークに専用プリント サーバとして機能しているコンピュータがある場合、プリンタソフトウェアをサーバにインストールし、プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールするにはおよびプリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするにはを参照してください。 この方法では、デバイスのすべての機能を共有することはできません。 クライアント コンピュータでは、デバイスによる印刷のみ実行できます。
- **ピア ツー ピア ネットワーク** : ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)、デバイスを使用するコンピュータにソフトウェアをインストールします。 詳細については、ネットワークにデバイスをインストールするにはを参照してください。

また、Windows で **[プリンタの追加]** ウィザードを使用すると、両方のタイプのネットワークでネットワーク プリンタに接続することもできます。 詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするにはを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワークにデバイスをインストールするには
- プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするには
- [プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには

ネットワークにデバイスをインストールするには

次のようなネットワーク シナリオでは、以下の手順を使用してプリンタソフトウェアをインストールします。

ピア ツー ピア ネットワークがある場合 (専用プリント サーバのないネットワーク)

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。 CD のメニューが自動的に起動します。 CD メニューが自動的に起動しない場合、コンピュータの CD ドライブを開き、**[Setup.exe]** をダブルクリックします。

3. [OK] をクリックします。**[USB 接続デバイスのインストール]** または **[ネットワーク/ワイヤレス デバイスのインストール]** をクリックします。
4. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

注記 Windows クライアント コンピュータとデバイスを共有するには、プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするにはおよびローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。

プリンタソフトウェアをクライアント コンピュータにインストールするには

プリント サーバとして機能しているコンピュータにプリンタ ドライバをインストールすると、印刷機能を共有できます。 ネットワーク デバイスを使用する個々の Windows ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にソフトウェアをインストールする必要があります。

クライアント コンピュータは、次の方法でデバイスに接続できます。

- [プリンタ] フォルダで、**[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックし、ネットワーク インストールに関する説明に従います。詳細については、[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするにはを参照してください。
- ネットワーク上のデバイスの位置を参照し、[プリンタ] フォルダにプリンタをドラッグします。
- デバイスを追加し、ネットワーク上の INF ファイルからソフトウェアをインストールします。 スタータ CD の INF ファイルは、CD のルート ディレクトリに格納されています。

[プリンタの追加] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタの追加]** をダブルクリックし、**[次へ]** をクリックします。
3. **[ネットワーク プリンタ]** または **[ネットワーク プリンタ サーバ]** を選択します。

4. **[次へ]** をクリックします。
5. 次のいずれかの操作を行います。
   共有デバイスのネットワーク パスまたはキュー名を入力し、**[次へ]** をクリックします。 プリンタ モデルを選択するプロンプトが表示されたら、**[ディスク使用]** をクリックします。
   [次へ] をクリックし、共有プリンタの一覧からデバイスを選択します。
6. **[次へ]** をクリックし、画面の説明に従ってインストールを完了します。

デバイスの設定 (Mac OS X)

USB ケーブルを使用して一台の Macintosh コンピュータにデバイスを接続することも、ネットワーク上で他のユーザとデバイスを共有することもできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ネットワーク接続、または直接接続にソフトウェアをインストールする
- ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

ネットワーク接続、または直接接続にソフトウェアをインストールする

直接接続用のソフトウェアをインストールするには

1. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。
2. **[HP インストーラ]** をダブルクリックして、画面上の指示に従います。
3. 指示に従って、USB ケーブルを使用してデバイスをコンピュータに接続します。
4. 必要に応じて、デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。
   - **直接接続**： デバイスを別の Macintosh コンピュータ ユーザと共有します。 詳細については、ローカル共有ネットワークでデバイスを共有するを参照してください。
   - **ネットワーク接続の場合**： ネットワーク上でデバイスを使用する個々の Macintosh ユーザーは、それぞれのコンピュータ (クライアント) にプリンタソフトウェアをインストールする必要があります。

ネットワーク接続用のソフトウェアをインストールするには

1. デバイスのネットワーク ポートから保護カバーを取り外し、デバイスをネットワークに接続します。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。
3. **[HP インストーラ]** をダブルクリックして、画面上の指示に従います。
4. **[接続の種類]** 画面で **[ワイヤード ネットワーク/ワイヤレス]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。
5. 画面の指示に従って、インストールを完了します。

ローカル共有ネットワークでデバイスを共有する

デバイスを直接接続した場合でも、プリンタ共有として知られている単純なネットワークを使用して、デバイスを別のコンピュータと共有することもできます。 このプリンタ共有は、小規模のグループ、または利用頻度が少ない場合に使用します。 多くのユーザーが共有デバイスに印刷すると、接続されているコンピュータの速度は遅くなります。

Mac OS X 環境でデバイスを共有するための基本的な必要条件：

- Macintosh コンピュータは TCP/IP によりネットワーク上で通信しなければならず、IP アドレスがなければなりません。 (AppleTalk はサポートされていません。)
- 共有されるデバイスは、ホスト Macintosh コンピュータ上の内蔵 USB ポートに接続されていなければなりません。
- 共有デバイスを使用するホスト Macintosh コンピュータとクライアント Macintosh コンピュータの両方にデバイス ドライバまたはデバイス PPD がインストールされていなければなりません。 (インストール プログラムを実行して、デバイス共有ソフトウェアと関連のヘルプ ファイルをインストールできます。)

USB デバイス共有についての詳細は、Apple Web サイト (www.apple.com)、またはコンピュータの Apple Macintosh Help を参照してください。

注記 プリンタ共有機能は Mac OS X 10.4 以上でサポートされます。

注記 プリンタ共有機能はホストとクライアント コンピュータの両方で有効に設定されている必要があります。[**システム環境設定**] を開き、[**共有**] を選択して [**プリントとファクス**] をクリックします。

Mac OS X を実行するコンピュータ間でデバイスを共有するには

1. プリンタに接続するすべての Macintosh コンピュータ (ホストとクライアント) のプリンタ共有機能をオンにします。
   [システム環境設定] を開き、**[プリントとファクス]** をクリックし、共有するプリンタを左側の一覧から選択して、**[このプリンタを共有する]** を選択します。
2. ネットワーク上の他の Macintosh コンピュータ (クライアント) から印刷するには、次の手順に従います。
   a. 印刷するドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[用紙設定]** を選択します。
   b. **[対象プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。
   c. **[用紙サイズ]** を選択し、**[OK]** をクリックします。
   d. ドキュメントで、**[ファイル]** をクリックし、**[プリント]** を選択します。
   e. **[プリンタ]** の横にあるドロップダウン メニューで、**[共有プリンタ]** を選択し、使用するデバイスを選択します。
   f. 必要に応じて追加の設定を行い、**[プリント]** をクリックします。

デバイスのワイヤレス通信のセットアップ (一部のモデルのみ)

デバイスのワイヤレス通信は、次のいずれかの方法でセットアップすることができます。

セットアップ方法	インフラストラクチャ ワイヤレス通信	アドホック ワイヤレス通信 *
USB ケーブル (推奨) 詳細については、インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X)またはインストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)を参照してください。	✔	✔
ネットワーク ツールボックス	✔	

注記 問題が発生した場合は、ワイヤレスの問題の解決 (一部のモデルのみ) を参照してください。

デバイスがネットワーク ケーブルを使用してネットワーク接続されていないことを確認します。

送信デバイスには内蔵 802.11 機能があるか、または 802.11 ワイヤレス カードがインストールされていなければなりません。

デバイスとデバイスを使用するコンピュータは、同じサブネット上にある必要があります。

プリンタソフトウェアをインストールする前に、ネットワークの設定を確認しておいてください。 システム管理者に問い合わせるか、または以下の作業を行います：

- ネットワークのネットワーク名または Service Set Identifier (SSID) と通信モード (インフラストラクチャまたはアドホック) を、ネットワークのワイヤレス アクセス ポイント (WAP) の構成ユーティリティ、またはコンピュータのネットワーク カードから取得します。
- ネットワークで使用する暗号化タイプを見つけます (Wired Equivalent Privacy (WEP) など)。
- ワイヤレス デバイスのセキュリティ パスワード、または暗号化キーを見つけます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解
- インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)
- インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X)
- デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには
- ワイヤレス通信をオフにするには
- アド ホック ワイヤレス ネットワーク接続でデバイスを接続する
- ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン
- HP デバイスで動作するようにファイアウォールを構成する
- 接続方法を変更する
- ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

802.11 ワイヤレス ネットワーク設定の理解

ネットワーク名 (SSID)

デフォルトでは、デバイスはワイヤレス ネットワーク名、または "hpsetup" という名前の Service Set Identifier (SSID) を探します。 お使いのネットワークには、異なる SSID があることがあります。

通信モード

通信モードには 2 つのオプションがあります :

- **アドホック:**アドホック ネットワーク上では、デバイスはアドホック通信モードに設定され、ワイヤレス アクセス ポイント (WAP) を使用しないで、ワイヤレス ルータや Apple AirPort ベース ステーションなどその他のワイヤレス デバイスと直接通信します。
  アドホック ネットワーク上のデバイスはすべて次のとおりでなければなりません :
  - 802.11 互換
  - 通信モードがアドホックである
  - 同じネットワーク名 (SSID) である
  - 同じサブネットと同じチャンネル上にある
  - 同じ 802.11 セキュリティ設定がある
- **インフラストラクチャ (推奨)** : インフラストラクチャ ネットワークでは、デバイスはインフラストラクチャ通信モードに設定され、ワイヤードかワイヤレスかに関係なく、デバイスはルータや Apple AirPort ベース ステーションなどのワイヤレス アクセス ポイントを通じてネットワーク上の他のデバイスと通信します。

セキュリティ設定

注記 デバイスで利用可能な設定については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。

ワイヤレス セキュリティの詳細については、www.wifi.org を参照してください。

- **ネットワーク認証** : デバイスの出荷時のデフォルト設定は 'Open' で、これは認証や暗号化にセキュリティを必要としません。 他には 'OpenThenShared'、'Shared'、'WPA-PSK' (Wi-Fi® Protected Access Pre-Shared Key) などの値があります。
  WPA はネットワーク上のデータ保護のレベルと、既存および将来の Wi-Fi ネットワークのアクセス コントロールを向上させます。 802.11 基準のオリジナルのネイティブ セキュリティ機構である、WEP の既存の弱点に対応しています。

WPA2 は第二世代の WPA セキュリティで、認証を受けたユーザしかワイヤレス ネットワークにアクセスできないようにして、企業や Wi-Fi ユーザに高レベルの安全を提供します。

• **データの暗号化**：
  ◦ Wired Equivalent Privacy (WEP) では、あるワイヤレス デバイスから別のワイヤレス デバイスにラジオ波上で送信するデータを暗号化することで、セキュリティを提供します。 WEP 対応のネットワーク上のデバイスは、WEP キーを使用してデータを暗号化します。 ネットワークで WEP を使用している場合、使用する WEP キーを知っている必要があります。
  ◦ WPA では暗号化に、Temporal Key Integrity Protocol (TKIP) を現在使用可能な標準 Extensible Authentication Protocol (EAP) タイプの 1 つと共に使用し、802.1X 認証を採用しています。
  ◦ WPA2 によって新しい暗号化スキームである Advanced Encryption Standard (AES) が提供されます。 AES は 暗号文ブロック連鎖モード (CCM) で定義され、Independent Basic Service Set (IBSS) をサポートして、アドホック モードで動作しているクライアント ワークステーション間のセキュリティを可能にします。

インストール プログラムを使用してワイヤレス通信をセットアップするには (Windows)

注記 この方法を使う場合は、ワイヤレス ネットワークをセットアップして起動する必要があります。USB ケーブルも必要です。USB ケーブルは、インストーラによる指示があるまで接続しないでください。

1. 開いている文書があれば保存します。コンピュータで実行中のプログラムがある場合は閉じます。
2. スタータ CD を CD ドライブに挿入します。CD のメニューが自動的に起動します。 CD が自動的に起動しない場合は、スタータ CD のセットアップ アイコンをダブルクリックします。
3. CD メニューで **[ネットワーク/ワイヤレス デバイスのインストール]** をクリックし、画面の指示に従います。

   注記 インストール中にコンピュータのファイアウォール ソフトウェアのメッセージが表示された場合、[常に許可する] オプションを選択します。このオプションを選択すると、コンピュータへのソフトウェアのインストールが正しく行われます。

4. 指示されたら、USB ワイヤレス セットアップ ケーブルを一時的に接続します。
5. 画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。
6. 指示されたら、USB ワイヤレス セットアップ ケーブルを取り外します。

インストーラでワイヤレス通信をセットアップするには (Mac OS X)

1. USB ワイヤレス ケーブルを HP デバイス背面のポートとコンピュータの任意の USB ポートに差し込みます。
2. スタータ CD をコンピュータに挿入します。
3. スタータ CD の [HP Installer] アイコンをダブルクリックして、画面の指示に従います。
4. 指示されたら、USB ワイヤレス セットアップ ケーブルを取り外します。

デバイスのコントロール パネルとワイヤレス セットアップ ウィザードを使用してワイヤレス通信をセットアップするには

ワイヤレス セットアップ ウィザードを使用すると、デバイスへのワイヤレス接続を簡単に設定したり、管理したりできます。

注記 この方法を使用するには、ワイヤレス ネットワークがセットアップおよび実行されている必要があります。

1. デバイス ハードウェアをセットアップします (デバイスに付属のセットアップ ガイドまたはセットアップ ポスターを参照)。
2. デバイスのコントロール パネルの **セットアップ** ボタンを押します。
3. 矢印ボタンを押して [**ネットワーク設定**] に移動し、**OK** を押します。
4. 矢印ボタンを押して [**ワイヤレス設定ウィザード**] に移動し、**OK** を押します。
5. 画面の指示に従って、セットアップを完了します。

ワイヤレス通信をオフにするには

デバイスのコントロール パネル： **セットアップ** を押し、[**ネットワーク設定**]、[**ワイヤレス**] の順に選択し、[**オン**] または [**オフ**] のどちらかを選択します。

アド ホック ワイヤレス ネットワーク接続でデバイスを接続する

方法 1

1. お使いのコンピュータとデバイスでワイヤレスをオンにします。
2. コンピュータ上で、ネットワーク名 (SSID)「hpsetup」に接続します。(このネットワーク名はデフォルトで、HP デバイスが作成したアド ホック ネットワークです)。

> **注記** HP デバイスが以前に別のネットワーク用に構成されていた場合、ネットワークのデフォルトを復元すれば、デバイスが「hpsetup」を使用できるようになります。ネットワーク デフォルトを復元するには、以下の手順を実行します。
>
> **管理者パスワードおよびネットワーク設定のリセット**：**セットアップ**、**ネットワーク**、**ネットワーク デフォルトに戻す**の順に選択します。詳細については、一般的なトラブルシューティング ヒントとリソースをご覧ください。

ワイヤレス ネットワークでのノイズの減少ガイドライン

以下のヒントは、ワイヤレス ネットワークでのノイズの発生を減少するのに役立ちます。

- 無線シグナルを混乱させる原因となることがあるため、ワイヤレス デバイスをファイル キャビネットなどの大きな金属性の物体や電子レンジやコードレス電話などそれ以外の電磁デバイスから離しておきます。
- 大きな石造構造やそれ以外の建築構造は無線波を吸収してシグナル強度を弱めることがあるため、ワイヤレス デバイスをこれらの構造から離しておきます。
- インフラストラクチャ ネットワークでは、WAP をネットワーク上のワイヤレス デバイス間の中心位置に置きます。
- ネットワーク上のワイヤレス デバイスをすべて至近距離に置きます。

HP デバイスで動作するようにファイアウォールを構成する

コンピュータでパーソナル ファイアウォールなどのセキュリティ ソフトウェアが動作していると HP デバイスとコンピュータ間のネットワーク通信がブロックされることがあります。

このような場合、次のような問題が発生します。

- HP ソフトウェアのインストール中にプリンタが見つからない
- 印刷できない、印刷待ちのジョブが残ったり、プリンタがオフラインになる
- スキャン通信エラーまたはスキャナがビジー状態というメッセージが表示される
- コンピュータでプリンタの状態を確認できない

ファイアウォールにより、HP デバイスがネットワーク上のコンピュータに自分の場所を知らせることができていない可能性があります。HP デバイスがネットワーク接続されているのに HP ソフトウェアがインストール中に HP デバイスを検出できない場合 、または HP ソフトウェアが正しくインストールされているのに問題が発生した場合は、次の方法を実行します。

1. Windows を実行しているコンピュータを使用している場合は、ファイアウォール構成ユーティリティで、ローカル サブネット (「スコープ」または「ゾーン」と呼ばれることもある) のコンピュータを信頼するオプションを探します。ローカルサブネット上のすべてのコンピュータを信頼することで、オフィスのコンピュータやデバイスはインターネットから保護された状態で互いに通信できるようになります。これが最も簡単な解決方法です。
2. ローカル サブネット上のコンピュータを信頼するオプションが見つからない場合、受信 UDP ポート 427 をファイアウォールの許可ポート リストに追加します。

注記 すべてのファイアウォールで受信ポートと送信ポートの区別をつける必要はありませんが、その必要があるものがあります。

HP ソフトウェアがファイアウォールによって信頼済みデバイスと認識されていないため、ネットワークにアクセスできないという問題もよくあります。これは、HP ソフトウェアのインストール時に表示される、ファイアウォールに関するダイアログボックスで、[ブロックする] と答えてしまったときに起こります。

Windows を実行しているコンピュータでこれが起きた場合、ファイアウォールの信頼済みアプリケーションのリストに次のプログラムがあることを確認し、なければ追加します。

- **hpqkygrp.exe** (**C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある)。
- **hpqscnvw.exe** (**C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある)。
- **hpqste08.exe** (**C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある)。

- **hpqtra08.exe** (**C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある)。
- **hpqthb08.exe** (**C:\program files\HP\digital imaging\bin** にある)。

注記 ファイアウォールのポートの設定方法および HP ファイルの「信頼」リストへの追加方法については、ファイアウォールの説明書を参照してください。

注記 ファイアウォールによっては、無効に設定したとしても障害を引き起こすものがあります。上記のようにファイアウォールを設定した後も問題が発生する場合、Windows を実行しているコンピュータを使用しているならば、HP デバイスをネットワーク経由で使用するためにファイアウォール ソフトウェアをアンインストールする必要があります。

接続方法を変更する

ソフトウェアのインストールが完了し、USB ケーブルまたは Ethernet ケーブルを使用して HP デバイスを接続していれば、いつでも好きなときにワイヤレス接続に変更できます。

USB 接続からワイヤレス接続に変更する (Windows)

1. **[スタート]**、**[プログラム]**、**[HP]** を選択し、お使いのデバイスを選択し、**[接続方法を変更]** を選択します。
2. **[デバイスの追加]** を押します。
3. 画面に表示される指示に従って、USB ケーブルを取り外します。

USB 接続からワイヤレス接続に変更する (Mac OS X)

1. Dock または [Applications] フォルダ内の [Hewlett-Packard] フォルダにある **[HP デバイス マネージャ]** アイコンをクリックします。
2. **[情報と設定]** リストから、**[ネットワーク プリンタ設定ユーティリティ]** を選択します。
3. 画面の指示に従って、ネットワーク設定を行います。

Ethernet 接続からワイヤレス接続に変更する

注記 Ethernet 対応の HP デバイスの場合のみ。

1. 組み込み Web サーバ (EWS) を開きます。詳細については、組み込み Web サーバをご覧ください。
2. **[[ネットワーキング]]** タブをクリックし、左枠にある **[[ワイヤレス (802.11)]]** をクリックします。
3. **[ワイヤレスセットアップ]** タブで、**[ウィザードの開始]** をクリックします。
4. 画面の手順に従って、Ethernet 接続からワイヤレス接続に変更します。
5. 設定変更を完了した後に、Ethernet ケーブルを取り外します。

ワイヤレス ネットワークのセキュリティ保証ガイドライン

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ハードウェア アドレスを WAP に追加するには
- その他のガイドライン

ハードウェア アドレスを WAP に追加するには

MAC フィルタリングはセキュリティ機能で、WAP を通じてネットワークへアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) のリストを WAP で構成します。

ネットワークにアクセスしようしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。

WAP が MAC アドレスをフィルタすると、デバイスの MAC アドレスは WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加されなければなりません。

1. ネットワーク設定ページを印刷します。 ネットワーク設定ページの詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
2. WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェアアドレスを容認された MAC アドレスのリストに追加します。

その他のガイドライン

ワイヤレス ネットワークをセキュアに保つには、以下のガイドラインに従います :

- パスワードには最低 20 のランダム文字を使用します。 WPA パスワードでは、63 文字まで使用できます。
- よくある語句、簡単な文字の順序 (すべて 1 など)、および個人的にわかりやすい情報は、パスワードには使用しないでください。 大文字と小文字、数字、そして許可されている場合には句読点などの特殊文字から構成された、ランダムな文字列を常に使用してください。
- パスワードは定期的に変更します。
- アクセス ポイントやワイヤレス ルータへの管理者アクセス用にメーカーから提供されたデフォルト パスワードは変更します。 管理者名を変更できるルータもあります。
- ワイヤレス上での管理者アクセスは、できればオフにします。 こうすると、構成を変更する場合にはワイヤ Ethernet 接続を使用してルータに接続する必要があります。
- できれば、ルータへのインターネット上のリモート管理者アクセスはオフにします。 Remote Desktop を使用して、ルータで起動しているコンピュータへ暗号化された接続を行い、インターネット上でアクセスしているローカル コンピュータから構成変更を行うことができます。
- 他者の'ワイヤレス ネットワークへ間違って接続することを防ぐため、推奨されていないネットワークへ自動的に接続する設定をオフにします。 これは、Windows XP ではデフォルトで無効にされています。

ソフトウェアのアンインストールと再インストール

インストールが不完全な場合、またはソフトウェア インストール画面で指示される前に USB ケーブルをコンピュータに接続した場合は、ソフトウェアをアンインストールしてから再インストールする必要があります。 デバイスのアプリケーション ファイルをコンピュータから単に削除するだけでは不十分です。 デバイス付属のソフトウェアをインストールしたときに追加されたアンインストール ユーティリティを使って、該当するファイルを正しく削除してください。

ソフトウェアのアンインストール方法は、Windows コンピュータの場合は 3 種類、Macintosh コンピュータの場合は 1 種類あります。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。
2. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[プログラム]** または **[すべてのプログラム]**、**[HP]**、**[Officejet 6500 E709 Series]** の順に選択し、**[アンインストール]** をクリックします。
3. 画面上の指示に従って操作してください。
4. 共有ファイルを削除するかどうか尋ねられたら、**[いいえ]** をクリックします。
   共有ファイルを削除すると、これらのファイルを使用する他のプログラムが動作しなくなってしまう可能性があります。
5. コンピュータを再起動します。
6. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、画面の指示に従います。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。
7. ソフトウェアにより指示されたら、デバイスをコンピュータに接続します。
8. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
   デバイスを接続し、電源を入れると、すべてのプラグ アンド プレイ イベントが完了するまでに数分待たなければならないこともあります。
9. 画面上の指示に従って操作してください。

ソフトウェアのインストールが完了したら、Windows システム トレイに **[HP Digital Imaging Monitor]** アイコンが表示されます。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

注記 この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

---

1. Windows タスクバーで、**[スタート]** をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** を選択して、**[プログラムの追加と削除]** をクリックします。
   - Or -
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プログラムと機能]** をダブルクリックします。
2. **[HP Officejet 6500 E709 Series]** を選択し、**[変更/削除]** または **[アンインストール/変更]** をクリックします。
   画面上の指示に従って操作してください。
3. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記 コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
6. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

Windows コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 3

注記 この方法は、Windows の [スタート] メニューで **[アンインストール]** が利用できない場合に使用します。

1. コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入し、セットアップ プログラムを起動します。
2. お使いのコンピュータからデバイスの接続を解除します。
3. **[アンインストール]** を選択して、画面上の指示に従って操作します。
4. コンピュータを再起動します。

   注記 コンピュータを再起動する前にデバイスとコンピュータとの接続を解除することが重要です。 ソフトウェアの再インストールが完了するまで、デバイスをコンピュータに接続しないでください。

5. デバイスのセットアップ プログラムをもう一度起動します。

6. **[インストール]** を選択します。
7. 画面上の指示に従って操作します。デバイス接続前にソフトウェアをインストールする (推奨)も参照してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 1

1. **[HP デバイス マネージャ]** を起動します。
2. **[情報と設定]** をクリックします。
3. プルダウン メニューから **[HP AiO ソフトウェアのアンインストール]** を選択します。
   画面上の指示に従って操作してください。
4. ソフトウェアのアンインストールが完了したら、コンピュータを再起動します。
5. ソフトウェアを再インストールするには、コンピュータの CD-ROM ドライブにデバイスのスタータ CD を挿入します。
6. デスクトップで、CD-ROM を開き、**[HP All-in-One インストーラ]** をダブルクリックします。
7. 画面上の指示に従って操作します。ネットワーク接続、または直接接続にソフトウェアをインストールするも参照してください。

Macintosh コンピュータ上でソフトウェアをアンインストールする方法、その 2

1. Finder を開きます。
2. **[アプリケーション]** をダブルクリックします。
3. **[Hewlett-Packard]** をダブルクリックします。
4. デバイスを選択して、**[アンインストール]** をダブルクリックします。

9 保守とトラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インク カートリッジのメンテナンス
- 印刷品質レポートの印刷と評価
- デバイスのクリーニング
- 一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース
- 印刷上の問題の解決
- 印刷のトラブルシューティング
- 印刷品質のトラブルシューティング
- 給紙の問題の解決
- コピーの問題の解決
- スキャンの問題の解決
- ファクスの問題の解決
- ネットワークの問題の解決
- ワイヤレスの問題の解決 (一部のモデルのみ)
- 写真 (メモリ カード) の問題の解決
- 本体の管理に関する問題の解決
- インストールの問題のトラブルシューティング
- メディア詰まりの除去
- エラー

インク カートリッジのメンテナンス

HP All-in-One の印刷が常に美しく仕上がるようにするには、簡単なメンテナンス手順を実行する必要があります。このセクションでは、インク カートリッジの扱い方のガイドライン、インク カートリッジの交換、およびプリントヘッドの調整とクリーニングについて説明します。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- インク カートリッジとプリントヘッドの情報
- 推定インクレベルの確認
- インク カートリッジの交換
- 高度なインク カートリッジのメンテナンス
- プリントヘッド メンテナンスの詳細
- 使用状況情報の収集

インク カートリッジとプリントヘッドの情報

印刷の品質を保つために、HP インク カートリッジの取り扱い方について、次のことに注意してください。

- インク サプライ品の装着を初めて行う場合は、『セットアップ ガイド』の手順に従ってください。このユーザー ガイドの手順はインク サプライ品を交換するための手順です。初めて装着するための手順ではありません。
- インク カートリッジを交換する必要がある場合は、新しいインク カートリッジを用意してから、古いインク カートリッジを取り外してください。

△ **注意** 新しいインク カートリッジを手元に用意してから、古いインク カートリッジを取り外してください。インク カートリッジを製品から取り外したまま、長時間放置しないでください。製品とインク カートリッジの両方が損傷する恐れがあります。

- インク カートリッジはパッケージを未開封のまま保管し、使用するときに開封してください。
- インク カートリッジはパッケージに販売時と同じ向きで保管し、パッケージを箱から出した場合はラベルを下にして保管します。
- 製品の **電源** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。**電源** ランプが消灯するのを待ってから、電源コードを抜いたりテーブル タップをオフにしてください。誤った方法で HP All-in-One の電源をオフにすると、インク ホルダーが正しい位置に戻らない場合があり、インク カートリッジに問題が発生して印刷品質に悪影響が出ることがあります。
- インク カートリッジは、常温 (15 ～ 35℃) で保管してください。
- 印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでカートリッジを交換する必要はありません。ただし 1 つまたは複数のカートリッジが消耗すると印刷品質が大幅に低下するおそれがあります。またプリントヘッドが詰まっても低下する場合があります。このようなときはカートリッジ内の推定インク残量を確認したり、プリントヘッドをクリーニングしてみます。プリントヘッドのクリーニングには少量のインクが使用されます。
- プリントヘッドのクリーニングを不必要に行わないでください。インクが無駄になり、カートリッジの寿命を縮めます。

- インク カートリッジは注意深く取り扱ってください。装着するときに、落としたり振ったり乱暴に取り扱うと、印刷が不調になることがあります。
- 製品を運搬する場合は次の項目に従い、インク ホルダーからインクが漏れたり、製品に何らかの損傷が生じたりしないようにします。
  - **電源** ボタンを押して確実に電源をオフにします。
    インク ホルダーはサービス ステーションの右端で停止しているはずです。
  - インク カートリッジとプリントヘッドは装着されたままにしておきます。
  - 製品の内部に丸めた新聞紙を軽く詰めて、運搬中にインク ホルダーが動かないようにします。
  - 運搬中は必ず製品を平らなところに置くようにします。製品の側面、背面、前面、上面を下に向けて置かないでください。

関連トピック

- 推定インクレベルの確認
- プリントヘッドをクリーニングする

推定インクレベルの確認

HP ソリューション センター、ツールボックス (Windows)、HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)、または組み込み Web サーバで推定インク レベルを確認できます。これらのツールの使用方法については、デバイス管理ツールの使用を参照してください。プリンタ ステータス ページを印刷してもこの情報を確認することができます(プリンタ ステータス ページの理解を参照)。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷の品質が使用に耐えないレベルに達するまでプリント カートリッジを交換する必要はありません。

注記 再充填または再生されたプリント カートリッジや、別のプリンタで使用されていたプリント カートリッジを取り付けた場合、インク残量インジケータが不正確であったり、表示されない場合があります。

注記 カートリッジ内のインクは、印刷処理のさまざまな場面で消費されます。初期化処理で、製品とカートリッジの印刷準備を行う際や、プリントヘッドのクリーニングで、プリント ノズルをクリーニングしてインクの流れをスムーズにする際にも消費されます。また、使用済みカートリッジ内には微量のインクが残っています。詳細については、www.hp.com/go/inkusage を参照してください。

インク カートリッジの交換

インク カートリッジを交換する際は、以下の指示に従ってください。

注記 初めて製品をセットアップする際には、セットアップ ポスターの指示に従って、インク サプライ品の取り付けを行ってください。

使用済みサプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

HP All-in-One の交換用インク カートリッジを用意していない場合は、www.hp.com/buy/supplies でカートリッジの注文ができます。指示に従って、国/地域および製品を選択し、ページ上のショッピング リンクをクリックします。

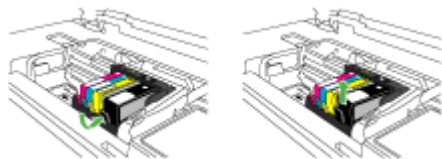
注記 現時点では、HP Web サイトの一部分は英語版のみです。

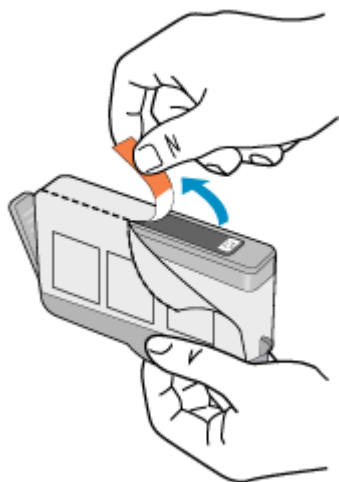
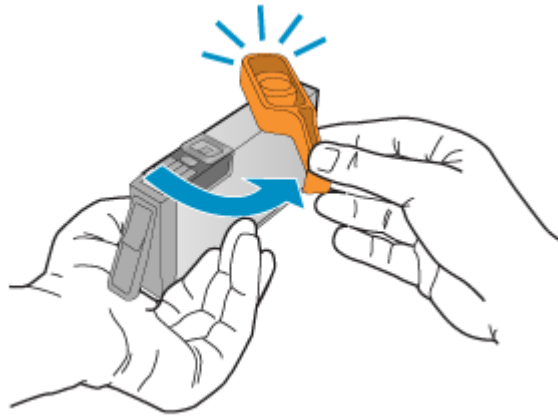
△ **注意** 新しいインク カートリッジを手元に用意してから、古いインク カートリッジを取り外してください。インク カートリッジを製品から取り外したまま、長時間放置しないでください。製品とインク カートリッジの両方が損傷する恐れがあります。

インク カートリッジを交換するには

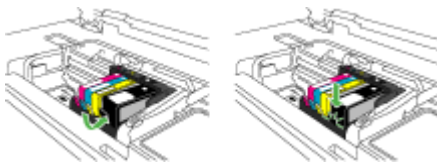
1. 製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. プリント カートリッジのアクセス ドアを開きます。
   インク ホルダーが中央まで移動します。

   注記 インク ホルダーが止まるのを待ってから、作業を続けてください。

3. インク カートリッジ前面のタブを押して固定を解除し、スロットから取り外します。

4. 新しいインク カートリッジのオレンジのつまみを反対方向にまっすぐ引っ張り、インク カートリッジからプラスチックのラップをはがしてパッケージから取り出します。

注記 インク カートリッジを製品に取り付ける前に、必ずプラスチックのラップをはがしてください。はがさずにそのまま取り付けると、印刷が失敗します。

5. オレンジのキャップをひねって取り外します。

6. アイコンの色と形状を参考にしながら、空のスロットにインク カートリッジを差し込み、カチッと音がしてしっかりとスロットに固定されるまで押し込みます。

△ **注意** インク カートリッジを取り付ける際は、インク ホルダー上のラッチ ハンドルを持ち上げないでください。ラッチ ハンドルが上がっていると、インク カートリッジが間違った位置に固定され、印刷に問題が発生します。インク カートリッジを正しくセットできるよう、ラッチは常に下げておいてください。

取り付けるインク カートリッジと同じ形状のアイコンおよび色のスロットに、インク カートリッジを挿入してください。

7. 交換している各インク カートリッジに対して、3 から 6 の手順を繰り返してください。
8. インク カートリッジ ドアを閉じます。

関連トピック

印刷用サプライ品のオンライン注文

高度なインク カートリッジのメンテナンス

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• センサーのクリーニング
• インク カートリッジのセンサー ウィンドウのクリーニング

センサーのクリーニング

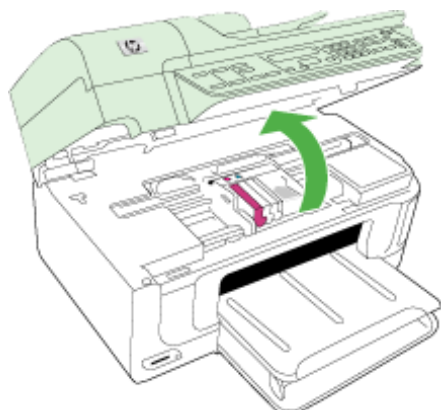
注記 この手順は、インク カートリッジに関連するエラー メッセージが表示された場合のみ必要です。エラー メッセージの詳細については、エラーを参照してください。

センサーをクリーニングします。

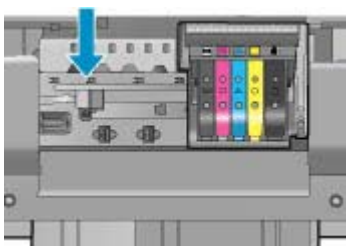
問題が解決しなくても印刷は続行できますが、インク システムの動作が変わる可能性があります。

△ **注意** クリーニング手順は数分で終わります。指示があったら、インク カートリッジが製品に再度取り付けられていることを確認してください。製品の外で一定時間放置すると、インク カートリッジが損傷する可能性があります。

センサーのクリーニングを行うには

1. クリーニング作業用に、綿棒や糸くずの出ない布を用意します。
2. 製品の電源がオンになっていることを確認します。
3. インク カートリッジのアクセス ドアを製品本体前面の右側から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。

インク ホルダーが中央まで移動します。

注記 インク ホルダーが止まるのを待ってから、作業を続けてください。

4. 製品内部のセンサーを探します。
センサーは、正方形の黒いプラスチックの部分で、インク ホルダーのすぐ左側にあります。

5. センサーを乾いた綿棒や糸くずの出ない布で拭きます。
6. インク カートリッジ アクセス ドアを閉め、エラー メッセージが解消されたかどうか確認します。
7. まだエラー メッセージが表示される場合は、製品の電源をオフにして、もう一度オンにします。

インク カートリッジのセンサー ウィンドウのクリーニング

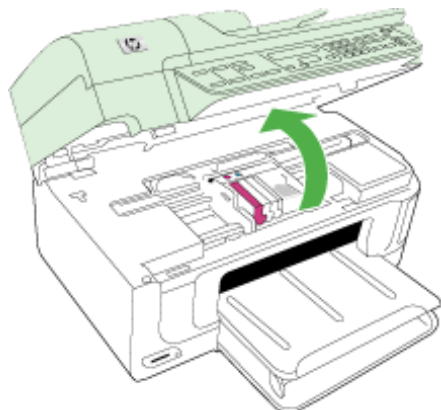
すべてのインク カートリッジのウィンドウをクリーニングしてください。

問題が解決しなくても印刷は続行できますが、インク システムの動作が変わる可能性があります。

△ **注意** クリーニング手順は数分で終わります。指示があったら、インク カートリッジが製品に再度取り付けられていることを確認してください。製品の外で一定時間放置すると、インク カートリッジが損傷する可能性があります。

インク カートリッジのセンサー ウィンドウをクリーニングするには

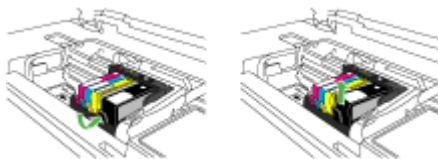
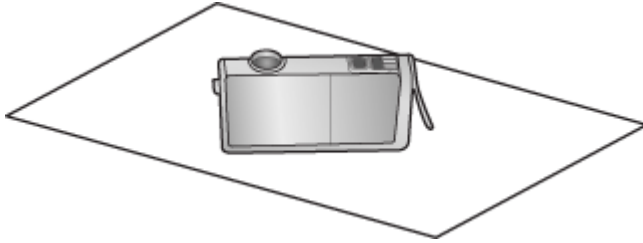
1. クリーニング作業用に、綿棒や糸くずの出ない布を用意します。
2. 製品の電源がオンになっていることを確認します。

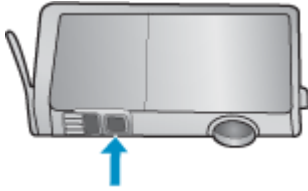
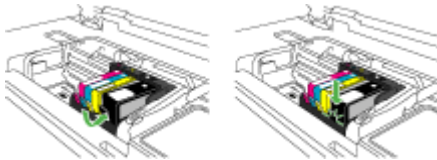
3. インク カートリッジのアクセス ドアを製品本体前面の右側から持ち上げて、所定の位置で止まるまで開きます。

インク ホルダーが中央まで移動します。

注記 インク ホルダーが止まるのを待ってから、作業を続けてください。

4. インク カートリッジをすべて取り外し、インク開口部を上に向けて紙の上に置きます。

インク カートリッジを取り外すには

a. インク カートリッジのタブを押して固定を解除し、スロットから取り外します。

b. インク開口部を上に向けて、紙の上にインク カートリッジを置きます。

c. カートリッジごとにステップ a および b を繰り返します。

5. インク カートリッジごとに、センサー ウィンドウを乾いた綿棒や糸くずの出ない布で拭きます。
センサー ウィンドウは透明なプラスチックの部分で、インク カートリッジの底面にある、銅色または金色をした金属の接触部の近くにあります。金属の接触部には触れないようにしてください。

6. 各インク カートリッジをスロットに取り付けます。タブがしっかりとはまるまで押し下げます。
それぞれのインク カートリッジのラベルの色とアイコンが、そのインク カートリッジ用のスロットの色とアイコンに一致するようにします。

7. インク カートリッジ アクセス ドアを閉め、エラーが解消されたかどうか確認します。
8. まだエラー メッセージが表示される場合は、製品の電源をオフにして、もう一度オンにします。

プリントヘッド メンテナンスの詳細

印刷時に問題が発生した場合は、プリントヘッドに問題がある可能性があります。次のセクションで書かれた手順は、印刷品質を改善するために指示された場合のみ実行してください。

不必要な調整やクリーニングは、インクを無駄に使い、カートリッジの寿命を縮めます。

インク カートリッジに関するエラーメッセージが表示されたら、エラー で詳細情報を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• プリントヘッドをクリーニングする
• プリンタを調整する

プリントヘッドをクリーニングする

印刷した出力に縞模様が見られたり、間違った色や欠けた色がある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

このクリーニングでは、インクを使用してプリントヘッドのノズルの詰まりを取り除きます。

この作業には数分間かかり、用紙を 1 枚以上使用します。

コントロール パネルからプリントヘッドをクリーニングするには

1. メイン給紙トレイに、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. セットアップを押します。
3. [ツール] が選択されるまで矢印ボタンを押し続け、**OK(O)** を押します。
4. [プリントヘッドのクリーニング] が選択されるまで矢印ボタンを押し続け、**OK(O)** を押します。
   プリントヘッドのクリーニングが行われます。
5. [ツール] メニューに戻るまで任意のボタンを押します。

プリンタ ツールボックスでプリントヘッドをクリーニングするには

1. メイン給紙トレイに、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. HP Solution Center で、**[設定]** をクリックします。
3. **[印刷設定]** 領域で、**[プリンタ ツールボックス]**をクリックします。

   注記 また、**[プリント プロパティ]** ダイアログ ボックスから **[プリンタ ツールボックス]** を開くこともできます。**[プリント プロパティ]** ダイアログ ボックスで、**[機能]** タブをクリックし、**[プリンタ サービス]** をクリックします。

   [プリンタ ツールボックス] が表示されます。
4. **[プリンタ サービス]** タブをクリックします。
5. **[プリントヘッドのクリーニング]** をクリックします。
6. 出力の品質が満足できるものになるまで指示に従って操作してから、**[完了]** をクリックします。
   クリーニングは、2 段階で行われます。各段階は 2 分程続き、この間、1 枚の紙とインクを使用します。 インクの使用量は段階を追うごとに増えていきます。各段階の後、印刷ページの品質を確認してください。印刷品質が満足できるレベルでなかった場合のみ、クリーニングの次の段階を開始するようにしてください。
   この両段階のクリーニングを実行しても印刷品質が改善されない場合は、プリンタの調整を行ってください。クリーニングや調整を行っても印刷品質の問題が解決しない場合は、HP サポートに連絡してください。

組み込み Web サーバからプリントヘッドをクリーニングするには

1. メイン給紙トレイに、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **[デバイス設定]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス サービス]** をクリックします。 **[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリントヘッドのクリーニング]** を選択して、**[診断の実行]** をクリックします。

プリンタを調整する

製品は初期設定の際、自動的にプリントヘッドの位置調整を行います。

この機能は、プリンタ ステータス レポートでカラー ブロックに筋や白線が表示されたとき、または印刷品質に問題があるときに使用してください。

コントロール パネルからプリントヘッドを調整するには

1. メイン給紙トレイに、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **セットアップ** を押してください
3. [**ツール**] が選択されるまで矢印ボタンを押し続け、**OK(O)** を押します。
4. **プリンタの調整** が選択されるまで矢印ボタンを押し続け、**OK (O)** を押します。
   プリントヘッドの位置調整が行われます。
5. [**ツール**] メニューに戻るまで任意のボタンを押します。

[プリンタ ツールボックス] からプリンタを調整するには

1. メイン給紙トレイに、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. HP Solution Center で、**[設定]** をクリックします。
3. **[印刷設定]** 領域で、**[プリンタ ツールボックス]**をクリックします。

   注記 また、**[プリント プロパティ]** ダイアログ ボックスから **[プリンタ ツールボックス]** を開くこともできます。**[プリント プロパティ]** ダイアログ ボックスで、**[機能]** タブをクリックし、**[プリンタ サービス]** をクリックします。

   [プリンタ ツールボックス] が表示されます。
4. **[プリンタ サービス]** タブをクリックします。
5. **[プリンタの調整]** をクリックします。
   製品はテスト ページの印刷、プリントヘッドの調整、プリンタの位置調整を行います。この用紙はリサイクルするか捨ててください。

組み込み Web サーバからプリンタを調整するには

1. メイン給紙トレイに、A4、またはリーガルサイズの未使用の白い普通紙をセットします。
2. **[設定]** タブをクリックし、左枠の **[プリンタ サービス]** をクリックします。 **[印刷品質]** セクションのドロップダウン リストから **[プリンタの調整]** を選択して、**[診断の実行]** をクリックします。

使用状況情報の収集

本製品に使用する HP カートリッジには、製品の操作に役立つメモリ チップが入っています。

また、このメモリ チップは製品の使用状況について、以下を含む限定された内容の情報を収集します。カートリッジが最初に取り付けられた日、カートリッジが最後に使用された日、カートリッジを使用した印刷部数、ページ適用範囲、使用された印刷モード、発生した印刷エラー、および製品モデル。この情報は、お客様の印刷に関するニーズに対応する今後の製品の設計に役立ちます。

カートリッジのメモリ チップから収集されたデータには、カートリッジや製品のお客様やユーザーの特定に利用可能な情報は含まれていません。

HP は、HP の無料回収およびリサイクル プログラム (HP Planet Partners：www.hp.com/recycle) で回収されたカートリッジのメモリ チップの一部を収集しています。今後の HP 製品の改善のため、ここで収集されたメモリ チップを読み取り、研究しています。このカートリッジのリサイクルを支援する HP のパートナーも、このデータにアクセスすることができます。

カートリッジを保有する任意の第三者が、メモリ チップ上の匿名情報にアクセスする可能性もあります。この情報へのアクセスを希望されない場合、チップを動作不能にすることもできます。ただし、メモリ チップを動作不能にした後で、そのカートリッジを HP 製品に使用することはできません。

この匿名情報の提供に懸念がある場合は、製品の使用状況情報を収集するメモリ チップの機能をオフにして、この情報にアクセスできないようにすることができます。

使用状況情報の回収をオフにするには

1. 製品のコントロール パネルの **[セットアップ]** ボタンを押します。
2. **[基本設定]** を選択し、**[カートリッジ チップ情報]** を選択します。
3. **[1]** を押すと、使用状況情報の収集がオフになります。

注記 メモリ チップが製品の使用状況情報を収集する機能をオフにしても、カートリッジは HP 製品に継続して使用することができます。

印刷品質レポートの印刷と評価

印刷品質の問題には、ソフトウェアの設定、品質の悪い画像ファイル、または印刷システム自体など、さまざまな原因が考えられます。印刷の質に不満がある場合は、印刷品質ページを印刷すると、印刷システムが正常に機能しているかどうかを簡単に判断できます。

この項では、以下の項目について説明します。

- 印刷品質レポートを印刷するには
- 印刷品質ページを評価するには

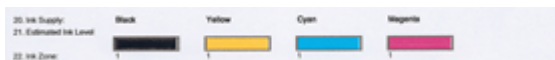
印刷品質レポートを印刷するには

1. 通常の白いレターサイズ、または A4 用紙をセットします。
2. **[レポートの印刷]** が表示されるまで **[セットアップ]** を押します。
3. **[印刷品質レポート]** が表示されるまで矢印を押します。**[OK]** を押します。

印刷品質ページを評価するには

この項では、以下の項目について説明します。

- インク レベル
- 良いカラー バー
- ギザギザ、不規則な縞模様、または色の薄いバー
- バーの規則的な白い縞模様
- バーの色が均一でない
- 大きなフォントのモノクロの文字
- 調整パターン

インク レベル

▲ 21 行目の [インク レベル] を確認します。いずれかのインク残量インジケータが低い場合は、そのインク カートリッジを交換する必要があります。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、交換用インクを用意できるよう情報を提供します。インクの警告メッセージが表示されたら、印刷できなくなる前に交換用のインク カートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

良いカラー バー

▲ ページの中央にあるカラー バーを見ます。カラー バーは 7 本あるはずです。カラー バーは縁が鮮明でなければなりません。塗りつぶされていなければなりません (白や他の色の縞模様がない)。色が全体的に均一でなければなりません。
良いカラー バーの例 - 7 本のバーすべてが塗りつぶされ、縁が鮮明で、均一な色がページ全体に広がっていれば、プリンタは正しく動作しています。プリンタのインク カートリッジに対応するバーは、次のとおりです。

部分	カートリッジの色
1	黒インク カートリッジ
2	HP xxx インク カートリッジ シアン
3	HP xxx インク カートリッジ マゼンタ
4	HP xxx インク カートリッジ イエロー

ギザギザ、不規則な縞模様、または色の薄いバー

悪いカラー バーの例 - 上部のバーが不規則な縞模様、または薄くなっています。

悪いカラー バーの例 - 上部の黒いバーがギザギザ、または片方の端が欠けています。

いずれかのバーがギザギザ、不規則な縞模様、または薄い場合は、次の手順を実行します。

1. インク カートリッジにインクがあることを確認します。
2. 縞模様のバーに対応するカートリッジを取り外し、正しくインクが排出されていることを確認します。詳細については、インク カートリッジの交換をご覧ください。
3. カートリッジを装着し直し、すべてのカートリッジのラッチが正しくかかっていることを確認します。詳しくは、インク カートリッジの交換を参照してください。
4. プリントヘッドをクリーニングします。詳しくは、プリントヘッドをクリーニングするを参照してください。
5. 別の印刷品質レポートを印刷するか、印刷品質レポートを再印刷してみます。まだ問題が発生していて、クリーニングで改善しそうであれば、再度クリーニングします。

6. クリーニングしても問題が解決しない場合は、ギザギザのバーに対応するカートリッジを交換します。
7. インク カートリッジを交換しても解決しない場合は、HP に連絡してください。プリントヘッドの交換が必要です。

印刷品質レポートのギザギザのバーの問題が発生するのを防ぐには:

- 開封したインク カートリッジをプリンタから取り外したまま、長時間放置しないでください。
- 新しいカートリッジの取り付け準備が整うまで、古いカートリッジを取り外さないでください。

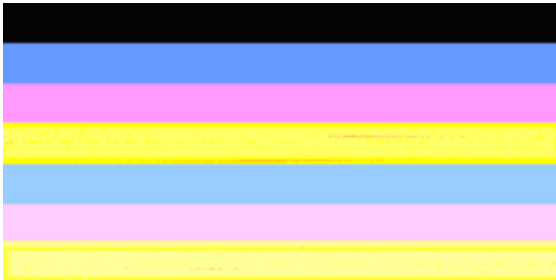
印刷品質レポートに不具合を示す情報がなければ、印刷システムは正常に機能しています。正しく機能しているので、サプライ品の交換や製品の修理を行う理由はありません。印刷品質にまだ問題がある場合、さらに次の項目を確認してください。

- 用紙を確認する。
- 印刷設定を確認してください。
- 画像の解像度が十分かどうか確認する。
- 問題が印刷物のある決まった側に発生する場合、製品付属のソフトウェアまたはその他のソフトウェアを使用して画像を 180 度回転してみます。回転してみると問題が起きない場合があります。

バーの規則的な白い縞模様

いずれかのカラー バーに規則的に白い縞模様がある場合は、次の手順を実行します。

1. 印刷品質レポートの 36 行目に [**PHA TTOE = 0**] と表示されている場合は、プリンタを調整します。詳細については、プリンタを調整するをご覧ください。
2. 36 行目が 0 でない場合は、調整では解決しません。プリントヘッドをクリーニングします。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするをご覧ください。
3. 別の印刷品質レポートを印刷します。まだ縞模様があるが改善されて見える場合は、もう 1 回クリーニングします。縞模様が悪化した場合は、HP に連絡してください。プリントヘッドを交換する必要があります。

バーの色が均一でない

いずれかのカラー バーが均一でない場合は、次の手順を実行します。

1. 最近高度が高い場所に移動した場合は、プリントヘッドのクリーニングを行います。
2. プリンタを最近移動していない場合は、別の印刷品質レポートを印刷してみます。この方がプリントヘッドのクリーニングより使用するインクは少ないですが、効果がなければクリーニングしてください。
3. 印刷品質レポートを再度印刷します。色が改善して見える場合は、クリーニングを続行します。色が悪化した場合は、HP に連絡してください。プリントヘッドを交換する必要があります。

大きなフォントのモノクロの文字

カラー ブロックの上の大きなフォントの文字を見ます。[**I ABCDEFG abcdefg**]文字は、シャープで鮮明でなければなりません。文字がギザ

ギザになっている場合は、プリンタを調整します。縞模様やインクの染みがある場合は、プリントヘッドをクリーニングします。

I ABCDEFG abcdefg I

大きなフォントの文字の良い例 - 文字がシャープで鮮明であれば、プリンタは正しく動作しています。

I ABCDEFG abcdefg I

大きなフォントの文字の悪い例 - 文字がギザギザであれば、プリンタを調整してください。

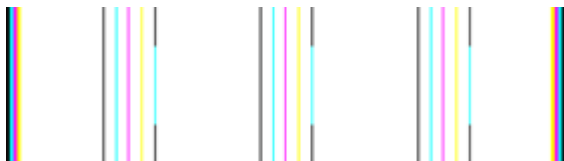
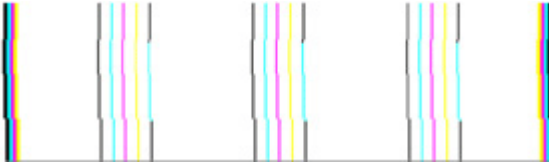
I ABCDEFG abcdefg I

大きなフォントの文字の悪い例 - 文字がにじんでいる場合は、プリントヘッドをクリーニングして、用紙が丸まっていないか確認してください。すべての用紙は繰り返し封のできるビニール袋に入れて、丸まらないように平らな場所で保管してください。

I ABCDEFG abcdefg I

大きなフォントの文字の悪い例 - 文字の片方の端に不規則なギザギザがある場合は、プリンタをクリーニングしてください。新しいカートリッジを取り付けた直後にこの不具合が生じた場合は、プリンタの通常の自動メンテナンスで、1 日程度で解決する場合があります。この方がプリントヘッドのクリーニングより使用するインクが少なくてすみます。

調整パターン

カラー バーと大きなフォントの文字に問題がなければ、インク カートリッジは空ではありません。カラー バーのすぐ上にある調整パターンを見てください。

調整パターンの良い例線が真っ直ぐです。

調整パターンの悪い例線がギザギザになっている場合は、プリンタを調整してください。調整しても問題が解決しない場合は、HP に連絡してください。

印刷品質レポートに、プリンタが正常に動作していることが示されている場合は、次の手順を行います。

- 用紙を確認する
- 印刷設定を確認する
- 画像ファイルが十分な解像度であることを確認してください。
- 問題が印刷の端近くの帯状の領域に限られるような場合は、製品と一緒にインストールしたソフトウェアまたは別のソフトウェア アプリケーションを使用して、画像を 180 度回転してください。問題が、印刷の反対側の端には現れない可能性があります。

印刷品質レポートに、プリンタが正常に動作していることが示されている場合は、次の手順を行います。

- HP 純正インク カートリッジを使用する - 他社製インクの品質保証はできません。
- プリントヘッドをクリーニングします。
- デバイスを調整します。
- 調整しても問題が解決しない場合は、HP に連絡してください。

デバイスのクリーニング

このセクションでは、本体を最高の状態に保つための方法について説明します。 必要に応じてこれらの保守手順を実行してください。

スキャナ ガラス、スキャナの保護シート、またはスキャナ フレームのほこりや汚れにより、パフォーマンスが低下したり、スキャンの品質が低下したり、特殊機能の正確さが損なわれたりすることがあります。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- スキャナ ガラスのクリーニング
- 外側のクリーニング
- 自動ドキュメント フィーダのクリーニング

スキャナ ガラスのクリーニング

スキャナ ガラスをクリーニングするには

1. 本体の電源をオフにします。
2. スキャナのカバーを持ち上げます。

3. あまり強くないガラス用洗剤を吹き付けた、柔らかい、糸くずのない布でガラスをクリーニングします。 乾いた、柔らかい、糸くずのない布でガラスの水分を拭き取ります。

△ **注意** スキャナ ガラスのクリーニングにはガラス用洗剤以外使用しないでください。 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などを含む洗剤は使用しないでください。これらの成分は、スキャナ ガラスを傷める可能性があります。 また、イソプロピル アルコールの使用も避けてください。ガラス面に縞模様が残ることがあります。

注意 ガラス用洗剤をガラス面に直接吹き付けないでください。 ガラス用洗剤を多く吹き付けると、洗剤が本体内に入り、スキャナを傷めることがあります。

4. スキャナのカバーを閉じて、デバイスの電源を入れます。

外側のクリーニング

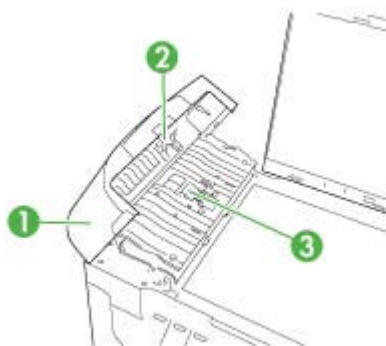
注記 本体のクリーニングを行う前に、電源をオフにした後、電源コードをコンセントから抜きます。

柔らかい、糸くずのない布で、ケースのほこり、シミ、汚れなどを拭き取ります。 本体の外側はクリーニングの必要がありません。 デバイスの内側やデバイスのコントロール パネルを濡らさないようにしてください。

自動ドキュメント フィーダのクリーニング

自動ドキュメント フィーダが一度に用紙をまとめて給紙してしまったり、普通紙をまったく給紙しない場合、ローラーやセパレータ パッドをクリーニングしてください。 自動ドキュメント フィーダのカバーを開き、ローラーとセパレータ パッドをクリーニングして、カバーを閉じてください。

ローラーやセパレータ パッドをクリーニングするには

1. ドキュメント フィーダ トレイから原稿をすべて取り除きます。
2. 自動ドキュメント フィーダのカバー (1) を外します。
このようにするとローラー (2) と セパレータ パッド (3) に簡単にアクセスできます。

1	自動ドキュメント フィーダ カバー
2	ローラー
3	セパレータ パッド

3. きれいな糸くずの出ない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞ります。
4. 湿った布を使用して、ローラーやセパレータ パッドからカスを拭き取ります。

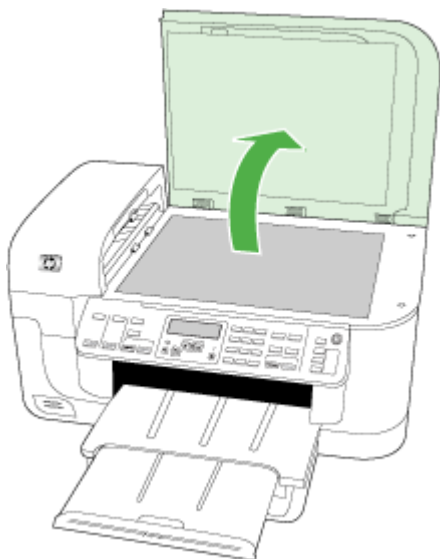
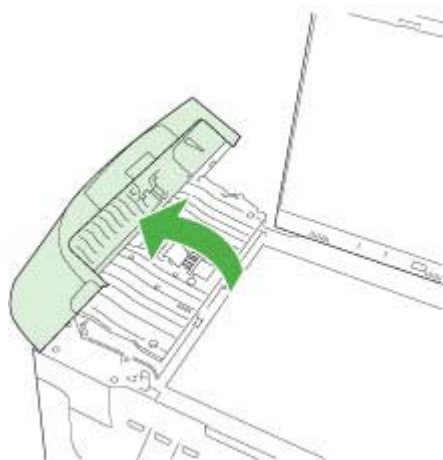
> **注記** 蒸留水でカスが取れない場合は、イソプロピル (消毒用) アルコールを使用してみます。

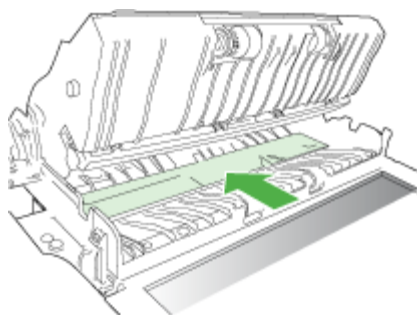
5. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

自動ドキュメント フィーダ内部の帯状のガラス部分をクリーニングするには

1. HP All-in-One の電源を切り、電源コードを抜きます。

注記 HP All-in-One のプラグを長い時間抜いていると、日付と時刻が消える場合があります。その場合は、後で電源ケーブルを元通りに差し込んだときに、日付と時刻を再設定してください。

2. ガラス板に原稿をセットするように、カバーを持ち上げます。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを上げます。

4. 自動ドキュメント フィーダ装置を持ち上げます。

帯状のガラス部分は自動ドキュメント フィーダの下にあります。

5. 非摩耗性のガラス クリーナーを使用し、少し湿らせた柔らかい布かスポンジで帯状のガラス部分を拭きます。

△ **注意** 研磨剤、アセトン、ベンゼン、四塩化炭素などでガラス面を拭かないでください。ガラス面を傷める可能性があります。また、液体を直接ガラス面にかけないでください。ガラス面の下に液体が入り込んで本体を傷める可能性があります。

6. 自動ドキュメント フィーダ装置を下げ、自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。
7. カバーを閉じます。
8. 電源コードを差し込み、HP All-in-One の電源を入れます。

一般的なトラブルシューティング ヒントとリソース

印刷問題のトラブルシューティングを開始する場合は、以下の操作を試してみてください。

- 用紙詰まりは、メディア詰まりの除去を参照してください。
- 用紙が曲がったり持ち上がってしまうなどの給紙の問題は、給紙の問題の解決 を参照してください。
- 電源ランプがオンで点滅していないことを確認します。初めてデバイスの電源をオンにすると、初期化まで 12 分ほどかかります。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、本体にしっかりと接続されていることを確認します。 本体が正しく機能している交流 (AC) 電源にしっかりと接続され、電源が入っていることを確認します。 電圧の要件については、電気仕様を参照してください。
- 用紙が給紙トレイに正しくセットされていて、紙詰まりがないことを確認します。
- 梱包テープと梱包材が取り外してある。
- デバイスがデフォルト プリンタに設定されていることを確認します。Windows の場合、[プリンタ] フォルダでデフォルトに設定します。Mac OS X の場合、[プリンタ設定ユーティリティ] でデフォルト プリンタを設定します (Mac OS X (v10.4) の場合)。Mac OS X (v10.5) の場合は、**[システム環境設定]**を開き、**[プリントとファクス]** を選択して、**[デフォルトのプリンタ]** ドロップダウン リストからデバイスを選択します)。詳細は、コンピュータのマニュアルを参照してください。

- Windows 起動中のコンピュータで **[印刷の一時停止]** が選択されていない。
- タスクの実行中に、実行しているプログラム数が多すぎない。 タスクを再試行する前に、使っていないプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します。

トラブルシューティング トピック

- 印刷上の問題の解決
- 印刷のトラブルシューティング
- 印刷品質のトラブルシューティング
- 給紙の問題の解決
- コピーの問題の解決
- スキャンの問題の解決
- ファクスの問題の解決
- ネットワークの問題の解決
- ワイヤレスの問題の解決 (一部のモデルのみ)
- 写真 (メモリ カード) の問題の解決
- インストールの問題のトラブルシューティング

印刷上の問題の解決

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスの電源が突然切れる
- コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される
- 印刷するのに長時間かかる
- 空白ページまたはページの一部だけが印刷される
- ページの一部が印刷されない、または正しくない
- テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

デバイスの電源が突然切れる

電源と電源接続の確認

正しく機能している交流 (AC) 電源に本体がしっかりと接続されていることを確認します。 電圧の要件については、電気仕様を参照してください。

コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示される

回復不可能なエラーが発生する

ケーブルをすべて (電源コードや USB ケーブルなど) 外し、約 20 秒間待ってからケーブルを再接続します。 問題が続くようであれば、最新のトラブルシューティング情報、または製品の修正と更新を HP Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

注記 エラー メッセージの詳細については、エラーを参照してください。

印刷するのに長時間かかる

システム構成とリソースを確認してください。

コンピュータが、本製品を使用するための最低限のシステム必要条件を満たしていることを確認します。 詳細については、システム要件を参照してください。

デバイス ソフトウェアの設定の確認

印刷品質で **[ベスト]** または **[最大 dpi]** が選択されていると、印刷速度は遅くなります。 印刷速度を上げるには、デバイス ドライバで別の印刷設定を選択します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

インク レベルが低い

インク カートリッジの推定インク レベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

インク カートリッジのインクが不足しています。インクが不足すると、プリントヘッドが過熱する可能性があります。プリントヘッドが過熱したときは、温度を下げるためにプリンタの速度を落とします。

空白ページまたはページの一部だけが印刷される

インク レベルを確認する

カートリッジのインクが少なくなっています。

プリントヘッドをクリーニングする

プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするをご覧ください。

📝 **注記** 製品の **電源** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。**電源** ランプが消灯するのを待ってから、電源コードを抜いたりテーブル タップをオフにしてください。誤った方法で HP All-in-One の電源をオフにすると、インク ホルダーが正しい位置に戻らない場合があり、インク カートリッジに問題が発生して印刷品質に悪影響が出ることがあります。

メディア設定を確認します

- トレイにセットされたメディアに対して正しい印刷品質がプリンタ ドライバで選択されていることを確認します。
- プリンタ ドライバで選択したページ設定と トレイにセットされている用紙サイズが一致していることを確認してください。

2 枚以上のページが給紙される

給紙の問題のトラブルシューティングの詳細については、給紙の問題の解決を参照してください。

ファイル内に空白ページがある

ファイルをチェックして、空白ページがないことを確認してください。

ページの一部が印刷されない、または正しくない

インク カートリッジの確認

正しいインク カートリッジが装着され、インク カートリッジのインクが残りわずかではないこと確認してください。詳細については、デバイスの管理および推定インク レベルの確認を参照してください。

📝 **注記** 製品の **電源** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。**電源** ランプが消灯するのを待ってから、電源コードを抜いたりテーブル タップをオフにしてください。誤った方法で HP All-in-One の電源をオフにすると、インク ホルダーが正しい位置に戻らない場合があり、インク カートリッジに問題が発生して印刷品質に悪影響が出ることがあります。

余白設定の確認

文書の余白設定が本体の印刷可能領域を超えていないことを確認します。 詳細については、最小余白の設定を参照してください。

カラー印刷設定を確認します

プリント ドライバで **[グレースケールで印刷]** が選択されていないことを確認します。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。 本体を電磁界の元から離します。 電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない

メディアがセットされている方法を確認します

メディアの縦と横方向の用紙ガイドがメディアの束にぴったりと合い、トレイにセットされたメディアが多すぎないことを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

メディア サイズを確認します

- 文書サイズが使用中のメディアより大きい場合、ページがはみ出すことがあります。
- プリンタ ドライバで選択したメディア サイズとトレイにセットされているメディアのサイズが一致していることを確認してください。

余白設定の確認

ページの端からテキストまたはグラフィックスがはみ出す場合は、文書のマージン設定が、本体の印刷可能領域以内であることを確認します。 詳細については、最小余白の設定を参照してください。

印刷の向きの設定を確認します。

アプリケーションで選択したメディアのサイズおよびページの方向がプリンタ ドライバでの設定と一致していることを確認します。 詳細については、プリント設定の変更を参照してください。

本体の設置場所と USB ケーブルの長さの確認

高電磁界 (USB ケーブルなどにより生成) により、プリント結果が若干歪む場合があります。 本体を電磁界の元から離します。 電磁界の影響を最小化するため、3m 以内の USB ケーブルを使用することをお勧めします。

前述の解決策でも問題が解決しない場合、アプリケーションが印刷設定を正しく解釈できないことにより問題が生じている場合があります。

特定のヘルプについては、リリース ノートで既知のソフトウェアの競合がないか確認するか、アプリケーションのマニュアルを参照するか、ソフトウェアの製造元にお問い合わせください。

印刷のトラブルシューティング

このセクションでは、次のような印刷の問題を解決します。

- 封筒が正しく印刷されない
- フチ無し印刷が指定どおり印刷されない
- 製品が応答していない
- 製品が無意味な文字を印刷する
- 印刷しようとしても何も動作しない
- 印刷される文書のページ順が間違っている
- 余白が指定どおりに印刷されない
- 文字やグラフィックがページの端で欠ける
- 印刷中に空白ページが排紙される

封筒が正しく印刷されない

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：封筒の束を正しくセットする
- 解決策 2：封筒の種類を確認する
- 解決策 3：紙詰まりを防ぐため、封筒のふたを内側に折り込む

解決策 1：封筒の束を正しくセットする

解決方法:　封筒のふたが上向きで左側に来るようにセットし、給紙トレイの奥まで入れます。

給紙トレイからすべての用紙を取り出したことを確認したら、封筒をセットします。

原因:　封筒が正しくセットされていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：封筒の種類を確認する

解決方法:　光沢紙を使った封筒やエンボス加工された封筒、あるいは留め具付きの封筒や窓付き封筒は使わないでください。

原因:　セットされた封筒の種類が間違っています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：紙詰まりを防ぐため、封筒のふたを内側に折り込む

解決方法:　ふたを封筒の内側に折り込んでおくと、封筒の紙詰まりを防ぐことができます。

原因:　封筒のふたがローラに巻き込まれました。

フチ無し印刷が指定どおり印刷されない

解決方法:　本製品付属のフォト イメージング ソフトウェアの画像を使って印刷してみてください。

原因:　HP 以外のソフトウェア アプリケーションを使用して画像のフチ無し印刷を実行すると、予想通りの印刷結果が得られないことがあります。

製品が応答していない

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：製品の電源をオンにする
- 解決策 2：給紙トレイに用紙をセットする
- 解決策 3：正しいプリンタを選択する
- 解決策 4：プリンタ ドライバの状態を確認する
- 解決策 5：現在の動作が完了するまで待つ
- 解決策 6：取り消された印刷ジョブをキューからすべて削除する
- 解決策 7：紙詰まりを解消する
- 解決策 8：インク ホルダーがスムーズに動くことを確認する

• 解決策 9：製品からコンピュータまでの接続状態を確認する
• 解決策 10：製品を再起動する

解決策 1：製品の電源をオンにする

解決方法: 製品の **電源** ランプを見てください。点灯していない場合、製品はオフになっています。電源ケーブルが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。**電源** ボタンを押して、製品の電源をオンにします。

原因: 製品の電源がオフです。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：給紙トレイに用紙をセットする

解決方法: 給紙トレイに用紙をセットしてください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 製品のトレイに用紙がありません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：正しいプリンタを選択する

解決方法: ソフトウェア アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します。

ヒント 製品をデフォルトのプリンタとして設定すれば、どのソフトウェア アプリケーションを使用しても、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** を選択すると、自動的に選択されます。

原因: 製品がデフォルトのプリンタとして選択されていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：プリンタ ドライバの状態を確認する

解決方法:　プリンタ ドライバの状態が、**オフライン** または **印刷停止** に変更されている可能性があります。

プリンタ ドライバの状態を確認するには

▲ HP Solution Center で **[状態]** タブをクリックします。

原因:　プリンタ ドライバの状態が変更されています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：現在の動作が完了するまで待つ

解決方法:　製品がコピーやスキャンなどの別のタスクを実行している場合、製品が現在のタスクを完了するまで、印刷ジョブは先送りされます。

印刷に時間のかかるドキュメントも一部にはあります。製品に印刷ジョブの実行を命令してから、数分間何も印刷されない場合は、製品のディスプレイを見てメッセージがないか確認してください。

原因:　製品が別のタスクでビジー状態です。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 6：取り消された印刷ジョブをキューからすべて削除する

解決方法:　印刷ジョブが、取り消されてもキューに残っている可能性があります。取り消されたジョブによってキューが詰まり、次の印刷ジョブが印刷できなくなっています。

コンピュータから、プリンタ フォルダを開いて、取り消したジョブがキューに残っていないか確認してください。キューからジョブを削除してください。印刷ジョブがキューから消えない場合、次のいずれかまたは両方を試してください。

- 本製品から USB ケーブルを外し、コンピュータを再起動してから、USB ケーブルを 本製品にもう一度接続します。
- 製品をシャットダウンし、コンピュータを再起動してから、 製品を再起動します。

原因:　削除した印刷ジョブがまだキューにあります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 7：紙詰まりを解消する

解決方法:　詰まった用紙を取り出し、切れた紙がプリンタ内に残っている場合はそれを取り除きます。

詳細については、次を参照してください。

メディア詰まりの除去

原因:　紙詰まりを起こしています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 8：インク ホルダーがスムーズに動くことを確認する

解決方法:　まだ取り外していない場合は電源ケーブルを外します。インク ホルダーがプリンタの端から端までスムーズに動くかどうか確認します。どこかでつかえる場合は、無理やり動かそうとしないでください。

△ **注意**　インク ホルダーに無理な力が加わらないように注意してください。インク ホルダーを無理に動かそうとするとプリンタが破損するおそれがあります。

原因:　インク ホルダーが停止しました。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 9：製品からコンピュータまでの接続状態を確認する

解決方法:　製品からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが製品の背面にある USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認します。USB ケーブルを正しく接続した後、 製品の電源を入れ直してください。製品が有線、ワイヤレス、または Bluetooth 接続を使用してコンピュータに接続されている場合、それぞれの接続がアクティブで、製品の電源がオンになっていることを確認してください。

正しく接続されているにもかかわらず、製品に印刷ジョブの実行を命令してから数分間何も印刷されない場合は、製品のステータスを確認してください。HP ソリューション センター ソフトウェアで、**[設定]**、**[状態]** の順にクリックします。

原因: コンピュータが製品と通信していません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 10：製品を再起動する

解決方法: 製品の電源を切り、電源コードを抜きます。電源コードを再び差し込み、**電源** ボタンを押して、製品の電源をオンにします。

原因: エラーが発生しました。

製品が無意味な文字を印刷する

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：製品を再起動する
- 解決策 2：以前に保存した文書を印刷する

解決策 1：製品を再起動する

解決方法: 製品とコンピュータの電源を両方ともオフにし、そのまま 60 秒間待ってから両方ともオンに戻し、もう一度印刷してください。

原因: 製品に使用可能なメモリがありません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：以前に保存した文書を印刷する

解決方法: 同じソフトウェア アプリケーションから別の文書を印刷してみます。この印刷が正常に行われる場合は、以前に保存した文書 (破損していない文書) を印刷してください。

原因: 文書が破損しています。

印刷しようとしても何も動作しない

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：製品の電源をオンにする
- 解決策 2：給紙トレイに用紙をセットする
- 解決策 3：正しいプリンタを選択する
- 解決策 4：プリンタ ドライバの状態を確認する
- 解決策 5：現在の動作が完了するまで待つ
- 解決策 6：取り消された印刷ジョブをキューからすべて削除する
- 解決策 7：紙詰まりを解消する
- 解決策 8：インク ホルダーがスムーズに動くことを確認する
- 解決策 9：製品からコンピュータまでの接続状態を確認する
- 解決策 10：製品を再起動する

解決策 1：製品の電源をオンにする

解決方法: 製品の **電源** ランプを見てください。点灯していない場合、製品はオフになっています。電源ケーブルが電源コンセントにきちんと差し込まれていることを確認してください。**電源** ボタンを押して、製品の電源をオンにします。

原因: 製品の電源がオフです。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：給紙トレイに用紙をセットする

解決方法: 給紙トレイに用紙をセットしてください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 製品のトレイに用紙がありません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：正しいプリンタを選択する

解決方法:　ソフトウェア アプリケーションで正しいプリンタを選択していることを確認します。

ヒント　製品をデフォルトのプリンタとして設定すれば、どのソフトウェア アプリケーションを使用しても、**[ファイル]** メニューの **[印刷]** を選択すると、自動的に選択されます。

原因:　製品がデフォルトのプリンタとして選択されていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：プリンタ ドライバの状態を確認する

解決方法:　プリンタ ドライバの状態が、**オフライン** または **印刷停止** に変更されている可能性があります。

プリンタ ドライバの状態を確認するには

▲ HP Solution Center で **[状態]** タブをクリックします。

原因:　プリンタ ドライバの状態が変更されています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：現在の動作が完了するまで待つ

解決方法:　製品がコピーやスキャンなどの別のタスクを実行している場合、製品が現在のタスクを完了するまで、印刷ジョブは先送りされます。

印刷に時間のかかるドキュメントも一部にはあります。製品に印刷ジョブの実行を命令してから、数分間何も印刷されない場合は、製品のディスプレイを見てメッセージがないか確認してください。

注記 HP Officejet 6500 E709a/E709d を使用している場合、スキャンと印刷を同時に行うことはできません。別のジョブを開始する前にジョブを完了する必要があります。

原因: 製品が別のタスクでビジー状態です。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 6：取り消された印刷ジョブをキューからすべて削除する

解決方法: 印刷ジョブが、取り消されてもキューに残っている可能性があります。取り消されたジョブによってキューが詰まり、次の印刷ジョブが印刷できなくなっています。

コンピュータから、プリンタ フォルダを開いて、取り消したジョブがキューに残っていないか確認してください。キューからジョブを削除してください。印刷ジョブがキューから消えない場合、次のいずれかまたは両方を試してください。

- 本製品から USB ケーブルを外し、コンピュータを再起動してから、USB ケーブルを 本製品にもう一度接続します。
- 製品をシャットダウンし、コンピュータを再起動してから、 製品を再起動します。

原因: 削除した印刷ジョブがまだキューにあります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 7：紙詰まりを解消する

解決方法: 詰まった用紙を取り出し、切れた紙がプリンタ内に残っている場合はそれを取り除きます。

詳細については、次を参照してください。

メディア詰まりの除去

原因: 紙詰まりを起こしています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 8：インク ホルダーがスムーズに動くことを確認する

解決方法: まだ取り外していない場合は電源ケーブルを外します。インク ホルダーがプリンタの端から端までスムーズに動くかどうか確認します。どこかでつかえる場合は、無理やり動かそうとしないでください。

△ **注意** インク ホルダーに無理な力が加わらないように注意してください。インク ホルダーを無理に動かそうとするとプリンタが破損するおそれがあります。

原因: インク ホルダーが停止しました。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 9：製品からコンピュータまでの接続状態を確認する

解決方法: 製品からコンピュータまでの接続状態を確認します。USB ケーブルが製品の背面にある USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。また USB ケーブルのもう一方の端がコンピュータの USB ポートに正しく接続されていることを確認します。USB ケーブルを正しく接続した後、 製品の電源を入れ直してください。製品が有線、ワイヤレス、または Bluetooth 接続を使用してコンピュータに接続されている場合、それぞれの接続がアクティブで、製品の電源がオンになっていることを確認してください。

正しく接続されているにもかかわらず、製品に印刷ジョブの実行を命令してから数分間何も印刷されない場合は、製品のステータスを確認してください。HP ソリューション センター ソフトウェアで、**[設定]**、**[状態]** の順にクリックします。

原因: コンピュータが製品と通信していません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 10：製品を再起動する

解決方法: 製品の電源を切り、電源コードを抜きます。電源コードを再び差し込み、**電源** ボタンを押して、製品の電源をオンにします。

原因:　エラーが発生しました。

印刷される文書のページ順が間違っている

解決方法:　文書を逆順に印刷してください。文書の印刷が完了したら、正しいページ順に並んでいます。

原因:　文書の 1 ページ目を最初に印刷するように印刷設定されています。製品の給紙方法では、1 ページ目は印刷する面が上の状態で一番下になります。

余白が指定どおりに印刷されない

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：プリンタの余白を確認する
- 解決策 2：用紙サイズの設定を確認する
- 解決策 3：用紙の束を正しくセットする

解決策 1：プリンタの余白を確認する

解決方法:　プリンタの余白を確認します。

原稿の余白設定値は、製品の印刷可能領域を超えないようにしてください。

余白設定値を確認するには

1. 製品に送信する前に、印刷ジョブのプレビューを表示します。
   大部分のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]**、**[印刷プレビュー]** の順にクリックします。
2. 余白を確認します。
   製品では、ソフトウェア アプリケーションで設定された余白が製品でサポートされた最小余白より大きい場合は、アプリケーション側の設定値が使われます。ソフトウェア アプリケーションでの余白の設定については、ソフトウェア付属のマニュアルを参照してください。
3. 余白が条件を満たしていない場合、印刷ジョブをキャンセルして、ソフトウェア アプリケーションで余白を調整します。

原因: お使いのソフトウェア アプリケーションで余白が正しく設定されていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：用紙サイズの設定を確認する

解決方法: 目的に合った正しい用紙サイズ設定を選んでいることを確認してください。必要なサイズの用紙が給紙トレイにセットされていることを確認してください。

原因: 用紙サイズが印刷する用途に合わせて正しく設定されていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：用紙の束を正しくセットする

解決方法:　給紙トレイから用紙の束をいったん取り出してセットし直し、横方向用紙ガイドを内側にスライドさせて用紙の端に合わせます。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因:　給紙ガイドの位置が正しくありません。

文字やグラフィックがページの端で欠ける

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：余白設定を確認する
- 解決策 2：文書のレイアウトを確認する
- 解決策 3：用紙の束を正しくセットする
- 解決策 4：フチありで印刷してみる

解決策 1：余白設定を確認する

解決方法:　プリンタの余白を確認します。

原稿の余白設定値は、製品の印刷可能領域を超えないようにしてください。

余白設定値を確認するには

1. 製品に送信する前に、印刷ジョブのプレビューを表示します。
   大部分のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]**、**[印刷プレビュー]** の順にクリックします。
2. 余白を確認します。
   製品では、ソフトウェア アプリケーションで設定された余白が製品でサポートされた最小余白より大きい場合は、アプリケーション側の設定値が使われます。ソフトウェア アプリケーションでの余白の設定については、ソフトウェア付属のマニュアルを参照してください。
3. 余白が条件を満たしていない場合、印刷ジョブをキャンセルして、ソフトウェア アプリケーションで余白を調整します。

原因: お使いのソフトウェア アプリケーションで余白が正しく設定されていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：文書のレイアウトを確認する

解決方法: 印刷しようとしている文書のレイアウトが、製品がサポートしている用紙サイズに収まることを確認してください。

印刷レイアウトをプレビューするには

1. 正しいサイズの用紙を給紙トレイにセットします。
2. 製品に送信する前に、印刷ジョブのプレビューを表示します。
   大部分のソフトウェア アプリケーションで、**[ファイル]**、**[印刷プレビュー]** の順にクリックします。
3. 文書のグラフィックを見て、現在のサイズが製品の印刷可能領域内に収まることを確認してください。
4. グラフィックがページの印刷可能領域内に収まらない場合、印刷ジョブをキャンセルします。

💡 **ヒント** ソフトウェア アプリケーションによっては、現在選択されている用紙サイズに合わせて文書のサイズを調整することができるものもあります。また、印刷の **[プロパティ]** ダイアログ ボックスから、文書のサイズを調整することもできます。

原因: 印刷している文書のサイズが、給紙トレイにセットされている用紙のサイズより大きいサイズです。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：用紙の束を正しくセットする

解決方法: 給紙エラーが発生すると、文書の一部が欠ける可能性があります。

給紙トレイから用紙をすべて取り出し、再度セットします。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙が正しくセットされていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：フチありで印刷してみる

解決方法: フチ無しオプションをオフにして、フチありで印刷してみます。

詳細については、次を参照してください。

フチ無し印刷

原因: フチ無し印刷に設定されていました。**[フチ無し]** 印刷オプションを選択すると、写真はそのページの印刷可能領域に合わせて中心から拡大されて印刷されます。印刷するデジタル写真と用紙の大きさによっては、画像の一部が切り取られる場合もあります。

印刷中に空白ページが排紙される

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決

方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：文書の最後の余分なページまたは行を削除する
- 解決策 2：給紙トレイに用紙をセットする
- 解決策 3：インク レベルを確認する
- 解決策 4：プリントヘッドをクリーニングする
- 解決策 5：給紙トレイに用紙をセットする

解決策 1：文書の最後の余分なページまたは行を削除する

解決方法: ソフトウェア アプリケーションで文書ファイルを開き、文書の終わりに余分なページまたは線が入っていないか確認してください。

原因: 印刷している文書に、余分な空白ページが含まれています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：給紙トレイに用紙をセットする

解決方法: 用紙の残りが少なくなった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙が十分ある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイにもう一度用紙をセットしてください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙を一度に 2 枚給紙しています。

解決策 3：インク レベルを確認する

解決方法: カートリッジのインクが少なくなっています。

原因: インク レベルが低すぎます

解決策 4：プリントヘッドをクリーニングする

解決方法:

注記 製品の **電源** ボタンを押して HP All-in-One の電源をオフにします。**電源** ランプが消灯するのを待ってから、電源コードを抜いたりテーブル タップをオフにしてください。誤った方法で HP All-in-One の電源をオフにすると、インク ホルダーが正しい位置に戻らない場合があり、インク カートリッジに問題が発生して印刷品質に悪影響が出ることがあります。

プリントヘッドのクリーニングを行います。詳細については、プリントヘッドをクリーニングするをご覧ください。

原因: 用紙を一度に 2 枚給紙しています。

解決策 5：給紙トレイに用紙をセットする

解決方法: 用紙の残りが少なくなった場合は、給紙トレイに用紙を追加してください。給紙トレイに用紙が十分ある場合は、用紙を取り除いて、平らな面で用紙の端を揃えて、給紙トレイにもう一度用紙をセットしてください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙を一度に 2 枚給紙しています。

印刷品質のトラブルシューティング

ここでは、次の印刷品質の問題の解決方法を説明します。

- 間違った色、不正確な色、にじんだ色
- 文字やグラフィックの一部にインクが定着しない
- フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある
- 横方向の縞模様または筋が現れる
- 色が薄いまたはくすんでいる
- 印刷がぼやけてはっきりしない
- 縦方向の縞模様が入る
- 斜めまたは歪んで印刷される
- 用紙の裏にインクの筋がついている
- 給紙トレイから用紙が給紙されない

- モノクロの文字の品質が悪い
- 印刷が遅い。

間違った色、不正確な色、にじんだ色

印刷品質に関して次のような問題が発生した場合は、このセクションの解決方法を試してください。

- 色が間違っている
たとえば、マゼンタが印刷ではシアンになっていた場合などです。
- 印刷された色が互いに混ざり合っている、または汚れたように見える。輪郭がシャープではっきりしている代わりにインキがにじんでいるように見える場合などです。

間違った色、不正確な色、にじんだ色になる場合は、次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：純正 HP インク カートリッジを使用していることを確認する
- 解決策 2：給紙トレイにセットされた用紙を確認する
- 解決策 3：用紙の種類を確認する
- 解決策 4：インク レベルを確認する
- 解決策 5：印刷設定を確認する
- 解決策 6：プリンタを調整する
- 解決策 7：プリントヘッドをクリーニングする
- 解決策 8：HP サポートに問い合わせる

解決策 1：純正 HP インク カートリッジを使用していることを確認する

解決方法: インク カートリッジが純正 HP インク カートリッジかどうかを確認してください。

HP では、純正 HP インク カートリッジの使用を推奨しています。純正 HP インク カートリッジは、HP プリンタで最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

注記 他社製サプライ品の品質および信頼性は保証できません。HP 社製以外のサプライ品を使用した結果、必要になったサービスや修理については保証対象になりません。

純正 HP インク カートリッジを購入されている場合、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。

原因: 他社製インク カートリッジが使用されています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：給紙トレイにセットされた用紙を確認する

解決方法: 正しい用紙がセットされていて、しわが寄っていたり、厚すぎないことを確認してください。

- 印刷面を下にして用紙をセットします。たとえば、光沢フォト用紙をセットする場合には、光沢面を下にして用紙をセットします。
- 用紙が給紙トレイに平らにセットされている、またしわがないことを確認してください。印刷中に用紙がプリントヘッドに近づきすぎると、インクがにじむことがあります。用紙に盛り上がりやしわがあったり、厚みがある場合に、この現象が発生することがあります。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙が正しくセットされていないか、しわがあったり、厚すぎます。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：用紙の種類を確認する

解決方法: HP 純正用紙または製品に適したその他の用紙を使用してください。

印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。

特殊なメディアは、元の袋に戻し、その上からさらに繰り返し封のできるビニール袋に入れてください。また温度が低く湿気のない平らな場所で保管してください。印刷の準備ができたら、すぐに使用する分の用紙だけを取り出します。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙をプラスチックの袋に戻してください。フォト用紙がカールするのを防げます。

注記 この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

詳細については、次を参照してください。

印刷メディアの選択

原因: 間違った種類の用紙が給紙トレイにセットされています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：インク レベルを確認する

解決方法: インク カートリッジの推定インク レベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

詳細については、次を参照してください。

推定インクレベルの確認

原因: インク カートリッジのインクが不足しています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：印刷設定を確認する

解決方法: 印刷設定を確認してください。

- 印刷設定で、色の設定が間違っていないかを確認します。
  たとえば、文書をグレースケールで印刷するように設定されていないか確認します。または、彩度、明度、または色調など、カラー詳細設定が色の質感を変更するように設定されていないか確認します。
- 印刷品質の設定が、プリンタにセットされている用紙の種類と一致していることを確認します。
  色が互いに混じりあっている場合は、より低い印刷品質の設定を選択する必要があります。また、高品質の写真を印刷している場合はより高い設定を選択し、HP アドバンス フォト用紙 などのフォト用紙が給紙トレイにセットされていることを確認します。

注記 一部のコンピュータ画面では、用紙に印刷されたときと色が異なって表示されます。このような場合、プリンタ、印刷設定、またはインク カートリッジには問題がありません。他にトラブルシューティングは必要ありません。

詳細については、次を参照してください。

印刷メディアの選択

原因: 印刷の設定が間違っています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 6：プリンタを調整する

解決方法: プリンタを調整します。

プリンタの調整を行うことにより、高品質な印刷が可能となります。

詳細については、次を参照してください。

プリンタを調整する

原因: プリンタを調整する必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 7：プリントヘッドをクリーニングする

解決方法:　考えられる以下の問題を確認してから、プリントヘッドをクリーニングしてください。

- インク カートリッジに付いているオレンジ色のタブを確認します。完全に取り外されていることを確認してください。
- すべてのインク カートリッジが正しく装着されていることを確認してください。
- **電源** ボタンを押して確実に電源をオフにします。こうすると、プリントヘッドが正しく保護されます。

プリントヘッドをクリーニングしたら、印刷品質レポートを印刷してください。印刷品質問題がまだ存在するかどうかを調べるため、印刷品質レポートを評価してください。

詳細については、次を参照してください。

- プリントヘッドをクリーニングする
- 印刷品質レポートの印刷と評価

原因:　プリントヘッドをクリーニングする必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 8：HP サポートに問い合わせる

解決方法:　HP サポートに連絡してサービスを受けてください。

お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因:　プリントヘッドに問題があります。

文字やグラフィックの一部にインクが定着しない

文字や画像の一部にインクが定着しないため、一部分が印刷されなかったり、空白になる場合は、次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：純正 HP インク カートリッジを使用していることを確認する
- 解決策 2：インク レベルを確認する

- 解決策 3：印刷設定を確認する
- 解決策 4：用紙の種類を確認する
- 解決策 5：プリントヘッドをクリーニングする
- 解決策 6：HP サポートに問い合わせる

解決策 1：純正 HP インク カートリッジを使用していることを確認する

解決方法: インク カートリッジが純正 HP インク カートリッジかどうかを確認してください。

HP では、純正 HP インク カートリッジの使用を推奨しています。純正 HP インク カートリッジは、HP プリンタで最高の性能が得られるように設計され、何度もテストされています。

注記 他社製サプライ品の品質および信頼性は保証できません。HP 社製以外のサプライ品を使用した結果、必要になったサービスや修理については保証対象になりません。

純正 HP インク カートリッジを購入されている場合、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/go/anticounterfeit にアクセスしてください。

原因: 他社製インク カートリッジが使用されています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：インク レベルを確認する

解決方法: インク カートリッジの推定インク レベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

詳細については、次を参照してください。

推定インクレベルの確認

原因: インク カートリッジのインクが不足しています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：印刷設定を確認する

解決方法:　印刷設定を確認してください。

- 用紙の種類の設定をチェックし、給紙トレイにセットされた用紙の種類に合っていることを確認します。
- 印刷品質設定を確認し、低すぎる設定になっていないことを確認します。
  画像は **[高画質][最大 dpi]** などの高品質の設定で印刷してください。

原因:　用紙の種類または印刷の品質設定が間違っています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：用紙の種類を確認する

解決方法:　HP 純正用紙または製品に適したその他の用紙を使用してください。

印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。

特殊なメディアは、元の袋に戻し、その上からさらに繰り返し封のできるビニール袋に入れてください。また温度が低く湿気のない平らな場所で保管してください。印刷の準備ができたら、すぐに使用する分の用紙だけを取り出します。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙をプラスチックの袋に戻してください。フォト用紙がカールするのを防げます。

注記　この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

詳細については、次を参照してください。

印刷メディアの選択

原因:　間違った種類の用紙が給紙トレイにセットされています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：プリントヘッドをクリーニングする

解決方法: 前回行った解決策で問題が解決しない場合、プリントヘッドのクリーニングを実行してみてください。

プリントヘッドをクリーニングしたら、印刷品質レポートを印刷してください。印刷品質問題がまだ存在するかどうかを調べるため、印刷品質レポートを評価してください。

詳細については、次を参照してください。

- プリントヘッドをクリーニングする
- 印刷品質レポートの印刷と評価

原因: プリントヘッドをクリーニングする必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 6：HP サポートに問い合わせる

解決方法: HP サポートに連絡してサービスを受けてください。

お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因: プリントヘッドに問題があります。

フチ無し印刷の下部に水平方向の歪みがある

フチ無し印刷の下部にぼやけた部分または線がある場合は、次の解決方法を試してください。

注記 この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

- 解決策 1：用紙の種類を確認する
- 解決策 2：印刷品質を高く設定する
- 解決策 3：画像を回転する

解決策 1：用紙の種類を確認する

解決方法: HP 純正用紙または製品に適したその他の用紙を使用してください。

印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。

フォト用紙は、元の袋に戻し、その上からさらにジッパー付きのビニール袋に入れてください。また温度が低く湿気のない平らな場所で保管してください。印刷の準備ができたら、すぐに使用する分の用紙だけを取り出します。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙をプラスチックの袋に戻してください。フォト用紙がカールするのを防げます。

詳細については、次を参照してください。

印刷メディアの選択

原因: 間違った種類の用紙が給紙トレイにセットされています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：印刷品質を高く設定する

解決方法: 印刷品質設定を確認し、低すぎる設定になっていないことを確認します。

画像は **[高画質][最大 dpi]** などの高品質の設定で印刷してください。

原因: 印刷品質の設定が低すぎます。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：画像を回転する

解決方法: それでも問題が解決しない場合は、 プリンタにンストールしたソフトウェアまたは別のソフトウェア プリケーションを使って、画像の水色、灰色、または茶色の色調がページの下部分に印刷されないように、画像を 180 度回転させてください。

原因: 明度が均等の色の部分は欠陥が目立つため、画像を回転させると改善する場合があります。

横方向の縞模様または筋が現れる

印刷ページの幅いっぱいに筋、縞模様、またはマークがある場合は、次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：用紙が正しくセットされていることを確認する
- 解決策 2：プリンタの設定を確認する
- 解決策 3：インク レベルを確認する
- 解決策 4：プリンタを調整する
- 解決策 5：プリントヘッドをクリーニングする
- 解決策 6：HP サポートに問い合わせる

解決策 1：用紙が正しくセットされていることを確認する

解決方法: 用紙が給紙トレイに正しくセットされていることを確認してください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙が正しくセットされていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：プリンタの設定を確認する

解決方法: 印刷品質設定を確認し、低すぎる設定になっていないことを確認します。

画像は **[高画質][最大 dpi]** などの高品質の設定で印刷してください。

メディア設定を確認します。選択されているメディアがデバイスにセットされているメディアと一致することを確認します。

原因: 本製品の印刷またはコピーの品質設定が低すぎます。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：インク レベルを確認する

解決方法:　インク カートリッジの推定インク レベルを確認します。

注記　インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

詳細については、次を参照してください。

推定インクレベルの確認

原因:　インク カートリッジのインクが不足しています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：プリンタを調整する

解決方法:　プリンタを調整します。

プリンタの調整を行うことにより、高品質な印刷が可能となります。

詳細については、次を参照してください。

プリンタを調整する

原因:　プリンタを調整する必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：プリントヘッドをクリーニングする

解決方法:　考えられる以下の問題を確認してから、プリントヘッドをクリーニングしてください。

プリントヘッドをクリーニングしたら、印刷品質レポートを印刷してください。印刷品質問題がまだ存在するかどうかを調べるため、印刷品質レポートを評価してください。

詳細については、次を参照してください。

- プリントヘッドをクリーニングする
- 印刷品質レポートの印刷と評価

原因: プリントヘッドをクリーニングする必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 6：HP サポートに問い合わせる

解決方法: HP サポートに連絡してサービスを受けてください。

お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因: プリントヘッドに問題があります。

色が薄いまたはくすんでいる

印刷の色が期待通りの明るさや濃さでない場合は、次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：印刷設定を確認する
- 解決策 2：用紙の種類を確認する
- 解決策 3：インク レベルを確認する
- 解決策 4：プリントヘッドをクリーニングする
- 解決策 5：HP サポートに問い合わせる

解決策 1：印刷設定を確認する

解決方法:　印刷設定を確認してください。

- 用紙の種類の設定をチェックし、給紙トレイにセットされた用紙の種類に合っていることを確認します。
- 印刷品質設定を確認し、低すぎる設定になっていないことを確認します。
  画像は **[高画質][最大 dpi]** などの高品質の設定で印刷してください。

原因:　用紙の種類または印刷の品質設定が間違っています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：用紙の種類を確認する

解決方法:　HP 純正用紙または製品に適したその他の用紙を使用してください。

印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。

特殊なメディアは、元の袋に戻し、その上からさらに繰り返し封のできるビニール袋に入れてください。また温度が低く湿気のない平らな場所で保管してください。印刷の準備ができたら、すぐに使用する分の用紙だけを取り出します。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙をプラスチックの袋に戻してください。フォト用紙がカールするのを防げます。

注記　この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

詳細については、次を参照してください。

印刷メディアの選択

原因:　間違った種類の用紙が給紙トレイにセットされています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：インク レベルを確認する

解決方法:　インク カートリッジの推定インク レベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

詳細については、次を参照してください。

推定インクレベルの確認

原因: インク カートリッジのインクが不足しています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：プリントヘッドをクリーニングする

解決方法: 前回行った解決策で問題が解決しない場合、プリントヘッドのクリーニングを実行してみてください。

プリントヘッドをクリーニングしたら、印刷品質レポートを印刷してください。印刷品質問題がまだ存在するかどうかを調べるため、印刷品質レポートを評価してください。

詳細については、次を参照してください。

- プリントヘッドをクリーニングする
- 印刷品質レポートの印刷と評価

原因: プリントヘッドをクリーニングする必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：HP サポートに問い合わせる

解決方法: HP サポートに連絡してサービスを受けてください。

お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因: プリントヘッドに問題があります。

印刷がぼやけてはっきりしない

印刷が鮮明でなかったり、不明瞭な場合は、次の解決方法を試してください。

注記 この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

ヒント このセクションの解決方法を確認した後、HP Web サイトにアクセスして他のトラブル解決ヘルプがないかを確認できます。詳細については、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

- 解決策 1：印刷設定を確認する
- 解決策 2：品質が良い画像を使用する
- 解決策 3：画像のサイズを小さくして印刷する
- 解決策 4：プリンタを調整する

解決策 1：印刷設定を確認する

解決方法: 印刷設定を確認してください。

- 用紙の種類の設定をチェックし、給紙トレイにセットされた用紙の種類に合っていることを確認します。
- 印刷品質設定を確認し、低すぎる設定になっていないことを確認します。
  画像は **[高画質][最大 dpi]** などの高品質の設定で印刷してください。

原因: 用紙の種類または印刷の品質設定が間違っています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：品質が良い画像を使用する

解決方法: 高解像度の画像を使用する

写真や図を印刷していて解像度が低すぎる場合は、印刷するとぼやけてはっきりしません。

デジタル写真またはラスター化された図の大きさを変更した場合、印刷するとぼやけてはっきりしないことがあります。

原因: 画像の解像度が低すぎます。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：画像のサイズを小さくして印刷する

解決方法:　画像のサイズを縮小して、印刷を行います。

写真や図を印刷していて印刷サイズが大きすぎる場合は、印刷するとぼやけてはっきりしません。

デジタル写真またはラスター化された図の大きさを変更した場合、印刷するとぼやけてはっきりしないことがあります。

原因:　画像が大きなサイズで印刷されています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：プリンタを調整する

解決方法:　プリンタを調整します。

プリンタの調整を行うことにより、高品質な印刷が可能となります。

詳細については、次を参照してください。

プリンタを調整する

原因:　プリンタを調整する必要があります。

縦方向の縞模様が入る

解決方法:　HP 純正用紙または製品に適したその他の用紙を使用してください。

印刷する用紙が平らであることを必ず確認してください。画像を最高画質で印刷するには、HP アドバンス フォト用紙を使用します。

特殊なメディアは、元の袋に戻し、その上からさらに繰り返し封のできるビニール袋に入れてください。また温度が低く湿気のない平らな場所で保管してください。印刷の準備ができたら、すぐに使用する分の用紙だけを取り出します。印刷が完了したら、未使用のフォト用紙をプラスチックの袋に戻してください。フォト用紙がカールするのを防げます。

注記 この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

詳細については、次を参照してください。

印刷メディアの選択

原因: 間違った種類の用紙が給紙トレイにセットされています。

斜めまたは歪んで印刷される

ページにまっすぐに印刷されない場合は、次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：用紙が正しくセットされていることを確認する
- 解決策 2：セットされている用紙が 1 種類だけであることを確認する
- 解決策 3：後部アクセス パネルまたは両面印刷ユニットが完全に装着されていることを確認する

解決策 1：用紙が正しくセットされていることを確認する

解決方法: 用紙が給紙トレイに正しくセットされていることを確認してください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙が正しくセットされていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：セットされている用紙が 1 種類だけであることを確認する

解決方法: 複数の種類の用紙を同時にセットしないでください。

原因: 給紙トレイに複数の種類の用紙がセットされています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：後部アクセス パネルまたは両面印刷ユニットが完全に装着されていることを確認する

解決方法: 背面のアクセス ドアが完全に装着されていることを確認します。

紙詰まりを直すときに外した後部アクセスドアは元に戻してください。カチッと音がするまで、ドアをゆっくり押し込みます。

原因: 後部アクセス ドアが完全に装着されていません。

用紙の裏にインクの筋がついている

印刷結果の裏にインクのにじみがある場合は次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：普通紙に印刷する
- 解決策 2：インクが乾くまで待つ

解決策 1：普通紙に印刷する

解決方法: プリンタの余分なインクを吸い取るために普通紙を 1 ページまたは数ページ印刷してください。

普通紙を使用して余分なインクを取り除くには

1. 給紙トレイに普通紙を数枚セットします。
2. 5 分待ちます。
3. 文字がほとんど書かれていないか、何も書かれていない文書を印刷します。
4. 用紙の裏にインクがついていないか確認します。用紙の裏にインクがまだついている場合は、普通紙をもう 1 ページ印刷してみます。

原因: プリンタ内にインクがたまっていて、印刷中に用紙の裏がそこに接触します。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：インクが乾くまで待つ

解決方法: プリンタ内のインクが乾くまで最低 30 分待ってから印刷ジョブを再度実行してみてください。

原因: プリンタの余分なインクが乾く必要があります。

給紙トレイから用紙が給紙されない

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- 解決策 1：製品を再起動する
- 解決策 2：用紙が正しくセットされていることを確認する
- 解決策 3：印刷設定を確認する
- 解決策 4：ローラーをクリーニングする
- 解決策 5：紙詰まりが発生していないか調べる
- 解決策 6：製品を修理する

解決策 1：製品を再起動する

解決方法: 製品の電源を切り、電源コードを抜きます。電源コードを再び差し込み、**電源** ボタンを押して、製品の電源をオンにします。

原因: エラーが発生しました。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：用紙が正しくセットされていることを確認する

解決方法: 用紙が給紙トレイに正しくセットされていることを確認してください。

詳細については、次を参照してください。

メディアのセット

原因: 用紙が正しくセットされていません。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：印刷設定を確認する

解決方法: 印刷設定を確認してください。

- 用紙の種類の設定をチェックし、給紙トレイにセットされた用紙の種類に合っていることを確認します。
- 印刷品質設定を確認し、低すぎる設定になっていないことを確認します。
  画像は **[高画質][最大 dpi]** などの高品質の設定で印刷してください。

原因: 用紙の種類または印刷の品質設定が間違っています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：ローラーをクリーニングする

解決方法: ローラーをクリーニングします。

次のものを用意してください。

- 糸くずの出ない布、または繊維がちぎれたり残ったりしない柔らかい布。
- 蒸留水、濾過水、またはボトル入り飲料水 (水道水にはインク カートリッジを傷める汚染物質が含まれているおそれがあります)。

詳細については、デバイスのクリーニングをご覧ください。

原因: ローラーが汚れていて、クリーニングが必要です。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 5：紙詰まりが発生していないか調べる

解決方法: デバイスの最前部に紙の切れ端がないか確認します。あれば取り除きます。

△ **注意** 本体の正面から詰まった紙を取り除くと、印刷機構が損傷する場合があります。必ず後部アクセス ドア、または両面印刷ユニットを開けて、詰まった用紙をプリンタから取り除いてください。

原因: 紙の切れ端が残っていてもセンサーでは検出されません。

解決策 6：製品を修理する

解決方法: これまでの解決方法に記載された手順をすべて実行したら、HP サポートに連絡してサービスを依頼してください。

お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因: プリンタは修理する必要があります。

モノクロの文字の品質が悪い

印刷した文字が不鮮明で、文字の縁にぎざぎざがある場合は、次の解決方法を試してください。

注記 この問題の場合、インク サプライ品には問題がありません。そのため、インク カートリッジやプリントヘッドの交換は必要ありません。

- 解決策 1：数分待って再印刷する
- 解決策 2：TrueType または OpenType フォントを使用する
- 解決策 3：プリンタを調整する
- 解決策 4：プリントヘッドをクリーニングする

解決策 1：数分待って再印刷する

解決方法: 印刷が完了したら、数分待って文書を再印刷してみます。

原因: モノクロ印刷の多くの問題は、印刷ジョブの完了後に毎回実行される自動メンテナンスで解消します。

解決策 2：TrueType または OpenType フォントを使用する

解決方法: TrueType または OpenType フォントを使えば、輪郭の滑らかなフォントで印刷できます。フォントを選ぶときは、TrueType または OpenType のアイコンを探してください。

TrueType アイコン	OpenType アイコン

原因: フォントがカスタム サイズのフォントです。

ソフトウェア アプリケーションの中には、拡大したときや印刷したときに文字の輪郭がギザギザになる独自のフォントを使うものもあります。また、ビットマップで表現された文字を印刷する場合も、拡大したり印刷すると、輪郭がギザギザになることがあります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：プリンタを調整する

解決方法: プリンタを調整します。

プリンタの調整を行うことにより、高品質な印刷が可能となります。

詳細については、次を参照してください。

プリンタを調整する

原因: プリンタを調整する必要があります。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 4：プリントヘッドをクリーニングする

解決方法: 前回行った解決策で問題が解決しない場合、プリントヘッドのクリーニングを実行してみてください。

プリントヘッドをクリーニングしたら、印刷品質レポートを印刷してください。印刷品質問題がまだ存在するかどうかを調べるため、印刷品質レポートを評価してください。

詳細については、次を参照してください。

- プリントヘッドをクリーニングする
- 印刷品質レポートの印刷と評価

原因: プリントヘッドをクリーニングする必要があります。

印刷が遅い。

本製品の印刷速度が遅すぎる場合は、次の解決方法を試してください。

- 解決策 1：印刷品質を低く設定する
- 解決策 2：インク レベルを確認する
- 解決策 3：HP サポートに問い合わせる

解決策 1：印刷品質を低く設定する

解決方法: 印刷品質の設定を確認します。**[高画質]** および **[最大 dpi]** を使用すると最高の品質が得られますが、**[きれい]** や **[はやい]** を使用した場合に比べて、印刷が遅くなります。**[はやい]** を選択すれば、最も早く印刷できます。

原因: 印刷品質が高く設定されています。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 2：インク レベルを確認する

解決方法: インク カートリッジの推定インク レベルを確認します。

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインク カートリッジを交換する必要はありません。

詳細については、次を参照してください。

推定インクレベルの確認

原因: インク カートリッジのインクが不足しています。インクが不足すると、プリントヘッドが過熱する可能性があります。プリント

ヘッドが過熱したときは、温度を下げるためにプリンタの速度を落とします。

この方法で問題が解決しなかった場合は、次の解決方法を試してください。

解決策 3：HP サポートに問い合わせる

解決方法:　HP サポートに連絡してサービスを受けてください。

お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因:　本製品に問題があります。

給紙の問題の解決

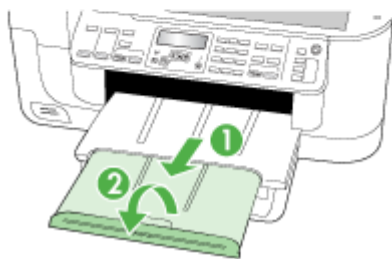
メディアがプリンタまたはトレイにサポートされていない場合

本体および使用中のトレイでサポートされているメディアのみを使用します。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

メディアがトレイから供給されない

- トレイにメディアがセットされていることを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。 メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。
- トレイのメディアが丸まっていないことを確認します。 丸まっている紙は反対に丸めて、平らにします。
- 薄い特殊なメディアを使用する場合は、トレイが完全にセットされていることを確認してください。 少数しか使用できない特殊なメディアの場合は、同じサイズの他の用紙の上にその特殊メディアを置いて、トレイにセットします。 (トレイがいっぱいになっていると、給紙がうまく行われるメディアもあります。)

メディアが正しく排出されない

- 排紙トレイの拡張部が引き出されていることを確認します。排紙トレイが引き出されていないと、印刷ページが本体から落下することがあります。

- 余分なメディアは排紙トレイから取り除いてください。 トレイにセットできる枚数には制限があります。

ページが曲がっている

- トレイにセットされたメディアが用紙ガイドと合っていることを確認します。 必要に応じてトレイを本体から引き出し、メディアを正しくセットして用紙ガイドがきちんと合っていることを確認します。
- 両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 印刷中は本体にメディアをセットしないでください。

一度に 2 枚以上給紙される

- メディアをセットする前に、扇状に広げます。
- セットしているメディア サイズに対して、用紙ガイドがトレイの正しい位置に設定されていることを確認します。 ガイドが用紙の束にきつすぎずにぴったりと合っていることも確認します。

- トレイに用紙がセットされすぎていないことを確認します。
- 最高のパフォーマンスと効率を実現するには、HP メディアを使用してください。

コピーの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

- コピーが排出されない
- 何もコピーされない
- 原稿の一部がコピーされない、または薄い
- サイズが小さくなる
- コピーの品質が悪い
- 正しくコピーされない
- エラー メッセージが表示される

コピーが排出されない

- **電源の確認**
  電源コードがしっかりと接続され、本体の電源がオンになっていることを確認します。
- **本体のステータスの確認**
  - デバイスで別のジョブが実行されている可能性があります。 コントロール パネルのディスプレイで、ジョブのステータスを確認します。 実行中のジョブがある場合は、そのジョブが終了するまで待ちます。
  - デバイスで紙詰まりが発生している可能性があります。 用紙が詰まっていないかどうかを確認します。 メディア詰まりの除去を参照してください。
- **トレイの確認**
  - 用紙がセットされていることを確認します。詳細は、メディアのセットを参照してください。
  - コンピュータを確認します。
    HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。また、ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

何もコピーされない

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細は、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  コントラストの設定が明るすぎる可能性があります。 デバイスのコントロール パネルの **コピー** ボタンを使用し、明るさを低くしてコピーを作成します。
- **トレイの確認**
  ADF を使用してコピーしている場合は、原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、自動ドキュメント フィーダ (ADF) への原稿のセットを参照してください。

原稿の一部がコピーされない、または薄い

- **メディアの確認**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細は、印刷メディアの選択を参照してください。
- **設定の確認**
  品質の設定が **[はやい]** (ドラフト品質のコピーが作成されます) になっていると、原稿の一部がコピーされないことや、コピーが薄くなることがあります。 設定を **[標準]** または **[高画質]** に変更します。
- **原稿の確認**
  - コピーの正確さは、原稿の品質やサイズによって異なります。 **[コピー]** メニューを使用してコピーの明るさを調整します。 原稿が明るすぎる場合、コントラストを調整しても、原稿の一部がコピーされないことがあります。
  - 背景に色が付いていると、前景が背景に混ざることや、背景の影が原稿と異なることがあります。

サイズが小さくなる

- デバイスのコントロール パネルの拡大/縮小などのコピー機能が、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 コピー機能のサイズの設定が原寸になっていることを確認します。
- HP フォト イメージング ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 必要に応じて設定を変更します。 詳細については HP フォト イメージング ソフトウェアのオンスクリーン ヘルプを参照してください。

コピーの品質が悪い

- **コピーの品質を高めるための手順の実行**
  - 品質の良い原稿を使用します。
  - メディアを正しくセットします。メディアが正しくセットされていないと、曲がって不明瞭な画像が生じる可能性があります。詳細は、印刷メディアの選択を参照してください。
  - 原稿を保護するキャリア シートを使用します。
- **本体の確認**
  - スキャナのカバーが正しく閉じられていない可能性があります。
  - スキャナ ガラス、または保護シートにクリーニングが必要です。詳細は、デバイスのクリーニングを参照してください。
  - ADF にクリーニングが必要です。詳細は、デバイスのクリーニングを参照してください。

正しくコピーされない

- **縦方向の白いまたはかすれたしま模様**
  メディアが Hewlett-Packard メディア仕様に適合していない (メディアが湿っている、メディアが粗いなど) 可能性があります。詳細は、印刷メディアの選択を参照してください。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **不要な線**
  スキャナ ガラス、保護シート、またはフレームにクリーニングが必要です。詳細は、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞が現れる**
  インク、接着剤、修正液、またはゴミがスキャナ ガラスまたは保護シートに付着している可能性があります。デバイスをクリーニングします。詳細は、デバイスのクリーニングを参照してください。

- **斜めまたはゆがんでコピーされる**
  - ADF 給紙トレイにセットされているメディアの量が多すぎないことを確認します。
  - ADF のメディア幅アジャスタがメディアの端にぴったりと合っていることを確認します。
- **テキストがはっきりしない**
  - コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
  - デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **テキストまたはグラフィックスにムラがある**
  コントラストまたはコピー品質の設定を調整します。
- **大きなものモノクロ文字がまだらで、なめらかでない**
  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。
- **ライト グレーからミディアム グレーの部分にざらざらしたまたは白い横線が現れる**
  デフォルトの強調設定がジョブに適していない可能性があります。 設定を確認し、必要な場合は、テキストまたは写真を強調するように設定を変更します。 詳細については、コピー設定の変更を参照してください。

エラー メッセージが表示される

“原稿をセットし直した後、ジョブを再ロードしてください”

OK(O) ボタンを押してから、ADF に次の文書の束をセットします。詳細については、原稿のセットを参照してください。

スキャンの問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 コンピュータからスキャンを開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- スキャナが動作しない
- スキャンに時間がかかりすぎる
- 文書の一部またはテキストがスキャンされない
- テキストを編集できない
- エラー メッセージが表示される
- スキャンした画像の品質が良くない
- 正しくスキャンされない

スキャナが動作しない

- **原稿の確認**
  原稿がスキャナのガラス板に正しくセットされていることを確認してください。 詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
- **本体の確認**
  - 一定時間操作が行われずに本体がパワーセーブ モードに入っていたため、処理が再開されるまで時間がかかっている可能性があります。 本体が [**準備完了**] 状態になるまで待ちます。
  - HP Officejet 6500 E709a/E709d を使用している場合、スキャンと印刷を同時に行うことはできません。別のジョブを開始する前にジョブを完了する必要があります。

スキャンに時間がかかりすぎる

- **設定の確認**
  - 解像度の設定が高すぎると、スキャンに時間がかかり、作成されるファイルのサイズも大きくなります。 スキャンまたはコピーで良い結果を得るには、解像度を必要以上高く設定しないようにします。 解像度の設定を低くするとスキャンの速度が向上します。
  - TWAIN 経由で画像を取得する場合は、原稿をモノクロでスキャンするように設定を変更すると、問題が解決することがあります。 詳細については、TWAIN プログラムのオンスクリーン ヘルプを参照してください。
- **本体のステータスの確認**
  スキャンの前に印刷ジョブまたはコピー ジョブを送信した場合は、スキャナがビジー状態でなければ、スキャンが開始されます。 ただ

し、その場合は、印刷またはコピーとスキャンとでメモリが共有されるため、スキャンの速度が遅くなる可能性があります。

文書の一部またはテキストがスキャンされない

- **原稿の確認**
  - 原稿が正しくセットされていることを確認します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 原稿を ADF からスキャンした場合は、スキャナ ガラスから直接スキャンしてみます。詳細については、スキャナのガラス板への原稿のセットを参照してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像が背景に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。
- **設定の確認**
  - メディアのサイズがスキャン原稿に対して十分であることを確認します。
  - HP フォト イメージング ソフトウェアを使用している場合、HP フォト イメージング ソフトウェアのデフォルトの設定が、現在行おうとしているタスクとは別のタスクを自動的に行うように設定されている可能性があります。 プロパティを設定する手順については、HP フォト イメージング ソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。
  - メモリ デバイスにスキャンする場合は、**[自動]** オプションではなく、正確な用紙サイズを選択していることを確認します。

テキストを編集できない

- **設定の確認**
  - OCR ソフトウェアがテキストを編集するように設定されていることを確認します。
  - 原稿をスキャンするとき、編集可能なテキストが生成される文書の種類を選択します。 テキストがグラフィックスと認識されると、テキストに変換されません。
  - OCR プログラムに、OCR タスクを実行しないワードプロセッシング プログラムがリンクされている可能性があります。 プログラムのリンクの詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- **原稿の確認**
  - OCR の場合、原稿を ADF にセットするときは、原稿の先頭を前にして、読み取り面を上に向ける必要があります。原稿が正しくセットされていることを確認します。詳細については、原稿のセットを参照してください。
  - 文字間の狭いテキストは OCR プログラムによって認識されない可能性があります。 OCR プログラムで変換するテキストの文字が失われていたり、つながったりしていると、たとえば、"rn" が "m" と認識される場合があります。
  - OCR プログラムの正確さは、画像の品質、テキストのサイズ、原稿の構造、スキャン自体の品質によって異なります。 原稿の画像の品質が良いことを確認してください。
  - 背景に色が付いていると、前景の画像と必要以上に混ざることがあります。 原稿をスキャンする前に設定を調整するか、原稿をスキャンした後に画像を強調してみます。 原稿に対して OCR 操作を実行する場合、原稿上の色付きのテキストは適切にスキャンされません。

エラー メッセージが表示される

- **“TWAIN ソースを有効にできません”または“画像の取得中にエラーが発生しました”**
  - デジタル カメラや別のスキャナなど、本体以外のデバイスから画像を取得している場合、そのデバイスが TWAIN に準拠していることを確認します。 TWAIN に準拠していないデバイスは、デバイス ソフトウェアと連携しません。
  - USB デバイス ケーブルを使用してコンピュータ背面の正しいポートに接続していることを確認します。
  - 正しい TWAIN ソースが選択されていることを確認します。 ソフトウェアで、**ファイル** メニューの **スキャナの選択** を選択します。
- **“原稿をセットし直した後、ジョブを再開してください”**

  OK(O) ボタンを押し、残りの原稿 (最大 50 枚) を ADF にセットし直します。 詳細については、原稿のセットを参照してください。

スキャンした画像の品質が良くない

原稿が二次的な写真または画像である

新聞や雑誌などの印刷された写真は、細かなドットで元の写真を再現する方法が使用されているため、品質が低下しています。 多くの場合、インクのドットは、画像のスキャンや印刷を行うとき、または画像を画面上に表示するときに不要なパターンを生み出す可能性があります。 以下の方法で問題が解決しない場合は、現在よりも品質の良い原稿を使用する必要があります。

- パターンを削除するには、スキャン後に画像のサイズを縮小してみます。
- スキャンした画像を印刷し、品質が改善されるかどうかを確認します。
- 解像度と色の設定がスキャン ジョブの種類に適していることを確認します。
- 最良の結果を得るには、スキャンには ADF ではなく、フラットベッド型スキャナを使用します。

原稿の裏面のテキストや画像がスキャンされる

薄いメディアまたは透明度の高いメディアに印刷されている両面原稿は、裏側のテキストまたは画像が表面に透け、スキャナに取り込まれることがあります。

スキャンした画像がゆがんでいる (曲がっている)

原稿が正しくセットされていない可能性があります。 原稿を ADF にセットするときは必ずメディア ガイドを使用してください。詳細については、原稿のセットを参照してください。

印刷した方が画質が良い

画面に表示される画像は、スキャンの質を必ずしも正確に表現しているとは限りません。

◦ コンピュータ モニタの設定を調整して、使用する色数 (グレーのレベル数) を増やしてみます。 Windows コンピュータでこの調整を行うには、通常、Windows のコントロール パネルの **[画面]** を使用します。

◦ 解像度と色の設定を調整してみます。

スキャンした画像に汚れ、線、縦の白いストライプなどの問題がある

◦ スキャナ ガラスが汚れていると、最適な鮮明度の画像が得られません。デバイスのクリーニングを参照してクリーニングを実施します。

◦ スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。

グラフィックスが原稿と異なって見える

グラフィックスの設定が実行中のスキャン ジョブの種類に適していない可能性があります。 グラフィックスの設定を変更してみてください。

スキャンの質を高めるための手順の実行

◦ ADF ではなく、スキャナのガラス板を使用してスキャンを実行します。

◦ 質の良い原稿を使用します。

◦ メディアを正しく置きます。 メディアがスキャナのガラス板に正しくセットされていないと、メディアがまっすぐ給紙されず、明瞭にスキャンされないことがあります。 詳細については、原稿のセットを参照してください。

◦ スキャンしたページの用途に応じてソフトウェアの設定を調整します。

◦ 原稿を保護するキャリア シートを使用します。

◦ スキャナのガラスをクリーニングします。詳細は、スキャナ ガラスのクリーニングを参照してください。

正しくスキャンされない

- **空白ページ**
  原稿が正しくセットされていることを確認します。 フラットベッド型スキャナでは、原稿の表を下に向け、原稿の左上隅をスキャナ ガラスの右下隅に合わせてセットします。
- **明るすぎる、または暗すぎる**
  - 設定を調整してみます。 正しい解像度と色設定を必ず使用してください。
  - 原稿が非常に明るい (または暗い) か、色の付いた用紙に印刷されている可能性があります。
- **不要な線**
  インク、接着剤、修正液、またはゴミがスキャナ ガラスに付着している可能性があります。スキャナ ガラスをクリーニングします。詳細は、デバイスのクリーニングを参照してください。
- **黒い点または縞**
  - スキャナ ガラスにインク、接着剤、修正液、またはゴミが付着しているか、スキャナ ガラスに汚れまたは傷があるか、スキャナの保護シートが汚れている可能性があります。スキャナ ガラスと保護シートをクリーニングします。詳細は、デバイスのクリーニングを参照してください。クリーニングしても問題が解決しない場合は、スキャナ ガラスまたは保護シートをを交換する必要があります。
  - スキャン処理ではなく、原稿自体に問題がある可能性があります。
- **テキストが鮮明でない**
  設定を調整してみます。 解像度と色の設定が正しいことを確認してください。
- **サイズが小さくなる**
  HP ソフトウェアが、スキャンした画像を縮小するように設定されている可能性があります。 設定の変更方法の詳細については、製品ソフトウェアのヘルプを参照してください。

ファクスの問題の解決

このセクションでは、ファクスのセットアップに関するトラブルシューティングについて説明します。 ファクスが正しくセットアップされていないと、ファクスの送信、ファクスの受信またはその両方で問題が発生する可能性があります。

ファクスに問題がある場合、ファクス テスト レポートを印刷して、本体の状態を確認できます。 本体でファクスが正しくセットアップされていない場合、テストに失敗します。 このテストは、デバイスのファクス機能のセットアップが完了した後に実行してください。 詳細については、ファクス設定のテストを参照してください。

テストに失敗した場合、レポートを参照して、問題の解決方法を確認してください。 詳細については、ファクス テストに失敗したを参照してください。

ファクス機能に問題がある場合は、まず以下を試してください。

- 電話コードを確認します。別の電話コードを使い、問題が繰り返し発生するか確認します。
- HP デバイスから他の機器を取り外します。HP デバイスを壁側のモジュラー ジャックに直接接続して、問題が繰り返し発生するか確認します。

- ファクス テストに失敗した
- ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される
- ファクスの送受信がうまくできない
- 手動によるファクスの送信がうまくできない
- ファクスを受信できないが、送信はできる
- ファクスを送信できないが、受信はできる
- ファクス トーンが留守番電話に録音される
- デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない
- コンピュータでファクスを受信できない (PC ファクス受信または Mac にファクス)
- 送信されたファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様がある
- 受信したファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様がある

ファクス テストに失敗した

ファクス テストを実行して失敗した場合、レポートを調べてエラーの基本情報を確認します。 詳細については、レポートでテストのどの部分で失敗したか確認し、このセクションの該当トピックで対処方法をご確認ください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した
- 「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した
- 「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

- 「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した
- 「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した
- 「ファクス回線状態」テストに失敗した

「ファクス ハードウェア テスト」に失敗した

解決方法:

- デバイスのコントロール パネルの **電源** ボタンを使用してデバイスの電源をオフにし、本体背面から電源コードを抜きます。 数秒経過してから、電源コードを再び接続し、電源をオンにします。 もう一度テストを実行します。 またテストに失敗した場合、引き続きこのセクションのトラブルシューティング情報を調べてください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。 ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。
- **[ファクス セットアップ ウィザード]** (Windows) または **[HP ファクス セットアップ ユーティリティ]** (Mac OS X) からテストを実行している場合、デバイスがファクスの受信やコピー作成など別のタスクを完了しようとしてビジーになっていないことを確認します。コントロール パネル ディスプレイのメッセージで、デバイスがビジー状態であるか確認してください。ビジー状態の場合、タスクが終了してアイドル状態になってからテストを実行します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。 付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。 本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。 (スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 **[ファクス ハードウェア テスト]** の失敗が続き、ファクスを使用できない場合は、HP サポートにお問い合わせください。 www.hp.com/support にアクセスしてください。 情報の入力を要求

された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

「ファクスが壁側電話ジャックに接続完了」テストに失敗した

解決方法:

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ずデバイス付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックとデバイスを接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。 デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。 ファクスを使用するための本体の設定の詳細については、デバイスのファクス機能のセットアップを参照してください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- テスト ファクスを送信または受信してみてください。ファクスの送信または受信に成功したら、問題ない可能性があります。

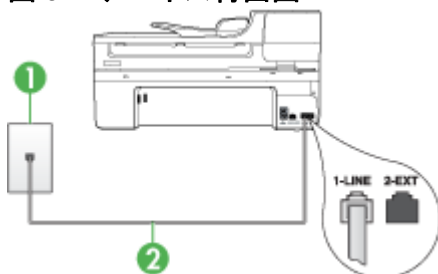
見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。

「電話コードがファクスの正しいポートに接続完了」テストに失敗した

解決方法: 電話コードを正しいポートに接続します。

1. デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。
国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

> **注記** 2-EXT ポートを使用して壁側のモジュラー ジャックに接続すると、ファクスの送受信はできません。2-EXT ポートは、留守番電話などの機器接続専用です。

図 9-1 デバイス背面図

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

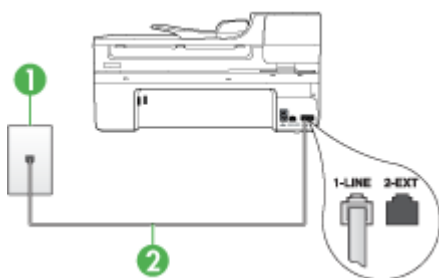
2. 1-LINE というラベルの付いたポートに電話コードを接続したら、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功すると、ファクスを使用することができます。

3. テスト ファクスを送信または受信してみてください。

- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ファクスで正しい電話コード使用中」テストに失敗した

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。 カプラーは、電話のアクセサリを扱ってい

る電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

「ダイヤルトーン検出」テストに失敗した

解決方法:

- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。 他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。 他の機器を外したときに [**ダイヤル トーン検出テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。ダイヤル トーンが聞こえない場合、電話会社に連絡して、回線の検査を依頼してください。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- PBX システムなど、ご使用の電話システムが通常のダイヤル トーンを使用していない場合、テストに失敗する原因になる可能性があります。 これは、ファクス送受信の問題の原因にはなりません。 テスト ファクスを送信または受信してみてください。
- お住まいの国/地域に対して、国/地域の設定が適切に設定されていることを確認してください。 国/地域が設定されてないか、間違って設定されていると、テストに失敗し、ファクスの送受信に問題が発生することがあります。
- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。 電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。 通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。 本体をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 [**ダイヤル トーン検出**] テストに引き続き失敗し続ける場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

「ファクス回線状態」テストに失敗した

解決方法:

- 本体をアナログ電話回線に接続していることを確認してください。アナログ電話回線に接続していないと、ファクスを送受信できません。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。本体をアナログ回線に接続し、ファクスの送受信を試します。
- 電話の壁側のモジュラー ジャックと本体の接続を確認して、電話コードがしっかり接続されていることを確認します。
- 本体が壁側のモジュラー ジャックに正しく接続されていることを確認します。デバイスに付属の電話コードの一方の端を壁側のモジュラー ジャックに、もう一方の端をデバイスの背面の 1-LINE と書かれているポートに接続します。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
- 本体と同じ電話回線を使用している他の機器がテスト失敗の原因となっている可能性があります。他の機器が原因になっているかどうかを確認するために、電話回線からすべての機器を外し、もう一度テストを実行します。
  - 他の機器を外したときに [**ファクス回線状態テスト**] に成功する場合、他の 1 つ以上の機器が問題の原因になっている可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 つずつ戻し、そのたびにテストを実行します。
  - 他の機器を外して [**ファクス回線状態テスト**] に失敗する場合は、正常に機能している電話回線に本体を接続して、引き続きこのセクションのトラブルシューティングを実施します。

- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。
- 必ず本製品付属の電話コードを使用してください。付属のコードで壁側のモジュラー ジャックと本体を接続しないと、ファクスの送受信が正常に行われないことがあります。本製品付属の電話コードを差し込んだら、ファクス テストをもう一度実行します。

  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

見つかった問題を解決した後、もう一度ファクス テストを実行します。テストに成功した場合は、ファクスを使用することができます。 [**ファクス回線状態**] テストに引き続き失敗し続け、ファクスができない場合、電話会社に連絡して回線の検査を依頼してください。

ディスプレイに常に「受話器が外れています」と表示される

解決方法:　間違った種類の電話コードを使用しています。 本体を電話回線に接続する際は、必ず付属の電話コードを使用してください。本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

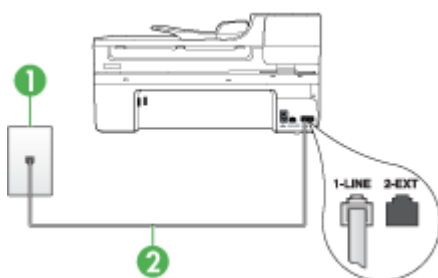
解決方法:　本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話 (同じ電話回線を使用している電話で、本体に接続されていないもの) またはその他の機器が使用中でないこと、受話器が外れていないことを確認してください。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファクス機能は使用できません。

ファクスの送受信がうまくできない

解決方法: 本体の電源がオンになっていることを確認します。 本体のディスプレイを見てください。 ディスプレイに何も表示されず、**電源** ランプが点灯していない場合は、本体の電源が入っていません。 本体の電源コードが電源コンセントにしっかりと差し込まれていることを確認してください。 **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れてください。

本体の電源をオンにしたら、5 分ほど待ってから、ファクスの送受信を行うようお勧めします。 本体の電源をオンにしても、初期化中は送受信できません。

解決方法:

- 本製品に付属の電話コードを使用して、壁側のモジュラージャックに接続していることを確認してください。 下図のように、電話コードの一方の端を本体背面にある 1-LINE というラベルの付いたポートに接続し、もう一方の端を壁側のモジュラージャックに接続します。
  国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱ってい

る電器店で購入できます。 自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

- 正常に機能する電話機と電話コードを、本体で使用している壁側のモジュラージャックに接続し、発信音の有無を確認します。 発信音が聞こえない場合、電話会社にお問い合わせください。
- 本体と同じ電話回線の他の機器が使用中である可能性があります。 内線電話の受話器が外れている場合や、コンピュータのモデムを経由して電子メールの送信やインターネットへのアクセスを実行している場合、本体のファクス機能は使用できません。
- 他のプロセスがエラーの原因となっていないか確認してください。 ディスプレイまたはコンピュータで、問題とその解決法のエラー メッセージを確認してください。 エラーが解決するまで、ファクスの送受信を行うことができません。
- 電話回線の接続ノイズが発生している可能性があります。 電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話を壁側のモジュラー ジャックに接続し、静電ノイズなどのノイズに注意して、電話線の音質をチェックしてください。 ノイズが聞こえたら、[**エラー補正モード**] (ECM) をオフにして、もう一度ファクスしてみてください。 ECM の変更方法の詳細については、オンスクリーン ヘルプを参照してください。 問題が解決しない場合、電話会社に連絡してください。
- デジタル加入者線 (DSL) サービスの使用時は、DSL フィルタが接続されていることを確認してください。そうしないと、ファクスを使用することができません。詳細については、ケース B : DSL 環境でのデバイスのセットアップをご覧ください。
- DSL サービスを使用していて、DSL フィルタが接続されている場合は、フィルタがファクス トーンをさえぎっている可能性があります。フィルタを取り外し、デバイスを壁に直接接続してみてください。
- 本体が、デジタル電話用のモジュラージャックに接続されていないことを確認してください。電話回線がデジタルであるかどうかを確認するには、回線に通常のアナログ電話を接続してダイヤルトーンを聞きます。通常のダイヤル音が聞こえない場合は、デジタル電話用に設定された電話回線の場合があります。

- PBX (構内交換機) または ISDN コンバータ/ターミナル アダプタを使用している場合は、本体が正しいポートに接続され、ターミナル アダプタがお住まいの国または地域に適した種類のスイッチに設定されていることを確認してください。 詳細については、ケース C： PBX 電話システムまたは ISDN 回線の環境でのデバイスのセットアップを参照してください。
- 本体が DSL サービスと同じ電話回線を共有している場合、DSL モデムが正しく接地されていない可能性があります。 DSL モデムが正しく接地されていない場合、電話回線にノイズが発生することがあります。電話回線の音質が悪い (ノイズがある) と、ファクスの使用時に問題が発生することがあります。 電話機を壁側のモジュラージャックに接続して、静的ノイズなどのノイズの有無を聞き取ると、電話回線の音質を確認できます。 ノイズが聞こえる場合は、DSL モデムをオフにして、少なくとも 15 分間電力を完全に除去します。 DSL モデムをもう一度オンにして、ダイヤル トーンを聞いてください。

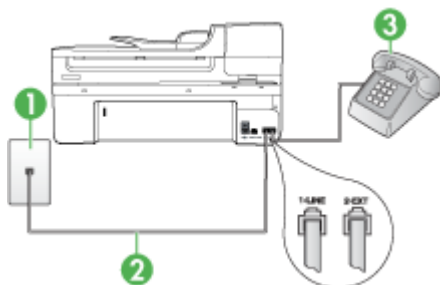
  注記 今後、電話回線で再び雑音が聞こえる場合があります。 ファクスの送受信が停止する場合は、この手順を繰り返してください。

  電話回線のノイズが消えない場合、電話会社に連絡してください。 DSL モデムをオフにする方法については、DSL プロバイダにお問い合わせください。
- 電話スプリッターを使用していると、ファクスの問題の原因になる場合があります。(スプリッターとは、壁側のモジュラージャックに接続する 2 コード コネクタです。) スプリッターを取り外し、本体を壁側のモジュラー ジャックに直接接続してみてください。

手動によるファクスの送信がうまくできない

解決方法:

注記 この解決策は、デバイスに 2 線式電話コードが付属している次の国または地域にのみ適用されます。アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、カナダ、チリ、中国、コロンビア、インドネシア、日本、韓国、ラテン アメリカ、マレーシア、メキシコ、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、米国、ベネズエラ、ベトナム。

• ファクスを実行するために使用する電話機が、本体に直接接続されていることを確認してください。 ファクスを手動で送信するには、下図のように、本体の 2-EXT というラベルの付いたポートに電話機を直接接続してください。

1	壁側のモジュラージャック
2	"1-LINE" ポートに接続したデバイス付属の電話コードを使用する 国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。
3	電話

• 本体に直接接続された電話から手動でファクスを送信する場合、ファクス送信には電話機のキーパッドを使用する必要があります。 デバイスのコントロール パネルのキーパッドは使用できません。

注記 シリアル方式の電話システムを使用している場合は、電話を「2-EXT」と書かれているポートに接続します。

ファクスを受信できないが、送信はできる

解決方法:

- 着信識別サービスを使用していない場合は、[**応答呼出し音のパターン**] 機能が [**すべての呼び出し**] に設定されていることを確認します。 詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。
- [**自動応答**] が [**オフ**] に設定されている場合、ファクスの自動受信は行われません。ファクスを手動で受信する必要があります。 ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- ファクスと同じ電話番号でボイスメール サービスをお使いの場合は、ファクスを手動で受信しなければなりません。自動受信することはできません。 受信ファクスの着信に応答するためにその場にいる必要があります。 ボイスメール サービスをお使いの場合にファクスをセットアップする方法については、ケース F： 電話とファクスとボイスメール サービスを一緒に利用するを参照してください。ファクスの手動受信についての詳細は、ファクスの手動受信を参照してください。
- 本体と同じ電話回線上にコンピュータ モデムがある場合は、モデムに付属のソフトウェアが、ファクスを自動受信する設定になっていないことを確認してください。 ファクスを自動受信するよう設定されたモデムは、電話回線を占有してすべての受信ファクスを受け取るため、本体がファクス呼び出しを受信できません。
- 本体と同じ電話回線上に留守番電話がある場合は、以下のいずれかの問題が発生している可能性があります。
    - 留守番電話が本体に対して適切にセットアップされていない。
    - 発信メッセージが長すぎる、または発信メッセージの音量が大きすぎるために、本体がファクス トーンを検出できず、それが原因で送信元のファクス機が切断されている。
    - 本体がファクス トーンを検出できるだけの充分な時間が、留守番電話の発信メッセージの後にない。 この問題は、デジタル留守番電話の場合に最もよく発生します。

以下のアクションを実行すると、これらの問題が解決される場合があります。

◦ ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。
◦ 本体でファクスを自動受信するように設定されていることを確認します。 本体でファクスを自動受信するように設定する方法については、ファクスの受信を参照してください。
◦ [**応答呼出し回数**] 設定を留守番電話よりも多い回数に設定していることを確認します。 詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。
◦ 留守番電話の接続を解除し、ファクスを受信してみます。 この状態でファクスの受信に成功した場合は、留守番電話が原因である可能性があります。
◦ 留守番電話をもう一度接続し、発信メッセージを録音し直します。 約 10 秒の長さのメッセージを録音します。 メッセージを録音するときには、低い音量で、ゆっくりと話してください。 音声メッセージの後、沈黙した状態で 5 秒以上録音を続けます。 この沈黙時間を録音するときには、バックグラウンド ノイズが入らないよう注意します。 もう一度ファクスを受信してください。

注記 デジタル留守番電話には、外出メッセージの最後に録音した無音部分を保持しないものもあります。 外出メッセージを再生して確認してください。

- 本体が、留守番電話やコンピュータ モデム、マルチポート スイッチ ボックスなど、その他のタイプの電話機器と同じ電話回線を共有している場合は、ファクスの信号レベルが低下することがあります。 スプリッターを使ったり、別のケーブルをつないで電話コードを延長しても信号レベルは低下します。 ファクスの信号レベルが低下すると、ファクスの受信に問題が発生する場合があります。
  他の機器が問題の原因となっているかどうかを調べるには、本体以外のすべての機器を電話回線から取り外し、ファクスを受信してみてください。 他の機器を外したときにファクスを正常に受信できる場合は、他の少なくとも 1 台の機器が問題の原因である可能性があります。問題の原因になっている機器を特定できるまで、機器を一度に 1 台ずつ戻し、そのたびにファクスを受信します。
- ファクス用電話番号の呼び出し音のパターンが特殊な場合 (電話会社を通じて着信識別サービスを使用している場合) は、本体の [**応答呼出し音のパターン**] 機能がそれに合致するように設定されていることを確認してください。詳細については、着信識別応答呼び出し音のパターンの変更を参照してください。

ファクスを送信できないが、受信はできる

解決方法:

- 本体のダイヤル速度が速すぎるか、またはダイヤルの間隔が短すぎます。 ファクス番号の途中に間隔の挿入が必要になることがあります。 たとえば、電話番号をダイヤルする前に外線にアクセスする必要がある場合、外線番号の後ろに間隔を挿入してください。 ダイヤルする番号が 95555555 で、9 が外線へのアクセス番号である場合、9-555-5555 のように間隔を挿入します。 9-555-5555 入力するファクス番号間に一定の間隔を入れるには、**リダイヤル/ポーズ** を押すか、ディスプレイにダッシュ記号 **[-]** が表示されるまで、**[スペース (#)]** ボタンを繰り返し押します。
ダイヤルのモニタ機能を使用してファクスを送信できます。 これにより、ダイヤル時に電話回線の音を聞くことができます。 ダイヤルのペースを設定し、ダイヤル時にプロンプトに応答できます。 詳細については、ダイヤル モニタリングを使用したファクス送信を参照してください。
- ファクス送信の際に入力したファクス番号の形式が正しくないか、受信中のファクス機に問題が発生しています。 電話機からファクス番号をダイヤルし、ファクス トーンを聞いてください。 ファクス トーンが聞こえない場合は、受信側のファクス機の電源が入っていなかったり、接続されていなかったりする場合があります。また、ボイス メール サービスが、受信側の電話回線を妨害している場合もあります。 受信者に、受信側のファクス機に問題がないか確認するように依頼してください。

ファクス トーンが留守番電話に録音される

解決方法:

- ファクスと同じ電話回線で留守番電話を使用する場合、ケース I： 電話とファクスと留守番電話を一緒に利用する の説明のとおり、留守番電話を本体に直接接続してください。 留守番電話を推奨される方法で接続しないと、ファクス トーンが留守番電話に録音される場合があります。
- 本体のファクス機能が自動受信に設定され、[**応答呼出し回数**] の設定が適切であることを確認してください。 デバイスの応答呼出し回数を、留守番電話が応答する回数よりも多く設定する必要があります。 留守番電話と本体で設定されている応答までの呼び出し回数が同じ場合、電話とファクスの両方が着信に応答してしまうため、ファクス トーンが留守番電話に録音されます。
- 留守番電話の呼び出し回数を少なくし、本体の呼び出し回数をサポートしている最大数に設定します (呼び出しの最大回数は、国/地域によって異なります)。 この設定では、留守番電話が電話に応答し、デバイスが電話回線を監視します。 本体がファクス受信音を検出した場合は、本体がファクスを受信します。 着信が電話の場合は、留守番電話が着信のメッセージを録音します。詳細については、応答までの呼び出し回数の設定を参照してください。

デバイスに付属の電話コードの長さが十分でない

解決方法:　本製品に付属の電話コードの長さが足りない場合、カプラーを使用して延長できます。カプラーは、電話のアクセサリを扱っている電器店で購入できます。自宅やオフィスで使用している通常の電話コードがもう 1 本必要です。

ヒント　本体に 2 線式電話コード アダプタが付属している場合は、4 線式電話コードと合わせて使用して長さを延長できます。2 線式電話コード アダプタの使用方法については、付属のマニュアルを参照してください (日本では付属しておりません)。

電話コードを延長するには

1. 本製品に付属の電話コードの一方の端をカプラーに、もう一方の端を本体背面の 1-LINE というラベルの付いたポートに接続します。
2. もう 1 本の電話コードを、カプラーの空いているポートと壁側のモジュラー ジャックに接続します。
   国/地域に対して提供されたアダプタ用の付属の電話コードを接続する必要がある場合もあります。

コンピュータでファクスを受信できない (PC ファクス受信または Mac にファクス)

原因:　HP Digital Imaging Monitor がオフです (Windows のみ)。

解決方法:　タスクバーを確認して、HP Digital Imaging Monitor が常にオンであることを確認します。

原因:　ファクスの受信用として選択したコンピュータがオフです。

解決方法:　ファクス受信用として選択したコンピュータが常にオンであるようにしてください。

原因:　セットアップ用とファクス受信用に設定したコンピュータが異なり、いずれかの電源がオフです。

解決方法:　ファクスを受信するコンピュータがセットアップに使用したコンピュータと異なる場合、両方のコンピュータの電源が常に入っている必要があります。

原因:　給紙トレイに用紙がセットされていません。

解決方法:　給紙トレイに用紙をセットします。

原因:　内部メモリがいっぱいです。

解決方法:　ファクス ログおよびメモリを消去し、内部メモリをクリアします。

原因:　[PC ファクス受信] または [Mac にファクス] が無効になっているか、コンピュータがファクスを受信するように設定されていません。

解決方法: [PC ファクス受信] または [Mac にファクス] を有効にし、コンピュータがファクスを受信するように設定されていることを確認します。

原因: HP Digital Imaging Monitor (Windows のみ) が正しく動作しない

解決方法: HP Digital Imaging Monitor を再起動するか、コンピュータを再起動します。

送信されたファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様がある

原因: ファクスを送信するときに、ページにブランクがある、または送信されたファクスに縦方向の縞模様がある

解決方法: ファクスのコピーを作成します。コピーに問題がなければ、受信者のファクス機に問題がある可能性があります。

コピーがブランクの場合、スキャナ ガラス、スキャナの保護シート、または自動ドキュメント フィーダをクリーニングする必要があります。 詳細については、デバイスのクリーニングまたはスキャンの問題の解決を参照してください。

受信したファクスに空白ページ、または縦方向の縞模様がある

原因: 製品で受信したファクスがブランク、または印刷結果の画像、またはテキストに縦方向の黒い縞模様があります。

解決方法: セルフテスト ページを印刷して、正しく印刷されるかどうか調べます。

セルフテスト ページが正しく印刷される場合は、送信側のファクスに問題がある可能性があります。別のファクス機からのファクスを受信してみてください。

セルフテスト ページが正しく印刷されない場合は、印刷上の問題の解決を参照してください。

ネットワークの問題の解決

注記 以下を修正した後、インストール プログラムを再度実行します。

一般的なネットワーク トラブルシューティング

- プリンタソフトウェアをインストールできない場合は、以下を確認します：
    - コンピュータとデバイスにすべてのケーブルがしっかりと接続されている。
    - ネットワークが使用できる状態で、ネットワーク ハブがオンになっている。
    - Windows を実行しているコンピュータで、ウィルス保護プログラム、スパイウェア保護プログラム、ファイアウォールを含むあらゆるアプリケーションが終了しているか、または無効にされている。
    - デバイスを使用するコンピュータと同じサブネット上にデバイスがインストールされていることを確認します。
    - インストール プログラムがデバイスを検知できない場合は、ネットワーク設定ページを印刷してインストール プログラムに IP アドレスを手動で入力します。 詳細については、ネットワーク設定ページの理解を参照してください。
- Windows を実行中のコンピュータを使用している場合は、デバイス ドライバに作成されたネットワーク ポートがデバイスの IP アドレスと一致していることを確認します。
    - デバイスのネットワーク設定ページを印刷します。
    - **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
      -または-
      [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
    - デバイスのアイコンを右クリックして **[プロパティ]** をクリックしてから **[ポート]** タブをクリックします。
    - デバイスの TCP/IP ポートを選択し、**[ポートの構成]** をクリックします。
    - ダイアログ ボックスに表示された IP アドレスを比較し、ネットワーク設定ページに表示された IP アドレスと一致することを確認します。 IP アドレスが一致しない場合は、ネットワーク設定ページのアドレスと一致するようダイアログ ボックスの IP アドレスを変更します。
    - **[OK]** を 2 回クリックして設定を保存し、ダイアログ ボックスを終了します。

ワイヤ ネットワークへの接続問題

- ネットワーク コネクタのリンク ランプが点灯しない場合は、「一般的なネットワーク トラブルシューティング」の項目がすべて満たされていることを確認します。
- デバイスに静的 IP アドレスを割り当てることは推奨されていませんが、これを行うことによってインストールの問題 (パーソナル ファイアウォールとの競合など) が解決される場合があります。

ワイヤレスの問題の解決 (一部のモデルのみ)

ワイヤレス設定とソフトウェアのインストールを行ってもデバイスがネットワークと通信できない場合、以下の作業の 1 つ以上を記載されている順序で実行します。

- ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング
- ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング

ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング

下記の手順を記載された順序で実行します。

注記 ワイヤレス接続の設定が初めてで、同梱されているソフトウェアを使用している場合は、USB ケーブルがデバイスとコンピュータとの間に接続されていることを確認してください。

手順 1 - ワイヤレス (802.11) ランプがオンになっていることを確認します。

HP デバイスのワイヤレス ボタンの近くにある青色のランプが点灯していない場合、ワイヤレス機能がオフになっている可能性があります。ワイヤレス機能をオンにするには、**ワイヤレス** ボタンを 3 秒間押し続けます。

注記 HP デバイスが Ethernet ネットワークをサポートしている場合、Ethernet ケーブルがデバイスに接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを接続すると、HP デバイスのワイヤレス機能がオフになります。

手順 2 - ワイヤレス ネットワークのコンポーネントを再起動します。

ルータおよび HP デバイスの電源をオフにしてから、最初にルータ、次に HP デバイスの順番で電源をオンにします。まだ接続できない場合は、ルータ、HP デバイス、およびコンピュータをオフにします。電源を入れ直すことにより、ネットワーク通信の問題が解決することがあります。

手順 3 - ワイヤレス ネットワーク テストを実行します。

ワイヤレス ネットワークの問題の場合、ワイヤレス ネットワーク テストを実行します。ワイヤレス ネットワーク テスト ページを印刷するには、**ワイヤレス** ボタンを押します。問題が検出された場合、問題解決に役立つ推奨する解決方法がレポートに記載されます。

ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング

基本的なトラブルシューティングのセクションに記載されたアドバイスに従ったが、まだ HP デバイスをワイヤレス ネットワークに接続できない場合は、次のアドバイスを記載された順序で試みてください。

- コンピュータがネットワークに接続されていることを確認する
- HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認する
- ファイアウォール ソフトウェアが通信をブロックしていないかどうか確認する
- HP デバイスがオンラインで使用可能であることを確認する
- ワイヤレス ルータが非公開の SSID を使用している
- HP デバイスのワイヤレス バージョンがデフォルト プリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください (Windows のみ)。
- HP Network Devices Support サービスが動作していることを確認する (Windows のみ)
- ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

コンピュータがネットワークに接続されていることを確認する

有線 (Ethernet) 接続の状態を確認するには

▲ 多くの場合、ルータからの Ethernet ケーブルがコンピュータに接続するポートの横には、インジケータ ランプがあります。通常ランプは 2 つあり、1 つは点灯し、もう 1 つは点滅しています。お使いのコンピュータにインジケータ ランプがある場合は、インジケータ ランプが点灯していることを確認してください。ランプが点灯していない場合は、Ethernet ケーブルをコンピュータとルータに接続し直してください。ランプがまだ点灯しない場合は、ルータ、Ethernet ケーブル、またはコンピュータに問題が生じている可能性があります。

注記 Macintosh コンピュータにはインジケータ ランプがありません。Macintosh コンピュータで Ethernet 接続を確認するには、Dock で **[システム環境設定]** をクリックしてから、**[ネットワーク]** をクリックします。Ethernet 接続が正常に動作していると、接続のリストに **[内蔵 Ethernet]** が IP アドレスおよびその他のステータス情報と共に表示されます。**[内蔵 Ethernet]** がリストに表示されない場合は、ルータ､Ethernet ケーブル、またはコンピュータに問題がある可能性があります。詳細については、ウィンドウ内の [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

ワイヤレス接続の状態を確認するには

1. コンピュータのワイヤレスがオンになっていることを確認します。(詳細については、コンピュータ付属のマニュアルを参照してください)。
2. 固有のネットワーク名 (SSID) を使用しないと、お使いのワイヤレス コンピュータが、近隣で使われている別のネットワークにつながってしまう可能性があります。
   次の手順で、コンピュータが自分のネットワークにつながっているかどうかを確認することができます。

   Windows

   a. **[スタート]** をクリックし、**[コントロール パネル]** をクリックし、**[ネットワーク接続]** をポイントしてから、**[ネットワークの状態と][タスクの表示]** をクリックします。
   または、
   [スタート] をクリックし、**[設定]** を選択し、**[コントロール パネル]** をクリックして、**[ネットワーク接続]** をダブルクリックし、**[表示]** メニューをクリックしてから **[詳細]** を選択します。
   次の手順に進んでもネットワークのダイアログ ボックスは開いておきます。

   b. 電源コードをワイヤレス ルーターから取り外します。コンピュータの接続状態が **[未接続]** に変わるはずです。

   c. 電源コードをワイヤレス ルーターに再び差し込みます。コンピュータの接続状態が **[接続]** に変わるはずです。

   Mac OS X

   ▲ 画面上部のメニューバーの **[AirPort]** アイコンをクリックします。表示されたメニューから、AirPort をオンにするかどうかとどのワイヤレス ネットワークをコンピュータの接続先にするかを指定できます。

   注記 AirMac 接続の詳細については、Dock で **[システム環境設定]** をクリックしてから、**[ネットワーク]** をクリックしてください。。AirMac 接続が正常に動作していると、接続のリストで AirMac の横に緑色の点が表示されます。詳細については、ウィンドウ内の [ヘルプ] ボタンをクリックしてください。

お使いのコンピュータをネットワークに接続できない場合、ネットワークを設定した担当者またはルーターの製造元に問い合わせてください。

ルーターまたはコンピュータのハードウェアに問題がある可能性があります。

インターネットへのアクセスが可能であり Windows を実行しているコンピュータを使用している場合、ネットワーク設定に役立つ HP Network Assistant (www.hp.com/sbso/wireless/tools-setup.html?jumpid=reg_R1002_USEN) にアクセスすることもできます。(この Web サイトは英語版のみです)。

HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認する

デバイスがコンピュータと同じネットワークに接続されていない場合、ネットワークを介して HP デバイスを使用することはできません。このセクションで説明する手順に従って、デバイスが正しいネットワークにアクティブに接続されているかどうか確認してください。

HP デバイスがネットワークに接続されていることを確認する

1. HP デバイスが Ethernet ネットワークをサポートしており Ethernet ネットワークに接続されている場合、デバイスの後部に Ethernet ケーブルが接続されていないことを確認します。Ethernet ケーブルを後部に接続していると、ワイヤレス接続はオフになります。
2. HP デバイスがワイヤレス ネットワークに接続されている場合、デバイスのワイヤレス設定ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解をご覧ください。
   ▲ ページが印刷されたら、ネットワーク状態と URL を確認します。

ネットワークのステータス	• ネットワーク状態が [準備完了] の場合、HP デバイスはネットワークにアクティブに接続されています。 • ネットワーク状態が [オフライン] の場合、HP デバイスはネットワークに接続されていません。ワイヤレス ネットワーク テスト (このセクションの冒頭の手順を使用) を実行して、推奨事項に従います。
URL	ここで表示される URL はルータによって HP デバイスに割り

	当てられたネットワーク アドレスです。これは組み込み Web サーバに接続するために必要です。

組み込み Web サーバ (EWS) にアクセスできるかどうかを確認します。

▲ コンピュータと HP デバイスの両方がネットワークに対してアクティブな接続があることを確認した後、それらが同じネットワーク上にあることをデバイスの組み込み Web サーバ (EWS) にアクセスすることによって検証できます。詳細については、組み込み Web サーバをご覧ください。

EWS にアクセスするには

a. Internet Explorer、Safari など、通常使う Web ブラウザを開いてインターネットにアクセスします。アドレス ボックスに、ネットワーク構成ページに記載されている HP デバイスの URL を入力します (例: http://192.168.1.101)。

> **注記** ブラウザでプロキシ サーバを使用している場合は、EWS にアクセスする前に無効にしておいてください。

b. EWS にアクセスできる場合、HP デバイスをネットワークを介して印刷などに使用してみて、ネットワークのセットアップが正しいかどうか確認します。

c. EWS にアクセスできないか、HP デバイスのネットワーク経由での使用でまだ問題が発生している場合は、ファイアウォールに関する次のセクションに進みます。

ファイアウォール ソフトウェアが通信をブロックしていないかどうか確認する

EWS にアクセスできず、コンピュータと HP デバイスの両方が同一ネットワークに対してアクティブな接続があることを確認している場合、ファイアウォール セキュリティ ソフトウェアが通信をブロックしている可能性があります。コンピュータで実行中のすべてのファイアウォール セキュリティ ソフトウェアを一時的にオフにしてから、EWS に再度アクセスしてください。EWS にアクセスできる場合は、HP デバイスを使用 (印刷) してみてください。

EWS にアクセスできて、ファイアウォールをオフにすると HP デバイスを使用できる場合、ファイアウォール設定を変更してコンピュータ

と HP デバイスがネットワーク経由で相互に通信できるようにする必要があります。

EWS にアクセスできるがファイアウォールをオフにしても HP デバイスがまだ使用できない場合は、ファイアウォール ソフトウェアが HP デバイスを認識できるようにしてください。

HP デバイスがオンラインで使用可能であることを確認する

HP ソフトウェアをインストールしている場合、コンピュータから HP デバイスの状態をチェックして、デバイスが停止中であるかオフラインであるために使用できないのかどうかを確認できます。

HP デバイスの状態を確認するには、次の手順に従ってください。

Windows

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. コンピュータ上のプリンタが詳細ビューに表示されていない場合は、**[表示]** メニューをクリックしてから、**[詳細]** をクリックします。
3. プリンタの状態に応じて、次のいずれかの操作を行います。
   a. HP デバイスが **[オフライン]** 状態の場合、デバイスを右クリックし **[プリンタをオンラインで使用する]** をクリックします。
   b. HP デバイスが **[一時停止]** 状態の場合、デバイスを右クリックし **[印刷の再開]** をクリックします。
4. ネットワーク上で HP デバイスを使ってみます。

Mac OS X

1. Dock の **[システム環境設定]** で、**[プリントとファクス]** をクリックします。
2. HP デバイスを選択して **[プリントキュー]** をクリックします。
3. 表示されたウィンドウに **[ジョブは停止されました]** と示される場合、**[ジョブを開始]** をクリックします。

上記の手順を実行して HP デバイスが使用可能になっても、使用に伴いこのような現象がまだ続く場合、ファイアウォールが妨害している可能性があります。ネットワークを介して HP デバイスをまだ使用できない場合、次のセクションに進んで別の解決方法をご覧ください。

ワイヤレス ルータが非公開の SSID を使用している

ワイヤレス ルータまたは Apple AirMac ベース ステーションが非公開の SSID を使用している場合、HP デバイスはネットワークを自動的に検出できません。

HP デバイスのワイヤレス バージョンがデフォルト プリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください (Windows のみ)。

再度ソフトウェアをインストールすると、インストーラによって、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** フォルダのプリンタ ドライバの 2 つめのバージョンが作成される場合があります。HP デバイスでの印刷または接続ができない場合は、プリンタ ドライバの正しいバージョンがデフォルトのプリンタ ドライバとして設定されていることを確認してください。

1. **[スタート]** をクリックして **[設定]** をクリックし、**[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** をクリックします。
   -または-
   [スタート] をクリックして **[コントロール パネル]** をクリックし、**[プリンタ]** をダブルクリックします。
2. **[プリンタ]** または **[プリンタと FAX]** フォルダのプリンタ ドライバのバージョンがワイヤレスで接続されているかどうかを確認してください。
   a. プリンタ アイコンを右クリックし、**[プロパティ]**、**[文書デフォルト]**、または **[詳細設定]** を選択します。
   b. **[ポート]** タブで、チェックマークの付いたリスト内のポートを探します。ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンには、チェックマークの横にポート説明として **[Standard TCP/IP ポート]** と表示されています。
3. ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンのプリンタ アイコンを右クリックし、**[通常使うプリンタに設定]** を選択します。

注記 HP デバイスのフォルダ内に複数のアイコンがある場合は、ワイヤレスで接続されているプリンタ ドライバのバージョンのプリンタ アイコンを右クリックし、**[通常使うプリンタに設定]** を選択します。

HP Network Devices Support サービスが動作していることを確認する (Windows のみ)

HP ネットワーク デバイス サポート サービスを再起動するには

1. 印刷待ちのすべての印刷ジョブを削除します。
2. デスクトップで、**[マイ コンピュータ]** または **[コンピュータ]** を右クリックしてから、**[管理]** をクリックします。
3. **[サービスとアプリケーション]** をダブルクリックし、**[サービス]** をクリックします。
4. サービス一覧を下にスクロールし、**[HP ネットワーク デバイス サポート]** を右クリックし、**[再起動]** をクリックします。
5. サービスが再起動したら、ネットワーク上でもう一度 HP デバイスを使ってみます。

ネットワークを介して HP デバイスを使用できる場合、ネットワーク セットアップは正しく行われています。

ネットワークを介して HP デバイスをまだ使用できなかったり、ネットワークを介して使用するために、このような手順を定期的に実行しなければならない場合、ファイアウォールが通信を妨害している可能性があります。

それでもまだ使用できない場合、ネットワーク構成またはルーターに問題がある可能性があります。ネットワークをセットアップした担当者またはルーターの製造元にお問い合わせください。

ハードウェア アドレスを Wireless Access Point (WAP) に追加する

MAC フィルタはセキュリティ機能の 1 つで、ワイヤレス アクセス ポイント (WAP) で、WAP を通してネットワークにアクセスできるデバイスの MAC アドレス (ハードウェア アドレスとも呼ばれる) の一覧を設定します。ネットワークにアクセスしようとしているデバイスのハードウェア アドレスが WAP にない場合、WAP はネットワークへのデバイスのアクセスを拒否します。 WAP が MAC アドレスをフィルタすると、デバイスの MAC アドレスは WAP の容認された MAC アドレスのリストに追加されなければなりません。

- ネットワーク構成ページを印刷します。詳細については、ネットワーク設定ページの理解をご覧ください。
- WAP の構成ユーティリティを開き、デバイスのハードウェア アドレスを、容認された MAC アドレスのリストに追加します。

写真 (メモリ カード) の問題の解決

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

注記 メモリ カードの操作をコンピュータから開始している場合は、ソフトウェアのヘルプにあるトラブルシューティング情報を参照してください。

- メモリ カードを読み取ることができない
- メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない

メモリ カードを読み取ることができない

- **メモリ カードの確認**
  - 使用中のメモリ カードのタイプが本体でサポートされているタイプであることを確認します。詳細については、メモリ カードの挿入をご覧ください。
  - 一部のメモリ カードには、その使用方法を制御するスイッチがあります。 スイッチの設定でメモリ カードの読み取りが可能になっていることを確認します。

- メモリ カードの両端を調べ、穴にゴミが詰まっていないこと、および金属の接点が汚れて接触不良を起こしていないことを確認します。 糸くずのない布と少量のイソプロピル アルコールで接点をクリーニングします。
    - 他のデバイスでテストすることによって、メモリ カードが適切に機能していることを確認します。
- **メモリ カード スロットの確認**
    - メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します。詳細については、メモリ カードの挿入を参照してください。
    - メモリ カードを取り外し (ランプが点滅していないとき)、空いたスロットの中を懐中電灯で照らします。 内部に折れ曲がったピンがないかどうかを確認します。 少しだけ曲がったピンは、コンピュータがオフのときに、芯を戻した細いボールペンの先でまっすぐにすることができます。 別のピンに接触するほど折れ曲がったピンがある場合は、メモリ カード リーダーを交換するか、本体の修理を依頼してください。 詳細については、サポートおよび保証を参照してください。
    - スロットにメモリ カードが 1 枚だけ挿入されていることを確認します。 同時に 2 枚以上のメモリ カードを挿入すると、通常、コントロール パネルのディスプレイにエラー メッセージが表示されます。

メモリ カードに保存されている写真を読み取ることができない

メモリ カードの確認

メモリ カードが壊れている可能性があります。

本体の管理に関する問題の解決

このセクションには本体の管理に関する一般的な問題の解決策が記載されています。 このセクションでは、次のトピックについて説明します。

組み込み Web サーバを開くことができない

組み込み Web サーバを開くことができない

ネットワーク設定の確認

- 本体とネットワークとの接続に電話線やクロス ケーブルを使用していないことを確認します。 詳細については、デバイスの構成 (Windows)またはデバイスの設定 (Mac OS X)を参照してください。
- ネットワーク ケーブルが本体にしっかりと接続されていることを確認します。
- ネットワーク ハブ、スイッチ、またはルーターがオンになり、正しく作動していることを確認します。

コンピュータの確認

お使いのコンピュータがネットワークに接続されていることを確認します。

Web ブラウザの確認

Web ブラウザがシステム最小要件を満たしていることを確認します。 詳細については、システム要件を参照してください。

デバイスの IP アドレスの確認

- コントロール パネルでデバイスの IP アドレスを確認するには (カラー ディスプレイ モデルのみ)、**セットアップ** ボタンにタッチし、[**ネットワーク**] を選択し、[**ネットワーク設定を表示**] を選択します。次に、[**概要を表示 (有線 LAN の場合)**] または [**概要を表示 (無線 LAN の場合)**] を選択します。
  2 行ディスプレイ搭載モデルの場合、IP アドレスを取得するには、ネットワーク設定ページを印刷します。 **[セットアップ]** ボタンを押し、[**ネットワーク**]、[**ネットワーク設定**]、[**ネットワーク構成ページの印刷**] の順に選択します。
- コマンド プロンプトから、本体の IP アドレスを使用して PING コマンドを実行します。
  例えば、IP アドレスが 123.123.123.123 の場合、以下のアドレスを MS-DOS プロンプトに入力します。
  C:\Ping 123.123.123.123
  応答が表示された場合、IP アドレスは正しいということです。 タイムアウト応答が表示された場合は、IP アドレスが間違っています。

インストールの問題のトラブルシューティング

以下のトピックに示されている方法で問題が解決しない場合は、サポートおよび保証 を参照して HP にサポートを依頼してください。

- ハードウェアのインストールに関する提案
- ソフトウェアのインストールに関する提案

ハードウェアのインストールに関する提案

本体の確認

- デバイスの外部および内部からすべての梱包材や梱包用テープが取り外されていることを確認します。
- デバイスに用紙がセットされていることを確認します。
- 準備完了ランプ以外のランプが点滅したり点灯したりしていないことを確認します。準備完了ランプは点灯している必要があります。注意ランプが点滅している場合は、デバイスのコントロール パネルに表示されているメッセージを確認します。

ハードウェアの接続状態を確認する

- 使用しているコードやケーブルが良好な状態であることを確認します。
- デバイスが電源コードでコンセントにしっかりと接続されていることを確認します。
- 電話線のコードが 1-LINE ポートに接続されていることを確認します。

インク カートリッジの確認

ラッチとカバーがすべて完全に閉じていることを確認します。

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

デバイスをチェックして、以下を確認します。

- 電源ランプが点灯していて、点滅していないことを確認します。 デバイスに初めて電源を入れた場合は、ウォームアップに約 45 秒かかります。
- デバイスがレディー状態で、デバイスのコントロール パネルの他のランプが点灯、または点滅していません。 ランプが点灯または点滅している場合は、デバイスのコントロール パネルに表示されているメッセージを確認します。
- 電源コードとそれ以外のケーブルが正しく機能し、デバイスにしっかりと接続されている。
- 梱包用のテープと梱包材がデバイスから取り外されている。
- 両面印刷ユニットが固定されている。
- 用紙がトレイに正しくセットされ、デバイス内に詰まっていない。
- すべてのラッチが閉じている。

ソフトウェアのインストールに関する提案

インストールの準備

- オペレーティング システムに対応したインストール ソフトウェアが収録されているスタータ CD を使用します。
- ソフトウェアをインストールする前に、プログラムがすべて終了されていることを確認します。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。
- CD-ROM ドライブでスタータ CD を認識できない場合は、スタータ CD が破損していないかどうかを調査してください。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。

以下を確認、または実行します:

- コンピュータが必要なシステム条件を満たしていることを確認します。
- Windows のコンピュータにソフトウェアをインストールする前に、ほかのすべてのプログラムが開いていないことを確認してください。
- 入力した CD-ROM ドライブへのパスが認識されない場合は、正しいドライブ名を指定していることを確認します。

- CD ドライブ の Starter CD をコンピュータが認識しない場合は、CD が損傷していないことを確認します。 デバイス ドライバは、HP の Web サイト (www.hp.com/support) からダウンロードできます。
- Windows のデバイス マネージャで USB ドライバが無効になっていないことを確認してください。
- コンピュータで Windows を実行していて、コンピュータがデバイスを検知できない場合は、アンインストール ユーティリティ (スタータ CD の util\ccc\uninstall.bat) を実行してデバイス ドライバのクリーン アンインストールを実行します。 コンピュータを再起動し、デバイス ドライバを再インストールします。

コンピュータ システムを確認する

- コンピュータで、サポートされている OS のいずれかが実行されていることを確認します。
- コンピュータが少なくともシステムの最小要件を満たしていることを確認します。

メディア詰まりの除去

ジョブの実行中、本体内にメディアが詰まることがあります。 詰まったメディアを取り除く前に、以下のことを確認してください。

- 仕様に準拠したメディアで印刷していることを確認します。 詳細については、印刷メディアの選択を参照してください。
- しわが寄っていたり、折れ曲がっていたり、傷んでいるメディアを使用していないことを確認します。
- 本体がきれいであることを確認します。 詳細については、デバイスのクリーニングを参照してください。
- トレイにメディアが正しくセットされていること、セットされているメディアの数が多すぎないことを確認します。 詳細については、メディアのセットを参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 紙詰まりの除去
- 紙詰まりの防止

紙詰まりの除去

給紙トレイに用紙をセットした場合は、必要に応じて、印刷ユニットから詰まった用紙を取り除いてください。

自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす場合もあります。 次のような行為は、自動ドキュメント フィーダで紙詰まりを起こす原因となります。

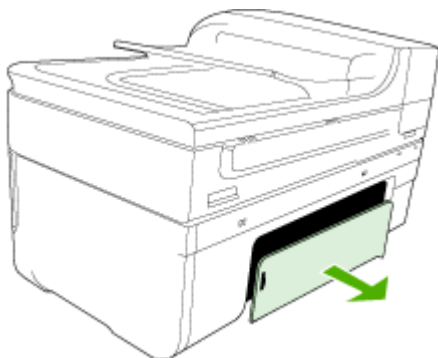
• ドキュメント フィーダ トレイに紙を入れすぎている。自動ドキュメント フィーダーの最大収容可能枚数については、原稿のセットを参照してください。
• デバイスで厚すぎたり薄すぎたりする用紙を使用している。
• 給紙中にドキュメント フィーダ トレイに用紙を追加しようとした。

メディア詰まりを除去するには

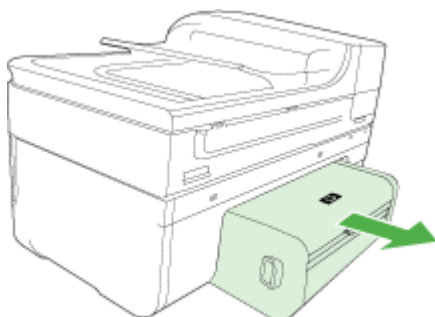
1. すべてのメディアを排紙トレイから取り除きます。

> △ **注意** デバイスの正面側から詰まった紙を取り除くと、プリンタが損傷する場合があります。 必ず両面印刷ユニットを開けて、詰まった紙を取り除いてください。

2. 両面印刷ユニットを確認します。

a. 両面印刷ユニットのいずれか一方の側のボタンを押して、パネルまたはユニットを取り外します。

b. 本体内部につまったメディアを見つけ、両手でつかんで手前に引きます。

c. そこにメディアがない場合は、両面印刷ユニット上部のラッチを押し、ユニットのカバーを下げます。 内部にメディ

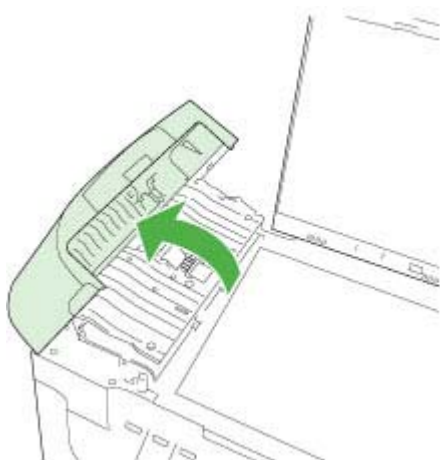
アが詰まっている場合は、メディアを慎重に取り除きます。 カバーを閉じます。

d. 両面印刷ユニットをデバイスに再挿入します。

3. 上部カバーを開けて、ゴミがあれば取り除きます。
4. メディアが見つからず、トレイ 2 が挿入されている場合は、トレイを引き出して詰まったメディアを取り除きます。 取り除くことができない場合は、以下を行います :
   a. 本体の電源がオフになっていることを確認し、電源コードを外します。
   b. 本体を持ち上げてトレイ 2 から外します。
   c. 本体の裏面 (下側) またはトレイ 2 からつまっているメディアを取り除きます。
   d. 本体をトレイ 2 の上に戻します。
5. プリントキャリッジ アクセス ドアを開きます。 本体内に用紙が残っている場合は、キャリッジが本体の右端に戻っていることを確認し、紙切れやしわの寄ったメディアを取り除いて本体上部からメディアを手前に引きます。

   ⚠ **警告** 本体の電源が入っていて、キャリッジが戻っていない場合は、内部に手を入れないでください。 プリントキャリッジ アクセス ドアを開くと、通常、キャリッジは本体右側の位置に戻ります。 右側に戻らない場合は、詰まったメディアを取り除く前に本体の電源をオフにします。

6. 詰まったメディアを取り除いた後は、すべてのカバーを閉じて本体の電源をオンにし (電源がオンになっていない場合)、印刷ジョブを再度送信します。

自動ドキュメント フィーダから詰まった紙を取り除くには

1. 自動ドキュメント フィーダのカバーを外します。

2. 詰まっている用紙をローラーからゆっくり引き出します。

△ **注意** ローラーから引き出している途中に用紙が破れた場合は、ローラーとホイールを点検して、本体の中に紙切れが残っていないか確認してください。 デバイスに紙切れが残っていると、紙詰まりが起こりやすくなります。

3. 自動ドキュメント フィーダのカバーを閉じます。

紙詰まりの防止

紙詰まりを起こさないようにするには、以下の注意に従ってください。

- 排紙トレイから印刷された用紙を頻繁に取り除くようにしてください。
- 未使用の用紙はジッパー付きの袋に平らに入れ、用紙が波打ったり、しわが寄ったりしないように保管してください。
- 用紙を給紙トレイに平らに置き、端が折れたり破れたりしないようにセットしてください。
- 給紙トレイに種類やサイズの異なる用紙を一緒にセットしないでください。給紙トレイにセットする用紙は、すべて同じサイズと種類でなければなりません。
- 用紙がぴったり収まるように、給紙トレイの横方向用紙ガイドを調整してください。横方向用紙ガイドで給紙トレイの用紙を折らないようにしてください。

- 用紙を給紙トレイの奥に入れすぎないでください。
- ご使用のデバイスで推奨している用紙の種類をお使いください。 詳細については、サポートされたメディアの仕様の理解を参照してください。

エラー

- プリントヘッドのエラー
- 互換性のないプリントヘッド
- プリントヘッドの問題とプリントヘッドの詳細なメンテナンス
- ファクス メモリ不足
- デバイスの接続が解除されました
- インク警告
- カートリッジの問題
- カートリッジの問題
- 用紙の不一致
- カートリッジ ホルダが動かない
- 紙詰まり
- 紙詰まり
- プリンタに用紙がありません。
- 互換性のないカートリッジ
- プリンタはオフライン
- プリンタは一時停止中
- センサーの問題
- センサーの障害
- 以前使用されていた純正 HP カートリッジ
- インク サービス容量の警告
- 印刷できなかったドキュメント
- 一般的なプリンタ エラー

プリントヘッドのエラー

プリントヘッドが存在しないか、損傷している

次の方法でエラーを修正します。

プリントヘッド メンテナンスの詳細

互換性のないプリントヘッド

装着されているプリントヘッドはこのプリンタで使用できないか、破損している可能性があります。

次の方法でエラーを修正します。

- プリントヘッド メンテナンスの詳細
- サプライ品

プリントヘッドの問題とプリントヘッドの詳細なメンテナンス

ここでは、以下について説明します。

- プリントヘッドの問題 - 次のプリントヘッドには問題があります。
- プリントヘッド メンテナンスの詳細

プリントヘッドの問題 - 次のプリントヘッドには問題があります。

次の方法でエラーを修正します。

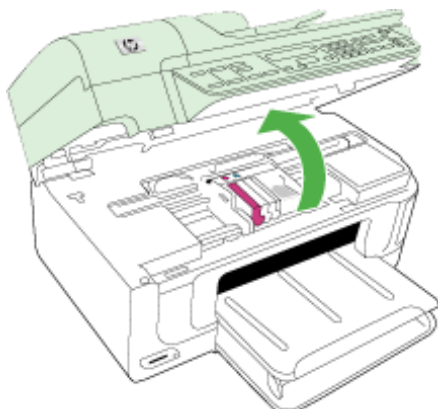
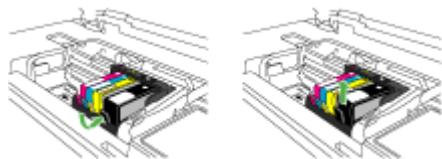
- プリントヘッド メンテナンスの詳細
- サプライ品

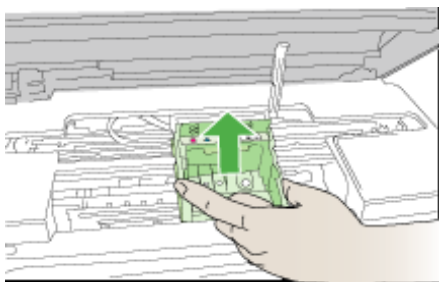
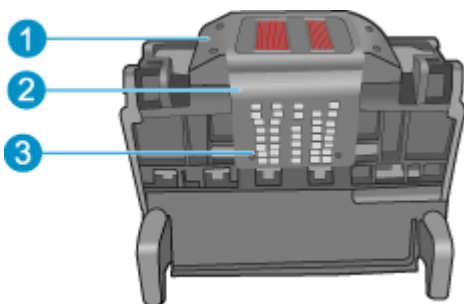
プリントヘッド メンテナンスの詳細

⚠ **警告** プリントヘッドは、[**プリントヘッドの問題**]エラー メッセージに対する手順の一部としてのみ、再装着してください。

プリントヘッドを再装着するには

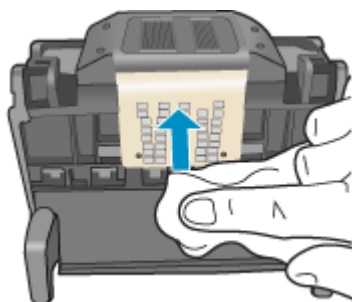
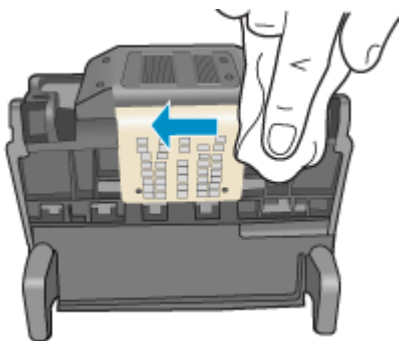
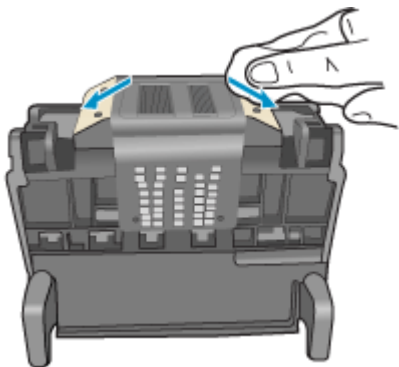
1. 製品の電源がオンになっていることを確認します。

2. インク カートリッジ ドアを開きます。

3. インク カートリッジをすべて取り外し、インク開口部を上に向けて紙の上に置きます。

4. プリント キャリッジのラッチ ハンドルを持ち上げます。

5. プリントヘッドをまっすぐに持ち上げて取り外します。

6. プリントヘッドをクリーニングします。
プリントヘッド内でクリーニングが必要な箇所は 3 箇所あります。インク ノズルの両側のプラスチック傾斜、ノズルと電気接触部の間の端、および電気接触部です。

1	ノズルの側面のプラスチック傾斜
2	ノズルと接触部の間の端
3	電気接触部

△ **注意** ノズルおよび電気接触部にはクリーニング用具**でのみ**触れてください。指では触らないでください。

プリントヘッドのクリーニングを行うには

a. 清潔で糸くずの出ない布を軽く湿らせ、下から上に電気接触部を拭きます。ノズルと接触部の間の端を越えないでください。布に新たなインクが付着しなくなるまでクリーニングを行います。

b. 軽く湿らせた、糸くずの出ない新しい布を使用して、ノズルと接触部の間の端からたまったインクとほこりを拭き取ります。

c. 軽く湿らせた、糸くずの出ない新しい布を使用して、ノズルの両側のプラスチック傾斜を拭きます。ノズルから拭き取ります。

d. 次のステップに進む前に、乾いた糸くずの出ない布で前にクリーニングした部分を拭いて水分を取り除きます。

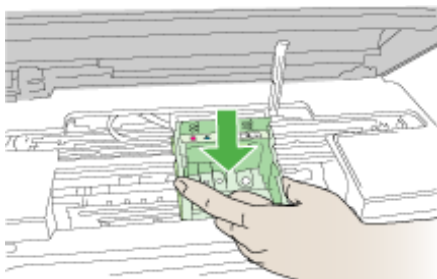
7. 電気接触部をクリーニングします。

電気接触部のクリーニングを行うには

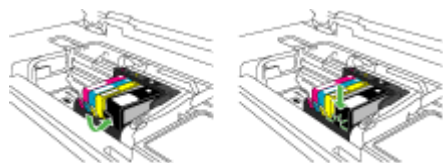
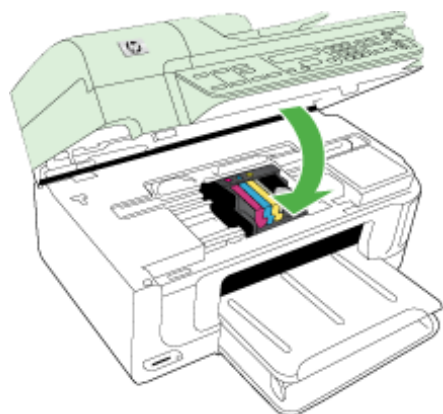
a. 清潔で糸くずの出ない布をミネラルウォーターまたは蒸留水で軽く湿らせます。

b. 電気接触部を、上から下へ布で拭いてクリーニングします。必要に応じて新しい清潔な布に取り替えます。布にインクが付着しなくなるまでクリーニングを行います。

c. 次のステップに進む前に、乾いた糸くずの出ない布で拭いて水分を取り除きます。

8. ラッチハンドルが上がっていることを確認し、プリントヘッドを再度取り付けます。

9. ラッチハンドルをそっと下げます。

注記 インク カートリッジを再装着する前にラッチハンドルが下りていることを確認します。ラッチのハンドルを上げたままにしておくとインク カートリッジが正しく装着されず、印刷エラーの原因となります。インク カートリッジを正しくセットできるよう、ラッチは常に下げておいてください。

10.アイコンの色と形状を参考にしながら、空のスロットにインク カートリッジを差し込み、カチッと音がしてしっかりとスロットに固定されるまで押し込みます。

11.インク カートリッジ ドアを閉じます。

ファクス メモリ不足

デバイスのメモリが不足しています。

次の方法でエラーを修正します。

ファクスの問題の解決

デバイスの接続が解除されました

次の方法でエラーを修正します。

ハードウェアのインストールに関する提案

インク警告

エラーを選択してください。

- 印刷品質がこれ以上悪くなる前に交換用カートリッジをご用意ください。
- 次のカートリッジのインク残量不足により印刷品質が低下するおそれがあります。カートリッジの交換がまもなく必要です。印刷品質がこれ以上悪くなる前に交換用カートリッジをご用意ください。
- インク システム エラー

印刷品質がこれ以上悪くなる前に交換用カートリッジをご用意ください。

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインクカートリッジを交換する必要はありません。

使用済みサプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

次のカートリッジのインク残量不足により印刷品質が低下するおそれがあります。カートリッジの交換がまもなく必要です。印刷品質がこれ以上悪くなる前に交換用カートリッジをご用意ください。

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインクカートリッジを交換する必要はありません。

使用済みサプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

インク システム エラー

次の方法でエラーを修正します。

本製品の電源を切り、電源コードを抜いて、そのまま 10 秒間待ちます。電源コードを再度差し込み、本製品の電源をオンにします。

それでもエラー メッセージが表示される場合は、ディスプレイ内のメッセージに記載されたエラー コードを書き留めて、HP サポートにご連絡下さい。www.hp.com/support にアクセスしてください。

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

原因：プリントヘッドまたはインク供給システムが故障しており、 印刷を実行できなくなっています。

カートリッジの問題

エラーを選択してください。

- 次のカートリッジがないか、壊れている可能性があります
- カートリッジのスロットが間違っています - 次のカートリッジのスロットが間違っています

次のカートリッジがないか、壊れている可能性があります

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインクカートリッジを交換する必要はありません。

使用済みサプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

カートリッジのスロットが間違っています - 次のカートリッジのスロットが間違っています

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品

注記 インク残量の警告およびインジケータは、インク交換の準備を促すことを目的としています。インク残量が少ないという警告が表示されたら、印刷が滞らないよう、交換用のカートリッジを準備してください。印刷品質が使用に耐えないレベルに達するまでインクカートリッジを交換する必要はありません。

使用済みサプライ品のリサイクルについては、HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラムを参照してください。

カートリッジの問題

以下のカートリッジに問題がある

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

用紙の不一致

検出された用紙が、選択されている用紙のサイズまたは種類ではない

次の方法でエラーを修正します。

- メディアのセット
- 特殊な用紙およびカスタムサイズのメディアの印刷
- プリント設定の変更

カートリッジ ホルダが動かない

プリンタの電源を切ります。用紙などの障害物が詰まっていないか確認してください。

次の方法でエラーを修正します。

- メディア詰まりの除去
- ハードウェアのインストールに関する提案

紙詰まり

紙詰まり、または用紙の給紙に失敗しました。紙詰まりを直して、プリンタの [再開] ボタンを押してください

次の方法でエラーを修正します。

メディア詰まりの除去

紙詰まり

スキャンの経路に紙詰まりがある、または用紙の給紙に失敗しました。紙詰まりを直すか、文書をもう一度挿入して、タスクを再起動します。

次の方法でエラーを修正します。

メディア詰まりの除去

プリンタに用紙がありません。

用紙を補充し、プリンタの前面にある [再開] ボタンを押してください

次の方法でエラーを修正します。

メディアのセット

互換性のないカートリッジ

エラーを選択してください。

- 互換性のないカートリッジ
- 互換性のないカートリッジ

互換性のないカートリッジ

以下のカートリッジがこのプリンタに対応していません。

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

互換性のないカートリッジ

次のカートリッジは、このプリンタの現在の構成で使用するものではありません

次の方法でエラーを修正します。

- インク カートリッジの交換
- サプライ品
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

プリンタはオフライン

プリンタは現在オフラインです

次の方法でエラーを修正します。

プリンタが停止またはオフラインの状態にあるかを確認するには (Windows)

1. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
   - Windows Vista : Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、 **[プリンタ]** の順にクリックします。
   - Windows XP : Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、 **[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
2. 印刷キューを開くためにプリンタのアイコンをダブルクリックします。
3. **[プリンタ]** メニューで **[一時停止]** または **[プリンタをオフラインで使用する]** の横にチェックマークがないことを確認します。
4. 何らかの変更を行なった場合は、もう一度印刷を実行します。

プリンタが一時停止またはオフラインの状態にあるかを確認するには (Mac OS X)

1. **[システム環境設定]** をクリックして**[プリントとファクス]** を選択し、使用したいプリンタを選択します。
2. プリントキューを開くためにプリンタのアイコンをダブルクリックします。
3. **[保留]** が選択されている場合、**[再開]** をクリックします。
4. 何らかの変更を行なった場合は、もう一度印刷を実行します。

プリンタは一時停止中

プリンタは現在一時停止中です

次の方法でエラーを修正します。

プリンタが停止またはオフラインの状態にあるかを確認するには (Windows)

1. オペレーティング システムに応じて、以下のいずれかを実行します。
   • Windows Vista：Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、 **[プリンタ]** の順にクリックします。
   • Windows XP ：Windows のタスク バーで **[スタート]**、**[コントロール パネル]**、 **[プリンタと FAX]** の順にクリックします。
2. 印刷キューを開くためにプリンタのアイコンをダブルクリックします。
3. **[プリンタ]** メニューで **[一時停止]** または **[プリンタをオフラインで使用する]** の横にチェックマークがないことを確認します。
4. 何らかの変更を行なった場合は、もう一度印刷を実行します。

プリンタが一時停止またはオフラインの状態にあるかを確認するには (Mac OS X)

1. **[システム環境設定]** をクリックして**[プリントとファクス]** を選択し、使用したいプリンタを選択します。
2. プリントキューを開くためにプリンタのアイコンをダブルクリックします。
3. **[保留]** が選択されている場合、**[再開]** をクリックします。
4. 何らかの変更を行なった場合は、もう一度印刷を実行します。

センサーの問題

インク残量検出に問題があります

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

• センサーのクリーニング
• インク カートリッジのセンサー ウィンドウのクリーニング
• HP サポートに連絡してサービスを受けてください。
  お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.

センサーの障害

インク センサーでエラーが発生しました。問題が解決されていなくても印刷を続けることはできますが、インク システムの動作が変更される場合があります。

問題を解決するために以下の解決方法を試してください。解決方法は、解決する可能性が最も高いものから順に記載されています。最初の解決方法で問題が解決しない場合は、問題が解決するまで残りの解決方法を試し続けてください。

- センサーのクリーニング
- インク カートリッジのセンサー ウィンドウのクリーニング
- HP サポートに連絡してサービスを受けてください。
  お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。www.hp.com/support.
  情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

以前使用されていた純正 HP カートリッジ

以前使用されていたカートリッジは以下のとおりです。

純正 HP インク カートリッジは以前、他の製品で使用されていました。

現在の印刷ジョブの印刷品質を確認してください。品質に問題がある場合は、プリントヘッドをクリーニングして、品質が改善されるかどうか確認してください。

続行するにはディスプレイ、またはコンピュータの画面の指示にしたがいます。

詳細については、プリントヘッドをクリーニングするをご覧ください。

注記 プリンタの外にインク カートリッジを長期間放置しないでください。以前使用されていたカートリッジを装着した場合は、印刷品質を確認してください。品質に問題がある場合は、ツールボックスからクリーニングを実行してください。

インク サービス容量の警告

本製品のインク サービス容量が最大に達しました。

このメッセージが表示されたあとに本製品を移動または輸送しようとする場合は、本製品を必ず水平に保つようにし、片側に傾けてインク漏れが起きないようにしてください。

印刷は続行できますが、インク システムの動作が変わる可能性があります。

本製品のインク サービス容量がほぼ最大に達しました。

印刷できなかったドキュメント

印刷システムにエラーが発生したため、印刷できませんでした。

印刷上の問題の解決.

一般的なプリンタ エラー

このメッセージが表示されたあとに本製品を移動または輸送しようとする場合は、本製品を必ず水平に保つようにし、片側に傾けてインク漏れが起きないようにしてください。本製品に問題があります。

メッセージ内に記載されたエラー コードを書き留めて、HP サポートにご連絡下さい。お問い合わせ先は、次のサイトを参照してください。

www.hp.com/support.

情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカルサポートにお問合せください。

A HP サプライ品とアクセサリ

このセクションには、本製品の HP サプライ品とアクセサリについての情報が説明されています。 この情報は変更されることがありますので、最新情報については HP Web サイト (www.hpshopping.com) をご覧ください。 Web サイトから購入いただくこともできます。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 印刷用サプライ品のオンライン注文
- HP 交換用ランプ
- サプライ品

印刷用サプライ品のオンライン注文

ご使用のプリンタに対応する HP カートリッジ番号の一覧については、HP プリンタ付属のユーザー マニュアルの表紙をご覧ください。

サプライ品をオンラインで注文したり、印刷可能なショッピング リストを作成するには、HP プリンタ ソフトウェアによりインストールされた [HP ソリューション センター] デスクトップ アイコンを開いて [ショッピング] アイコンをクリックします。[オンラインショップ] または [ショッピングリストを印刷] を選択します。お客様の許可を得た上で、HP ソリューション センターはモデル番号、シリアル番号、推定インク残量などのプリンタ情報をアップロードします。ご使用のプリンタに対応する HP サプライ品があらかじめ選択されています。HP ストアおよびその他のオンラインストアでは、数量の変更、製品の追加または削除、ショッピングリストの印刷、オンライン購入などが行えます (オプションは国または地域によって異なります)。カートリッジ情報とオンライン ショッピングへのリンクもインク警告メッセージに表示されます。

www.hp.com/buy/supplies にアクセスして、オンラインでご注文いただくこともできます。お住まいの国/地域を選択し、続いて画面の指示に従って製品、次にサプライ品を選択してください。

組み込み Web サーバからオンラインでご注文いただくこともできます。[サプライ品の注文] ボタンをクリックします。HP にプリンタ情報 (モデル番号、シリアル番号、および推定インク レベル) を送信するには、[送信] をクリックします。HP サプライ品をオンラインで簡単に注文できる HP SureSupply Web サイトにリダイレクトされます。

注記 カートリッジのオンライン注文は、取り扱っていない国/地域もあります。電話によるご注文、販売代理店のご案内、ショッピング リストの印刷方法などに関する情報が多くの国で提供されています。さらに、www.hp.com/buy/supplies ページの一番上にある [ご購入方法] で、国ごとの HP 製品購入に関する情報が得られます。

HP 交換用ランプ

HP ワイヤレス プリント アップグレード キット	Q6236A、Q6259A	ワイヤレスでないデバイスで 802.11g ワイヤレス テクノロジを使用できるようにするアップグレード
HP ワイヤレス G プリント サーバ	Q6301A、Q6302A	コンピュータとのワイヤレス通信用の 802.11g プリント サーバ

サプライ品

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- サポートするインク カートリッジ
- HP メディア

サポートするインク カートリッジ

デバイスがサポートするカートリッジは、次の場所で確認できます。

- インク サプライ品のラベル (プリンタ内部、インク カートリッジの側)。
- HP SureSuppply Web サイト (www.hp.com/buy/supplies)。詳細については、印刷用サプライ品のオンライン注文をご覧ください。
- 交換するインク カートリッジのラベル。
- コンピュータの HP ソフトウェア :
    - **[ソリューション センター (Windows)]** : **[ステータス]**、**[推定インク レベル]** の順にクリックします。**[ご使用のカートリッジ]** タブに現在インストールされているカートリッジの一覧が表示されます。**[すべてのカートリッジ]** タブには、デバイスでサポートされているすべてのカートリッジの一覧が表示されます。
    - **[ツールボックス (Windows)]** : **[推定インク レベル]** タブをクリックし、**[カートリッジの詳細]** ボタンをクリックして、交換インク カートリッジに関する情報を表示します。
    - **[HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)]** : **[情報とサポート]** パネルを開き、**[サプライ製品情報]** をクリックします。
    - **[組み込み Web サーバ]** : **[情報]** タブをクリックし、左枠の **[デバイス情報]** をクリックします。
- セルフテスト診断ページ。詳細については、プリンタ ステータス ページの理解をご覧ください。

注記 インク カートリッジを交換する場合は、必ず、現在使用中のカートリッジと同じカートリッジ番号のものと交換してください。

HP メディア

HP アドバンス フォト用紙などのメディアを注文するには、www.hp.com にアクセスしてください。

B　サポートおよび保証

保守とトラブルシューティングの情報は、一般的な問題の解決策を提供します。 お使いの製品が正しく動作せず、これらの提案でも問題が解決されない場合は、以下のサポート サービスのいずれかを使用してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• 電子サポートの取得
• 保証
• インク カートリッジの保証情報
• HP テレフォン サポートの取得
• 製品をお送りいただくための準備
• 製品の梱包

電子サポートの取得

サポートおよび保証については、HP Web サイト www.hp.com/support をご覧ください。 情報の入力を要求された場合は、国または地域を選択して、**[お問い合わせ]** をクリックして情報を参照しテクニカル サポートにお問合せください。

また、この Web サイトには、技術サポート、ドライバ、消耗品、注文に関する情報のほか、次のようなオプションが用意されています。

• オンライン サポートのページにアクセスする。
• 質問を E メールで HP に送信する。
• オンライン チャットで、HP の技術者に問い合わせる。
• ソフトウェアのアップデートを確認する。

ツールボックス (Windows) または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X) からも、一般的な印刷に関する問題の簡単なステップバイステップの解決法を入手できます。 詳細については、ツールボックス (Windows)または HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X）を参照してください。

ご利用いただけるサポートオプションは、製品、国/地域、および言語によって異なります。

保証

HP 製品	限定保証期間
ソフトウェア メディア	90 日
プリンタ	1 年
プリントまたはインク カートリッジ	HP インクが空になった時点か、カートリッジに記載されている「保証期限」のいずれか早い時点まで。本保証は、インクの詰め替え、改造、誤使用、または不正な改修が行われた HP インク製品には適用されません。
印字ヘッド（顧客が交換可能な製品にのみ適用）	1 年
アクセサリ	90 日

A. 限定保証の有効範囲
1. Hewlett-Packard (以下 HP) は、ご購入日から上記の指定期間中、設計上および製造上の不具合のないことを保証いたします。
2. HP のソフトウェア製品に関する保証は、プログラムの実行エラーのみに限定されています。HP は、製品操作によって電磁波障害が引き起こされた場合は保証しません。
3. HP の限定保証は、製品の通常使用により発生した欠陥のみを対象とします。下記に起因する不具合を含むその他の不具合には適用されません。
   a. 不適切なメンテナンスや改修
   b. 他社により提供またはサポートされているソフトウェア、部品、またはサプライ品の使用
   c. 製品使用外の操作
   d. 不正な改修や、誤使用
4. HP プリンタ製品に HP 製品以外のインク カートリッジやインクを詰め替えたカートリッジを使用した場合は、保証の対象、または HP サポートの対象から外れます。ただし、プリンタの故障や損傷が HP 製以外の詰め替え用インクカートリッジの使用によって発生した場合は HP は標準時間と実費にて特定の故障または損傷を修理いたします。
5. HP は、保証期間中に HP の保証対象となる製品の不良通知を受け取った場合、HP の判断に従って製品を修理または交換するものとします。
6. HP の保証対象となる欠陥製品の修理や交換が適用範囲で行えない場合、HP は、欠陥通知を受け取ってからしかるべき期間内に購入代金返還を行います。
7. HP は、お客様が欠陥製品を HP へ返却するまでは、修理、交換、返金を行う義務はないものとします。
8. 交換製品は、新品、またはそれに類する製品で、機能的には少なくとも交換に出された製品と同等のものとします。
9. HP 製品は、パーツ、コンポーネントや素材を再利用して製造する場合がありますが、これらの性能は新しいものと同等です。
10. HP の限定保証は、HP 製品が販売されているすべての国と地域で有効とします。出張修理などの追加保証サービス契約については、HP 製品販売国/地域における正規の HP サービス センタ、または正規輸入代理店までご相談ください。.

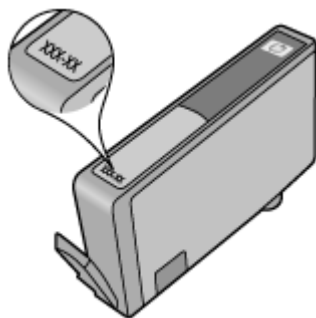
B. 保証の限定
国/地域の法律によって認められる範囲内で、当社および第三者の納入業者のいずれも、保証条件、製品品質、および特定の目的に関して本保証以外に明示的または黙示的に保証をすることはありません。

C. 限定責任
1. 国/地域の法律によって認められる範囲内で、本保証に規定された救済が、お客様のみに限定された唯一の救済になります。
2. 本保証に規定された義務を除いて、HP または第三者は、損傷について、直接的、間接的、特別、偶発的、必然的であるかどうか、あるいは、契約、不法行為、その他の法的理論に基づくかどうかに関わらず、またそのような損傷の可能性を説明しているかどうかに関わらず、責任は負わないものとします。.

D. 国/地域ごとの法律
1. 本保証によって、お客様に特定の法的権利が付与されます。この権利は、米国およびカナダについては州ごとに、その他の国については国ごとに付与されることがあります。
2. この保証書の内容と国/地域の法律が整合しない場合、本保証書は地域の法律に合致するように修正されるものとします。このような国/地域の法律の下で、一部の警告文と限定保証はお客様に適用されない場合があります。たとえば、米国の複数の州、また米国以外の政府 (カナダの州を含む) などでは、以下のとおりとなります。
   a. 本保証書の警告文と限定保証を、お客様の法廷権利の制限からあらかじめ除外する場合があります (例：イギリス)。
   b. その他に製造元が保証を認めないことや限定を設けることとについて規制すること。
   c. お客様に追加の保証権利を提供すること、製造業者が責任を逃れられない暗黙の保証期間を規定すること、および暗黙の保証期間に対する限定を認めないこと。
3. 本保証の条項は法律の及ぶ範囲内までとし、除外、制限、または修正などはしないものとします。また、義務づけられた法的権利は、お客様への HP 製品の販売に適用されます。

インク カートリッジの保証情報

HP カートリッジの保証は、指定された HP 製プリンティングデバイスで使用された場合に適用されます。この保証は、詰め替え、再生、刷新、誤用、改造のいずれかを受けた HP インク製品には適用されません。

保証期間内に HP インクを使い切っていないこと、保証期限が切れていないことが製品に保証が適用される条件です。保証の有効期限は、下記のように製品上に年/月/日形式で示されます。

HP 限定保証条項については、製品付属の印刷ドキュメントを参照してください。

HP テレフォン サポートの取得

保証期間中は、HP カスタマ ケア センタから無料でサポートを受けることができます。

注記 HP では、Linux での印刷に関する電話サポートは提供していません。すべてのサポートは下記 Web サイトでオンラインで提供されます。https://launchpad.net/hplip。サポート プロセスを開始するには、**[質問する]** ボタンをクリックします。

HPLIP Web サイトは、Windows または Mac OS X に対するサポートは提供していません。これらのオペレーティング システムを使用している場合は、 www.hp.com/support を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- サポート プロセス
- 電話をかける前の用意
- HP 社の電話によるサポート
- 追加保証オプション
- HP Quick Exchange Service (Japan)
- HP 韓国カスタマサポート

サポート プロセス

問題がある場合は、次の手順を実行します。

1. デバイスに付属のマニュアルを確認してください。
2. HP の Web サイトの HP オンライン サポート www.hp.com/support を参照してください。 HP オンライン サポートは HP のお客様全員がご利用いただけます。 最新デバイス情報およびエクスパート アシスタンスのための最速ソースであり、以下のような特徴があります。
   - 認定オンライン サポート スペシャリストへの迅速なアクセス
   - お使いの HP all-in-one 用ソフトウェアおよびドライバ アップデート
   - 一般的な問題に対する貴重なトラブルシューティング情報
   - HP All-in-One を登録すると利用できる予防的なデバイスの更新、サポート警告、および HP ニュース
3. HP サポートへの連絡 ご利用いただけるサポート オプションは、デバイス、国/地域、および言語によって異なります。

電話をかける前の用意

最新のトラブルシューティング情報、または製品のフィックスと更新を HP の Web サイト (www.hp.com/support) で見つけてください。

HP All-in-One には、他社のソフトウェア プログラムが付属している場合があります。このようなプログラムで問題が発生した場合は、そのメーカーの担当技術者にお問い合わせになると最適な技術サポートが受けられます。

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。日本でのサービス内容については、HP Quick Exchange Service (Japan)を参照してください。

カスタマ ケア センター担当者がよりよくお手伝いできるよう、電話をかける必要がある場合は以下の情報をお手元にご用意ください。

1. デバイスのセルフ テスト診断ページを印刷します。 詳細については、プリンタ ステータス ページの理解を参照してください。 印刷できない場合は、次の情報を用意してください。
   - デバイスのモデル番号。詳細については、デバイスのモデル番号の検索をご覧ください。
   - シリアル番号 (本体後部をチェック)
2. お使いのオペレーティング システム（Windows XP など）をご確認ください。
3. 本体がネットワークに接続されている場合は、そのネットワーク オペレーティング システムを確認します。
4. USB 接続、ネットワーク接続など、お使いのシステムに本体がどのように接続されているかを書き留めます。
5. プリンタ ソフトウェアのバージョン番号を入手します。 (プリンタ ドライバのバージョン番号を調べるには、プリンタ設定ダイアログ ボックスまたはプロパティ ダイアログ ボックスを開き、**[バージョン情報]** タブをクリックします)。
6. 特定のアプリケーションでプリント結果を得られない場合には、そのアプリケーション名とバージョン番号も記録しておきます。

HP 社の電話によるサポート

掲載されている電話サポート番号と費用は、この資料の発行時のもので、固定電話での電話に対してのみ適用されます。携帯電話には別料金が適用されます。

HP の電話サポート番号の最新リストと電話料金の情報については、www.hp.com/support を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 電話サポート期間
- 電話サポート番号
- 電話をかける
- 電話無料サポート期間後

電話サポート期間

北米、アジア太平洋、および南米 (メキシコを含む) で 1 年間の電話サポートが受けられます。

ヨーロッパ、中東、アフリカ各国での電話サポートの期間については、www.hp.com/support を参照してください。規定の通話料金がかかります。

電話サポート番号

電話サポート番号の最新リストについては、www.hp.com/support を参照してください。

 www.hp.com/support

Africa (English speaking)	+27 11 2345872
Afrique (francophone)	+33 1 4993 9230
021 672 280	الجزائر
Argentina (Buenos Aires)	54-11-4708-1600
Argentina	0-800-555-5000
Australia	1300 721 147
Australia (out-of-warranty)	1902 910 910
Österreich	+43 0820 87 4417 0,145 € p/m
17212049	البحرين
België	+32 070 300 005 0,174 €
Belgique	+32 070 300 004 0,174 €
Brasil (Sao Paulo)	55-11-4004-7751
Brasil	0-800-709-7751
Canada	1-(800)-474-6836 (1-800 hp invent)
Central America & The Caribbean	www.hp.com/support
Chile	800-360-999
中国	1068687980
中国	800-810-3888
Colombia (Bogotá)	571-606-9191
Colombia	01-8000-51-4746-8368
Costa Rica	0-800-011-1046
Česká republika	810 222 222
Danmark	+45 70 202 845 0,25 DKK
Ecuador (Andinatel)	1-999-119 ☏ 800-711-2884
Ecuador (Pacifitel)	1-800-225-528 ☏ 800-711-2884
(02) 6910602	مصر
El Salvador	800-6160
España	+34 902 010 059 0,078 €
France	+33 0892 69 60 22 0,337 €
Deutschland	+49 01805 652 180 0,14 € aus dem deutschen Festnetz - bei Anrufen aus Mobilfunknetzen können andere Preise gelten
Ελλάδα (από το εξωτερικό)	+ 30 210 6073603
Ελλάδα (εντός Ελλάδας)	801 11 75400
Ελλάδα (από Κύπρο)	800 9 2654
Guatemala	1-800-711-2884
香港特別行政區	(852) 2802 4098
Magyarország	06 40 200 629
India	1-800-425-7737
India	91-80-28526900
Indonesia	+62 (21) 350 3408
+971 4 224 9189	العراق
+971 4 224 9189	الكويت
+971 4 224 9189	لبنان
+971 4 224 9189	قطر
+971 4 224 9189	اليمن
Ireland	+353 1890 923 902 0,05 €
1-700-503-048	ישראל
Italia	+39 848 800 871 0,023 €

Jamaica	1-800-711-2884
日本	0570-000511
日本	03-3335-9800
0800 222 47	الأردن
한국	1588-3003
Luxembourg (Français)	+352 900 40 006 0,161 €
Luxemburg (Deutsch)	+352 900 40 007 0,161 €
Malaysia	1800 88 8588
Mauritius	(230) 262 210 404
México (Ciudad de México)	55-5258-9922
México	01-800-472-68368
Maroc	081 005 010
Nederland	+31 0900 2020 165 0,20 €
New Zealand	0800 441 147
Nigeria	(01) 271 2320
Norge	+47 815 62 070 0,39 NOK
24791773	عُمان
Panamá	1-800-711-2884
Paraguay	009 800 54 1 0006
Perú	0-800-10111
Philippines	2 867 3551
Polska	801 800 235
Portugal	+351 808 201 492 0,024 €
Puerto Rico	1 877 232 0589
República Dominicana	1-800-711-2884
Reunion	0820 890 323
România	0801 033 390
Россия (Москва)	095 777 3284 0,03 €
Россия (Санкт-Петербург)	812 332 4240 0,08 €
800 897 1415	السعودية
Singapore	+65 6272 5300
Slovensko	0850 111 256
South Africa (RSA)	0860 104 771
Suomi	+358 0 203 66 767 0,015 €
Sverige	+46 077 120 4765 0,23 SEK
Switzerland	+41 0848 672 672 0.08 CHF
臺灣	02-8722-8000
ไทย	+66 (2) 353 9000
071 891 391	تونس
Trinidad & Tobago	1-800-711-2884
Türkiye (İstanbul, Ankara, İzmir & Bursa)	444 0307
Україна	(044) 230-51-06
600 54 47 47	الإمارات العربية المتحدة
United Kingdom	+44 0870 010 4320 0,05 £
United States	1-(800)-474-6836
Uruguay	0004-054-177
Venezuela (Caracas)	58-212-278-8666
Venezuela	0-800-474-68368
Việt Nam	+84 88234530

電話をかける

HP サポートへご連絡いただく際は、コンピュータと HP all-in-one の前でお電話ください。また、以下の情報を事前にご用意ください。

- モデル番号 (プリンタの正面のラベルに記載)

  注記 デバイス正面に記載されているモデル名以外に、このデバイスには固有のモデル番号があります。この番号を使用して、製品に使用可能なサプライ品やアクセサリ、サポートが受けられる時期について確認することができます。モデル番号は、デバイス内部、インク カートリッジ部分の近くにあるラベルに印刷されています。

- シリアル番号 (プリンタの背面または底部に記載)
- 問題が起こった際に表示されたメッセージ
- 次の質問に対する答え
  ◦ この問題が以前にも起こったことがありますか？
  ◦ 問題をもう 1 度再現できますか？
  ◦ この問題が起こった頃に、お使いのコンピュータに新しいハードウェア、またはソフトウェアを追加しましたか？
  ◦ この問題が起きる前に、雷雨があったり HP all-in-one を移動したなど、何か特別なことはありませんでしたか？

電話無料サポート期間後

電話サポート期間後も、追加料金で HP のヘルプをご利用いただけます。 Web サイトの HP オンライン サポートもご利用いただけます。 www.hp.com/support サポート オプションの詳細については、お近くの HP 取扱店にお問い合せいただくか、お住まいの国/地域のサポート サービスの電話番号までご連絡ください。

追加保証オプション

追加料金で HP all-in-one の拡張サービス プランをご利用いただけます。
www.hp.com/support にアクセスし、国/地域および言語を選択し、サービスおよび保証の領域でサービス プラン拡張に関する情報を参照してください。

HP Quick Exchange Service (Japan)

HP クイック・エクスチェンジサービス

製品に問題がある場合は、以下に記載されている電話番号に連絡してください。故障している、または問題があると判断された場合、保障期間中は無料で製品を交換し、故障した製品を回収します。

電話番号： 0570-000511（ナビダイヤル）
03-3335-9800（ナビダイヤルをご利用いただけない場合）
サポート時間： 平日の午前 9:00 から午後 5:00 まで
土日の午前 10:00 から午後 5:00 まで
祝祭日および 1月 1日から 3日は除きます。

サービスの条件：

- サポートの提供は、カスタマケアセンターを通してのみ行われます。
- カスタマケアセンターがプリンタの不具合と判断した場合に、サービスを受けることができます。
  ご注意：ユーザの扱いが不適切であったために故障した場合は、保障期間中であっても修理は有料となります。詳細については保証書を参照してください。

その他の制限：

- 運搬の時間はお住まいの地域によって異なります。詳しくは、カスタマケアセンターに連絡してご確認ください。
- 出荷配送は、当社指定の配送業者が行います。
- 配送は交通事情などの諸事情によって、遅れる場合があります。
- このサービスは、将来予告無しに変更することがあります。

交換時のデバイスの梱包方法については、製品の梱包を参照してください。

HP 韓国カスタマサポート

HP 한국 고객 지원 문의

- 고객 지원 센터 대표 전화
  1588-3003
- 제품가격 및 구입처 정보 문의 전화
  080-703-0700
- 전화 상담 가능 시간:
  평　일 09:00~18:00
  토요일 09:00~13:00
  (일요일, 공휴일 제외)

製品をお送りいただくための準備

HP カスタマ サポートへのお問い合わせ後、または購入店で製品をサービス担当にお送りいただくよう求められた場合は、製品をお送りいただく前に、必ず以下のものを取り外し、保管しておいてください。

- コントロール パネル カバー
- 両面印刷ユニット
- 排紙トレイ
- 電源コード、USB ケーブルなど、製品に接続されているケーブル
- 給紙トレイにセットされている用紙
- 本体にセットされているすべての原稿

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し
- 後部アクセス パネルまたは両面印刷ユニットを外します。
- 排紙トレイを取り外す

デバイスのコントロール パネル カバーの取り外し

注記 この情報は、日本のお客様には適用されません。

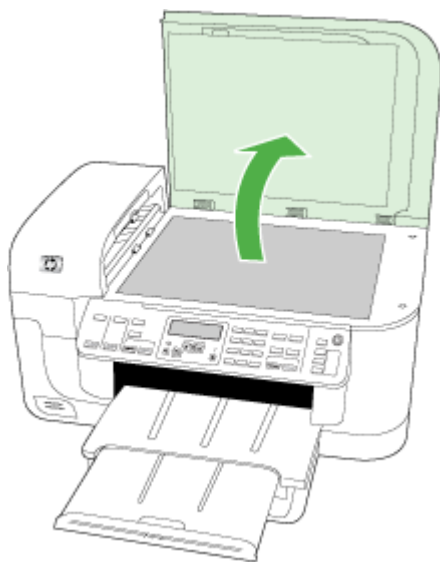
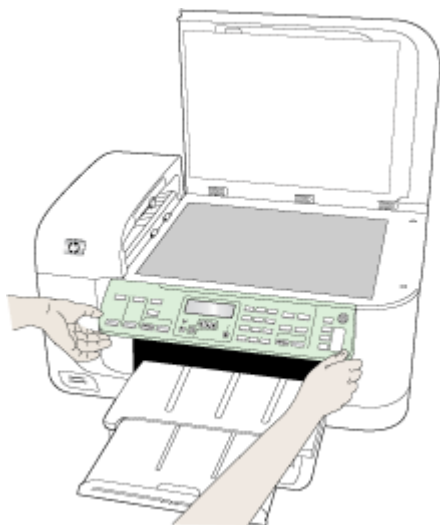
注意 必ず本体のプラグを抜いてから以下の手順に従ってください。

注意 本体の交換品に電源コードは付属しません。 交換品が到着するまで、電源コードは安全な場所に保管しておいてください。

コントロール パネル カバーを取り外すには

1. **電源** ボタンを押して、デバイスの電源を入れます。
2. 電源コードをコンセントから抜いた後、本体から外します。電源コードは本体と一緒に返送しないでください。

3. 以下の手順に従って、コントロール パネル カバーを取り外します。

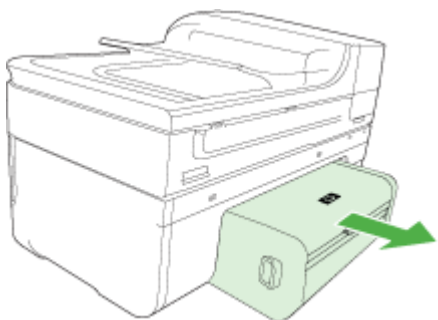
   a. スキャナのカバーを持ち上げます。

   b. 指を使用するか、薄いものをコントロール パネル カバーの右上のタブに差し込んで、コントロール パネル カバーを取り外します。

4. コントロール パネル カバーを保管します。コントロール パネル カバーは HP all-in-one と一緒に送り返さないでください。

△ **注意** 交換用のデバイスには、コントロール パネル カバーが付属していません。 コントロール パネル カバーは安全な場所に保管しておき、デバイスの交換品がお手元に届いたら取り付けてください。 デバイスの交換品のコントロール パネル機能を使用するには、交換前の製品に付属していたコントロール パネル カバーを交換品に取り付ける必要があります。

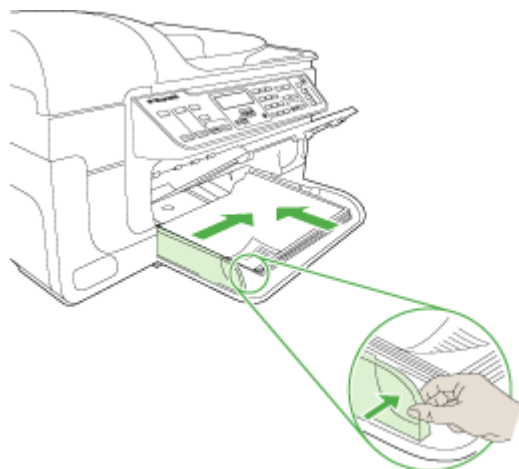
注記 コントロール パネル カバーの取り付け方法については、デバイスに付属のセットアップ ポスターを参照してください。 デバイスの交換品に、デバイスの設定に関する使用説明書が付属している場合があります。

後部アクセス パネルまたは両面印刷ユニットを外します。

デバイスを発送する前に両面印刷ユニットを取り外します。

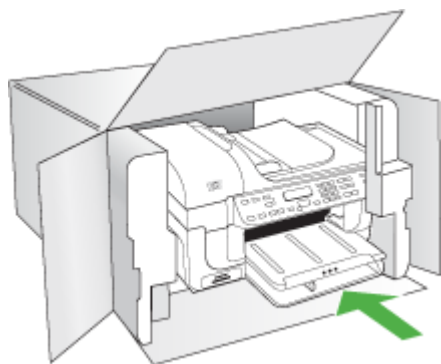
▲ 背面アクセス ドアまたは両面印刷ユニットの一方の側面にあるボタンを押して、パネルまたはユニットを取り外します。

排紙トレイを取り外す

デバイスを発送する前に排紙トレイを取り外します。

▲ 排紙トレイを持ち上げ、デバイスからトレイをゆっくり取り外します。

製品の梱包

製品をお送りいただく準備ができたら、次の手順を実行してください。

製品を梱包するには

1. お手元にある場合は元の梱包材を使用して、または交換品に使用されていた梱包材を使用して、製品を梱包して発送します。

元の梱包材がない場合は、他の適切な梱包材を使用してください。 不適切な梱包や運送によって発生する損傷は、保証の対象にはなりません。

2. 返送用のラベルを箱の外側に貼ります。
3. 箱には、以下のものを入れてください。
   - サービス担当に宛てた、症状の詳細な説明 (印刷品質を示す実際の出力サンプルが役に立ちます)。
   - 保証が適用される期間内であることを証明する保証書またはその他の購入証明書のコピー。
   - 氏名、住所、および日中に連絡可能な電話番号。

C　デバイスの仕様

メディアおよびメディア処理の仕様については、「サポートされたメディアの仕様の理解」を参照してください。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 物理的仕様
- 製品機能と内容
- プロセッサとメモリの仕様
- システム要件
- ネットワーク プロトコルの仕様
- 組み込み Web サーバの仕様
- 印刷の仕様
- コピーの仕様
- ファクスの仕様
- スキャンの仕様
- 環境仕様
- 電気仕様
- 発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)
- メモリ カードの仕様

物理的仕様

サイズ (幅 x 奥行き x 高さ)

A4/レター サイズのスキャナのガラス板と両面印刷ユニットを搭載したデバイス： 476 x 473 x 258 mm (19.0 x 18.9 x 10.3 インチ)

デバイス重量 (印刷サプライ品を含む)

A4/レター サイズのスキャナのガラス板と両面印刷ユニットを搭載したデバイス： 8.6 kg (19 lb)

製品機能と内容

機能	内容
接続	• USB 2.0 準拠 • 802.11b/g ワイヤレス • 有線ネットワーク
インク カートリッジ	4 つのインク カートリッジ (ブラック、イエロー、マゼンタ、シアン)

(続き)

機能	内容
サプライ品の印刷可能枚数	カートリッジの印刷可能枚数の詳細については、www.hp.com/go/learnaboutsupplies/ をご覧ください。
デバイスの言語	HP PCL 3
サポートするフォント	US フォント： CG Times、CG Times Italic、Universe、Universe Italic、Courier、Courier Italic、Letter Gothic、Letter Gothic Italic。
負荷サイクル	7000 ページ/月まで
デバイスのコントロール パネルの言語のサポート 使用可能な言語は国/地域によって異なります。	ブルガリア語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、簡体字中国語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、繁体字中国語、トルコ語、ウクライナ語。

プロセッサとメモリの仕様

デバイス プロセッサ

192 MHz ARM946ES、ETM9 (medium)

デバイス メモリ

64 MB 内蔵 RAM、32 MB 内蔵 Flash ROM

システム要件

注記 サポートされているオペレーティング システムとシステム要件の最新情報については、http://www.hp.com/support/ にアクセスしてください。

オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows 2000、Windows XP、Windows XP x64、Windows Vista

> **注記** Windows 2000 SP4、Windows XP x64 Edition SP 1、Windows XP SP 1 Starter Edition、および Windows Vista Starter Edition では、プリンタ ドライバ、スキャナ ドライバ、およびツールボックスのみを使用できます。また、HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用している場合、コピーはサポートされません。使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

- Mac OS X (10.4、10.5)
- Linux (詳細については、www.hp.com/go/linuxprinting を参照してください)。

最小要件

- Microsoft Windows® 2000 Service Pack 4：インテル® Pentium II、または Celeron® プロセッサ、128MB RAM、200MB のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Microsoft Windows XP (32-bit) Service Pack 1：インテル Pentium II、または Celeron プロセッサ、512MB RAM、410MB のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Microsoft® Windows x64 Service Pack 1：AMD Athlon 64 または AMD Opteron プロセッサ、インテル Xeon、または Pentium プロセッサ (インテル EM64T サポート)、512MB RAM、290MB のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0
- Microsoft Windows Vista：800MHz 32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) プロセッサ、512MB RAM、425MB の空きディスク容量、Microsoft Internet Explorer 7.0
- **Mac OS X (v10.4.11、v10.5)**：PowerPC G3、G4、G5、または Intel Core プロセッサ、256 MB メモリ、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Quick Time 5.0 以降 (Mac OS X)**
- Adobe Acrobat Reader 5.0 以降

推奨される要件

- Microsoft Windows 2000 Service Pack 4：インテル Pentium III 以降、256MB RAM、200MB のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Microsoft Windows XP (32-bit) Service Pack 1：インテル Pentium III 以上のプロセッサ、512MB の RAM、500MB のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

- Microsoft® Windows® XP x64 Service Pack 1：AMD Athlon 64 または AMD Opteron プロセッサ、インテル Xeon、またはインテル Pentium 4 プロセッサ (インテル EM64T サポート)、512MB RAM、290MB のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 6.0 以降
- Microsoft Windows Vista：1GHz 32-bit (x86) または 64-bit (x64) プロセッサ、1GB RAM、470B のディスク空き容量、Microsoft Internet Explorer 7.0 以降
- **Mac OS X (v10.4.11、v10.5)**：PowerPC G3、G4、G5、またはインテル Core プロセッサ、512 MB メモリ、500 MB のハード ディスク空き容量
- **Microsoft Internet Explorer 6.0 以降 (Windows 2000、Windows XP)、Internet Explorer 7.0 以降 (Windows Vista)**

ネットワーク プロトコルの仕様

ネットワーク オペレーティング システムとの互換性（サポートする OS は国毎に異なります）

- Windows 2000、Windows XP (32 ビット)、Windows XP x64* (Professional Edition および Home Edition)、Windows Vista (32 ビット) と (64 ビット) [Ultimate Edition、Enterprise Edition および Business Edition]
- Mac OS X (10.4、10.5)
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2000 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.0
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Presentation Server 4.5
- Microsoft Windows 2003 Server Terminal Services と Citrix Metaframe XP と Feature Release 3
- Microsoft Windows 2000 Small Business Server Terminal Services
- Novell Netware 6、6.5、Open Enterprise Server 6.5

互換性のあるネットワーク プロトコル

TCP/IP

ネットワーク管理

組み込み Web サーバ

機能

ネットワーク デバイスをリモート設定および管理する機能

組み込み Web サーバの仕様

必要な条件

- TCP/IP ベースのネットワーク (IPX/SPX ベースのネットワークはサポートされていません)
- Web ブラウザ (Microsoft Internet Explorer 6.0 以上、Mozilla Firefox 1.0 以上、Opera 8.0 以上、Safari 1.2 以上)
- ネットワーク接続 (USB ケーブルで直接コンピュータに接続されている場合、組み込み Web サーバは使用できません)
- インターネット接続 (一部の機能で必要)

  注記 組み込み Web サーバは、インターネットに接続しなくても開くことができます。 ただし、一部の機能は使用できません。

- デバイスとファイアウォールの同じ側になければなりません。

印刷の仕様

モノクロ印刷の解像度

ピグメント ブラック インクで最高 1200 dpi

カラー印刷の解像度

HP エンハンスト フォト品質 (最大 4800 x 1200 最適化 dpi。 HP アドバンス フォト用紙に入力データ解像度 1200 x 1200 で印刷した場合)

コピーの仕様

- デジタルイメージ処理
- 原稿のコピーは 100 枚まで (モデルによって異なります)
- デジタルズーム: 25 ～ 400% (モデルによって異なります)
- ページに合わせる、プレスキャン
- コピー速度はドキュメントの複雑さによって異なります

注記 HP Officejet 6500 (E709d) または HP Officejet 6500 (E709r) を使用してコピーを作成するには、電源がオンになっているコンピュータに HP All-in-One が接続されていて、そのコンピュータにログインする必要があります。ソフトウェアがインストールされ、実行されている必要があります。Windows のタスクバーの **HP Digital Imaging Monitor** は常にオンである必要があります。Macintosh コンピュータの場合、ソフトウェアをインストールすれば、コンピュータをオンにすると、必ず使用可能になります。

使用しているモデルを確認するには、デバイスのモデル番号の検索を参照してください。

モード：	種類	スキャンの解像度 (dpi)
高画質	黒	最高 600 x 1200
	ｶﾗｰ	最高 600 x 1200
標準	黒	最高 300 x 300
	ｶﾗｰ	最高 300 x 300
はやい	黒	最高 300 x 300
	ｶﾗｰ	最高 300 x 300

ファクスの仕様

- Walk-up 方式のモノクロおよびカラー ファクス機能。
- 最大 110 件の短縮ダイヤル (モデルによって異なります)。
- 最大 120 ページのメモリ (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合で、モデルよって異なります)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 手動ファクス送受信。
- 最大 5 回のビジー自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 1 回の応答なし自動リダイヤル (モデルによって異なります)。
- 確認レポートおよびアクティビティ レポート。
- CCITT/ITU Group 3 ファクス (エラー訂正モード対応)。
- 伝送速度 33.6 Kbps。
- 36.6 Kbps の場合の伝送速度は 3 秒/枚 (ITU-T Test Image #1 を標準解像度で受信した場合)。 より複雑なページあるいは高解像度のページの場合は受信に時間がかかり、消費メモリも多くなります。
- 呼び出しの自動検出とそれに伴うファクス/留守番電話の自動切り替え。

	写真 (dpi)	超高画質 (dpi)	高画質 (dpi)	標準 (dpi)
モノクロ	196 x 203 (8 ビット グレースケール)	300 x 300	196 x 203	196 x 98
カラー	200 x 200	200 x 200	200 x 200	200 x 200

PC ファクス受信の仕様

- サポートされるファイルの種類： 未圧縮 TIFF
- サポートされるファクス形式： モノクロ ファクス

スキャンの仕様

- イメージエディター内蔵
- 統合 OCR ソフトウェアによってスキャンしたテキストを編集可能なテキストに自動的に変換 (Windows のみ）
- スキャンの速度は、文書の複雑さによって異なります
- Twain 互換 インタフェース
- 解像度： 光学解像度 2400 x 4800 ppi、最大補間解像度 19200 ppi
- カラー： RGB カラーによる 16 ビット、48 ビット合計
- ガラス板からの最大スキャン サイズ： 216 x 297 mm
- ADF からの最大スキャン サイズ： 216 x 356 mm

環境仕様

動作環境

動作温度： 摂氏 5°～ 40°C (華氏 41°～ 104°F)
動作時推奨条件: 摂氏 15°～ 32°C (華氏 59°～ 90°F)
推奨相対湿度: 25 ～ 75% 結露しないこと

保管環境

保管温度: -40° ～ 60°C (-40° ～ 140°F)
保管相対湿度: 60°C (140°F) の温度で最高 90%、結露しないこと

電気仕様

電源

ユニバーサル電源アダプタ (外部)

所要電力

入力電圧: 100 ～ 240 VAC (± 10%)、50/60 Hz (± 3Hz)
出力電圧： 1560 mA で 32 Vdc

電力消費

印刷時 28.4 W (高速ドラフト モード)、コピー時 32.5 W (高速ドラフト モード)

発生音量仕様 (エコノ モードでの印刷、ISO 7779 によるノイズ レベル)

音圧 (そばに立っている状態)

LpAd 55 (dBA)

音響

LwAd 6.9 (BA)

メモリ カードの仕様

- メモリーカード上の推奨最大ファイル数： 1,000
- 推奨最大ファイル サイズ(個別): 12 メガピクセル (最大)、8 MB (最大)
- 推奨最大メモリ カード サイズ: 1 GB (半導体メモリのみ)

注記 メモリ カードの最大推奨値に近づくと、デバイスのパフォーマンスが期待値より遅くなる場合があります。

サポートされているメモリ カードのタイプ

- Memory Stick、Memory Stck Duo、Memory Stick Pro、MagicGate Memory Stick Duo
- Memory Stick Micro (別売のアダプタが必要)
- Secure Digital
- High Capacity Secure Digital
- miniSD、microSD (別売のアダプタが必要)
- MultiMediaCard (MMC), Secure MultiMediaCard
- 縮小サイズの MultiMmediaCard (RS-MMC)、MMC Mobile、MMCmicro (これらの製品ではアダプタを別途購入する必要があります)
- xD-Picture カード

D　法規について

このデバイスは、お住まいの国/地域の規制当局からの製品要件に適合しています。

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

• FCC 準拠声明
• 韓国のユーザに対する告知
• 日本のユーザに対する VCCI (クラス B) 基準に関する告知
• 日本のユーザに対する告知 (電源コードについて)
• 有毒有害物質の表
• LED 表示に関する声明
• ドイツの騒音放出に関する告知
• 米国電話網ユーザへの告知：FCC 要件
• カナダのユーザに対する告知
• 欧州経済地域の全ユーザに対する告知
• ドイツ電話網ユーザへの告知
• ワイヤレスに関する規制情報 (一部のモデルのみ)
• オーストラリアでの有線ファクスの接続について
• 規制モデル番号
• 適合宣言書
• 環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム
• サードパーティ ライセンス

FCC 準拠声明

FCC statement

The United States Federal Communications Commission (in 47 CFR 15.105) has specified that the following notice be brought to the attention of users of this product.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

For further information, contact:

Manager of Corporate Product Regulations
Hewlett-Packard Company
3000 Hanover Street
Palo Alto, Ca 94304
(650) 857-1501

Modifications (part 15.21)

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by HP may void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

韓国のユーザに対する告知

사용자 안내문(B급 기기)

이 기기는 비업무용으로 전자파 적합 등록을 받은 기기로서, 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本のユーザに対する VCCI (クラス B) 基準に関する告知

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。

取り扱い説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

日本のユーザに対する告知 (電源コードについて)

製品には、同梱された電源コードをお使い下さい。
同梱された電源コードは、他の製品では使用出来ません。

有毒有害物質の表

有毒有害物质表

根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》

零件描述	有毒有害物质和元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴联苯醚
外壳和托盘*	0	0	0	0	0	0
电线*	0	0	0	0	0	0
印刷电路板*	X	0	0	0	0	0
打印系统*	X	0	0	0	0	0
显示器*	X	0	0	0	0	0
喷墨打印机墨盒*	0	0	0	0	0	0
驱动光盘*	X	0	0	0	0	0
扫描仪*	X	X	0	0	0	0
网络配件*	X	0	0	0	0	0
电池板*	X	0	0	0	0	0
自动双面打印系统*	0	0	0	0	0	0
外部电源*	X	0	0	0	0	0

0: 指此部件的所有均一材质中包含的这种有毒有害物质，含量低于SJ/T11363-2006 的限制
X: 指此部件使用的均一材质中至少有一种包含的这种有毒有害物质，含量高于SJ/T11363-2006 的限制
注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件
*以上只适用于使用这些部件的产品

LED 表示に関する声明

LED indicator statement

The display LEDs meet the requirements of EN 60825-1.

ドイツの騒音放出に関する告知

Geräuschemission

LpA < 70 dB am Arbeitsplatz im Normalbetrieb nach DIN 45635 T. 19

米国電話網ユーザへの告知：FCC 要件

Notice to users of the U.S. telephone network: FCC requirements

This equipment complies with FCC rules, Part 68. On this equipment is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalent Number (REN) for this equipment. If requested, provide this information to your telephone company.

An FCC compliant telephone cord and modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible modular jack which is Part 68 compliant. This equipment connects to the telephone network through the following standard network interface jack: USOC RJ-11C.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your number is called. Too many devices on one line might result in failure to ring in response to an incoming call. In most, but not all, areas the sum of the RENs of all devices should not exceed five (5). To be certain of the number of devices you may connect to your line, as determined by the REN, you should call your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

If this equipment causes harm to the telephone network, your telephone company might discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. If advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be advised of your right to file a complaint with the FCC. Your telephone company might make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper operation of your equipment. If they do, you will be given advance notice so you will have the opportunity to maintain uninterrupted service. If you experience trouble with this equipment, please contact the manufacturer, or look elsewhere in this manual, for warranty or repair information. Your telephone company might ask you to disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company.

Connection to party lines is subject to state tariffs. Contact your state public utility commission, public service commission, or corporation commission for more information.

This equipment includes automatic dialing capability. When programming and/or making test calls to emergency numbers:

- Remain on the line and explain to the dispatcher the reason for the call.
- Perform such activities in the off-peak hours, such as early morning or late evening.

Note The FCC hearing aid compatibility rules for telephones are not applicable to this equipment.

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device, including fax machines, to send any message unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity, or other individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity, or individual. (The telephone number provided might not be a 900 number or any other number for which charges exceed local or long-distance transmission charges.) In order to program this information into your fax machine, you should complete the steps described in the software.

カナダのユーザに対する告知

Note à l'attention des utilisateurs du réseau téléphonique canadien/Notice to users of the Canadian telephone network

Cet appareil est conforme aux spécifications techniques des équipements terminaux d'Industrie Canada. Le numéro d'enregistrement atteste de la conformité de l'appareil. L'abréviation IC qui précède le numéro d'enregistrement indique que l'enregistrement a été effectué dans le cadre d'une Déclaration de conformité stipulant que les spécifications techniques d'Industrie Canada ont été respectées. Néanmoins, cette abréviation ne signifie en aucun cas que l'appareil a été validé par Industrie Canada.

Pour leur propre sécurité, les utilisateurs doivent s'assurer que les prises électriques reliées à la terre de la source d'alimentation, des lignes téléphoniques et du circuit métallique d'alimentation en eau sont, le cas échéant, branchées les unes aux autres. Cette précaution est particulièrement importante dans les zones rurales.

Remarque Le numéro REN (Ringer Equivalence Number) attribué à chaque appareil terminal fournit une indication sur le nombre maximal de terminaux qui peuvent être connectés à une interface téléphonique. La terminaison d'une interface peut se composer de n'importe quelle combinaison d'appareils, à condition que le total des numéros REN ne dépasse pas 5.

Basé sur les résultats de tests FCC Partie 68, le numéro REN de ce produit est 0.0B.

This equipment meets the applicable Industry Canada Terminal Equipment Technical Specifications. This is confirmed by the registration number. The abbreviation IC before the registration number signifies that registration was performed based on a Declaration of Conformity indicating that Industry Canada technical specifications were met. It does not imply that Industry Canada approved the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution might be particularly important in rural areas.

Note The REN (Ringer Equivalence Number) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface might consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The REN for this product is 0.0B, based on FCC Part 68 test results.

欧州経済地域の全ユーザに対する告知

Notice to users in the European Economic Area

This product is designed to be connected to the analog Switched Telecommunication Networks (PSTN) of the European Economic Area (EEA) countries/regions.

Network compatibility depends on customer selected settings, which must be reset to use the equipment on a telephone network in a country/region other than where the product was purchased. Contact the vendor or Hewlett-Packard Company if additional product support is necessary.

This equipment has been certified by the manufacturer in accordance with Directive 1999/5/EC (annex II) for Pan-European single-terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

This equipment is designed for DTMF tone dialing and loop disconnect dialing. In the unlikely event of problems with loop disconnect dialing, it is recommended to use this equipment only with the DTMF tone dial setting.

ドイツ電話網ユーザへの告知

Hinweis für Benutzer des deutschen Telefonnetzwerks

Dieses HP-Fax ist nur für den Anschluss eines analogen Public Switched Telephone Network (PSTN) gedacht. Schließen Sie den TAE N-Telefonstecker, der im Lieferumfang des HP All-in-One enthalten ist, an die Wandsteckdose (TAE 6) Code N an. Dieses HP-Fax kann als einzelnes Gerät und/oder in Verbindung (mit seriellem Anschluss) mit anderen zugelassenen Endgeräten verwendet werden.

ワイヤレスに関する規制情報 (一部のモデルのみ)

このセクションでは、ワイヤレス製品に関する以下の規制事項について説明します。

- 高周波暴露
- ブラジルのユーザーに対する告示
- カナダのユーザーに対する告示
- 台湾のユーザーに対する告知
- EU の規制に関する告知

高周波暴露

Exposure to radio frequency radiation

Caution The radiated output power of this device is far below the FCC radio frequency exposure limits. Nevertheless, the device shall be used in such a manner that the potential for human contact during normal operation is minimized. This product and any attached external antenna, if supported, shall be placed in such a manner to minimize the potential for human contact during normal operation. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20 cm (8 inches) during normal operation.

ブラジルのユーザーに対する告示

Aviso aos usuários no Brasil

Este equipamento opera em caráter secundário, isto é, não tem direito à proteção contra interferência prejudicial, mesmo de estações do mesmo tipo, e não pode causar interferência a sistemas operando em caráter primário. (Res.ANATEL 282/2001).

カナダのユーザーに対する告示

Notice to users in Canada/Note à l'attention des utilisateurs canadiens

For Indoor Use. This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from the digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications. The internal wireless radio complies with RSS 210 and RSS GEN of Industry Canada.

Utiliser à l'intérieur. Le présent appareil numérique n'émet pas de bruit radioélectrique dépassant les limites applicables aux appareils numériques de la classe B prescrites dans le Règlement sur le brouillage radioélectrique édicté par le ministère des Communications du Canada. Le composant RF interne est conforme a la norme RSS-210 and RSS GEN d'Industrie Canada.

台湾のユーザーに対する告知

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條

經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更設計之特性及功能。

第十四條

低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。

前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

EU の規制に関する告知

European Union Regulatory Notice

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC

CE compliance of this product is valid only if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

If this product has telecommunications functionality, it also complies with the essential requirements of the following EU Directive:

- R&TTE Directive 1999/5/EC

Compliance with these directives implies conformity to harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family. This compliance is indicated by the following conformity marking placed on the product.

The wireless telecommunications functionality of this product may be used in the following EU and EFTA countries:

Austria, Belgium, Bulgaria, Cyprus, Czech Republic, Denmark, Estonia, Finland, France, Germany, Greece, Hungary, Iceland, Ireland, Italy, Latvia, Liechtenstein, Lithuania, Luxembourg, Malta, Netherlands, Norway, Poland, Portugal, Romania, Slovak Republic, Slovenia, Spain, Sweden, Switzerland and United Kingdom.

Products with 2.4-GHz wireless LAN devices

France
For 2.4 GHz Wireless LAN operation of this product certain restrictions apply: This product may be used indoor for the entire 2400-2483.5 MHz frequency band (channels 1-13). For outdoor use, only 2400-2454 MHz frequency band (channels 1-9) may be used. For the latest requirements, see http://www.art-telecom.fr.

Italy
License required for use. Verify with your dealer or directly with the General Direction for Frequency Planning and Management (Direzione Generale Pianificazione e Gestione Frequenze).

オーストラリアでの有線ファクスの接続について

In Australia, the HP device must be connected to Telecommunication Network through a line cord which meets the requirements of the Technical Standard AS/ACIF S008.

規制モデル番号

規制の識別を目的として、ご使用の製品には規制モデル番号が割り当てられています。お使いの製品の規制モデル番号は SNPRC-0801-01 です (HP Officejet 6500 Wireless All-in-One または HP Officejet 6500 Premier All-in-One) または SNPRC-0801-02 (HP Officejet 6500 All-in-One)。この規制番号を、市販名 (HP Officejet 6500 All-in-One) や製品番号と混同しないでください。

適合宣言書

DECLARATION OF CONFORMITY
according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name: Hewlett-Packard Company **DoC#:** SNPRC-0801-01-A
Supplier's Address: 60, Alexandra Terrace, # 07-01 The Comtech, Singapore 118502

declares, that the product

Product Name: HP Officejet 6500 All-In-One Series
Regulatory Model Number:[1] SNPRC-0801-01
Product Options: All
Radio Module Number: RSVLD-0707

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

SAFETY: IEC 60950-1:2001 / EN60950-1:2001 + A11: 2004
EN 60825-1 1994+A1:2002+A2: 2001

EMC: CISPR 22:2005/ EN 55022: 2006 Class B
EN 55024:1998 +A1:2001 + A2:2003
EN 61000-3-2: 2000 + A2: 2005
EN 61000-3-3:1995 +A1: 2001
FCC CFR 47, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4 Class B

TELECOM: EN 301 489-1 V1.6.1:2005 / EN 301 489-17 V1.2.1:2002
EN 300 328 V1.7.1 : 2006
TBR 21: 1998[4]
FCC Rules and Regulations 47CFR Part 68
TIA-968-A-1 +A-2 +A-3+A-4 Telecommunications – Telephone Terminal Equipment
CS-03, Part I, Issue 9, Feb 2005

Supplementary Information:

1. This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
2. This product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC & the R&TTE Directive 99/5/EC and carries the CE-marking accordingly. In addition, it complies with the WEEE Directive 2002/96/EC and RoHS Directive 2002/95/EC.
3. This product complies with TBR21:1998, except clause 4.7.1 (DC characteristic), which complies with ES 203 021-3, clause 4.7.1.
4. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
5. The product was tested in a typical configuration.

Singapore
April 2008

Local contact for regulatory topics only:
EMEA: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany www.hp.com/go/certificates
USA : Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto 94304, U.S.A. 650-857-1501

DECLARATION OF CONFORMITY

according to ISO/IEC 17050-1 and EN 17050-1

Supplier's Name: Hewlett-Packard Company **DoC#:** SNPRC-0801-02-A

Supplier's Address: 60, Alexandra Terrace, # 07-01 The Comtech, Singapore 118502

declares, that the product

Product Name: HP Officejet 6500 All-In-One Series

Regulatory Model Number:[1] SNPRC-0801-02

Product Options: All

conforms to the following Product Specifications and Regulations:

SAFETY:
IEC 60950-1:2001 / EN60950-1:2001 + A11: 2004
EN 60825-1 1994+A1:2002+A2: 2001

EMC:
CISPR 22:2005/ EN 55022: 2006 Class B
EN 55024:1998 +A1:2001 + A2:2003
EN 61000-3-2: 2000 + A2: 2005
EN 61000-3-3:1995 +A1: 2001
FCC CFR 47, Part 15 Class B / ICES-003, Issue 4 Class B

TELECOM:
TBR 21: 1998[3]
FCC Rules and Regulations 47CFR Part 68
TIA-968-A-1 +A-2 +A-3+A-4 Telecommunications – Telephone Terminal Equipment
CS-03, Part I, Issue 9, Feb 2005

Supplementary Information:

1. This product is assigned a Regulatory Model Number which stays with the regulatory aspects of the design. The Regulatory Model Number is the main product identifier in the regulatory documentation and test reports, this number should not be confused with the marketing name or the product numbers.
2. This product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 2006/95/EC, the EMC Directive 2004/108/EC & the R&TTE Directive 99/5/EC and carries the CE-marking accordingly. In addition, it complies with the WEEE Directive 2002/96/EC and RoHS Directive 2002/95/EC.
3. This product complies with TBR21:1998, except clause 4.7.1 (DC characteristic), which complies with ES 203 021-3, clause 4.7.1.
4. This Device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two Conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
5. The product was tested in a typical configuration.

Singapore
April 2008
Local contact for regulatory topics only:

EMEA: Hewlett-Packard GmbH, HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, Germany www.hp.com/go/certificates
USA : Hewlett-Packard, 3000 Hanover St., Palo Alto 94304, U.S.A. 650-857-1501

環境保全のためのプロダクト スチュワード プログラム

Hewlett-Packard では、優れた製品を環境に対して適切な方法で提供することに積極的に取り組んでいます。この製品では、再利用を考慮した設計を取り入れています。高度な機能と信頼性を確保する一方、素材の種類は最小限にとどめられています。素材が異なる部分は、簡単に分解できるように作られています。金具などの接合部品は、作業性を考慮した分かりやすい場所にあるので、一般的な工具を使って簡単に取り外すことができます。重要な部品も手の届きやすい場所にあり、取り外しや修理が簡単に行えます。

詳細については、 HP Web サイトの次のアドレスにある「環境保護ホーム」にアクセスしてください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/index.html

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 用紙の使用
- プラスチック
- 化学物質安全性データ シート
- リサイクルプログラム
- HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム
- EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理
- 電力消費
- 化学物質

用紙の使用

本製品は DIN 19309 と EN 12281:2002 にしたがったリサイクル用紙の使用に適しています。

プラスチック

25 グラム以上のプラスチックのパーツには、国際規格に基づく材料識別マークが付いているため、プリンタを処分する際にプラスチックを正しく識別することができます。

化学物質安全性データ シート

化学物質等安全データ シート (MSDS) は、次の HP Web サイトから入手できます。

www.hp.com/go/msds

リサイクルプログラム

HP は世界中の国/地域で、大規模なエレクトロニクス リサイクルセンターと提携して、さまざまな製品回収およびリサイクルプログラムを次々に実施しております。また、弊社の代表的製品の一部を再販することで、資源を節約しています。HP 製品のリサイクルについての詳細は、下記サイトをご参照ください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

HP インクジェット サプライ品リサイクル プログラム

HP では、環境の保護に積極的に取り組んでいます。HP のインクジェット消耗品リサイクル プログラムは多くの国/地域で利用可能であり、これを使用すると使用済みのプリント カートリッジおよびインク カートリッジを無料でリサイクルすることができます。詳細については、次の Web サイトを参照してください。

www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/recycle/

EU の一般家庭ユーザーによる廃棄機器の処理

English

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Households in the European Union
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Français

Évacuation des équipements usagés par les utilisateurs dans les foyers privés au sein de l'Union européenne
La présence de ce symbole sur le produit ou sur son emballage indique que vous ne pouvez pas vous débarrasser de ce produit de la même façon que vos déchets courants. Au contraire, vous êtes responsable de l'évacuation de vos équipements usagés et, à cet effet, vous êtes tenu de les remettre à un point de collecte agréé pour le recyclage des équipements électriques et électroniques usagés. Le tri, l'évacuation et le recyclage séparés de vos équipements usagés permettent de préserver les ressources naturelles et de s'assurer que ces équipements sont recyclés dans le respect de la santé humaine et de l'environnement. Pour plus d'informations sur les lieux de collecte des équipements usagés, veuillez contacter votre mairie, votre service de traitement des déchets ménagers ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Deutsch

Entsorgung von Elektrogeräten durch Benutzer in privaten Haushalten in der EU
Dieses Symbol auf dem Produkt oder dessen Verpackung gibt an, dass das Produkt nicht zusammen mit dem Restmüll entsorgt werden darf. Es obliegt daher Ihrer Verantwortung, das Gerät an einer entsprechenden Stelle für die Entsorgung oder Wiederverwertung von Elektrogeräten aller Art abzugeben (z.B. ein Wertstoffhof). Die separate Sammlung und das Recyceln Ihrer alten Elektrogeräte zum Zeitpunkt ihrer Entsorgung trägt zum Schutz der Umwelt bei und gewährleistet, dass sie auf eine Art und Weise recycelt werden, die keine Gefährdung für die Gesundheit des Menschen und der Umwelt darstellt. Weitere Informationen darüber, wo Sie alte Elektrogeräte zum Recyceln abgeben können, erhalten Sie bei den örtlichen Behörden, Wertstoffhöfen oder dort, wo Sie das Gerät erworben haben.

Italiano

Smaltimento di apparecchiature da rottamare da parte di privati nell'Unione Europea
Questo simbolo che appare sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere smaltito assieme agli altri rifiuti domestici. Gli utenti devono provvedere allo smaltimento delle apparecchiature da rottamare portandole al luogo di raccolta indicato per il riciclaggio delle apparecchiature elettriche ed elettroniche. La raccolta e il riciclaggio separati delle apparecchiature da rottamare in fase di smaltimento favoriscono la conservazione delle risorse naturali e garantiscono che tali apparecchiature vengano rottamate nel rispetto dell'ambiente e della tutela della salute. Per ulteriori informazioni sui punti di raccolta delle apparecchiature da rottamare, contattare il proprio comune di residenza, il servizio di smaltimento dei rifiuti locale o il negozio presso il quale è stato acquistato il prodotto.

Español

Eliminación de residuos de aparatos eléctricos y electrónicos por parte de usuarios domésticos en la Unión Europea
Este símbolo en el producto o en el embalaje indica que no se puede desechar el producto junto con los residuos domésticos. Por el contrario, si debe eliminar este tipo de residuo, es responsabilidad del usuario entregarlo en un punto de recogida designado de reciclado de aparatos electrónicos y eléctricos. El reciclaje y la recogida por separado de estos residuos en el momento de la eliminación ayudará a preservar recursos naturales y a garantizar que el reciclaje proteja la salud y el medio ambiente. Si desea información adicional sobre los lugares donde puede dejar estos residuos para su reciclado, póngase en contacto con las autoridades locales de su ciudad, con el servicio de gestión de residuos domésticos o con la tienda donde adquirió el producto.

Česky

Likvidace vysloužilého zařízení uživateli v domácnosti v zemích EU
Tato značka na produktu nebo na jeho obalu označuje, že tento produkt nesmí být likvidován prostým vyhozením do běžného domovního odpadu. Odpovídáte za to, že vysloužilé zařízení bude předáno k likvidaci do stanovených sběrných míst určených k recyklaci vysloužilých elektrických a elektronických zařízení. Likvidace vysloužilého zařízení samostatným sběrem a recyklací napomáhá zachování přírodních zdrojů a zajišťuje, že recyklace proběhne způsobem chránícím lidské zdraví a životní prostředí. Další informace o tom, kam můžete vysloužilé zařízení předat k recyklaci, můžete získat od úřadů místní samosprávy, od společnosti provádějící svoz a likvidaci domovního odpadu nebo v obchodě, kde jste produkt zakoupili.

Dansk

Bortskaffelse af affaldsudstyr for brugere i private husholdninger i EU
Dette symbol på produktet eller på dets emballage indikerer, at produktet ikke må bortskaffes sammen med andet husholdningsaffald. I stedet er det dit ansvar at bortskaffe affaldsudstyr ved at aflevere det på dertil beregnede indsamlingssteder med henblik på genbrug af elektrisk og elektronisk affaldsudstyr. Den separate indsamling og genbrug af dit affaldsudstyr på tidspunktet for bortskaffelse er med til at bevare naturlige ressourcer og sikre, at genbrug finder sted på en måde, der beskytter menneskers helbred samt miljøet. Hvis du vil vide mere om, hvor du kan aflevere dit affaldsudstyr til genbrug, kan du kontakte kommunen, det lokale renovationsvæsen eller den forretning, hvor du købte produktet.

Nederlands

Afvoer van afgedankte apparatuur door gebruikers in particuliere huishoudens in de Europese Unie
Dit symbool op het product of de verpakking geeft aan dat dit product niet mag worden afgevoerd met het huishoudelijk afval. Het is uw verantwoordelijkheid uw afgedankte apparatuur af te leveren op een aangewezen inzamelpunt voor de verwerking van afgedankte elektrische en elektronische apparatuur. De gescheiden inzameling en verwerking van uw afgedankte apparatuur draagt bij tot het sparen van natuurlijke bronnen en tot het hergebruik van materiaal op een wijze die de volksgezondheid en het milieu beschermt. Voor meer informatie over waar u uw afgedankte apparatuur kunt inleveren voor recycling kunt u contact opnemen met het gemeentehuis in uw woonplaats, de reinigingsdienst of de winkel waar u het product hebt aangeschaft.

Eesti

Eramajapidamistes kasutuselt kõrvaldatavate seadmete käitlemine Euroopa Liidus
Kui tootel või toote pakendil on see sümbol, ei tohi seda toodet visata olmejäätmete hulka. Teie kohus on viia tarbetuks muutunud seade selleks ettenähtud elektri- ja elektroonikaseadmete utiliseerimiskohta. Utiliseeritavate seadmete eraldi kogumine ja käitlemine aitab säästa loodusvarasid ning tagada, et käitlemine toimub inimeste tervisele ja keskkonnale ohutult. Lisateavet selle kohta, kuhu saate utiliseeritava seadme käitlemiseks viia, saate küsida kohalikust omavalitsusest, olmejäätmete utiliseerimispunktist või kauplusest, kust te seadme ostsite.

Suomi

Hävitettävien laitteiden käsittely kotitalouksissa Euroopan unionin alueella
Tämä tuotteessa tai sen pakkauksessa oleva merkintä osoittaa, että tuotetta ei saa hävittää talousjätteiden mukana. Käyttäjän velvollisuus on huolehtia siitä, että hävitettävä laite toimitetaan sähkö- ja elektroniikkalaiteromun keräyspisteeseen. Hävitettävien laitteiden erillinen keräys ja kierrätys säästää luonnonvaroja. Näin toimimalla varmistetaan myös, että kierrätys tapahtuu tavalla, joka suojelee ihmisten terveyttä ja ympäristöä. Saat tarvittaessa lisätietoja jätteiden kierrätyspaikoista paikallisilta viranomaisilta, jäteyhtiöiltä tai tuotteen jälleenmyyjältä.

Ελληνικά

Απόρριψη άχρηστων συσκευών στην Ευρωπαϊκή Ένωση
Το παρόν σύμβολο στον εξοπλισμό ή στη συσκευασία του υποδεικνύει ότι το προϊόν αυτό δεν πρέπει να πεταχτεί μαζί με άλλα οικιακά απορρίμματα. Αντίθετα, ευθύνη σας είναι να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές σε μια καθορισμένη μονάδα συλλογής απορριμμάτων για την ανακύκλωση άχρηστου ηλεκτρικού και ηλεκτρονικού εξοπλισμού. Η χωριστή συλλογή και ανακύκλωση των άχρηστων συσκευών θα συμβάλει στη διατήρηση των φυσικών πόρων και στη διασφάλιση ότι θα ανακυκλωθούν με τέτοιον τρόπο, ώστε να προστατεύεται η υγεία των ανθρώπων και το περιβάλλον. Για περισσότερες πληροφορίες σχετικά με το πού μπορείτε να απορρίψετε τις άχρηστες συσκευές για ανακύκλωση, επικοινωνήστε με τις κατά τόπους αρμόδιες αρχές ή με το κατάστημα από το οποίο αγοράσατε το προϊόν.

Magyar

A hulladékanyagok kezelése a magánháztartásokban az Európai Unióban
Ez a szimbólum, amely a terméken vagy annak csomagolásán van feltüntetve, azt jelzi, hogy a termék nem kezelhető együtt az egyéb háztartási hulladékkal. Az Ön feladata, hogy a készülék hulladékanyagait eljuttassa olyan kijelölt gyűjtőhelyre, amely az elektromos hulladékanyagok és az elektronikus berendezések újrahasznosításával foglalkozik. A hulladékanyagok elkülönített gyűjtése és újrahasznosítása hozzájárul a természeti erőforrások megőrzéséhez, egyúttal azt is biztosítja, hogy a hulladék újrahasznosítása az egészségre és a környezetre nem ártalmas módon történik. Ha tájékoztatást szeretne kapni azokról a helyekről, ahol leadhatja újrahasznosításra a hulladékanyagokat, forduljon a helyi önkormányzathoz, a háztartási hulladék begyűjtésével foglalkozó vállalathoz vagy a termék forgalmazójához.

Latviski

Lietotāju atbrīvošanās no nederīgām ierīcēm Eiropas Savienības privātajās mājsaimniecībās
Šis simbols uz ierīces vai tās iepakojuma norāda, ka šo ierīci nedrīkst izmest kopā ar pārējiem mājsaimniecības atkritumiem. Jūs esat atbildīgs par atbrīvošanos no nederīgās ierīces, to nododot norādītajā savākšanas vietā, lai tiktu veikta nederīgā elektriskā un elektroniskā aprīkojuma otrreizējā pārstrāde. Speciāla nederīgās ierīces savākšana un otrreizējā pārstrāde palīdz taupīt dabas resursus un nodrošina tādu otrreizējo pārstrādi, kas sargā cilvēku veselību un apkārtējo vidi. Lai iegūtu papildu informāciju par to, kur otrreizējai pārstrādei var nogādāt nederīgo ierīci, lūdzu, sazinieties ar vietējo pašvaldību, mājsaimniecības atkritumu savākšanas dienestu vai veikalu, kurā iegādājāties šo ierīci.

Lietuviškai

Europos Sąjungos vartotojų ir privačių namų ūkių atliekamos įrangos išmetimas
Šis simbolis ant produkto arba jo pakuotės nurodo, kad produktas negali būti išmestas kartu su kitomis namų ūkio atliekomis. Jūs privalote išmesti savo atliekamą įrangą atiduodami ją į atliekamos elektronikos ir elektros įrangos perdirbimo punktus. Jei atliekama įranga bus atskirai surenkama ir perdirbama, bus išsaugomi natūralūs ištekliai ir užtikrinama, kad įranga yra perdirbta žmogaus sveikatą ir gamtą tausojančiu būdu. Dėl informacijos apie tai, kur galite išmesti atliekamą perdirbti skirtą įrangą kreipkitės į atitinkamą vietos tarnybą, namų ūkio atliekų išvežimo tarnybą arba į parduotuvę, kurioje pirkote produktą.

Polski

Utylizacja zużytego sprzętu przez użytkowników domowych w Unii Europejskiej
Symbol ten umieszczony na produkcie lub opakowaniu oznacza, że tego produktu nie należy wyrzucać razem z innymi odpadami domowymi. Użytkownik jest odpowiedzialny za dostarczenie zużytego sprzętu do wyznaczonego punktu gromadzenia zużytych urządzeń elektrycznych i elektronicznych. Gromadzenie osobno i recykling tego typu odpadów przyczynia się do ochrony zasobów naturalnych i jest bezpieczny dla zdrowia i środowiska naturalnego. Dalsze informacje na temat sposobu utylizacji zużytych urządzeń można uzyskać u odpowiednich władz lokalnych, w przedsiębiorstwie zajmującym się usuwaniem odpadów lub w miejscu zakupu produktu.

Português

Descarte de equipamentos por usuários em residências da União Européia
Este símbolo no produto ou na embalagem indica que o produto não pode ser descartado junto com o lixo doméstico. No entanto, é sua responsabilidade levar os equipamentos a serem descartados a um ponto de coleta designado para a reciclagem de equipamentos eletro-eletrônicos. A coleta separada e a reciclagem dos equipamentos no momento do descarte ajudam na conservação dos recursos naturais e garantem que os equipamentos serão reciclados de forma a proteger a saúde das pessoas e o meio ambiente. Para obter mais informações sobre onde descartar equipamentos para reciclagem, entre em contato com o escritório local de sua cidade, o serviço de limpeza pública de seu bairro ou a loja em que adquiriu o produto.

Slovenčina

Postup používateľov v krajinách Európskej únie pri vyhadzovaní zariadenia v domácom používaní do odpadu
Tento symbol na produkte alebo na jeho obale znamená, že nesmie by vyhodený s iným komunálnym odpadom. Namiesto toho máte povinnosť odovzdať toto zariadenie na zbernom mieste, kde sa zabezpečuje recyklácia elektrických a elektronických zariadení. Separovaný zber a recyklácia zariadenia určeného na odpad pomôže chrániť prírodné zdroje a zabezpečí taký spôsob recyklácie, ktorý bude chrániť ľudské zdravie a životné prostredie. Ďalšie informácie o separovanom zbere a recyklácii získate na miestnom obecnom úrade, vo firme zabezpečujúcej zber vášho komunálneho odpadu alebo v predajni, kde ste produkt kúpili.

Slovenščina

Ravnanje z odpadno opremo v gospodinjstvih znotraj Evropske unije
Ta znak na izdelku ali embalaži izdelka pomeni, da izdelka ne smete odlagati skupaj z drugimi gospodinjskimi odpadki. Odpadno opremo ste dolžni oddati na določenem zbirnem mestu za recikliranje odpadne električne in elektronske opreme. Z ločenim zbiranjem in recikliranjem odpadne opreme ob odlaganju boste pomagali ohraniti naravne vire in zagotovili, da bo odpadna oprema reciklirana tako, da se varuje zdravje ljudi in okolje. Več informacij o mestih, kjer lahko oddate odpadno opremo za recikliranje, lahko dobite na občini, v komunalnem podjetju ali trgovini, kjer ste izdelek kupili.

Svenska

Kassering av förbrukningsmaterial, för hem- och privatanvändare i EU
Produkter eller produktförpackningar med den här symbolen får inte kasseras med vanligt hushållsavfall. I stället har du ansvar för att produkten lämnas till en behörig återvinningsstation för hantering av el- och elektronikprodukter. Genom att lämna kasserade produkter till återvinning hjälper du till att bevara våra gemensamma naturresurser. Dessutom skyddas både människor och miljön när produkter återvinns på rätt sätt. Kommunala myndigheter, sophanteringsföretag eller butiken där varan köptes kan ge mer information om var du lämnar kasserade produkter för återvinning.

Български

Изхвърляне на оборудване за отпадъци от потребители в частни домакинства в Европейския съюз
Този символ върху продукта или опаковката му показва, че продуктът не трябва да се изхвърля заедно с домакинските отпадъци. Вие имате отговорността да изхвърлите оборудването за отпадъци, като го предадете на определен пункт за рециклиране на електрическо или механично оборудване за отпадъци. Отделното събиране и рециклиране на оборудването за отпадъци при изхвърлянето му помага за запазването на природни ресурси и гарантира рециклиране, извършено така, че да не застрашава човешкото здраве и околната среда. За повече информация къде можете да оставите оборудването за отпадъци за рециклиране се свържете със съответния офис в града ви, фирмата за събиране на отпадъци или с магазина, от който сте закупили продукта.

Română

Înlăturarea echipamentelor uzate de către utilizatorii casnici din Uniunea Europeană
Acest simbol de pe produs sau de pe ambalajul produsului indică faptul că acest produs nu trebuie aruncat alături de celelalte deşeuri casnice. În loc să procedaţi astfel, aveţi responsabilitatea să vă debarasaţi de echipamentul uzat predându-l la un centru de colectare desemnat pentru reciclarea deşeurilor electrice şi a echipamentelor electronice. Colectarea şi reciclarea separată a echipamentului uzat atunci când doriţi să îl aruncaţi ajută la conservarea resurselor naturale şi asigură reciclarea echipamentului într-o manieră care protejează sănătatea umană şi mediul. Pentru informaţii suplimentare despre locul în care se poate preda echipamentul uzat pentru reciclare, luaţi legătura cu primăria locală, cu serviciul de salubritate sau cu vânzătorul de la care aţi achiziţionat produsul.

電力消費

スリープ モードになっている間は使用電力量が大幅に減り、製品の性能は維持したまま、天然資源や電気代を節約できます。本製品の ENERGY STAR® 認

定状況については、製品データ シートまたはスペック シートをご覧ください。適合製品の一覧については、http://www.hp.com/go/energystar でもご覧いただけます。

化学物質

HP では、REACH (**Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council**) などの法的要件に準拠するため、製品に使用されている化学物質に関する情報のお客様への提供に積極的に取り組んでいます。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、www.hp.com/go/reach (英語サイト) にアクセスしてください。

サードパーティ ライセンス

Expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

OpenSSL

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following isclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"

The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.

==

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson tjh@cryptsoft.com).

==

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSLToolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

==

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

==

 ECC cipher suite support in OpenSSL originally developed by SUN MICROSYSTEMS, INC., and contributed to the OpenSSL project.

SHA2

Plastic parts over 25 grams are marked according to international standards that enhance the ability to identify plastics for recycling purposes at the end of product life.

FIPS 180-2 SHA-224/256/384/512 implementation

Last update: 02/02/2007

Issue date: 04/30/2005

索引

記号/数字
[OK] ボタン　20
[カラー スキャン スタート] ボタン　21
[キャンセル] ボタン　20
[スキャン スタート] ボタン
　カラー　21
　モノクロ　21
[セットアップ] ボタン　21
[フォトプリント] ボタン　21
[ヘルプ] ボタン　21
[迷惑ファクスを拒否] ボタン　20
[戻る] ボタン　21
10 x 15 cm フォト用紙
　コピー　116
2 面印刷　53, 54
4 x 6 インチ フォト用紙
　コピー　116

A
ADF
　サポートされている用紙のサイズ　40
ADF (自動ドキュメント フィーダ)
　原稿のセット　33
　容量　33
ADSL、ファクスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　151

D
DOC　372
DSL、ファクスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　151

E
ECM. *を参照* エラー補正モードを参照
Ethernet 接続　22
EWS. *を参照* 組み込み Web サーバを参照

F
FoIP　106

H
Hewlett-Packard 社よりのお知らせ　3
HP Photosmart Studio　28
HP Photosmart ソフトウェア　28
HP ソリューション センター　132
HP ソリューション センター
　コンピュータへのスキャン画像の送信　58
HP プリンタ ユーティリティ (Mac OS X)
　管理者設定　129
　パネル　137
　開く　136

I
IP アドレス
　デバイスの確認　317
IP 設定　143
ISDN 回線、ファクスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　153

M
Mac OS X
　HP Photosmart Studio　28
　HP プリンタ ユーティリティ　136
　印刷設定　53
　ソフトウェアのアンインストール　199
　ソフトウェアのインストール　185
　デバイスの共有　186, 187
　特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアへの印刷　48
　フチ無し印刷　50
　ワイヤレス通信のセットアップ　191
Mac にファクス
　使用開始　91
　変更　91
Memory Stick カード
　スロット、位置　64
　挿入　63
MMC メモリ カード
　挿入　63

O
OCR
　スキャンした文書の編集　61
　トラブルシューティング　281
OHP フィルム
　コピー　117
On ボタン　20

P
PBX システム、ファクスのセットアップ
　パラレル方式の電話システム　153
PCL 3 サポート　357
PC ファクス受信
　使用開始　91
　変更　91
Photosmart Studio　28
Photosmart ソフトウェア　28

R
readme　13

S
SD カード メモリ カード
　挿入　63

T

TWAIN
スキャン 59
ソースを有効にできない 282

U

USB 接続
Mac OS X のセットアップ 185
Windows のセットアップ 179
使用できる機能 22
仕様 356
ポート、位置 18
ポート、位置の確認 17

W

Web サイト
Apple 186
アクセシビリティ情報 16
カスタマ サポート 342
環境プログラム 374
サプライ品とアクセサリの注文 339
サプライ品印刷可能枚数データシート 357
ワイヤレス セキュリティ 189
Web スキャン 59
Web ページ、印刷 55
WIA (Windows Image Application)、スキャン 59
Windows
HP Photosmart ソフトウェア 28
HP ソリューション センター 132
システム要件 357
ソフトウェアのアンインストール 197
ソフトウェアのインストール 179
デバイスの共有 181
特殊な用紙またはカスタムサイズのメディアの印刷 48
ネットワークのセットアップ 182
フチ無し印刷 50
[プリンタの追加] によるインストール 184
プリント設定 52
両面印刷 54
ワイヤレス通信のセットアップ 190
Windows Image Application (WIA)、スキャン 59

X

xD Picture メモリ カード
挿入 63
xD-Picture メモリ カード
スロット、位置の確認 64

あ

赤目除去
メモリ カードから印刷 67
明るい、トラブルシューティング
コピー 277
スキャン 284
アクセサリ
製品番号 340
セルフテスト診断ページ 139
アクセシビリティ 16
新しいデフォルト
メモリ カードから印刷 68

い

一度に 2 枚以上給紙される、トラブルシューティング 273
一斉送信、ファクス
送信 75
色
くすんでいる 260
インク
少ない 246
用紙の裏に筋 266
インク カートリッジ
位置 18
インク不足 246
インク レベルの確認 202
印刷可能枚数 357
オンライン注文 339
交換 203
サポート対象 340, 356
状態 126, 139
製品番号 139
ヒント 201
有効期限 139
インク カートリッジの交換 203
インクのにじみ 249
インクホルダー開閉カバー、位置 18
インクレベル、確認 202
印刷結果の品質低下 249
日付スタンプ
メモリ カードから印刷 68
印刷設定
印刷品質 248
印刷速度が遅い、トラブルシューティング 229
印刷ドライバ
設定 52
印刷品質レポート 214
印刷品質
インクのにじみ 249
印刷部数ボタン 19
印刷
DPOF ファイルからの写真 65
インデックス シート 66
遅い 229
キャンセル 56
設定 52
短縮ダイヤル エントリ 105
トラブルシューティング 228
ファクス 85
ファクス レポート 108
ファクス ログ 110
両面 53
印刷
Web ページ 55
意味不明な文字 237
印刷出力の歪み 256
印刷品質レポート 214
薄い 260
遅い、トラブルシューティング 271
空白の印刷紙 246
診断ページ 214
縦の縞模様 264
トラブルシューティング 232
何も動作しない 238
品質、トラブルシューティング 249, 253, 258, 263

ファクス レポート 112
封筒が正しく印刷されない 232
フチ無し印刷失敗 233
プリンタ ステータス ページ 139
ページの順序が逆 242
メモリ カードの写真 65
余白が正しくない 242, 244
インストール
両面印刷ユニット 51
インストール
Windows ネットワーク ソフトウェア 182
Windows 用のソフトウェア 179
トラブルシューティング 318
[プリンタの追加]、Windows 184
インターネット プロトコル
ファクス、使用 106
インデックス シート
印刷 66

う

薄くする
コピー 120
薄くする
ファクス 80
組み込み Web サーバ
Web スキャン 59
システム必要条件 359
説明 133
開く 134
ページ 135

え

エラー補正モード 81
エラー補正モード、ファクス 99
エラー メッセージ
TWAIN ソースを有効にできません 282
デバイスのコントロール パネル 26
エラー レポート、ファクス 110

お

応答呼び出し音のパターン
パラレル方式の電話システム 154
変更 98
応答呼び出し回数 97
送り先ボタン 19
音圧 362
温度仕様 362
音量
ファクス音 102

か

カートリッジ. *を参照* インク カートリッジを参照
回線状態のテスト、ファクス 292
解像度ボタン 20
解像度、ファクス 78
解像度
ファクス 20
確認レポート、ファクス 108
カスタマ サポート
電子 342
電話サポート 345
保証 349
カスタムサイズのメディア
印刷 48
ガイドライン 39
サポートされているサイズ 43
壁側のモジュラー ジャックのテスト、ファクス 287
紙詰まり
避けるメディア 38
用紙 320, 323
カメラ
メモリ カードを挿入する 63
カラー
ファクス 77
カラー コピー 114
ガラス版、スキャナ
原稿のセット 32
ガラス、スキャナ
位置の確認 17
クリーニング 221
カラー
コピー 121
カラー テキスト、および OCR 61
環境仕様 362
環境認可プログラム 374
監視ツール 126
管理者
設定 127
カード
ガイドライン 39
サポートされているサイズ 41
トレイのサポート 44

き

キーパッド、デバイスのコントロール パネル
位置 19
技術情報
コピーの仕様 360
スキャンの仕様 362
ファクスの仕様 361
メモリ カード仕様 363
規制情報 369
規制モデル番号 371
キャンセル
印刷ジョブ 56
コピー 124
スキャン 62
キャンセル
スケジュールされたファクス 75
給紙の問題、トラブルシューティング 272
共有、デバイス
Windows 181
共有 22
拒否されたファクス番号
セットアップ 88
デバイスのコントロール パネル ボタン 20
レポート 88
拒否するファクス番号
リストの表示 91

く

空白ページ、トラブルシューティング
印刷 229
コピー 276
スキャン 284
組み込み Web サーバ
管理者の設定 127
拒否するファクス番号、表示 91

トラブルシューティング、開くことができない 317
ファクス ログ、表示 111
暗い、トラブルシューティング
コピー 277
スキャン 284
グラフィックス
コピーにムラがある 278
スキャン原稿と異なって見える 283
クリーニング
プリントヘッド 210
クリーニング
自動ドキュメント フィーダ 224
スキャナ ガラス 221
外側 223
グループ、短縮ダイヤル
設定 103
黒い点または縞、トラブルシューティング
コピー 277
スキャン 284

け

警告メッセージ 26
原稿
スキャン画像の編集 60
スキャン 57
言語、プリンタ 357

こ

高画質、コピー品質 118
後部アクセス パネル
図 18
取り外し 353
濃くする
コピー 120
濃くする
ファクス 80
コネクタ、位置 18
コピー
丁合いコピー 122
デバイスのコントロール パネルから 114
余白の変更 122
両面 123
コピーが薄い 276
コピーがかすれてしま模様になる、トラブルシューティング 277
コピー
薄い部分を強調 121
キャンセル 124
コピー枚数 116
縮小する 120
仕様 360
設定 115
速度 118
トラブルシューティング 274
品質 118, 277
用紙サイズ 116
用紙の種類、推奨 117
リーガルをレターに 120
コピーに縦のしま模様が入る、トラブルシューティング 277
コピーのざらざらしたまたは白い帯、トラブルシューティング 278
コピー枚数 116
コピー メニュー 24
コントラスト、ファクス 80
コントロール パネル
ボタン 19
ランプ 19
コンピュータ モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 162
ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 175
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 170
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 158

さ

再印刷
メモリ内のファクス 85
サイズ
コピーのトラブルシューティング 277
スキャン、トラブルシューティング 284
サブスクライバ識別コード 95
サプライ品
印刷可能枚数 357
オンライン注文 339
状態 126
セルフテスト診断ページ 139
サポート. *を参照* カスタマ サポートを参照
サポートされているオペレーティング システム 357
サポートするフォント 357
サポート プロセス 345
[サービス] タブ、ツールボックス (Windows) 131

し

システム要件 357
湿度仕様 362
自動応答ボタン 20
(ADF) 自動ドキュメント フィーダ
給紙の問題、トラブルシューティング 224
クリーニング 224
自動ドキュメント フィーダ (ADF)
給紙の問題、トランブルシューティング 224
クリーニング 224
原稿のセット 33
容量 33
自動ファクス縮小 88
縞、トラブルシューティング
コピー 277
スキャン 284
写真の修正
メモリ カードから印刷 67
写真
DPOF ファイルからの印刷 65
インデックス シート 66
コピーの強調 121
コンピュータへの保存 66
スキャン画像の編集 60
表示 66
フチ無し印刷 50
メモリ カードのトラブルシューティング 316
写真
赤目除去 67
新しいデフォルト 68
日付スタンプ 68
写真修正ツールによる印刷 67

メモリ カードから印刷する　65
メモリ カードを挿入する　63
重要なエラー メッセージ　26
縮小/拡大コピー
レターまたは A4 用紙に合わせてサイズを変更　119
レター用紙に合わせてサイズ調整　120
受信、ファクス
ポーリング　86
手動ファクス
受信　82
送信　71, 72
消去
ファクス ログ　111
状態
サプライ品　126
セルフテスト診断ページ　139
状態
ネットワーク設定ページ　139
情報の一部がないか正しくない、トラブルシューティング　230
仕様
システム要件　357
電気　362
動作環境　362
ネットワーク プロトコル　359
発生音量　362
物理的仕様　356
プロセッサとメモリ　357
保管環境　362
メディア　39
ジョブ
設定　26
シリアル番号　139
シリアル方式の電話システム
国/地域　144
セットアップの種類　146
白い帯またはしま模様、トラブルシューティング
コピー　277
白い帯またはストライプ、トラブルシューティング
コピー　278
スキャン　283
診断ページ　214

す

スキャナ ガラス
クリーニング　221
スキャナのガラス板
位置の確認　17
原稿のセット　32
スキャン画像の送信
コンピュータへ　58
スキャン画像の送信
OCR 用　61
トラブルシューティング　278
スキャン
OCR　61
TWAIN 互換または WIA 互換プログラムから　59
Web スキャンから　59
エラー メッセージ　282
遅い　279
画像の編集　60
キャンセル　62
スキャンの仕様　362
設定　62
デバイスのコントロール パネルから　57
トラブルシューティング　278
品質　282
メモリ カード　59
スキャン
[カラー スキャン スタート] ボタン　21
[フォトプリント] ボタン　21
送り先ボタン　19
コンピュータへ　58
スキャンのストライプ、トラブルシューティング　283
スキャン メニュー　24
スケジュール設定、ファクス　74
ステータス
メッセージ　25

せ

製品の梱包　354
製品の送付　351
セキュリティ
ワイヤレス設定　189
ワイヤレス通信　195
接続タイプ
変更　194
接続
使用できる機能　22
設定
管理者　127
コピー　115
コントロール パネル　26
スキャン　62
速度、ファクス　101
着信識別音　98
ドライバ　52
ネットワーク　141
ファクスのテスト　106
設定
音量、ファクス　102
ファクス　78
セットアップ
DSL (パラレル方式の電話システム)　151
ISDN 回線 (パラレル方式の電話システム)　153
PBX システム (パラレル方式の電話システム)　153
Windows　179
Windows ネットワーク　182
共有電話回線 (パラレル方式の電話システム)　155
コンピュータ モデムと電話回線 (パラレル方式の電話システム)　162
コンピュータ モデムとボイス メール (パラレル方式の電話システム)　175
コンピュータ モデムと留守番電話 (パラレル方式の電話システム)　170
コンピュータ モデム (パラレル方式の電話システム)　158
接続の種類　22
単独のファクス回線 (パラレル方式の電話システム)　150
着信識別 (パラレル方式の電話システム)　154
ファクスのシナリオ　146
ファクス、パラレル方式の電話システム　144
ファクス　144
ボイス メールとコンピュータ モデム (パラレル方式の電話システム)　175

ボイス メール (パラレル方式の電話システム) 157
留守番電話とモデム (パラレル方式の電話システム) 170
留守番電話 (パラレル方式の電話システム) 168
セットアップ ポスター 13
セット
トレイ 1 46
線
コピー、トラブルシューティング 277
スキャン、トラブルシューティング 283, 284

そ

送信、ファクス
スケジュール設定 74
速度
印刷上のトラブルシューティング 229
コピー 118
スキャナのトラブルシューティング 279
ソフトウェア
OCR 61
Web スキャン 59
Windows からのアンインストール 197
Windows へのインストール 179
接続の種類 22
ソフトウェア
HP Photosmart 28
Mac OS X からのアンインストール 199
Mac OS X へのインストール 185
ソフトウェアのアンインストール
Mac OS X 199
ソフトウェアのアンインストール
Windows 197
ソリューション センター
コンピュータへのスキャン画像の送信 58
ソリューション センター 132

た

ダイヤルアップ モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 162
ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 175
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 170
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 158
ダイヤルトーンのテスト、失敗 290
ダイヤル方式、設定 99
ダイヤル モニタリング 72
正しいポートのテスト、ファクス 288
短縮ダイヤル
ボタン 20
ワンタッチ ボタン 20
短縮ダイヤル
印刷と表示 105
グループ、設定 103
ファクスの送信 70
ファクス番号、設定 102

ち

着信識別音
変更 98
着信識別
パラレル方式の電話システム 154
注意ランプ 20
丁合い
印刷部数 122

つ

ツールボックス (Windows)
[ネットワーク] タブ 132
ツールボックス (Windows)
管理者の設定 128
説明 130
開く 130
[サービス] タブ 131
[推定インク レベル] タブ 131

て

適合宣言書 (DOC) 372
テキスト
コピーが汚い 278
コピーがはっきりしない、トラブルシューティング 278
コピーにムラがある 278
スキャンが鮮明でない 284
スキャン後に編集できない、トラブルシューティング 281
スキャンされない、トラブルシューティング 280
トラブルシューティング 231
デジタル カメラ
メモリ カードを挿入する 63
デジタル カメラ
接続 65
テスト、ファクス
失敗 285
設定 106
ダイヤルトーン、失敗 290
電話の壁側のモジュラー ジャック 287
ハードウェア、失敗 286
ファクス回線状態 292
ファクスに使用している電話コードの種類のテストに失敗した 289
ポート接続、失敗 288
デバイス
応答しない 233
デバイスの共有
Mac OS X 186
デバイスのコントロール パネル
コピー 114
コンピュータへのスキャン画像の送信 58
デバイスのコントロール パネル
位置の確認 17
カバー、取り外し 351
管理者の設定 127
スキャン 57
設定、変更 26
ネットワーク設定 141
ファクスの送信 71

メッセージ　25
メニュー　24
デフォルト設定
ファクス　80
デフォルトの設定
印刷　53
コピー　116
デバイスのコントロール パネル　26
ドライバ　52
テレフォン カスタマ サポート　345
電圧仕様　362
電気仕様　362
電源入力、位置　18
電源ボタン　20
電源
トラブルシューティング　228
点または縞、トラブルシューティング
コピー　277
電力
仕様　362
電話回線、応答呼び出し音のパターン　98
電話コード
延長　302
種類のテストに失敗した　289
正しいポートに接続完了テストに失敗した　288
電話サポート期間後　349
電話サポート期間
サポート期間　347
電話によるカスタマ サポート　345
電話によるサポート　346
電話の壁側のモジュラー ジャック、ファクス　287
電話、ファクス
受信　82
送信　71
点、トラブルシューティング
スキャン　284

と

動作環境仕様　362
ドット/インチ (dpi)
ファクス　20
ドライバ
設定　52
バージョン　346
トラブルシューティング
印刷品質　249
印刷　232
組み込み Web サーバ　317
ファクスの問題　253
プリンタ ステータス ページ　138
ワイヤレスの問題　306
トラブルシューティング
一度に 2 枚以上給紙される　273
印刷速度が遅い　229
印刷　228
インストール　318
紙詰まり、用紙　323
給紙の問題　272
空白ページが印刷される　229
コピーが曲がっている　278
コピー　274
コピーの品質　277
情報の一部がないか正しくない　230
スキャン　278
スキャンの品質　282
デバイスのコントロール パネルのメッセージ　25
電源　228
ネットワーク設定ページ　139
はみ出したページ、テキストまたはグラフィックスの配置が適切でない　231
ヒント　227
ファクス回線のテストに失敗した　292
ファクス テスト　285
ファクスに使用している電話コードの種類のテストに失敗した　289
ファクスの壁側のモジュラー ジャックのテスト、失敗　287
ファクスの受信　294, 298
ファクスの送信　294, 296, 301
ファクスのダイヤルトーンのテストに失敗した　290
ファクスの電話コードの接続テストに失敗した　288
ファクス ハードウェア テストに失敗した　286
ファクス　284
ページが曲がっている　273
メディアがトレイから供給されない　272
メモリ カード　315
留守番電話　302
取り付け
Mac OS X 用のソフトウェア　185
トレイ
位置の確認　17
使用可能な用紙サイズ　40
使用可能な用紙の種類と重量　44
メディア詰まりの除去　320
メディアの供給のトラブルシューティング　272
メディアのセット　46
用紙ガイド図　17
容量　44
トレイ 1
メディアのセット　46
トーン ダイヤル　99

ね

ネットワーク タブ、ツールボックス (Windows)　132
ネットワーク
Mac OS X のセットアップ　185
コネクタの図　18
ワイヤレス通信のセットアップ　187
ネットワーク
Ethernet 接続　22
IP 設定　143
Windows のセットアップ　182
共有、Windows　181
システム要件　359
使用可能なオペレーティング システム　359
使用可能なプロトコル　359
詳細設定　142

設定の表示と印刷　141
設定、変更　141
リンク速度　142
ワイヤレス設定　139, 188

の

ノイズ情報　362

は

排紙トレイ
位置の確認　17
使用可能なメディア　45
取り外す　353
背面アクセス パネル
メディア詰まりの除去　320
バックアップ ファクス受信　83
発生音量　362
はみ出したページ、トラブルシューティング　231
はやい、コピー品質　118
パラレル方式の電話システム
DSL のセットアップ　151
ISDN のセットアップ　153
PBX のセットアップ　153
共有回線のセットアップ　155
国/地域　144
セットアップの種類　146
単独回線のセットアップ　150
着信識別のセットアップ　154
電話回線と共有するモデムのセットアップ　162
モデムとボイス メールのセットアップ　175
モデムと留守番電話のセットアップ　170
モデムのセットアップ　158
留守番電話のセットアップ　168
パルス ダイヤル　99
ハードウェア、ファクス セットアップ テスト　286

ひ

左矢印　20
標準、コピー品質　118
表示
拒否するファクス番号　91
ファクス ログ　111
表示
写真　66
短縮ダイヤル エントリ　105
ネットワーク設定　141
品質ボタン　19
品質、コピー　118
品質、トラブルシューティング
コピー　277
スキャン　282

ふ

ファクスの印刷品質が悪い　253
ファクスの縮小　88
ファクスの受信
拒否番号　88
ファクスの受信
応答呼び出し回数　97
自動応答モード　96
自動　81
手動　82
転送　86
トラブルシューティング　294, 298
ファクスの送信
基本的なファクス　70
手動　71
ダイヤル モニタリング　72, 75
トラブルシューティング　294, 296, 301
複数の受信者　76
メモリから　73
ファクスの送信
カラー ファクス　77
モノクロでファクスを転送　86
ファクスの問題
印刷品質が悪い　253
ファクス
DSL、セットアップ (パラレル方式の電話システム)　151
ISDN 回線、セットアップ (パラレル方式の電話システム)　153
PBX システム、セットアップ (パラレル方式の電話システム)　153
エラー補正モード　99
エラー レポート　110
応答モード　96
応答呼び出し回数　97
回線状態のテスト、失敗　292
確認レポート　108
壁側のモジュラー ジャックのテスト、失敗　287
共有電話回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム)　155
再印刷　85
自動応答　96
受信、トラブルシューティング　294, 298
受信　81
手動受信　82
仕様　361
スケジュール設定　74
設定のテスト　106
設定、変更　95
セットアップの種類　146
送信、トラブルシューティング　294, 296, 301
送信　69
速度　101
ダイヤルトーンのテスト、失敗　290
ダイヤル方式、設定　99
ダイヤル モニタリング　72, 75
短縮ダイヤル エントリ、設定　102
短縮ダイヤル グループ、設定　103
単独回線のセットアップ (パラレル方式の電話システム)　150
着信識別音、パターンの変更　98
着信識別のセットアップ (パラレル方式の電話システム)　154
テストに失敗した　285
転送　86
電話コードが短すぎる　302
電話コードの種類のテスト、失敗　289
電話コードの接続テスト、失敗　288

トラブルシューティング 284
バックアップ ファクス受信 83
パラレル方式の電話システム 144
複数の受信者に送信 76
ヘッダー 95
ボイス メール、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 157
ポーリングして受信 86
メモリから削除 86
モデムと電話回線、共有 (パラレル方式の電話システム) 162
モデムとボイス メール、共有 (パラレル方式の電話システム) 175
モデムと留守番電話、共有 (パラレル方式の電話システム) 170
モデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 158
リダイヤル オプション 100
留守番電話とモデム、共有 (パラレル方式の電話システム) 170
留守番電話のトラブルシューティング 302
留守番電話、セットアップ (パラレル方式の電話システム) 168
レポート 108
ログ、印刷 110
ファクス
Mac にファクス 91
PC ファクス受信 91
印刷品質が悪い 253
印刷、ファクス レポート 112
インターネット プロトコル、経由 106
薄くまたは濃くする 80
エラー補正モード 81
音量 102
解像度 78
拒否番号 88
濃くまたは薄くする 80
コントラスト 80
自動応答 20
写真 77
縮小 88
設定 78
デフォルト設定 80
番号の拒否 20
ファクス メニュー ボタン 20
用紙サイズ 87
ログ、消去 111
ファクス メニュー ボタン 20
ファクス
セットアップ 144
封筒
ガイドライン 39
サポートされているサイズ 41
トレイのサポート 44
封筒 232
フォト メディア
ガイドライン 39
使用可能なサイズ 42
フォト メニュー ボタン 19
フォト用紙
コピー 117
負荷サイクル 357
フチ無し印刷
Windows 50
フチ無し印刷
Mac OS X 50
プリンタ ステータス ページ
印刷 139
情報 138
プリンタ ドライバ
設定 52
バージョン 346
プリンタの調整 211
[プリンタの追加] によるインストール 184
プリンタ、調整 211
プリント カートリッジ ラッチ、位置 18
プリント ドライバ
バージョン 346
プリントヘッド
クリーニング 210
プロセッサの仕様 357

へ

ヘッダー、ファクス 95
ヘッド 210
ヘルプ 342
も参照 カスタマ サポート
編集
OCR プログラムのテキスト 61
スキャンした画像 60
ページに合わせる 119
ページ/月 (負荷サイクル) 357

ほ

ボイス メール
ファクスおよびコンピュータ モデムとのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 175
ファクスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 157
法規について 364
保管環境仕様 362
保証 349
保存
写真のコンピュータへの保存 66
デフォルトの設定 26
メモリ内のファクス 83
ボタン、コントロール パネル 19
余白の変更
部数 122
ポート、仕様 356
ポーリングしてファクスを受信 86
ボーレート 101

ま

曲がっている、トラブルシューティング
印刷 273
マニュアル 13

み

右矢印 20

む

無線、オフにする 142
無線ノイズ
規制情報 369
無線ノイズ
減少 192

め

迷惑ファクス モード 88

メディア詰まり
除去 320
メディア
2 面印刷 53
ADF の容量 33
HP、注文 341
カスタムサイズの印刷 48
仕様 39
選択 38
トレイへのセット 46
フチ無し印刷 50
ページが曲がっている 273
メディア詰まりの除去 320
メディアの供給のトラブルシューティング 272
メニュー、デバイスのコントロール パネル 24
メモリ カード
赤目除去 67
新しいデフォルト 68
日付スタンプ 68
写真の修正 67
挿入 63
ファイルの印刷 65
メモリからのファクスの削除 86
メモリ カード
DPOF ファイルからの印刷 65
インデックス シート 66
コンピュータに写真を保存する 66
仕様 363
スキャン画像の送信 59
トラブルシューティング 315
メモリ
仕様 357
ファクスの再印刷 85
ファクスの削除 86
ファクスの保存 83
メンテナンス
インク カートリッジ 206
インク カートリッジの交換 203
インク レベルの確認 202
印刷品質レポート 214
診断ページ 214
プリンタの調整 211
プリントヘッドのクリーニング 210
プリントヘッド 210

も

文字
意味不明な文字 237
欠ける 244
ギザギザになる 269
定着しない 253
フォントのスムージング 269
モデム
ファクスおよび電話回線との共有 (パラレル方式の電話システム) 162
ファクスおよびボイス メールとの共有 (パラレル方式の電話システム) 175
ファクスおよび留守番電話との共有 (パラレル方式の電話システム) 170
ファクスとの共有 (パラレル方式の電話システム) 158
モデル番号 139
モニタリング、ダイヤル 75
モノクロ ページ
コピー 114
モノクロ ページ
ファクス 69
問題
印刷 232

ゆ

ゆがんでいる、トラブルシューティング
コピー 278
スキャン 283

よ

用紙サイズ
コピー設定 116
用紙
紙詰まり 320, 323
使用可能なサイズ 40
使用可能な種類と重量 44
推奨コピーの種類 117
リーガルをレターにコピー 120
用紙
給紙できない 267
サイズ、ファクス用 87
容量
ADF 33
トレイ 44
余白
設定、仕様 45
余白
間違い 242
文字やグラフィックが欠ける 244

ら

ランプ、コントロール パネル 19

り

リサイクル
プリント カートリッジ 375
リダイヤル オプション、設定 100
両面印刷モジュール
サポートする用紙サイズ 40
取り外し 353
両面印刷ユニット
メディア詰まりの除去 320
両面印刷ユニット
インストール 51
両面印刷 53
両面、印刷 53
両面
部数 123
リリース ノート 13
リンク速度、設定 142
リーガル用紙
コピー 116

る

留守番電話
ファクスおよびモデムとのセットアップ 170
ファクス トーンが録音される 302
ファクスのセットアップ (パラレル方式の電話システム) 168

れ

レター用紙
　コピー　117
レポート
　印刷品質　214
　診断　214
　プリントヘッド　210
　迷惑ファクス　88
レポート
　エラー、ファクス　110
　確認、ファクス　108
　ファクス テストに失敗した　285

ろ

ログ、ファクス
　表示　111
ログ、ファクス
　印刷　110

わ

ワイヤレス通信
　Ethernet のセットアップ　190
　ウィザード　191
　オフにする　191
　セキュリティ　195
　設定　188
　ノイズの減少　192
ワイヤレス通信
　Mac OS へのセットアップ　191
　規制情報　369
　セットアップ　187
　無線、オフにする　142
　ワイヤレスの基本的なトラブルシューティング　306
　ワイヤレスの詳細なトラブルシューティング　307
ワンタッチ短縮ダイヤル ボタン　20